K−1、石井館長が遂にドン・キングと接触!

1999年8月26日発行(毎月第2・第4木曜日発行)第1巻・第4号・通算4号

SRS DX

Special Ring Side

スペシャル・リング・サイド

No.4
1999
8・26
毎月第2・4木曜発売
定価680YEN

『小川とも道衣を着て闘う!』

ホイス激白!

2000年1月、
PRIDEで実現か!?

髙田vsホイス決定!

『SRS・DX』読者 出血大サービス

道場クーポン券

強くなりたいキミへ 本誌だけの特典

格闘技を見るだけじゃなく、実際にやってみたい。そう思ってはいても、なかなかきっかけがつかめないという人も多いはず。そんなアナタのために、『SRS・DX』編集部が各道場に協力を依頼。総力を挙げてこれだけのクーポン券を用意しました！　試しに練習に行くもよし、お好みの道場に割引価格で入会するもよし。この夏、クーポン券で強くなれ！

キリトリ線

正道会館

大阪総本部、東京本部、中部本部の各道場で

入会金無料

※1999年9月9日まで有効（各道場先着100名まで）

正道会館／かつては“常勝軍団”と呼ばれ、K-1の母体ともなった石井和義館長率いる空手団体。佐竹雅昭をはじめ数々の強豪を生んでいる。現在、大阪総本部では角田信朗が指導にあたっている。

道場所在地
大阪総本部／大阪府大阪市北区錦町3-1　☎06-6357-1654
東京本部／東京都新宿区高田馬場1-28-18和光ビル2F　☎03-5285-1966
中部本部／愛知県名古屋市中区錦2-19-20　☎052-221-9555

キリトリ線

髙田道場

1日体験入門&入会金50%off

※体験入門は要予約

髙田道場／新日本プロレス、UWF、Uインターで活躍してきた髙田延彦が設立した道場。興行を開催せず、『プライド』をはじめ様々なリングに上がるという新機軸を打ち出した。ほかに、桜庭和志、佐野なおきなどの所属選手がいる。

道場所在地
東京都大田区池上4-27-13トウセン池上ビル
☎03-3755-1444

キリトリ線

修斗 PUREBREDシューティングジム大宮

入会者に

グッズプレゼント

※1999年9月20日まで有効

PUREBREDシューティングジム大宮／埼玉の健康センター『湯の郷』内にある修斗ジム。エンセン井上、朝日昇など数々の強豪を擁し、実際に彼等の指導も受けられる。修斗だけでなく、エンセンが担当する柔術クラスもあり。

道場所在地
埼玉県大宮市丸ヶ崎2919-1 大宮健康センター湯の郷新館1F
☎048-686-3328

キリトリ線

パレストラ東京

ビジター練習1回無料

パレストラ東京／高専柔道から修斗に入門、修斗ウェルター級王者、バーリトゥード・ジャパンオープン準優勝などの実績を持つ中井祐樹が開設。柔術、修斗などが学べ、精力的に柔術大会を開催していることでも知られている。

道場所在地
東京都練馬区豊玉北1-6-13カエサル江古田B1-101
☎03-5984-3209

キリトリ線

UWFスネークピットジャパン

1日体験入門

※1999年8月31日まで有効

UWFスネークピットジャパン／イギリスの伝説的レスリングジムであるビリー・ライレージム、通称“蛇の穴”の伝統を甦らせるべく、元UWFインターの宮戸優光氏が設立。往年の名レスラー、“人間風車”ことビル・ロビンソン氏がコーチを務める。

道場所在地
東京都杉並区高円寺2-15-1-2F
☎03-3337-1889

キリトリ線

全日本キックボクシング連盟 作真会館AJパブリックジム

ビジター練習1回無料

※1999年9月30日まで有効

作真会館AJパブリックジム／全日本キックの連盟本部ジムとして今年6月にオープンしたばかり。フリーとして復帰を果たした前田憲作がコーチを務め、全日本ウェルター級王者・魔裟斗も練習に訪れている。

道場所在地
東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1231

キリトリ線

クーポン券使用上の注意

- クーポン券を使用する際には、必ず事前に各道場に連絡して下さい。
- それぞれのクーポン券は一人につき1回のみ有効です。
- その他、クーポン券使用に関する詳細は各道場にご確認下さい。

キリトリ線

バトラーツ道場

入会金50%off

バトラーツ／元藤原組の石川雄規を社長として旗揚げしたプロレス団体。他団体に先駆けて、道場のアマチュア開放を行った。7月にはアマレスクラブ『情念クラブ』を設立。アレクサンダー大塚も指導に当たっている。

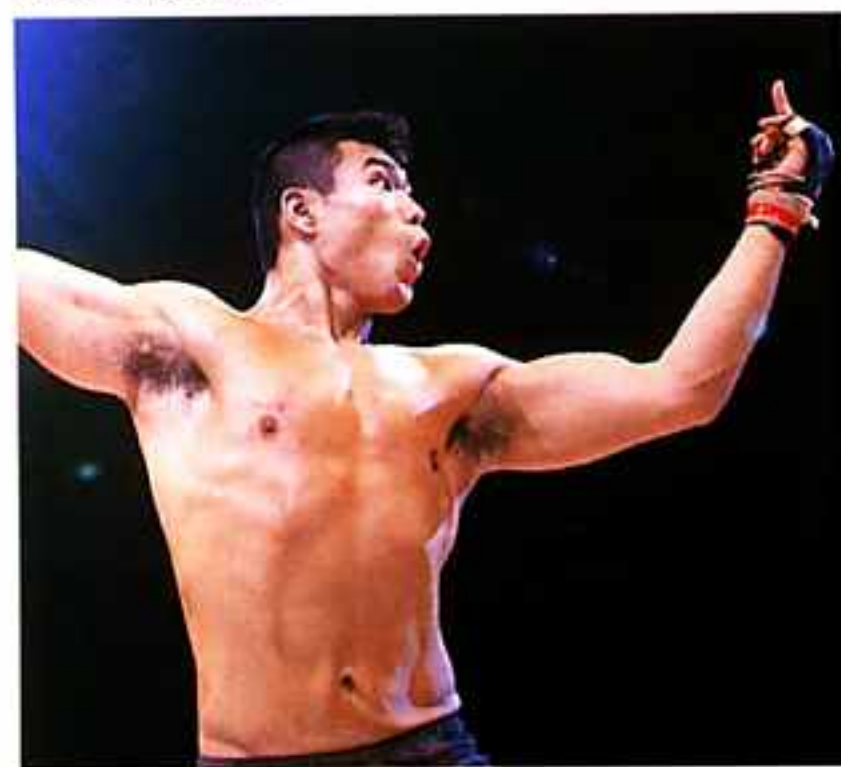
道場所在地
埼玉県越谷市赤山町2-158-1
☎0489-63-0005

キリトリ線

スクープ！

注目のその時期は、2000年1月
ホイス『プライド』に出陣表明！ GPの1回戦で髙田と対戦決定的

前号でもお伝えしたように、『プライド』は、K－1のようなグランプリ開催を画策しており、その鍵を握るのはホイス・グレイシーだと言われていた。というのも、『プライド』誕生のきっかけは、バーリ・トゥードを世界的に広めたグレイシー柔術にあり、グレイシーなしでトーナメントを開くのは、説得力に欠けるからである。

9・12『プライド7』でグランプリが開けるかどうかもホイス次第。これはホイスの出場が危ぶまれている理由が、ファイトマネーや対戦相手、ルールではなく、ケガの回復が思わしくないことによるからだ。ホイスがGOサインを出せば、『プライド』は一気に大きなテーマをもつことになるのだ。

そこで、本誌は、ホイスの所へ特派員を派遣。実際、ホイスの病状がどこまで回復しているか、インタビュー取材を敢行した。

そこで驚くことに、ホイスの口からハッキリ出場の意志を聞くことができた。9ページからのインタビューにあるように、ホイスは来年1月『プライド』のリングで、復帰戦を行うと断言したのである。

現在の回復は90％以上、右の足首にまだ少し痺れが残っているが、『プライド』を主催するDSEのオファーに対し、2000年1月に出場したいと回答を出したという。

しかも、ホイス自らトーナメント出場を希望。対戦相手は誰でもいいが、「DSEが希望するならタカダでもいい」と答えたそうだ。

髙田延彦は、97年10月、ヒクソン・グレイシーと東京ドームで闘って以来、バーリ・トゥードの舞台である『プライド』を主戦場にしてきたが、それはあくまで「打倒グレイシー」を果たすための手段。

ヒクソンに連敗した髙田はその後、マーク・コールマンやマーク・ケアーといった強豪と闘うことで、一歩一歩グレイシーとの再戦のための階段を駆け上がってきた。

そして、今年の初めから髙田は「ホイスと闘いたい」とマスコミにアピール。DSEとしても、なんとか看板選手の一人である髙田の思いをかなえようと交渉しているため、ホイスと髙田がグランプリ1回戦で実現するのは、ほぼ間違いないだろう。

そうなると、『プライド』のグランプリは来年1月に開催。16名のトーナメントで「世界最強」を決めようとしているので、1月横浜アリーナ、3月東京ドームで開催することが予想される。

しかも、ホイスは小川直也との対戦にも自信を見せており、小川がトーナメントに参戦すれば、2回戦以降で「髙田VSホイス」の勝者が小川と対戦するという。どう転んでも夢のカードが実現する可能性が出てきた。もちろん、そうなると今度は小川の気持ちひとつということになるが、本誌が3月東京ドーム大会を予想するのは、そんな理由があるからだ。

これまで「髙田VSヒクソン」というカードが、興行の軸となっていた『プライド』に遂に「髙田VSホイス」という新たなテーマができた。小川、エンセン、ケアー、シカティック、グッドリッジが加わって、トーナメントを開ければ、本当に『プライド』は大ブレイクするだろう。

しかも、本誌特派員によると、ヒクソンも「小川VSグッドリッジ」戦を見て、小川に興味をもったという。もしかしたら「小川VSヒクソン」という芽も現実味を帯びてくるかもしれない。

そうなれば、まさにヒクソンやホイスの父エリオが柔道の木村政彦と闘った親子二代にわたったリベンジ戦となる。この時、木村はエリオをアームロックで破っているのだ。

ある人に言わせてみれば、ヒクソンが髙田に二度にわたって腕ひしぎで勝つことにこだわったのは、エリオが木村に腕を取られて負けたからだという。つまり、あの腕ひしぎは、グレイシー一族の日本人に対する怨念が込められていたのだ。

これまで柔術は、柔道にバカにされ続けたという歴史がある。オリンピックなどの世界的な檜舞台で柔道が脚光をあびる一方で、柔術は93年のアルティメットが出るまで裏街道を歩み続けていた。きっと、グレイシー一族は、そうした怨念を胸に「プロレスラー」ではなく「柔道家」小川直也に挑んでくるのは間違いないのだ。

▼「小川VSホイス」「小川VSヒクソン」も夢ではない

◀「髙田VSホイス」はヒクソン戦の時のような話題になるか？

◀アメリカで大人気の高阪剛

◀宇野薫、小路晃が高瀬大樹を応援に

巻き返し

大人気の高阪剛、マルコに勝ったモーリスは再びK－1へ
UFC フランクVSティト実現
UJ 船木VSヒクソン戦を画策

7月16日(金)米国アイオワ州シーダーラピッズのファイブシーズンセンターで、UFCの『リターン・オブ・ザ・チャンピオン』が開催された。

メインイベントは、「ミスターIWKA」モーリス・スミスが「路上の格闘王」マルコ・ファスと対戦。試合はモーリスのキックに対し、マルコがタックルからテイクダウンを奪い、上になって反撃。マルコはよく動くが、モーリスの下からのコントロールがうまく苦戦する。それでもマルコはヒザ十字、カカトへのフックを果敢に繰り出すが、モーリスはこれもディフェンス。さらに下からの打撃で対抗した。

しかし、1R終了時点で、マルコは『プライド4』のアレク戦の時のように突然のガス欠。セコンドのペドロ・ヒーゾから「GO！」の声もむなしく、コーナーで座り込み、試合を放棄した。

どうやらマルコはヒザを負傷していたらしく、バーリ・トゥード戦2連敗で価値を落としてしまった。一方、勝ったモーリスは、8・22有明コロシアムで行われる『K－1スピリッツ99』でアンディ・フグと対戦することが決定。石井館長はこの試合の勝者をアンディと当てる予定だったらしく、もしいい試合をすれば米国代表としてGPにも出場させるという。

一方、すっかりUFCでも人気者になったリングスの高阪剛は、レスリング出身のティム・ラジックと対戦。上になったのはラジックだったが、高阪は余裕で下からコントロール。最後は3Rに上になり、顔面打撃でボコボコにしてTKO勝ちした。

高阪のセコンドには、モーリス、フランクの他、山本宜久、成瀬昌由、ケビン・ヤマザキ氏がつき、高阪が燃えたのは言うまでもない。TKの名は、米国格闘技界でかなり知れわたるようになった。

この日は、もう一人日本人が出場。UFCに二人の日本人が出場したのは初めてのことである。その日本人とは慧舟會の高瀬大樹。高瀬はジャーミー・ホーンと対戦したのだが体重差があり、マウントからのヒジでTKO負け！ レフェリーが止めるのが遅く、病院送りになってしまったが、大事には至らなかった。なお、高瀬のセコンドには、慧舟會の小路晃と宇野薫がついていた。

次回のUFCは9月24日に開催することが決定(場所は未定)。メインイベントは、フランク・シャムロックVSティト・オーティズのミドル級タイトルマッチと発表した。

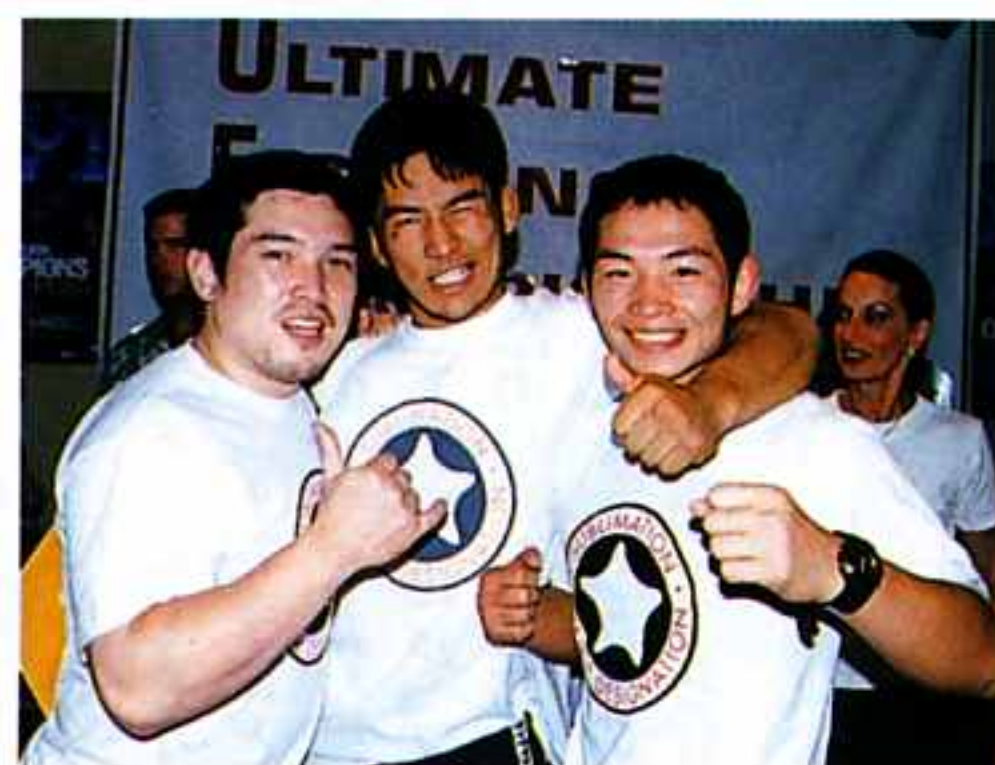
オクタゴンで2人が紹介されると、なんとフランクには拍手喝采が送られた。どうやらフランクがブーイングされたのは、最近試合をしていないので「逃げている」と思われているのが原因らしく、逆に金髪のティトは、前回のUFCでガイ・メッツアーを破った後「ゲイ・メッツアー！」と叫び、ケン・シャムロックのことを「ジジィー！」と呼んだ毒舌ぶりが人気につながっているようだ。

前号の本誌のフランクインタビューにもあったように、フランクは「ティト→桜庭」の順で試合を考えており、これで9・12『プライド7』での桜庭VSフランク戦はなくなった。UFCとしても、『プライド』に一矢を報いたことになる。

また気になるところでは、パンクラスの船木誠勝がテレ東の「格闘コロシアム」で「ヒクソンと闘いたい」とUJ(アルティメット・ジャパン)を通じて交渉しているニュアンスの発言をしていたことだ。これも来年3月東京ドームを仮り押さえしているという未確認情報が伝わっている。

▶9・24 UFCで決定したフランク・シャムロックVSティト・オーティズのミドル級タイトルマッチ

▶マルコ・ファスはまたガソリンが切れてタオルが投入された

◀アメリカで大人気の高阪剛

◀宇野薫、小路晃が高瀬大樹を応援に

▶アレクサンダー大塚も観戦。シャムロックとがっちり握手

新展開

原因は「左手負傷」、12・22大阪大会での実現めざす……
小川VS山本戦は延期になったが、前田社長、『プライド』と接触！

8・19リングス横浜大会の目玉カードに予定されていた「小川直也VS山本宜久」の一戦は、ゲーリー・グッドリッジ戦での小川の左手負傷により正式に延期となった。

さる7月23日(金)、東京・渋谷のリングス事務所にて、前田日明・リングス代表取締役社長と、川村龍夫・UFO代表取締役社長がそろって緊急記者会見。マスコミは「遂に決定か」と色めき立ったが、発表は意外にも延期の知らせだった。

会見によると、前田は前日の22日に小川と直接会談。約2時間の話し合いの結果、「ベスト・コンディションでやりたい」という意向をくんで延期を決定したという。医師の正式な診断は「頭部外傷、左ヒジ打撲、左手打撲」で約2週間の安静が必要と記されてあった。

前田社長は笑顔で「小川選手は格闘技界全体で育てていかなければいけない選手」と、目玉カードがなくなったショックを微塵も見せず、あくまでも延期であり、中止ではないことを強調。今後も交渉を続け、12・22大阪大会での実現をめざすという。

▼7月23日、リングス事務所で行われた記者会見、左はUFO社長の川村龍夫氏

小川に挑戦した山本は、7月末から米国シアトルにあるモーリス・スミス・キックボクシングジムで、打倒・小川に燃えてキャンプを張っていただけに、悔しさは隠しきれない。8月2日に帰国した際、記者陣に対し「あれだけのことを言っておきながら、直前になって高校球児みたいに、ベストコンディションでやりたいなんて、ふざけるな。小川はプロ失格」と強く非難した。

一方、前田社長も8月2日池袋サンシャインシティ噴水広場で開かれた「リングス公認テーマ曲CD」発売イベントの席上で、「小川が両手を広げているのは鷹かと思っていたが、あいつはチキン！」とコメント。

小川は「こっちは盛り上げようとしていたのに、中止になってから吠えるな」と怒りをあらわにするが、今後どんな反論をするか見ものである。また今でも小川は「やるのなら客のいない巌流島」と言っているだけに、小川VS山本戦が本当に実現するかどうかは予断を許さないところだ。

しかし、小川戦というテーマを失ったリングスは、今後どうしていくのか、プロデューサー前田日明の手腕が問われるところ。やはり、前田引退後、興行的には苦戦を強いられているリングスだけに、小川級のテコ入れはどうしても必要。果たして、前田社長はどう動くのか。

その前田社長が7月末に『プライド』を主催するDSEの森下直人社長と会談したことが明らかとなった。もともと前田社長は試合後のインタビューなどで「外国人選手の引き抜き問題について、DSEと一度話し合う」と言っていたのだが、すでに2度会っているという情報が伝わってきている。

内容はもちろん明らかにされていないが、察するに前田社長からrAwチームなど、外国人選手のブッキングについてクレームを入れたこと、また話し合いがうまくいけば選手の交流について前向きに話し合われたのではないだろうか。

リングスの状況を考えれば、単にクレームをつけるだけではDSEと会う意味がない。まして、今は前田日明もプロデューサーという立場。『プライド』に上がる選手にも十分魅力を感じているはずだ。

特に『プライド』を支えているのは、なんと言っても高田道場。前田と高田の関係もあり、友好的な展開になる可能性もある。高田VS田村、高田VSハン、田村VS桜庭という夢のカードを期待するのは、あまりにも早過ぎるのだろうか……。

いまだ「新日本参戦」(今号が出る頃に結論は出ているだろうが)の噂が断たない高田だけに、高田の動向も気になるところである。

現在の高田の状況は、①『プライド』でのホイス戦、②新日本プロレス、③リングス、④海外での試合と選択肢がたくさんあり、高田が今でもマット界のキーマンであるのは間違いない。

対決

9・18 パンクラスNK大会で 柳澤龍志VS小路晃 決定！

▶慧舟會の小路晃

9・18パンクラス、NKホール大会に、慧舟會の小路晃が参戦し、パンクラスの柳澤龍志との試合が決定した。両者はパンクラチオンマッチで対戦。『プライド』でヘンゾ・グレイシーやヴァリッジ・イズマイウ、イゴール・ボブチャンチンと好勝負を展開した小路が、柳澤を相手にどう闘うのか。また、柳澤としても小路が『プライド』のリングで元キング・オブ・パンクラシストのガイ・メッツァーに判定勝ちしているだけに、負けられないところだろう。なお、この日は近藤有己VS國奥麒樹真のタイトル戦も行われる。

道場経営

極真、掣圏道、柔術、中国武術、ジークンドー、新空手が合体!

メディアミックスに負けじと、「道場ミックス」が起こり始めた

本誌は創刊のコンセプトとして、地上波テレビ、衛星放送、ビデオ、雑誌などの「メディアミックス」を掲げてきたが、格闘技界でも同じ発想の新しいムーブメントが起こり始めようとしている。

それは「道場ミックス」だ。どういうことかと言うと、一つの道場で、なんと極真空手、掣圏道、新空手、中国武術、柔術、ジークンドーがいっぺんに学べるという新しいシステムが生まれたのである。

これを実践し始めたのは、池袋と六本木で総合格闘技道場を出す『ボディプラント』という組織。簡単にそのシステムを紹介すると、まず入門希望者は学びたいどこか一つの組織に入門する。そして、入会費と月謝を他の格闘技道場と同じように収めて習う。しかし、それ以外の格闘技の練習に参加したければ、1回のビジター料金で1000円、何回も参加したければ3000円を月謝にプラスすれば、自由に出席できるという画期的なシステムを取り入れたのである。

しかも、極真空手が池袋は本部直轄で松井章圭館長、六本木が城南支部で廣重毅師範。さらに、掣圏道・佐山聡（六本木）、柔術・パレストラの中井祐樹、ジークンドー・中村頼永、中国武術・「格闘マガジンK」編集長・山田英司、新空手・大成敦（以上池袋）という超豪華な格闘家がラインナップされており、一つの道場でこんなに多くの指導者から学べるのだから夢のような話だ。よくぞ、これだけのメンバーがジャンルの枠を越えて集まったものである。これは格闘技界における「事件」と言っていいだろう。

●『ボディプラント池袋』の例

	19:00～20:30	21:00～22:30
月	柔術（パレストラ）	柔術（パレストラ）
火	新空手	極真空手
水	組技（パレストラ）	組技（パレストラ）
木	極真空手	新空手
金	ジークンドー	柔術（パレストラ）
土	新空手	
	10:00～12:00	
日	中国武術	

最近の格闘技入門者は、空手を学びたいけど、関節技もやってみたいと思う人や、同じ空手でも他の道場がどんな練習をしているか出稽古してみたいと考える人が多いので、まさに『ボディプラント』は21世紀型の道場経営と言えるだろう。

これまでも、パレストラと正道柔術クラスが、お互いに月謝に1000円足せば、自由に出稽古できるという新しいシステムがとられていたが、ここまで本格的にやるのは初めてのことである。なるほど、格闘技には、こういう「ミックス」があるのかというやり方だ。

もともと格闘技界は、イベントの中で「格闘技ミックス」が行われてきた。「格闘技の祭典」がそのいい例で、一つの興行でプロレス、キック、空手、バーリ・トゥードといった試合を混ぜて見せる試みがとられてきた。K―1でも、空手やバーリ・トゥードの試合をやったり、シュートボクシングでも、バーリ・トゥードや異種格闘技戦をやって、この興行形態が流行ったことがある。

しかし、一つの空間で違ったジャンルが自由に学べる道場システムは、今回が初めてだろう。正道会館が、K―1、空手、柔術の三本立てで道場を開いているが、今回はまったく違う流派が集まっているのである。

『ボディプラント池袋』はすでに、8月1日からオープン。

入会費、月謝などの料金体系及び練習時間は各団体ごとに違うので、詳しくは、☎03・5955・7766まで問い合わせを。

▲一つの道場で、松井館長、中井祐樹、佐山聡から格闘技が学べる

転向組

バーリ・トゥーダーからプロレス転向組のその後……

え!? アボットWCWでトラブル? ケン・シャムロックVT復帰へ

新日本プロレスで活躍するドン・フライのように、ここ数年、バーリ・トゥードからプロレスに転向する選手はかなり多い。特に日本のマット界ではUFC出身の選手に対する引き合いが多いが、ケン・シャムロックのようにWWFといった米国メジャー団体から声がかかる選手もいる。

UFCは、そういう意味でもプロレスラーになるためのコンテストの場でもあるのだ。その中で最近、UFC王者になったこともあるオレッグ・タクタロフがWWFと契約したという情報が伝わってきた。

タクタロフは、本場ロシアのサンボ王者として、95年4月第5回アルティメット大会(その後UFCに)でデビュー。トーナメント準決勝でダン・スバーンに敗れたものの、その実力を買われて常連選手に昇格。UFCではマルコ・ファス、タンク・アボットらにも勝ってチャンピオンに輝いたこともある。

しかし日本では、パンクラスと『プライド』のリングに上がったが、ともにいいところなく完敗。特に『プライド1』では、グッドリッジのパンチで失神し、それ以後、バーリ・トゥードのリングから遠ざかっていた。

そのタクタロフはプロレスにも興味があり、3年前にロスでスバーンとタッグを組み、猪木・藤原組とも対戦しているが、今後はWWFを主戦場に本格的にプロレスラーの道を歩みそうだ。タクタロフは猪木も評価する才能がある男だが、果たしてWWFのアメリカンプロレスでどういう試合をするのか。

一方、タクタロフに代わって再びバーリ・トゥードを主戦場にすることが決定しているのが、ケン・ウェイン・シャムロックだ。シャムロックはUFCでホイス・グレイシー、スバーン、キモらと激闘を繰り広げた後、WWF入り。しかし、そのWWFとの契約も来年の1月で切れることもあって、再びバーリ・トゥードに復帰すると言われている。そうなると、主戦場は関係の深いUFCか。今でもライオンズ・デンのリーダーとしてUFCの会場に顔を出すシャムロックは、再びバス・ルッテンやモーリス・スミスらと激闘を繰り広げる可能性も高い。

また最近、バーリ・トゥードからWCW入りして話題になったのが、喧嘩屋ディビット・タンク・アボットである。

しかし、アボットはリック・スタイナーと抗争を始めたばかりだというのに、試合からはずされたという情報も伝わってきている。

アボットは、UFCでもトラブル・メーカーとして有名で場外乱闘は日常茶飯事。ホテルのエレベーターでパトリック・スミスと大乱闘になり病院送りにして試合に出れなくさせたり、試合場でカーウソン派の暴れん坊アラン・ゴエスと場外乱闘になったり何かと問題を起こしてきた。喧嘩で警察に逮捕されたのも一度や二度のことではない。

もしや、WCWでも問題を起こし、クビになったのでは……という噂も立っているほどだ。

アボットはもともとピットブルファイティングというストリートファイト集団が格闘技のベースで、ヒクソンやホイスからは全くバーリ・トゥードをやる資格のない選手と蔑まれてきた。しかし、どんなに殴られても音を上げない体力とポパイに出てくるブルートのような抜群のキャラクターで、プロレスでも人気選手になると思われていた。

しかし、一方でWCWのエリック・ビショフ代表は太ったレスラーが嫌いらしく、アボットに減量を命じたのが原因とも言われている。アボットは、一時減量に成功したのだが、それで自分の持ち味がなくなり逆に人気を落としていった。それでアボットも、バカらしくなってWCWを離れたのかも知れない。

いずれにせよWCW離脱が本当なら、アボットが再びUFCにもどってくるのは間違いない。

◀プロレス界でもトラブルを起こしたのか? タンク・アボット

▲プロレス経験のあるタクタロフはWWF入りが決定

▼ケン・シャムロックは再びUFCへ

衝撃インタビュー ホイス・グレイシー with エリオ・グレイシー

取材・撮影／田村 敦（本誌ロス特派員）

「タカダでもオガワでもいい。私は誰とでも闘う！」

来年1月『PRIDEトーナメント』に参戦表明！

ホイス・グレイシー G with エリオ・グレイシー

遂にホイス・グレイシーが、バーリ・トゥードのリングに帰ってくる。怪我の回復が危ぶまれる中、直撃取材を試みた本誌特派員に対し、来年1月の『プライド・トーナメント』参戦を表明したのだ。「試合をしない」「相手を選ぶ」といったグレイシーへの中傷により、自ら打ち立てた「最強神話」が崩れかけているのを察知した父・エリオが、遂に息子に出陣を命じた！

「ホイスよ、柔術の強さを証明するのじゃ！」

——まず、現在の病状はいかがですか？

ホイス 2月の時点では90％だったけれども、今は90％以上良くなっています。悪いのは右足の足首のあたりなのですが、まだ少し痺れが残っています。でも、ほぼ良くなってきていると思います。もともとマーク・ケアーとの試合をキャンセルした時というのは、腰の神経がねじれていたんですが、腰ももう今はほとんど治っています。非常に"ファイン"です。ちょうど昨日、セミナーツアーからここに戻って（7月29日）から100％の練習を始めました。

——時間的には、一日にどれくらい練習しているんですか。

ホイス 朝から1時間半くらい、昼から1時間半くらいです。あとはもちろんアカデミーの生徒を教えているので、その時間があります。午前中は3クラス、午後も数クラス教えていて、自分だけのトレーニングとは別にクラスとクラスの間に少し時間が空いているから、その時に来ている生徒の誰かしらと20分くらいスパーリングをしたりしています。今日の午前中も……お父さん、これは言ってもいいんですかね？

エリオ 大丈夫じゃ。言いなさい。

ホイス 今日の午前中には全米95キロ級5位の22歳のレスリング選手とスパーリングをしました。彼は生徒の友人で、たまたま来ていて、父が「せっかくの機会だからやってみなさい」と提案したので、急遽やることになりました。

エリオ 何事も経験じゃよ（笑）。

——それは先々『プライド』でマーク・ケアーと闘うことを想定してやったのですか。

ホイス いや、そうではありません。そのレスリングの選手が前から柔術とスパーリングをしてみたいと言っていたらしいので、たまたまやりました。

——実際にレスラーとスパーリングをやってみてどうでしたか。

ホイス 最初は10分くらいやって、2回タップさせました。その後はもう相手の力量が分かっていたので30秒に一回ずつのペースで極めました。

——普段のスパーリングは主に誰とやっているんですか。

ホイス 甥のヒリオン（ホリオンの息子＝17歳）とやっています。186センチ、185ポンドとほぼ私と体格が同じです。まだ黒帯ではありませんけど。

——実際に復帰のメドはどうでしょうか。

ホイス まあ、そろそろ再び闘いの場に出ていく時期が来たと思います。

——というと、具体的にプランはあるのですか？

ホイス 来年1月に『プライド』のリングに上がりたいと思っています。

——えっ！ それは決定ですか？

ホイス 正式な契約はまだですが、『プライド』のオファーに対して、そう希望を出しました。

——相手は決まっているのですか？

ホイス 誰という希望はありませんが、できればトーナメントにしてほしいと、『プライド』側にはオファーしました。

——トーナメントの方が、厳しい闘いになると思いますし、リスクも高いと思うのですが、どうしてトーナメントを希望するんですか？

エリオ それは私がお答えしよう。最近よく「グレイシーは弱い」とか、「試合相手を選ぶチキンだ」とか、かなり辛辣な噂を耳にする。とにかく、そういう輩を黙らせなければならない！ そのために出陣するのじゃ！ トーナメントであれば、勝ち進めば誰とでも闘わなければならぬし、チャンピオンとなって、グレイシー柔術の威信と名誉を取り戻すこともできる。

——非常に力強いお言葉ですね（笑）。

ホイス （笑）。父が言うように、みんなを黙らせるために、トーナメントに出場したいのです。以前は私は「柔術は強い」ということを証明するためだけに闘っていました。その結果、いろいろな選

今はみんなの口を閉ざすために試合をしなければいけないのです

◀柔術界の星飛雄馬・一徹と呼ばれる？ ホイスとエリオのグレイシー親子

手に勝っていくに連れて、みんなが「ホイス・グレイシーは強くない」と言い始めました。そういう意味で、私は試合をするたびに闘う理由ができました。だから、今はみんなの口を閉ざすために試合をしなければいけないのです。

——たしかに雑誌メディアやインターネットなどでは、「グレイシーは相手を選ぶ」と言われていることが多いですね。

ホイス　私はインターネットは大嫌いです。南アフリカにいるような、会ったこともないまったく知らないヤツらが、私のことを「弱い」と言っています。そんな会ったこともないヤツにああだこうだ言ってほしくありませんから。

——わかりました（笑）。では、『プライド』のトーナメントにはどんな選手に出場してほしいですか？

ホイス　これはプロモーターにぜひ言いたいのですが、一番良い選手たちだけを集めてほしいです。具体的には日本人ではサクラバ、タカダ、そしてオガワ。あとはフランク・シャムロックをぜひ。もちろん、マーク・ケアーにはぜひ出場してほしいです。

——今名前が出た高田延彦選手がホイス選手とぜひ闘いたいと言っているのは、ご存じですよね？

ホイス　それは知っています。たとえばトーナメントの1回戦でプロモーターがタカダと闘えと言えばタカダと闘うし、オガワと言えばオガワとも闘います。とにかくプロモーターが決めた相手と闘います。それはもちろんマーク・ケアーでもいい。誰が相手でも倒すだけです。

——今までの高田選手の発言からも、日本のファンやマスコミはおそらくホイス選手の日本デビュー戦は高田戦が濃厚だと思っているんですが、それについてはどう思いますか？

ホイス　『プライド』側からもそういう話は聞いていますし、正式に『プライド』がそういうオファーをしてくれれば、まったく問題はありません。私はミスター・タカダと闘います。

——高田の印象に関してはどうですか。

ホイス　脚関節（技）を持っているらしいですね。また、キックもできるようですね。ただ、兄（ヒクソン）との試合を見た限りでは、全然相手を倒す気のないようなキックも出していたし、いつも彼はリングの隅で闘っているように見えました。もしも、タカダが組んできたらすぐに極めにいきますから、かなり短い時間で倒す自信はあります。とはいえ、決してタカダを侮ってはいません。兄に2回負けていますが、兄は特別な存在ですから（笑）。兄と肌を合わせたことで、彼も感じるところはあったでしょうし、またより強くなるための原動力にもなったことでしょう。

——次に、小川直也選手のことなんですが、『プライド6』の小川VSグッドリッジ戦は見ましたか？

ホイス　見ました。オガワは動きにかなり無駄なところがあると思いました。とくにアームロックがあまり正確な極め方ではなかったので、なかなか極まらなかったのだと思います。オガワに関してはさして特別な印象はなかったです。

——優れたファイターだとは思わなかったですか。

ホイス　関節を極めるのに動きがキビキビとしたタイトな動きではなかったですからね。柔術の選手に比べると関節の極めが甘いです。

——もしあなたが小川と闘ったら、お父さんのエリオさんと木村政彦さんの闘いをイメージしてしまうんですが。

ホイス　キムラのほうがオガワよりもはるかに強かったと思います。私自身も父にはまだまだほど遠いと思いますから。だから、私としてはまったくそのようなイメージはありません。

エリオ　ホッホッホ。あの当時ワシは40歳を過ぎていたし、キムラはワシより40キロ体重が重かった。だから闘うときにキムラは「3分以上もったらあなたの勝ちだ」と言っていたのじゃ。だが実際、試合は15分かかった。結果は、腕がらみに取られたワシが決してタップしないと思った兄が、タオルを投げてワシの負けとなった。しかし、ワシは絶対にタップはしないし、息子たちにもそう教えておる。

——はあ〜、凄いお話です。もし小川選手とバーリ・トゥードで闘うとしたら、ホイスさんは柔道衣は着るのですか？

ホイス　もちろんです。誰が相手でも私は「ギ」（道衣）を着て試合をしたい、と『プライド』側にも伝えてあります。

——しかし、さすがに小川選手は柔道の世界チャンピオンです。それでもホイスさんにとって「ギ」は不利にはならないのですか？

ホイス　そんなことはありません。むしろオガワが「ギ」を着たら、彼にとって不利になるのではないですか？（笑）。私としては「ギ」のほうがやりやすいと思います。相手が「ギ」を着てくれたほうが自分のパターンになるから、ディフェンスをされても勝ちにいけると思います。

——そうですか。ものすごい自信で驚きました（笑）。では、桜庭和志選手についてはどう思いますか。

ホイス　彼はやっぱり凄いタフガイで、非常に危険な男だと思います。ファイターとしてもオールラウンダーだと思います。彼の試合を見ている限り、試合や相手を恐れたりする様子がまったくありません。多くのファイターもファンも、彼が試合をするたびに驚いていると思いま

◀PRIDEのリングは金網ではないが、遂にホイスの道衣姿が生で見られる！

す。サクラバに関しては、これまでにも強い選手とばかり試合をして、すべて倒してきていますね。世界的に非常に評価も高いと思います。それなのに日本では、なぜ、もっと注目を浴びないのかが不思議です。サクラバはもっともっと評価されるべきだと思います。ビクトー・ベウフォート相手に立ち技でも勝ったのに、日本ではなぜ評価が高まらないのか分からない。

——桜庭との対戦が実現するとしたら?

ホイス　サクラバから挑戦してくるのであったら、私はやります。私にもいろいろな選手が挑戦してくるので、挑戦する気持ちがあるのでしたら整理券を持って待っていてください(笑)。

——桜庭選手の試合にしてもそうですけれど、最近バーリ・トゥードで、ビクトーやカーロス・バヘットらチーム・カーウソンの柔術の選手やその他数人の柔術家が負けていることに関してはどう思いますか。

ホイス　それに関してはいいことだと思います。こういう形でバーリ・トゥードで闘っていくことによって、ブラジリアン柔術の人間たちも浄化していくと思います。柔術の中の腐ったミカンは取り除かれていくでしょう。ビクトーもヴァリッジ(・イズマイウ)も見れば分かると思うけれども、マウントを取った時だけしか強くない。みんな柔術家を名乗っているわりには、ガード・ポジション、いわゆる下からの攻めでは勝ったことがない。彼らを柔術の代表とは認めるけれども、まだまだ柔術を知らない。ハッキリ言って、柔術家がレスラーの上になるのは大変なことです。立ち技が優れていない柔術家はガード・ポジションが優れていなければ相手に勝てないし、レスラーに対してもテイクダウンを取ったり、レスラーに優る部分がなければ、柔術家はガード・ポジションからでなければ勝つことはできない。カーロス・バヘットだってUFCで試合をした時は、最初からガード・ポジションを取っていました。なのに彼はイゴール・ボブチャンチンとの闘いではずっとスタンディングでした。柔術家が一番優れているのは、やっぱりそういう動きなんです。

——なるほど、そうですか。では、昨年日本であなたと対戦するはずだった、マーク・ケアーについてはどう思っていますか?

ホイス　マークは私が絶対に倒します。マークはやっぱりタフで大きくて強いファイターだと思います。とにかく闘うことが好きみたいですね。

——前回の試合でケアーは高田を関節技で破っていますし、マーク・ケアーは他のレスラーと比べてパワーだけのファイターではなく関節技ができる選手だと思うのですが、それについてはどう思いますか。

ホイス　実際にマークの関節技を見たことがないですから。もし、マークが関節技を使うのだったら、「ギ」を着て闘うのと同じでマークが関節技を使えば使うほど、私にとっては非常に有利に展開するのでやりやすくなると思います。もちろん、マークが勝つ気できたなら早く終わると思います。まあ、彼が闘いたいのだったら私はいつでもやります。『プライド』のトーナメントで、彼との対戦が実現するといいですね。

——UFCについても聞きたいのですが、率直に今のUFCについてどう思いますか?

ホイス　とにかくルールが多すぎると思います。また、ステロイドを使っている選手も多く、ずいぶん安っぽい選手が増えたと思います。最近の大会に出ている選手で格闘技を知っている選手は一大会で2人くらいしかいません。あとはタンク・アボットのように客寄せの選手です。大抵はみんな、一回か二回出たらあとは出てこない選手です。最近、UFCは私が住んでいる近辺でもテレビで見ることができません。今のお客さんはインターネットとかで、どこでやっているか調べて見に行っているみたいですね。逆に言えば、調べなければどこでやっているかも分からない大会になってしまいました。

——昔、そのUFCであなたが闘ったケン・シャムロックが、来年2月にノールールの世界に復活するという噂があるんですが、それについてはどう思いますか。

ホイス　弟のフランクに関してはいい選手だと思いますが、お兄さんのケンにはまったく興味ありません。シングル・マッチではダニエル・スバーンと1勝1敗だけれども、彼は一度もトーナメントで優勝したことがないじゃないですか。最初に出たトーナメントに関しては、優勝していないし、その後も何かの理由をつけてトーナメントには出ていない。だから、彼がカムバックしてきても、まったく興味がありません。

——弟のフランク・シャムロックについてはどう思いますか?

ホイス　確かに強い選手だとは思いますけれども、しゃべりすぎだと思います。私はおしゃべりな人間は好きではありま

▶鬼神親子の稽古風景。86歳のエリオが息子を攻め立てる!
「ワシがホイスに勝つには?　殺すしかない!」エリオ談

ホイス・グレイシー ///G with /// エリオ・グレイシー

マークは私が絶対に倒します。闘いたいのだったらいつでもやります

せん。彼は厳選されたファイターだと思いますし、真のマーシャル・アーティストと呼べる選手だと思います。

——彼は9月24日にティト・オーティスとUFCのタイトルマッチが決まっていますが、その試合に関してはどう思いますか。

ホイス　ティトはなかなか強い若造だと思います（笑）。フランクのほうがテクニックを知っているけれども、ティトもそんなに弱いほうではありません。私としてはティトが勝つのではないかと思いますし、勝ってほしいとも思います。

——ちょっとここで、ホイスさんが考えるバーリ・トゥードのランキングを教えてもらいたいのですが。ホイスさんを除いて。

ホイス　1位は圧倒的にヒクソンでしょう。そして2位はマーク・ケアー、3位がトム・エリクソン、4位は体重が軽いけれどもホイラーでしょう。

——その下は？

ホイス　順位は分からないがサクラバはトップ10に入ります。モーリス・スミスも入るかもしれません。あとはフランク・シャムロック、ヘンゾ・グレイシー、イゴール・ボブチャンチン、カーウソン軍団のムリーロ・ブスタマンチ、ファビオ・グージュオ、それからアキラ・ショウジ、ランディー・クートゥアーも入ると思います。

——ケビン・ランデルマンはどうですか。

ホイス　彼はランク外だと思います。

——バス・ルッテンは？

ホイス　ランク外です。

——では、柔術のランキングはどうですか？

ホイス　1位がヒクソンなのは間違いない。続いてホイラー、ホイラーの弟子のサウロ・ヒベイロ。あとはランクをつけられませんね。柔術に関しては、ちょうど世界大会が終わったばかりで、これまで名のあった選手で優勝したのは、ホイラーとヒベイロの2人だけで、彼らはトップレベルにランクされると思います。あとはみんな新しいチャンピオンが出てきて、私が名前も知らない選手ばかりです。だから、柔術のランキングは今は分かりません。今の柔術は相手よりも1ポイントでも差をつければ勝ってしまうスポーツ柔術になっていますので、昔の柔術とは大きく違ったものになっていると思います。

——ただ、その柔術の試合で、あなたは昨年の12月にヴァリッジ・イズマイウ選手に一本負けを喫していますね。

ホイス　あれは怪我が完治していないこともありますが、全くの不覚でした。そのケジメの意味では、もしかしたら、『プライド』に出場する前の12月に柔術の大会に出るかもしれない。

——ということは、ヴァリッジ・イズマイウとのリベンジ・マッチということですか？

ホイス　いや、ヴァリッジじゃなくても他の相手でもいい。とにかく柔術の試合をしてみようと思っています。この前、ブラジルで柔術の世界大会がありまして、ちょうどその会場にヴァリッジが来ていました。ヴァリッジが「俺はグレイシーを3人（ヘンゾ、ハウフ、ホイス）も破っている」とか「ホイスが逃げている」とかあまりに大口を叩きすぎるので、ハイアン（ヘンゾ・グレイシーの弟）がヴァリッジを5、6発殴っていました（笑）。ヴァリッジが会場に入ってからも大ブーイングでしたね。

——ホイスさん自身、ヴァリッジに対してはどう思っていますか。

ホイス　ブル・シットです（笑）。

——そのブル・シットを叩きのめしたいとは思わないですか（笑）。

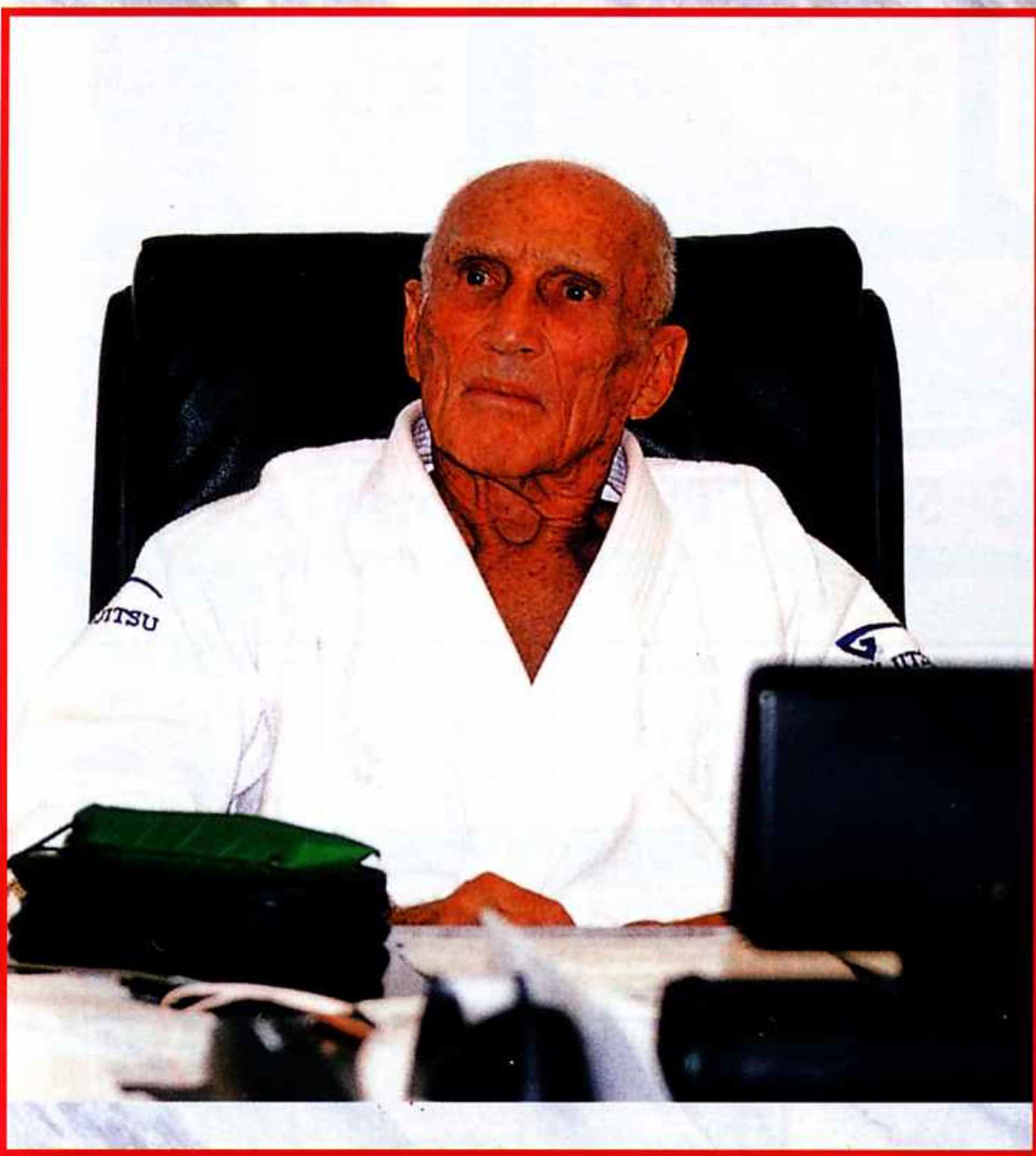
ホイス　柔術にはヴァリッジよりも強くて素晴らしい選手がいっぱいいますから、他の人間でもいいんです。

——分かりました（笑）。ホイスさんにとって、柔術とは何ですか？

ホイス　私が行うことすべて、自分が関わることすべてに柔術が入っています。家族を養うにあたってもそうだし、柔術は私を代表するものです。私を奮い立たせるフラッグ（旗）でもあります。我々のファミリーも品位もすべてが柔術からくるもので、私が流す血も汗もすべてが柔術です。

——この先、どれくらい試合を続けていくつもりですか？

ホイス　私の父はいまだにリタイアしていません。ですから、まったくそんなことは考えていません。

エリオ　ホッホッホ。ワシから柔術を取り上げられるくらいなら、死んだほうがマシじゃよ！　柔術の名誉を守るためなら、たとえ何歳になっても必要とあらば闘わねばならんのじゃ。それは、ホイスも、そしてヒクソンも同じことじゃ！■

▶これが柔術界のゴッドファーザー、ドン・グレイシーの貫禄だ！

石井館長とドン・キング密室会談、120分の謎

残された葉巻一本……

いったい何があったんだ!?

これがドン・キングが石井館長の
スイートルームで吸った葉巻だ

本誌でもお伝えしたように、噂されていたK-1プロデューサーの石井和義館長と、ボクシング界の大物プロモーター、ドン・キングの接触が、遂に現実のものとなった。7月25日、米国ラスベガスの高級ホテル・ベラージオで2人は約2時間にわたって会談。もちろん、本誌は石井館長に同行し、その現場を取材しようとしたのだが……。

▶石井館長、ドン・キングの会談は、アメリカ最高のエンターテインメントの場、ラスベガスのベラージオ・ホテル（上）で行われた

▶7月24日、成田空港を出発する石井館長。ドン・キングと会うということで、取材陣も駆けつけた

▶石井館長は着いたばかりだというのに、

歴史的対面はラスベガスで。ドン・キングと会う理由は二つ

そもそも石井館長がドン・キングと会う気持ちになったのには、二つの理由があった。

一つはジェロム・レ・バンナのこと。もう一つがK―1全米進出の新たなる足掛かりをつかむためである。

バンナは約1年前まで、石井館長と契約し、K―1を主戦場に闘っていた。ところが、その契約期間中にドン・キングとダブルブッキングし、アメリカでボクシングの試合に出場。以来、K―1には姿を見せることがなくなったのである。

ところが、ドン・キングと契約したバンナだが、その後きちんと定期的に試合を組んでもらえず、とうとう今年2月フランスでドン・キング以外のプロモート試合に強行出場。石井館長にも、K―1復帰を熱望し始めた。そこで、石井館長も今年のK―1グランプリにバンナを正式に出場させるべく、ドン・キングとの接触を図ったわけである。

石井館長にとってドン・キングは、K―1全米進出成功のためのパートナーという選択肢もあった。アメリカで、格闘技ビジネスを成功させるのは、生半可なことでは無理な話。そこで、誰か強力なパートナーが必要になってくる。モハメッド・アリやマイク・タイソンで1試合50億円以上のビジネスを成立させるドン・キングは、もちろんその強力なパートナーの一人と言えるのだ。

しかも、アメリカでは格闘技イベントを開く際に、各州のボクシング・コミッションの許可が必要になってくる。UFCがアメリカでほとんど大会が開けなくなったのは、ボクシング・コミッションの反対があったからだ。

もちろん、K―1は昨年ネバダ州のボクシング・コミッションから満場一致で許可を受け、ラスベガスのミラージュ・ホテルでUSA大会を初開催している。それだけボクシングと太いパイプを築くことは、重要な問題なのである。

しかし、その一方でドン・キングには、プロモーターとしての幻想と黒い噂などの二面があるのも確か。そこで、石井館長は、自分の目でまずどんな人物なのか、確かめてみようと考えたのだ。

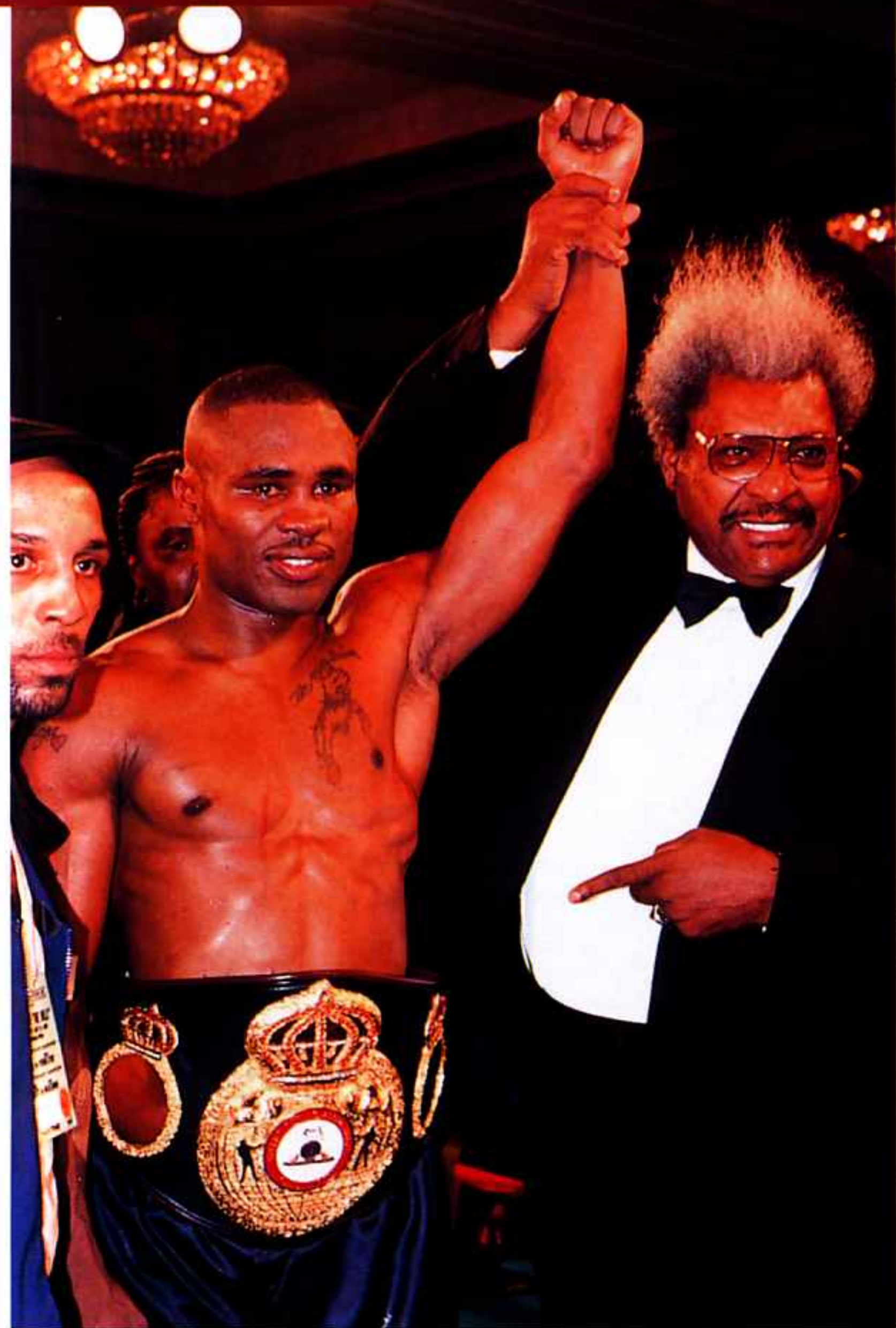
ドン・キングが世界に名を轟かせたのは、あの有名なアリVSフォアマンの「キンシャサの奇蹟」を実現させてからである。当時、無敵のヘビー級チャンピオンで「象をも倒すパンチを持つ男」と言われたフォアマンに、ベトナム戦争への徴兵を拒否してタイトルを剥奪されたアリが挑戦。このスーパーファイトに両者のファイトマネーは、1000万ドルが用意されるというケタ外れの記者会見が行われた。その発表を行ったプロモーターが、アリが信頼していたドン・キングだったのである。

30年前に1000万ドルという想像もつかない大金が賭けられたこのスーパーファイト。しかし、記者発表した時点で、ドン・キングにその金は用意されていなかった。

では、いったいドン・キングはどうやってその大金を用意したのか。なんと、ドン・キングは、ひとつの国家をスポンサーにつけるというウルトラCの発想を持ち出したのだ。

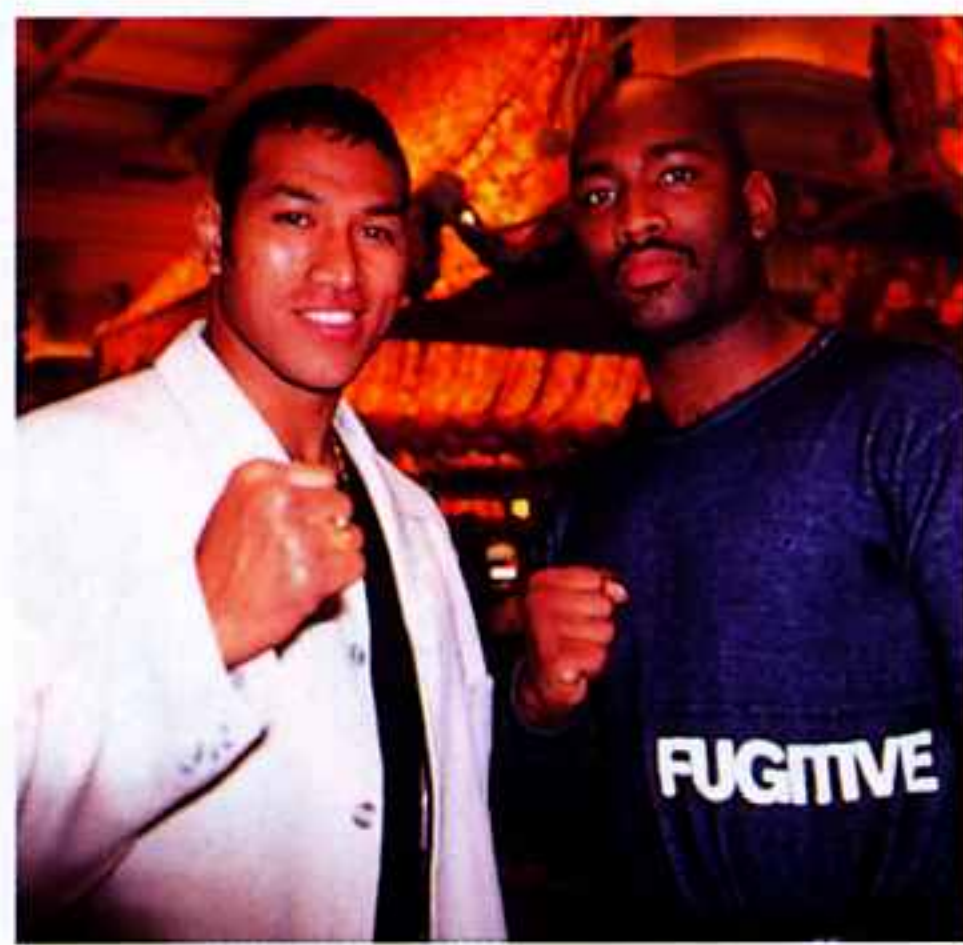
その国は、国家予算を自由に動かせる独裁者がいる国がいいということで、アフリカのザイールが選ばれた。モブツ・セセ・セコ大統領は、この話にまんまと乗り、国の宣伝のためなら安いものと、1000万ドルをポンと用意したのである。

モブツ大統領は徹底していた。アリVSフォアマンの一戦を開くために、スタジアムまで建設。会場内には大きな大統領の肖像画も掲げた。そして、治安が悪い国と思われてはマズイということで、スタジアムの地下に牢獄を作り、犯罪者を片っ端から投獄し処刑した。

ドン・キングももちろん負けてはいな

◀リング上でパフォーマンスするドン・キング。館長との距離は、もはや数メートルしかない

▲石井館長が来るので駆けつけたレイ・セフォーとデューウィー・クーパー

▲24日、ドン・キングプロモートのボクシング興行が行われた「ホテル・フラミンゴ・ヒルトン」

▶石井館長は着いたばかりだというのに、熱心にリングサイドで試合を観戦した

▲モーリス・スミスもやって来た。「ボクはマスターイシイがドン・キングと組むのは賛成ではない」

▲石井館長は本場のボクシング興行を、テレビのクルーがどこに設置してあるのかなど、つぶさにチェックした

い。アリと組んで、このイベントは単なるボクシングのタイトルマッチではなく、黒人の祭典としてアピール。ジェームス・ブラウンらミュージシャンの大物も招き、ボクシングとロックの2大エンターテインメントに仕立て上げた。ザイール語で、入場曲にも使っている「アリ、ボンバイエ（奴を殺せ）」は、このキンシャサの大会からアリ自らが使い始めた言葉である。

しかも試合は壮絶の一語だった。大方の予想に反してアリがフォアマンのハードパンチを、ロープを背にして耐え抜き、見事6R3発のパンチで逆転KO！「キンシャサの奇蹟」として、ボクシング界の伝説の試合となったのである。

話が長くなってしまったが、ドン・キングの幻想とは、こうした一銭もなかった無の状態からウルトラCの発想で、「キンシャサの奇蹟」のようなスケールのデカイ興行を作り上げ、巨万の富を得たことにある。アントニオ猪木が同じような発想をするが、まさに何が飛び出すかわからないロマンにあふれたプロモーターが、ドン・キングなのだ。

しかし、その一方でドン・キングには、いつも黒い噂がつきまとう。最近ではIBFのランキング買収疑惑や八百長疑惑で、遂にFBIが動きだし、いつ逮捕されてもおかしくない状況だとも言われている。

実際ドン・キングを取材した日本のボクシング記者の評価も真っ二つ。ある人は「あんなに魅力的な人には会ったことがない。取材中、時には大声で笑いながらジョークを言ったり、時にはいかに黒人が差別されてきたかを熱く訴え、本当に大声を出しながら涙を流していた」と言い、ある人は「全く自分の思いどおりにならなければ、勝手にルールまで変えて、どんなことをしてでも手に入れようとする男。本当に節操がない」とも言う。この話が共に真実ならば、ドン・キングという男はよほどの怪物だろう。

石井館長の思いも、その両方であろう。果たして、ドン・キングはK—1にとって強力な味方になるのか、それとも敵になるのか。あるいは、石井館長自身が言う「昔はすごい人だった」のか、それを確かめるために会いに行ったのだ。

ドン・キングは普段、ニューヨークに事務所を構えているのだが、初の会談はラスベガスのベラージオ・ホテルで行われることになった。今年オープンしたベラージオ・ホテルは、ミラージュ・ホテルの姉妹ホテルで、8月にK—1USA大会をぜひやってほしいと言ってきたところだ。

ドン・キングがプロモートするWBA世界ウェルター級タイトルマッチ「ジェームス・ペイジVSフレディ・ペンドルトン」が、隣りのフラミンゴ・ヒルトンで7月24日に行われるため、それに合わせて会談もベラージオで行うことになったのである。

もちろん、石井館長とドン・キングが顔を合わせるなら、ぜひ2人のツーショットを写真に収めたい。本誌は当然、現地に特派員を派遣することにした。本誌以外に石井館長と同行したのは、スポー

マスコミ好きのドン・キングが密室での対面を希望！　本気か？

「もしかしたら大阪ドームの開幕戦にドン・キングを呼ぶかもしれない」と語った石井館長

本当の狙いは、アーツVSホリフィールド ドン・キングの意味はそこにある

ツ新聞2社のみ。そして、WBA世界ウェルター級タイトルマッチの会場には、石井館長が来るということで、モーリス・スミスとレイ・セフォーが姿を見せた。セフォーは現在タイソンが練習するデンバーのマット・ティンリーのジムで、グランプリに向けて秘密特訓をしており、アメリカにいたのだ。

そのタイトルマッチでは、石井館長はリングサイドに席を用意されて観戦。しかし、ドン・キングは役員席に座っていたので、この日2人の接触はなし。会談は翌日（7月25日）の午後2時から、ホテルで行われることになった。そこで取材陣は、石井館長やモーリス、セフォーと会食し、時差もあってホテルに早めに引き揚げることにした。

翌25日午後2時、取材陣は石井館長に「なんとかドン・キングとのツーショットを撮らせてほしい」と要望。館長は「まだ初顔合わせで、ビジネスの話になると思うのでどうなるかわからないけど、聞いてみるので待機していてほしい」と言ってくれた。この時はまだ、取材陣はタカをくくっていた。というのも、ドン・キングは大の目立ちたがり屋でマスコミ好きの人間。記者ともいつでも気軽にツーショットを撮ってくれるという話を聞いていたからだ。そこで、ベラージオの一室に集まり、記者全員で石井館長の連絡を待つことにした。

それから30分後、取材陣に連絡が入る。「ドン・キングはホテルに着いているらしいけど、食事をしているから少し遅れる」という話だった。実を言うと、会談は石井館長の部屋で行われる予定だったが、その部屋はスイートルームのため、一般客とはエレベーターも別。ドン・キングがいつ館長の部屋に入るかは、確認する手段がなかったのである。

4時頃、再び連絡が入る。「待たせて申し訳ないのだが、先にビジネスの話をしたいのでもう少し待ってほしい。ドン・キングは今、部屋に入った」ということだった。取材陣は、ホッと一安心はするが、本当に2人のコメントが取れるのかという不安も入り交じる。そして、待つこと2時間。石井館長の部屋から連絡が入った。そして、その第一声を聞いて、ガク然とした。

「申し訳ないが、ドン・キングは帰りました。とにかく館長の部屋まで来てほしい」と、予想もしていなかった答が返ってきたのである。

一体何が起こったというのか。取材陣は足早に館長の部屋へと向かった。そして、部屋に入ると、確かにドン・キングの姿形はなく、灰皿にドン・キングが吸ったと思われる葉巻が一本だけ残っていたのだ。

石井館長は「せっかくの機会なのに、ドン・キングと会わせられなくて申し訳ない」と言ってから、ゆっくり事情説明をしてくれた。

まず、なぜドン・キングが帰ってしまったかというと、本人からの要望で「今回はマスコミを呼ばないでくれ」と極秘に会談を進めようとしたからだった。

そして、ドン・キングは石井館長の部屋に入るなり、K—1のビデオを3本ほどじっくり見始め、時にはうなり、時には身を乗り出していたそうだ。

約2時間にわたる会談について、石井館長は話せる範囲で取材陣の質問に答えた。それを要約すると、次のようになる。

まず、バンナの件については、最初は石井館長が契約していたのだが、その期間中にバンナがドン・キングと契約してしまったことを双方で確認。石井館長としては、フランスでバンナが試合をしたこともあり、本当は何も気にせずにK—1に出すことも可能だったが、どうしても話をしておきたかったという。どうやらドン・キングはこの件に関してあまり知らなかったらしく、ニコリと笑っていたという。

その一方で、K—1とドン・キングが今後どう関わっていくかについては「どうしても、ドン・キングというわけではない」「K—1の興行自体をドン・キングにやってもらうつもりはない」と前置きしながら、こう説明してくれた。

▶試合は2R左フックからの連打で西島が、ケン・ハルシをKO!　現在、洋介は米国でしか試合ができないが、4連続KOを飾っている

▲西島洋介が試合を行ったグレート・ウェスタン・フォーラム

▲石井館長は高級リムジンで会場にやって来た

▲リングサイドで観戦した石井館長は「まるでタイソンみたい」と驚いていた

▲この人がアンディのライバルだったというドンケ選手

「K―1は日本で、会場で言えば、ドームで6万人に見てもらい、テレビではゴールデンタイムで20%、つまり2千万人の人に見てもらうようなソフトになった。じゃあ、次にK―1が何を目指せばいいかと言えば、世界中の何億人、何十億人に見てもらえる環境を整えることなんです。僕は何度も言っているように、日本発世界に通じるソフトはK―1しかない。だから、僕らのこれからやらなきゃいけないことを先にやっている、ドン・キングとも一度会っておきたかったのです」

マスコミの前でドン・キングが見せる怪物ぶりとは違って、会談は予想外に静かでお互いにかっこうをつけることなく話し合えたという。館長の初会談の感触は「100点」で、自分の伝えるべきことは全部伝えたと明言した。

ドン・キングがあえて「今回はマスコミを呼ぶのはやめよう」と言ったのは、本気になった証拠である。では、ドン・キングはK―1を見て、また石井館長に会って何を感じたのか。そして、石井館長の本当の気持ちはどうなのか、聞いてみたい気がする。

しかし、答を出すのは早急かもしれない。ある人は石井館長がドン・キングとツーショットで「やる」と発表しなかったことは、逆に将来のK―1にとってプラスになるだろうと予測する。また、実際の密室会談で何が話し合われたかを推理するのは、格闘技の楽しみ方の一つでもあるのだ。

石井館長の説明を聞く限り、本誌はやはり何かあるんじゃないかと裏読みしている。

ヒントは石井館長の言葉に隠されている。石井館長は「ドン・キングにK―1の興行をやらせるつもりはない」と言いながら「これからのK―1はいかに世界中の人たちに見てもらえるかが勝負」と発言している。確かに、ボクシングの興行が主体のドン・キングに、K―1の興行をやらせることはないし、K―1を世界中に見てもらうのなら、ドン・キングよりテレビ局と話し合うほうが得策。この件は、有能なテレビマンと話し合うべき問題である。

では、石井館長とドン・キングが合体することで、どんなメリットがあるか。それこそ、まさに「キンシャサの奇蹟」の再現しか考えられないのだ。

K―1版キンシャサの奇蹟と言えば、ピーター・アーツVSイベンダー・ホリフィールドの実現である。かつて、猪木VSアリ戦が実現した時、衛星放送のない時代に世界中で6億人の人々がこの試合を見た。アンディ・フグでさえ、スイスで子供の頃、テレビで見たというから驚きである。

そんな夢のようなロマンを考えるしか、K―1にとってドン・キングという人間との接触に意味はないのではないだろうか。この話が本当に話し合われたかどうかは、もちろん定かではない。

でも、石井館長はもともと劇画のようなロマンが大好きな人間。ドン・キングもこの手の話が大好きなのは間違いない。こんな嘘のような話を実現させることこそ、2人の出会いに意味があるはずだ。

あえて言おう。問題はドン・キングがこの話に乗ってくるかどうかにかかっているのだ。そうなれば、石井館長VSドン・キングの握手は、世間の目にさらされる。本誌はもし今回のラスベガス会談で、2人のツーショットが撮れれば、表紙にして「スワッ！　アーツVSホリフィールド実現か!?　石井館長&ドン・キング遂に合体」という文字を打っていた。それがまた、今回のように謎に包まれたことで、また新たな展開を迎えたことになるのだ。

翌日、石井館長はロスへ出発！あの西島洋介とも接触した

なお、翌26日、石井館長はロサンゼルスに向かい、日本唯一のヘビー級ボクサー西島洋介（洋介山改め）のボクシングマッチを視察した。そこで、洋介のジムにいる元極真空手の選手で若き日のアンディのライバルと言われたドンケがK―1に出るかどうかの話をしたという。まあ、その選手というより、日本のボクシングのリングに上がれない、洋介がK―1に上がるのでは……と、これもまたすぐ期待してしまうのが、我々マスコミの性なのだ。

ならばグッドリッジに何発かマウントパンチを決めましょう！

編集長インタビュー

「K-1の異種格闘王」

佐竹雅昭

インタビュー◎谷川貞治

正道柔術クラスの道衣を着て、バーリ・トゥード用の技術を見せてくれた佐竹。おいおい、K-1だって！

8・22有明コロシアムで開催される「K-1スピリッツ99」はジャンパンGPもさることながら、豪華なスーパーファイトが組まれた。中でも、ワクワクさせられるのが、小川と死闘を繰り広げて株を上げた、喧嘩屋ゲーリー・グッドリッジが再びKのリングに上がり、佐竹雅昭と対戦することだ。スポーツライクのK-1をぶち壊すような試合を、佐竹に期待したい。

――いやぁ、佐竹選手をこうしてインタビューするのは、5年ぶりくらいじゃあないですかね。今日は凄く楽しみにしているんですけど、佐竹さんは最近K―1で充実しているんですか。

佐竹　え、どう見えますか？

――入場してくる時の顔の表情を見ていると、最近凄くいいんですけど、その一方で何か楽しんでないんじゃないかなという気もするんです。佐竹さんにとって今のK―1は面白いのか、面白くないのか、そこが聞きたいんです。

佐竹　面白いか面白くないかと言ったら、面白いからやっているわけだし、僕にとってK―1はもう生活のサイクルになってますからね。ただ、K―1で勝つことはもちろん大切なことですけど、僕の場合、今夢中になっているのは肉体改造というか、日々のトレーニングですね。去年からシアトルのモーリスのジムに行って、ケビンさんたちと出会って、本当に肉体オタクになりましたからね。

▶今年で34歳になるという佐竹。今年は引退も覚悟でK-1グランプリに挑む

――なるほどね。でも、僕が感じているのは、格闘技オリンピックやリングスに出ていた頃の、なんか弾けた佐竹雅昭じゃないような気がするんです。それは、佐竹さん自身が年齢を重ねるに連れて練られてきたのかもしれないし、「K―1」という世界がそれだけ厳しいのかもしれないんですけど。それで今は、面白いのかなと思ったんです。だから、今度の異種格闘技戦のようなグッドリッジ戦は凄く期待しているんです。

佐竹　ああ、そういうことですか。僕はどちらかと言うと、今度の異種格闘技戦みたいのは得意と言われてるからね。

――今のK―1の試合って、いくつかの種類に分けられると思うんです。まず、①K―1ベスト8同士の試合――これはレベルの高い、やっぱり衝撃的な試合になる。彼らはみんなプロ中のプロで、いい試合をしますからね。で、二番目が②「キックボクサー同士」の試合。これは技術的にはうまくても、プロという感じがしない試合です。今年始まった予選トーナメントでは、そういう選手がたくさんいた。でも、これが続くとK―1はつらいんですよ。そして、③三番目がK―1ルール内での「異種格闘技戦」です。これはもともとK―1自体が、Kの付く立ち技格闘技の他流試合の場ということもあって、K―1の原点的な匂いがある。試合によっては、K―1のベスト8同士の試合より面白くなることだってあるんですよ。しかも、この手の試合をやらせたら、抜群に光るのが佐竹さんなんです。

佐竹　そうですね。外国人選手の場合は、格闘技をスポーツライクに捉えているんですけど、僕の場合、格闘技を始めたきっかけはハッキリ言えば漫画ですからね。だから、漫画チックな闘いをしたいという欲求は強いんですよ。

――そうなんですよ。僕らファンも漫画チックな試合が見たいんですよね。今のK―1はベスト8同士の試合はもちろん視覚的に迫力があるけど、本当にみたいのは漫画チックな闘いやドラマなんですよ。

佐竹　僕も野球を始めたとしたら、やっぱり魔球を投げることを考えますからね（笑）。そういう意識があるから、異種格闘技戦は光るんでしょうね。確かにリングスや格闘技オリンピックの時は、闘い自体が楽しかったからね。

――いや、それでいいんですよ。K―1になっても、佐竹VSキモ戦なんか緊張感ありましたからね。

佐竹　あれは本当にタックルで記憶なくして、それからワケがわからなくなりましたからね。本能で闘ったというか。この前の福岡の試合でもそう。別にあれも演技じゃなくて、本当に試合前に足を骨折して、試合でも蹴るのは辞めようと思っていたんですよ。そこにパチキ（頭突き）入れられて、本当に頭に来て、傷めている足で蹴って勝った。自分でも、よく出来たドラマが作れたなあと思いますね。そういう試合は、やってて気持ちいいですね。

――それは単純にこっちも面白いですよ。決してK―1のベスト8同士の試合だけが光るんじゃないと思うんです。

佐竹　結局ね、格闘技というのは、スポーツライクでは割り切れない部分があるんですよ。初期の頃のアルティメットもそうじゃないですか。なんかうさん臭いというか、生の喧嘩の迫力みたいなものがあった。でも、それがルールがどうの、技術がどうのって言ってるうちに、だんだん面白くなくなりましたからね。やっぱり、格闘技はスポーツライクにやってたら飽きちゃうところはあるんですよ。

――そこなんですよ。僕らもスポーツライクな選手の発言を聞いても、全く記事になりませんからね。「アーツ選手は強いと思いますが、私も自信があります」なんて聞いても、全くファンは反応しませんからね。

佐竹　確かにね、きれいに見せようと思いすぎてもダメでしょうね。でも、今のK―1は華やかな世界じゃないですか。そのへんは難しいなぁ、人の考えは十人十色ですから。館長なんかは、どう思っているんでしょうね。

――館長は喧嘩が好きに決まってますよ。会場の雰囲気は華やかでもいいですけど、リング内の闘いがスポーツライクできれいにまとまってしまったら、館長が一番先に飽きますよ（笑）。

佐竹　そうですかねぇ。でも、野球とテ

格闘技というのはスポーツと割り切れないところが面白い

野球とテニスはどっちが強いかって、やっぱりそれは見たいでしょう

ニスが闘ったらどっちが強いかっていうのはナンセンスだとよく言うけど、俺は見たいもんな。プロ野球のピッチャーが豪速球投げたり、変化球投げたら、テニスの選手はラケットでどうやって打ち返すのか、それって面白いでしょう。

——面白いですよ。そんな企画、テレビのゴールデンタイムでいっぱいやっているじゃないですか。K—1というのは、そんなゴールデンでやるような企画を、競技化しているんですよ。やっぱり空手VSキックなんて一番面白いですからね。

佐竹　僕の場合も、まずファンの人に楽しんでもらうことが大前提にあって、それで自分も納得したいという気持ちなんですよ。確かに僕はある意味では怪獣の世界に憧れて、卓越した力に憧れて格闘技を始めたわけですから、そういう気持ちはわかりますね。

——小川直也選手は「単なる強さを求めているんだったら、オリンピックを目指せばいい。俺らの仕事はファンを喜ばせてナンボだから」と言ってましたよ。

佐竹　それ、わかるなぁ。小川選手というのは、柔道という競争率の激しい世界で頂点を目指していた人ですからね。そういうの、わかっているんでしょう。僕もね、格闘技のプロになってずっとやってきて、強い人間はいくらでもいるってことを知ってるからね。もちろん、K—1で優勝することは目指すことは大切ですけど、もっと別の見方があってもいいと思うなぁ。

——いや、僕らは強い弱いは、ほとんど関係ないですよ。たとえば、ベナゾーズ選手は、めちゃくちゃうまいし、強いじゃないですか。でも、あまりにもスポーツライクすぎて、ほとんど印象に残らないんですよ。

佐竹　ああ、あのマルセイユのヤツ？

——それは、シリル・アビディです。彼はスポーツライクじゃない要素をいっぱい持った選手ですから、使い方次第では絶対にスターになりますよ。

佐竹　そう言われれば、そのベナゾーズって全く記憶にないですね。考えてみれば、レコの試合もよく憶えていないなぁ。僕はうまいと言っても、カーマンやライトヘビー級時代のホーストをよく知っているから、ピンときませんね。

——佐竹さんが憶えていないんじゃ全くダメですよ。僕らは強いか弱いかというより、面白いか面白くないかでしか見ていませんからね。K—1のベスト8ファイターも、強いから見ているんじゃなくて、プロの輝きを持っているから凄く見えているんです。だから、あまりにもスポーツライクな選手なんて、いりませんよ。それより、佐竹さんが200キロくらいあるデブをミドルキックでぶっ飛ばした方がはるかに面白いんですから。

佐竹　ハハハハ、そういう意見が出ると僕もやり甲斐があるんだけどなぁ（笑）。

——絶対にそうですって。だから、グッドリッジの試合は凄く楽しみなんですよ。グッドリッジは、小川選手も凄く光らせましたからね。佐竹さんは「小川VSグッドリッジ戦」を見ましたか？

佐竹　いや、それが見てないんですよ。

——見て下さいよ。あの試合も決してバーリ・トゥードのレベルが高いから面白いんじゃなくて、生の喧嘩っぽい試合で、しかもプロの試合だったたから面白いんですよ。

佐竹　なるほどね。じゃあ僕もマウントパンチでもやりますか（笑）。

——いいですね（笑）。K—1のスポーツライクなところを佐竹さんにぶっ壊してほしいですね。

佐竹　まあね。でも作ってやれる試合じゃないですからね。

——いやいや、そんなこと全然関係ないですよ。たとえば、去年のK—1のベストバウトは「グレコVSバンナ」とか「アーツVSアンディ」だという声が多いんですけど、僕なんか絶対に「佐竹VSグラウベ」であり、「フィリォVSベルナルド」ですもんね。だって、「佐竹VSグラウベ」と言ったら、極真と正道のトップクラスの人間の頂上対決だったんですよ。しかもグラウベには、グローブという新しいチャレンジがあったし、佐竹さんは日本人の看板を背負っていたりして、いろんなドラマがあった。あの試合がスポーツライクに語られたら、K—1は終わりですよ。

佐竹　でも、それを言うんだったら、格闘技はスポーツライクじゃつまらないということで、もっと日本人を応援してほしいですね。街の喧嘩を見て、オランダ人と日本人が闘っていたら、オランダ人を応援する人がどこにいますか。異種格闘技戦で僕が光るのは、日本人ということで感情移入したいからですよ。ピーター・アーツとか、マイク・ベルナルドとか確かに強いんですけど、彼らは結局、自分の国に帰っていく人ですからね。

——路上の喧嘩で、外国人を応援するな、と（笑）。

▶「外国人にいつまでもデカイ顔をさせるな」と、佐竹の目は常に世界を見ている

佐竹　よく戦後の人たちは、後ろから米兵の頭を殴ったって言うじゃないですか（笑）。やっぱりねぇ、そういう気持ちを今、武蔵とか中迫に期待したいんだけどね。

——武蔵や中迫は、やっぱりスポーツライクにしか見えないですね。武蔵にしても、グッドリッジというあんなに凄いタマと試合が組まれながら、スポーツライクに試合をしようとしてましたからね。

佐竹　そう、だから「打倒、佐竹」とか、武蔵や中迫は言ってるけど、そういうところに目を向けてほしい。やっぱり日本が一致団結して、世界に立ち向かっていく姿勢をもってもらわないと。

——それは、佐竹さん自身、武蔵や中迫とやるのは嫌だという意味ですか？

佐竹　もちろん、闘わなきゃいけない時は闘いますよ。実際に、俺はやってきたからね。でも、武蔵と中迫が僕と闘いたいというのは、それが手っ取り早いからでしょう。それが気に入らないというか、全部わかっちゃうんだよね。

——ニールセンやウィリー戦のような他

▶初めて柔術の道衣を着たという佐竹。抜群に似合っている

流試合の修羅場をくぐったことがあるか、「正道」や「日本」の看板を背負って闘ってきたかということですね。

佐竹 少なくともね、俺はあんなヤツに勝ったくらいで泣かないですからね。そういうのを見ると、まだ若いなぁという感じがするねぇ。こんなことあんまり言っちゃいけないかもしれないけど。

――カークウッド戦ですね（笑）。

佐竹 というか、リング上であんまり泣くのはちょっとね。もったいないでしょう。泣くところは、もうちょっとね。あれが嬉しいと思えることは、スポーツライクにはいいかもしれないけど、ちょっとねぇ。

――いや、武蔵選手もカークウッド・ウォーカー戦が名勝負じゃあダメですし、本人もさすがに思ってないでしょう（笑）。そういう闘いができるかどうかは、次のジャパンGPの闘い方次第でしょうね。佐竹さんがいないジャパンGPの中で、いかに強烈なインパクトを見せられるか、そういう試合を続けていければ自然とプロの風格が出てくるでしょう。

佐竹 うん、そういうことですね。

――で、佐竹さん、グッドリッジ戦なんですけど。

佐竹 でも、まあ自然にやるだけですけどね。自然にやっていくうち、何か起こるでしょう、きっと。今までリングスでの試合やK―1でもキモの時がそうでしたからね。僕自身は素のままで、自然に闘うだけですよ。

――最近、入場の時もいい顔になってきたのは、自然体だからでしょうかね。

佐竹 前は演じていたんですけど、それ

うか、作ることさえも越えたというか。ある意味じゃハングリー精神もなくなったんじゃないかと思う人もいるかもしれないけど、そのハングリー精神も越えちゃった気がするね。要は、ナメられたくない、そこだけですよ。

――お坊さんみたいになっちゃったんだ（笑）。でも、佐竹さんはK―1という大きな舞台に埋もれてほしくないですね。もっと輝いてもいいんじゃないかという気がするんですけど。

佐竹 まあね、確かにその通りだね。もっと面白くしたいって気持ちはあるんですけどね。今は自然と強さの追求しかしてないんですけど、面白いことをやろうというのが、本来の佐竹雅昭ですからね。

――その意味じゃあ、今度のグッドリッジ戦は凄くブレイクする可能性が高いんですよ。

佐竹 漫画チックなカードだよね。まあね、そういう真剣勝負の中で面白いことができればいいんですけどね。もちろん、向こうがパチキ入れたり、金的蹴ってきたら、俺も仕掛けるし、喧嘩ファイトになったら負けないからね。僕自身は自然体で勝つことしか考えてないけど、何か起こるでしょう。スポーツライクねぇ、たしかに今のK―1は、そういう感じですね。

――それをぶち破ってほしいですね。K―1のリングに熊殺しの発想をもってこれるのが、佐竹さんでしょう。それが佐竹さんのキャラクターなんですから。

佐竹 K―1に熊殺しの発想ねぇ、いいのかねぇ、そういうの。たしかにロマン

若いヤツにやってほしいよね。それこそ鬼畜米兵をぶっ飛ばせ！　じゃないけど、外人はみんな日本から出て行けって、実力で言わせてほしいですね。僕が今さらそういうこと言うのもねぇ。なんでそういうことに目を向けないのかな。

――ところで、佐竹さんは今後K―1でどんな闘いをしていくつもりですか。

佐竹 どうなんでしょうね。もちろん、一戦一戦大切に闘っていきたいし、納得する闘いをしたいというのは大前提なんですけどね。逆にどうなの、ファンは今後の佐竹にどんなことを期待しているんでしょう？

――いや、やっぱり日本人ということで、佐竹さんにはさっきから言ってるような異種格闘技戦っぽい、漫画チックな闘いはたくさんしてもらいたいでしょうね。それでいて、今やってるような肉体改造がどんな成果になって表れてくるのか、それはベスト8ファイターとの闘いで、グランプリとかで見たいんですけどね。ついでに言えば、佐竹さんのバーリ・トゥードの試合も見たいし、プロレスの試合も見たいですし（笑）。グッドリッジとの試合では、「北斗の拳」のような勝ち方をしてほしいし（笑）。

佐竹 ハハハハハ（笑）。

――どうせなら、グッドリッジ戦に勝ったら小川とやったらどうですか。空手と柔道、どっちが強いか決めようじゃないかって（笑）。

佐竹 ハハハハハ、いいねぇ、そういうの。今日は久しぶりに元気がでてきましたわ（笑）。■

日本人は俺を倒せば手っとり早い！でも、その前にやることがあるでしょ

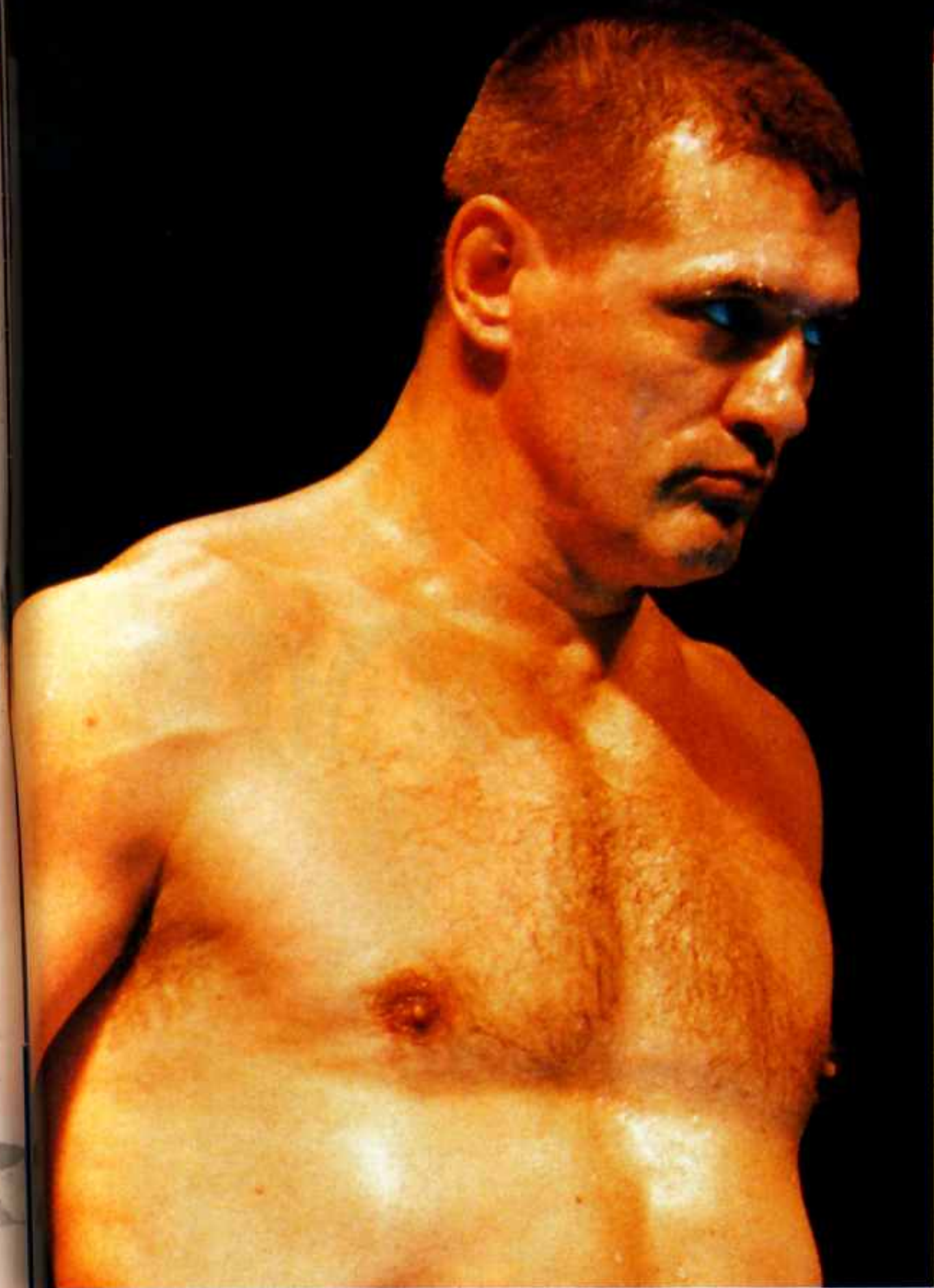
初代K-1王者

ブランコ・シカティック

久々の登場！

歴代K-1王者と他のファイターの違いは、〝狂気〟があるかないかだ！

初代K-1王者ブランコ・シカティックの人生はまさに闘いの連続であった。だが、その闘いとはよくあるストリート・ファイトのことではなく、実際に命のやり取りをした戦争なのだ。喧嘩での〝命懸け〟という言葉とは意味も重さも遥かに次元が違うものだろう。祖国のため、家族のために自らの命を投げ出した男が〝闘い〟について語り切る！

インタビュー◎中村カタブツ君
写真◎黒田史夫

――ちょっと古い話になりますが、『プライド2』でのケアー戦は反則でモメてリング上で凄いブーイングを浴びましたね。（ロープ掴みと後頭部へのヒジ打ちで反則を取られてブランコの反則負け。試合後、彼に対して観客からモノ凄いブーイングが浴びせられた）

ブランコ　ケアーとの試合では突然ルールが変わってあんな結果になったが、興行の世界ではよくあることさ。『プライド』とは現在でもイイ関係にあるし、試合の契約も残ってる。自分としてもぜひもう一度上がりたいリングだよ。

――僕もぜひ、もう一度見たいです（笑）。なにしろ、あの試合では会場中からブーイングを浴びながらもブランコさんはニヤッと笑ってましたよね、リング上で。凄いハートの強い人だなってビックリしましたよ。

ブランコ　忘れてもらっては困るんだが、私は戦争を体験してるんだよ。クロアチアという国は5倍も大きなユーゴスラビアと戦争して独立を勝ち取っているんだ。クロアチア人というのは特別なものを持っているんだね。豊かな国ではないが、いざ闘いとなれば特別な力を発揮するスピリットを秘めているんだよ。

――そういう経験があるから、タフな精神を持てるんですね。

ブランコ　そうだね。僕のお爺さんは2メートルもある男でファミリーでは伝説的な強さを持っているんだ。母方のお爺さんも漁師をしていたんだけど、とても強い人だった。クロアチア人の中でも特にブランコ・ファミリーは特別に強い一家と言えるだろうね（笑）。

――ハートの強さの源は家族のため、国のために闘ったことっていうのが大きいんですか？

ブランコ　当然のことだよ。独立戦争が自分の強さを倍にしてくれたんだ。国のために闘って手や足を無くした友だちもたくさんいるけど、彼らは決してそのことを嘆いたりはしてないよ。そういった人々の姿が私の強さを2倍にも3倍にもしてくれたんだ。

――やっぱり子供の頃からタフな生活環境だったんですか？

ブランコ　もちろんさ（笑）。ストリートファイトが生活だった。「誰かに石で殴られたらパンを渡して返しなさい」という言葉があるんだけど、知ってるかい？

――いえ、知りませんが、いわんとすることはわかりますが。

ブランコ　だけど俺に言わせたら「石で殴られたら鉄で殴り返してやれ」だよ（笑）。

――ワハハハ！　石の拳じゃなくて鉄の拳（笑）。ハードだったんですね。じゃあ、戦争時代はもっと苛酷だったんでしょうね。

ブランコ　ある前線から別の前線に行かなければいけなくなった時があったんだ。その間には森があってそこにはスナイパーがいて狙っているんだよ。司令官は「危険だから200キロぐらいのスピードで走り抜けてくれ」と言うんだけどトラックは80キロぐらいしか出ないんだよ（笑）。

――メチャクチャ怖いですね、それは。

ブランコ　危険だよ（笑）。いつ自分の頭に弾が当たるかわからないし、爆弾もトラックの近くに落ちてくるという、そんな

クロアチアの戦火をくぐり抜けた男 だから語れる死と隣り合わせの生き様

状況だったのさ。全身の筋肉がこわばるというのをその時に初めて体験したよ。森にいる時の5分ぐらいの時間が5時間ぐらいに感じられたよ。

――もちろん、そのトラックはブランコさんが運転したんですよね（笑）。

ブランコ　そうだね。部下たちはトラックの荷台に伏せさせて僕がハンドルを握ったよ。

――ズルイ言い方をすれば部下に任せてもいいわけじゃないですか。なぜ、そんな危険なことを買って出たんですか。

ブランコ　それについては少し長い話になるね。92年の1月に戦争が勃発したんだけど、前の年の7月頃からクロアチアの国内にはユーゴ軍や警官がいるような状態だったんだ。ビルディングの中にスナイパーがいて、どこからいつ撃たれるかわからない、みんなビクビクして生活している、そんな状況だったんだよ。だけど、他国の人々は「ユーゴ軍はクロアチア人と政府側の中立の立場にいる」と思っていたんだ。当時、私は海外で試合をしたりしてたから、テレビに出た時に「クロアチアは独立するべきだ」と言って回っていたんだよ。

――えッ！　それってとても危険じゃないですか！

ブランコ　テレビのコメンテーターも「そういうことを言うべきではない」と止めたんだが、言わなければいけないことだったんだ。真実を伝えなければいけなかったんだ。みんなは私のことを「クレイジーだ」と言ったけれど、私は「ユーゴ軍は俺たちの味方ではなく、クロアチア人を皆殺しにしかねないぐらいのヤツらなんだ」と言い続けた。

――ウヮァー！　そんなことしてたらホントに殺されますよ！

ブランコ　そうだね、一度そんな目に遭ったよ（笑）。練習を終えて家に帰ってテレビを見ていた時だったんだが、外で洗濯物を干していた彼女が突然、「庭の中に誰かいる！」と叫んだんだ。私はすぐに銃をつかんで発砲したんだが、逃げられてしまったよ（笑）。そいつが私の命を狙いに来たのかどうかはわからないけど、とにかく危険な状態ではあったね。つまり、本当のことを言うのは凄い危険な時代だったのさ。私は戦争が始まる前からテレビを通じてそういうことを言っていたから、リーダーみたいなものに自然となっていたんだ（笑）。

――だから当然、一番危険なトラックの運転もするわけですね（笑）。いや、男ですよ、それは。

ブランコ　バカかもしれないね（笑）。だけど戦争後、クロアチアの大統領から戦争の初期の段階で活躍した者にしか贈られない特別な勲章を貰ったよ（笑）。それには「クロアチアの独立戦争を忘れるな」という意味の言葉が刻まれているんだ。

――まさに〝クロアチアの英雄〟ですね（笑）。だけど、そんな危険なことになんで自ら進んでいくんですか？

ブランコ　イッツ・マイ・ライフ（笑）。私はファイターなんだ。闘いこそが私なんだよ。

――シビレるセリフですね（笑）。K―1については97年9月のマイク・ベルナルド戦が最後でしたよね。あの時はベルナルドのバッティングでドクターストップになってしまいましたが、ブランコさんは闘いたいとアピールしてましたね。

ブランコ　頭に入れておいてほしいのはK―1の選手は3つに分けることができるんだ。まずはチャンピオン。アーネスト・ホースト、ピーター・アーツ、アンディ・フグ、そして、この私だ。この4人はただのチャンピオンではなくて、真に強いチャンピオンのハートを持っているんだよ。決して恐れないハートを持っている。第二のクラスはスタン・ザ・マン、サム・グレコ、マイク・ベルナルド。彼らはもちろん強い。だが、最初に挙げた4人のような闘いの場に入った時の〝狂気〟がないんだ。これはもの凄く大切なことなんだよ。そして第3のグループはそれ以外の選手たちだ。だから、闘いのハートを持ってる私があのベルナルド戦でもっと闘いたいとアピールしたのは当然なんだよ。

――そうですね。今後、『プライド』のリングに上がる上で、ブランコさんはどんな練習をしてるんですか。特にグラウンドについては。

ブランコ　グラウンドについてはアーミーの人間で、大統領やVIPのセキュリティーもしてる男がジムに来てるんだ。彼は柔術のスペシャリストなんだよ。

――では、グラウンドの練習もみっちりやっているんですね。

ブランコ　もちろんさ。特にアンクルホールドには自信を持っているよ（笑）。

――ワハハ！　ブランコさんのアンクルホールドはぜひ見てみたいです（笑）。『プライド』のリングで闘いたい選手はいますか。

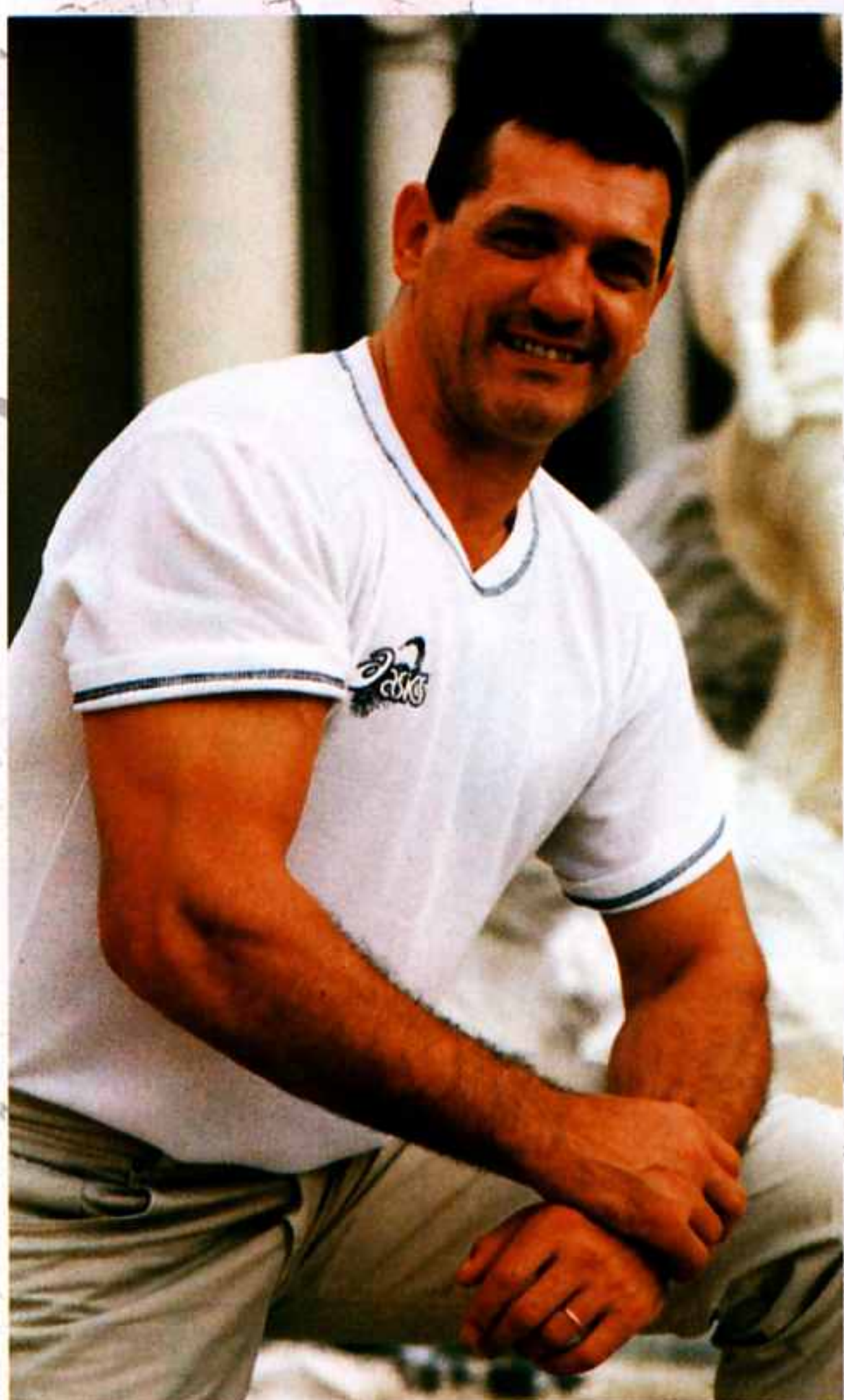
ブランコ　ヒクソン・グレイシーとミスター・タカダだね。タカダは日本人のチャンピオンだしね。

――マーク・ケアーとの再戦はどうですか？

ブランコ　もちろん、望むところだね。これだけは覚えておいてほしい。K―1でも『プライド』でも闘いにおいて私は常に正しいんだ。それは自分以上のプライドを持ってリングに上がっている人間はいないからさ（笑）。

――頼もしいですね（笑）。次の試合を期待してます。

BRANKO

K-1スピリッツ99直前特集

異種格闘技戦はオレに任せろ！

緊張感あふれる佐竹雅昭vsゲーリー・グッドリッジ戦に注目！

「ろくでなしブルース」前田憲作も復帰！

K-1スーパーファイト

（K-1ルール、3分5R）

アンディ・フグvsモーリス・スミス

〈スイス・正道会館、180cm、97・5kg〉

〈USA・モーリス・スミスキックボクシングセンター、186cm、98・8kg〉

佐竹雅昭vsゲーリー・グッドリッジ

〈日本・正道会館、185cm、107・4kg〉

〈トリニダード・トバゴ・フリー、191cm、108kg〉

マイク・ベルナルドvsロニー・セフォー

〈南アフリカ・スティーブス・ジム、193cm、111・3kg〉

〈ニュージーランド・バルモラル・リー・ガー・タイボクシング、184cm、100kg〉

前田憲作vsカリム・ナシャー

〈日本・チーム・ドラゴン、174cm、58kg〉

〈オーストラリア・アンダーワールドジム、170cm、58kg〉

8月22日、有明コロシアムで開催される「K-1スピリッツ99」のカードが決定した。K-1スーパーファイトでは、異種格闘技戦の佐竹雅昭VSゲーリー・グッドリッジ戦を目玉に、豪華カードが目白押し。

まず、今年負けなしのアンディ・フグがモーリス・スミスと対戦。スミスは7・16UFCでマルコ・ファスを破り、今は絶好調。アンディはスミスの老獪なテクニックにどう立ち向かうのか。

佐竹VSグッドリッジ戦は、ここ一番で佐竹が見せてきたキラーぶりに期待。緊張感あふれる攻防は見逃せないだろう。

さらにマイク・ベルナルドがレイ・セフォーの実弟であるロニー・セフォーと激突する。6月の福岡大会でグレコに世界ベルトを奪われ、再び無冠の帝王となってしまったベルナルドは、GP制覇を前にどんな仕上がり具合を見せてくれるのか興味深いところ。ここでセフォーに不覚をとるようなことがあれば、GP開幕戦さえも黄信号となる。

一方、97年にK-1ジャパンフェザー級GPに出場し、1回戦でSBの村浜武洋と対戦して敗れた前田憲作が再びK-1に参戦。前田はこの試合を最後にリングから遠ざかっていたが、新たに「チーム・ドラゴン」を結成し、Kのリングで再出発することになった。果たして復帰戦を白星で飾ることが出来るか？

そして、GP開幕戦のキップをかけた最後のトーナメントが、ジャパンGP99だ。下馬評では武蔵が優勝候補に挙げられているが、後輩の中迫も虎視眈々と優勝を狙っている。しかも、今年のジャパンGPは、「チーム抗争」も浮上し、16名に参加メンバーも拡大。

決勝進出2名が開幕戦のキップを獲得するが、順当勝ちとなるか、波乱の結末となるか……こちらも注目だ。

K-1 SPIRITS'99
～魂の戦い～
JAPAN GRAND PRIX'99

賞金総額1500万円&K-1GP開幕戦のキップ争奪！

K-1 JAPAN GRAND PRIX'99トーナメント決定！

武蔵、ぶっちぎりの優勝か？ はたまた中迫の下克上か？

優勝 1000万円
準優勝 300万円
第3位 100万円

Winner

豪華16名による立ち技日本一決定戦
今年のテーマは「チーム抗争」だ！

武蔵
＜空手・正道会館、185cm、94kg＞

吉岡基治
＜空手・ISM麻生塾、174cm、103kg＞

長井満也
＜プロレス・フリー、188cm、97.4kg＞

村上竜司
＜空手・士道館、175cm、85.4kg＞

天田ヒロミ
＜ボクシング・フリー、185cm、92.5kg＞

滝川翎
＜ボクシング・藤原道場、185cm、96kg＞

滕軍
＜散打・中国武術協会、182cm、88kg＞

サダウ・ゲッソンリット
＜ムエタイ・ゲッソンリットジム、180cm、91.7kg＞

安虎
＜散打・中国武術協会、190cm、95kg＞

安生洋二
＜プロレス・フリー、180cm、93.8kg＞

ノブ・ハヤシ
＜キックボクシング・ドージョー・チャクリキ、190cm、115kg＞

宮本正明
＜空手・正道会館、190cm、99.5kg＞

大石亨
＜空手・士道館、185cm、91kg＞

タケル
＜空手・正道会館、192cm、92.5kg＞

安部康博
＜キックボクシング・建武館、181cm、94.5kg＞

中迫剛
＜空手・正道会館、190cm、97.8kg＞

＜トーナメントルール＞K-1ルール。ただし、1、2回戦は3分2R（2ノックダウン）、準決勝戦、決勝戦は3分3R（2ノックダウン、決勝のみ3ノックダウン）で行われる

ポスト佐竹を狙う大器

武蔵

「正道」の看板を引っ提げ、名実共に日本のエースになれるか？

8・22「K―1スピリッツ99」で佐竹雅昭はゲーリー・グッドリッジと対戦が決定したため、K―1ジャパンGPの出場はなくなった。

もし、佐竹が出場していたら今回のジャパンGPは、佐竹VS武蔵・中迫らとの世代闘争というテーマがあっただけに、いささか残念ではあるが、そこでクローズアップされてくるのが、「ポスト佐竹」の争いである。

その一番手として挙げられているのは、優勝候補筆頭の武蔵。武蔵には、優勝することはもちろんのこと、「たとえ佐竹が出ていたとしても、武蔵にはかなわなかった」と言われるぐらいの強さを見せつけてもらわないことには、盛り上がるものも盛り上がらないのである。

佐竹雅昭は過去2回のジャパンGPを圧勝で制覇した。さらに7年前のトーワ杯でも日本人を相手にエゲツないほどの強さを見せつけてきた。

今回のトーナメントで武蔵に見せて欲しいのは、まさに佐竹が見せたそんなハチャメチャな強さなのである。佐竹と闘わずしていかに強烈なインパクトを与える勝ち上がりを見せることができるか。実績からいって、勝って当たり前と見られているからこそ、闘いの内容はいやが上にも問われてくるのだ。

「そういう期待がある分は応えようとは思いますよ。余裕で勝つというのは気持ちだけで、試合は地味に勝ってもいい。もう、確実に勝っていきたい。勝つ自信はあります。そうでないと（トーナメントには）出られないでしょ」（武蔵）

出場全選手の中で唯一K―1GPを経験している武蔵。でも、あのときは超新星として行けるとこまでただガムシャラ

胸を借りるという試合にはならない。胸を貸してあげるくらいのつもりでいます

に行けばよかった。それが、初出場ながら3位という結果にも繫がった。

「確かにK—1GPでは3位になってますけど、ジャパンGPに関しては初心者なんですよ。日本人だけのトーナメントだから、余計に負けられないというプレッシャーはあります。だって、（グランプリのように）胸を借りるという試合にはならないじゃないですか。自分としては胸を貸してあげるぐらいのつもりでいますよ。だからこそ、ポカしたらまずい。絶対にそういう部分は見せられないですから」（武蔵）

3年ぶりのトーナメント戦。けれども、絶対にポカのできないトーナメント戦。他の選手とは違った意味で大きなプレッシャーを背負いながら武蔵は有明のリングに上がらなければならない。

ところで、今年に入って武蔵はピーター・アーツなみに試合をこなしてきた。2月に2試合、3月、4月、6月とすでに5試合目。その中でも印象的だったのは、『プライド』の刺客、グッドリッジ戦だ。グッドリッジの金的攻撃からのヒザ蹴りで失神し、結果的にはグッドリッジの1R反則失格となったが、石井館長が「武蔵の様子次第では再戦をさせる」とマイクアピール。消化不良気味の場内は、武蔵の登場を心待ちにした。だが、武蔵は現れなかった。このとき控室で武蔵は石井館長に「試合では勝ったがケンカで負けた」とビンタされていたのだ。

館長のビンタはまさに観客の思いと一緒で、あそこで武蔵が登場することをファンは待っていた。

「あそこで「オレはやるんだ」っていうアピールをして出ていったら、それはそれで会場は盛り上がっていたでしょうね。僕はドクターがやれるって言われればやってましたよ。でも、どっちかっていうとあの時僕は、失神してパニクッていたんです」（武蔵）

確かに武蔵にダメージはあった。あの状態で出ていっていれば流れは変わっていたかもしれない。それでも、売られた喧嘩はきっちり返す。そういう姿勢をファンは武蔵に求めていたのだ。だからこそ、石井館長のお詫びに対して、ブーイングが出たのではないだろうか。

今回のトーナメントでも武蔵は、出場全選手の標的になっているといっても過言ではない。売られた喧嘩に対して、武蔵がきっちり応えることができれば、自ずとグランプリ開幕戦のキップと「ポスト佐竹」の座は武蔵のものとなる。だからこそ、武蔵は勝負にも勝って、喧嘩にも勝たなければならないのだ。

今年のジャパンGPの大きな見所としては、チーム抗争が挙げられる。チーム正道、チーム・アンディ、チーム・ピーター、チーム・ホースト、チーム・士道館、チーム・チャクリキ、チーム・中国武術。それぞれ個人の力量プラス、チームの結束力で勝利をつかみに来る。これに当てはめるとすれば、日本に残り白浜合宿を敢行して調整を続ける武蔵は、チーム正道の看板を背負う選手となる。そういうバックボーンを常に見せてきた佐竹に対し、武蔵はどう考えているのだろう。

「正道の看板を背負っている気持ちはないです。これは個人の闘いでしょ。最終的に上がってくるのは内輪だと思っているんで、手の内を知っている者同士がやるのは一番難しい試合になると思います。でもその中で勝ちますよ」（武蔵）

もしかしたら、佐竹と武蔵の差は、この答えにあるのかもしれない。内輪の中でも、やはり注目されているのは中迫との対決である。

「強くなっていると思うんで、試合でどれだけの当たりがあるかわからないから何とも言えないですけど、やっぱり先輩としての意地という訳ではないけど、負けない気持ちでいきます」（武蔵）

また優勝をすれば、自ずと福岡大会でキップを手にしたジャビット・バイラミや、名古屋大会を制したステファン・レコなど、予選トーナメントを勝ち上がって代表の座を奪った者たちと比較されてくる。アンディと互角に闘えるレコでさえ、トーナメントに出ないと本戦へのキップをつかめないほど今のK—1は層が厚い。武蔵が出場した96年の頃とは事情は明らかに変わっているのだ。

「僕が出た頃よりはレベルが違うというより選手層が厚くなった感じです。レベル自体はむちゃくちゃ上がっているとは思わない。強い選手が増えて、もともと強いヤツがそのまま強さを固持して体がデカくなっている。僕としては本戦に出たら決勝トーナメントまでいかないと始まらないと思ってます」（武蔵）

96年のグランプリで初出場3位になった武蔵の初々しさも、今となっては懐かしい。あれからどれだけの成長を遂げたのか、まずはジャパンGPでお手並み拝見である。

「淡々と試合をして淡々と勝ちますよ」

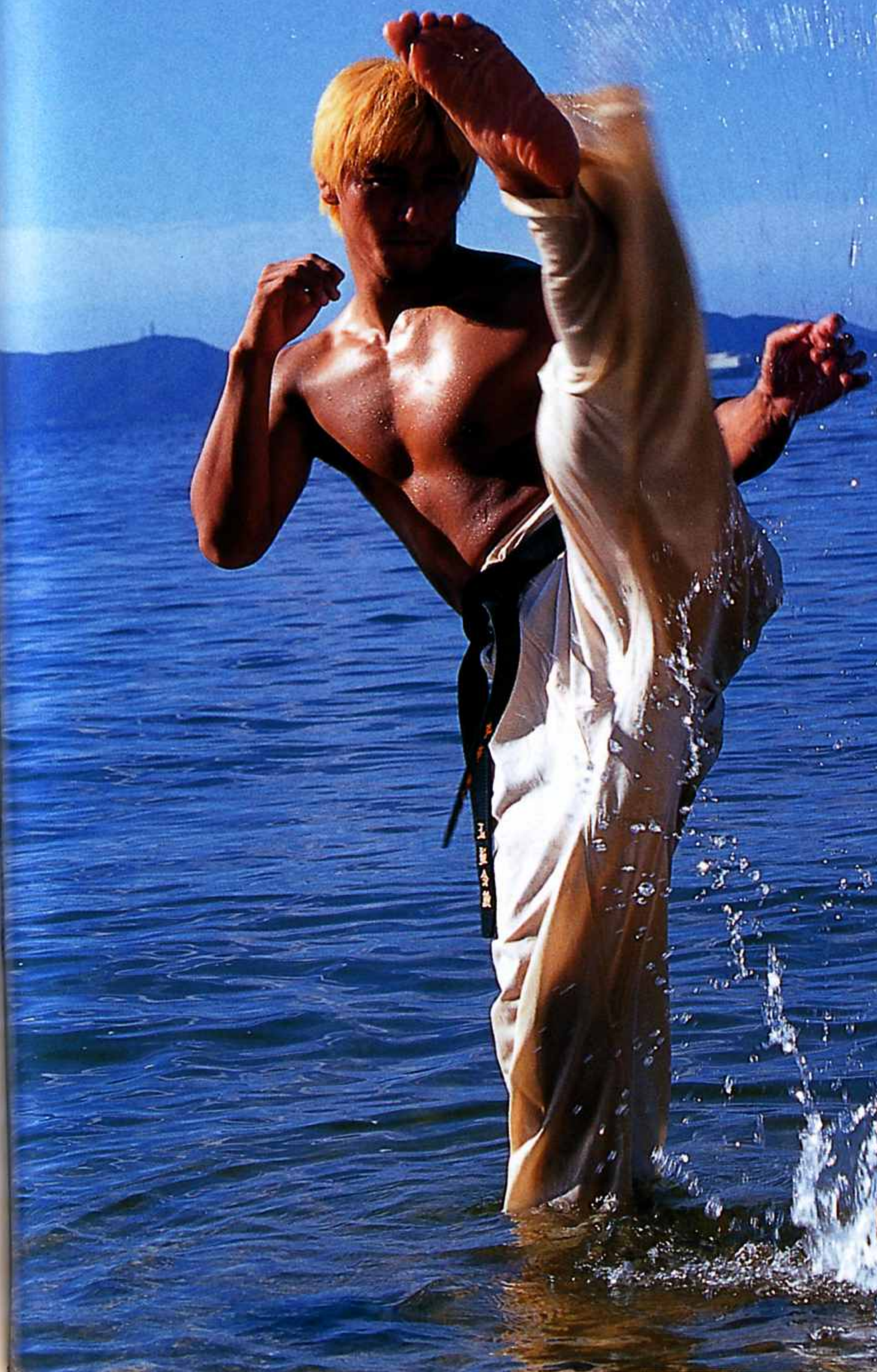
そう言う武蔵にてっきり判定勝ちを狙った安全パイな勝ち方だと思い、「そんな内容の試合は見たくない」と言った。すると武蔵からは「何言ってるんですか、違います。淡々と倒すんですよ」という返事が返ってきた。

もし、本当にその姿が見られたら、佐竹が鬼神のごとく日本人をなぎ倒してきた姿とダブって見えるだろう。

それが、我々の求めている〝武蔵〟なのだ。

（石黒）

金髪の異端児 中迫剛

「何かを起こしそうな」危険な存在 強くて、かっこよく「成り上がれ！」

ジャパンGPで優勝候補の武蔵の対抗馬にあがっているのが、中迫剛である。

昨年の5月にデビューして以来、その端正なマスクと空手仕込みの蹴り技でジャパンのエースの座を武蔵と競い合ってきた。

その中迫が最近物議を醸している。それは、突然髪を金髪に染めたからだ。本来、空手家のイメージとして思い浮かぶ髪型といえば、佐竹雅昭や極真の数見肇など「短髪で黒い」という感じである。

最近は格闘技界にも茶髪の選手をよく見かけるが、空手家ともなるとまだまだ少ない。まして中迫は金髪。だから中迫の金髪はちょっとした話題になっているのだ。だが、それも中迫にしてみれば「してやったり」のことらしい。

「金髪は単なる思いつきです。でも賛否両論で本人としてはシメシメという感じです。なんかいいですよね、自分を中心に論争を巻き起こしていることは、楽しい。僕は気に入ってますよ。えっ？　空手家のイメージは違う？　そうですね、いいじゃないですか、異端児、最高！　みんなと一緒って嫌ですからね。ただ、さっき道衣着たときに全然似合わないと思いました。なんか、空手じゃなくて、カラ〜テェ〜って感じで（笑）」（中迫）

金髪にして唯一の失敗は道衣が似合わなかったことと言い切ってしまう思い切りのよさは、聞いているこちらも気持ちがいい。金髪と言えば、同じくトーナメントに出場する士道館の大石亨からは、「チャラチャラしている」と「超K—1宣言」の番組中にハッキリ言われた。

「僕はそんなつもりでやった訳ではないんですけどね。まぁ、言ってればって感じですけどね」（中迫）

中迫は顔を見る限り、クールなだんま

叩き潰すという気持ちは人一倍強いと思う。
もう、負けず嫌いが止まらない感じです！

りタイプかと思いきや、意外にも話すときは実に表情豊かでテンポが良く、あくまでも個人的な意見だが、ダウンタウンのノリに近いものを感じる。そのギャップも、魅力の一つなのかもしれない。

金髪だけでなく、中迫の魅力を語るエピソードがある。名古屋大会のレフェリーの注意を聞く際に、対戦相手の目を見ないで上を見上げていたことだ。それは、デラホーヤのマネをしていたようなのだが、その姿を見た石井館長は「相手に喉元を見せるのはどうかなぁ」と話していた。だが、それも中迫にしてみれば、「それはデラホーヤに言ってくれって感じですね。だって、K―1戦士でやっている人いないじゃないですか。よく睨み合ってる選手もいますけど、そういうのって、もういい。嘘くさいなと思うし。不良じゃないんだから、ヤンキーじゃないんだから、ビーバップじゃないんだからっていうね。メンチ切ったなこの野郎じゃないから」（中迫）

と、一切気にはしていない。中迫をもっと知るためのキーワード。人と一緒のことだけは絶対に嫌だという「かっこいい異端児」かもしれない。

そんな中迫だが、昨年のジャパンＧＰでは佐竹に敗れて準優勝に終わった。今回、佐竹は出ないが、代わって先輩の武蔵が出てくる。追われる立場の武蔵は、プレッシャーを感じているようだが、「かっこいい異端児」中迫は、武蔵との対戦を非常に楽しみにしているようだ。

「一番やりたい選手ですね。手の内をお互いに知ってるでしょって言われますけど、試合になってみないとわかんないですよ。全然当たりとか違うんで、いざリングに上がって、アドレナリン出てやってみないとわからない」（中迫）

さらに、武蔵が「ジャパンＧＰは初心者だから」と言っていたことを告げると即座にニヤッとして強烈な一言。

「ほっほ～ん。優等生ですからね、武蔵は。口だけでしょうね。ジャパンＧＰの経験がないなんてそんなもん笑わせんな、何を言うとんねん、おっさんという感じですね」（中迫）

さすが、異端児は言うことが違う。これまでK―1戦士にこういうキャラクターはいなかった。でも、これもすべて武蔵と同じ様なことを言っても、しょうがないということがわかっているからこその発言であって、実際にジャパンＧＰに関しては、真摯に受けとめている。

「とりあえず（ジャパンＧＰは）最初の壁なんで、それを壊さないことには次は見えないんで。過去に一度でも武蔵のようにK―1ＧＰを経験していれば、グランプリが見えてきますけど、まだ経験していないんで、とりあえずジャパンを制さないと。今回のトーナメントは挑戦ですね。自信はありますよ。前回はデビュー戦後すぐにトーナメントだったんですよ。だから、とりあえずどこまでやれるかっていう感じだったんですけど、今回は本当に自分の実力でどこまでやれるかですから」（中迫）

戦前の予想では、決勝は武蔵VS中迫という見方が多い。その中で武蔵には、佐竹が日本人に見せたズバ抜けた強さを見せつけて欲しいと書いたが、それに関しては中迫だって、負けてはいない。

「佐竹師範代は日本人を叩き潰してきましたけど、そういう気持ちは、僕も人一倍強いと思っています。もう、負けず嫌いが止まらないって感じですね」（中迫）

今回のトーナメントのために、中迫はアーネスト・ホーストのいるオランダのボス・ジムで調整をすることになった。とはいえ、弟子入りするつもりはさらさらないようだ。

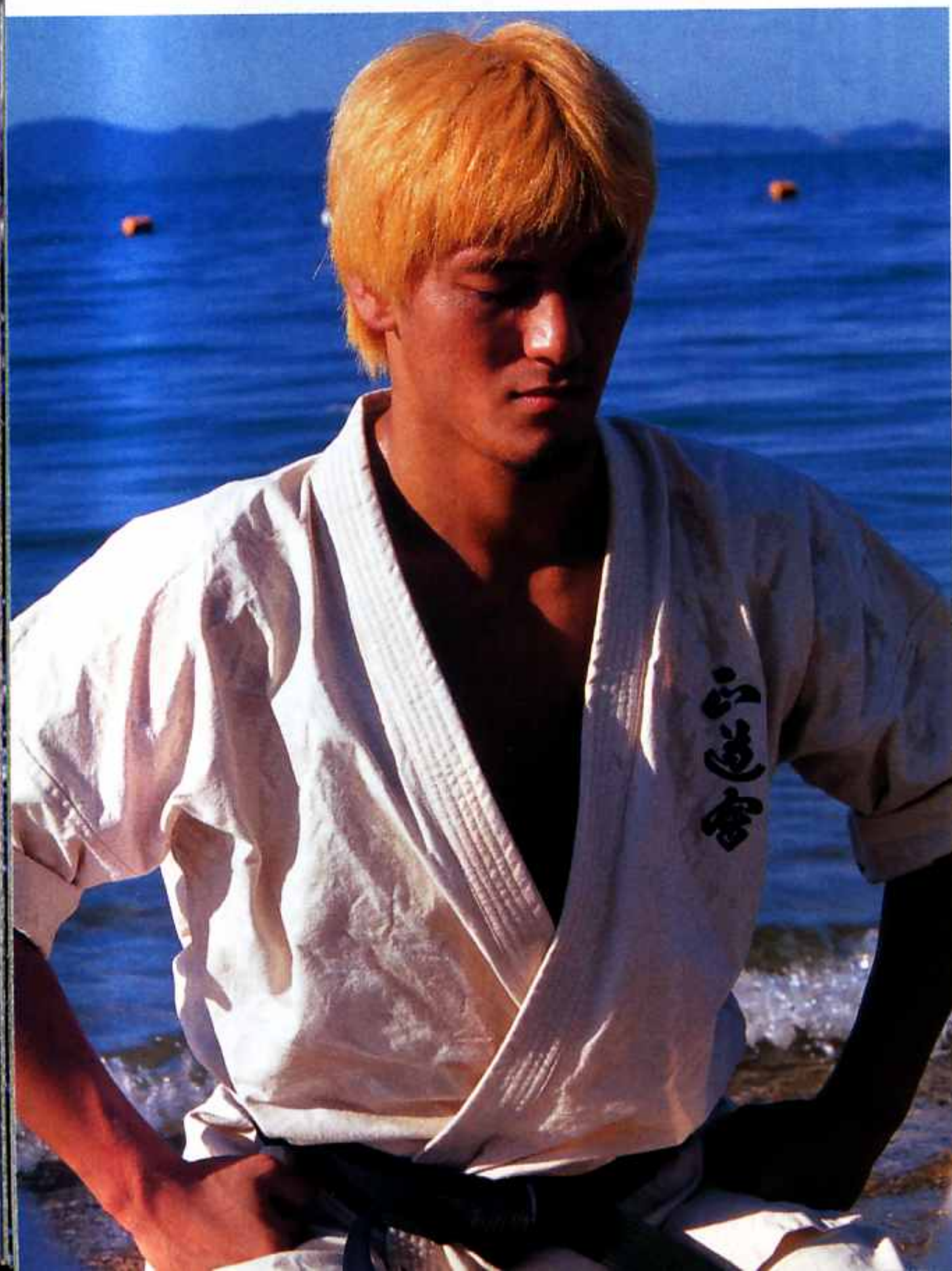
「スパーリングが出来なくなるじゃないですか。それで出来る所となると海外しかないんで。でも、ホーストに弟子入りするつもりはないです。ちょっとスパーリングさせてもらいます、という気持ちですね」（中迫）

ここまでくれば立派なあまのじゃくである。ヨハン・ボス氏が中迫のことを気に入っているようなので、本人の意思に反して、みっちり稽古をつけてくれることだろう。短期間とはいえ、中迫が何かを感じて、ひとまわり大きくなってトーナメントに出てくるのが楽しみである。

誰もが狙うナンバー1の座。だが、中迫の場合は、ちょっと狙い方が違う。

「僕は、ナンバー2が好きなんです。そう、ゴレンジャーのアオレンジャーです。リーダーと同じ実力を持っているけど、一匹狼じゃないですか、アオレンジャーって。一歩引いててクールに構えているけど、いざやるときはやる。でも、実力は一番と変わらない。リーダー的な力があってもリーダーにはならないというか。僕はK―1の中で、そういう存在になりたいです。人気はないけど、玄人にはうける。わかるヤツにはわかるっていうね。そういうのに憧れますね。もちろん、ジャパンＧＰは優勝を狙いますけど、アオレンジャー的に狙います」（中迫）

さしずめ、今回のトーナメントの出場者で照らし合わせると、武蔵はアカレンジャーといったところだろうか？

「闘いは熱いものだから、その中でクールに決めているのはかっこいい」と言う中迫。それは、まさにアオレンジャーとダブる。果たして、中迫はジャパンＧＰでアオレンジャーになれるか？　（石黒）

武蔵、中迫だけじゃない！
GP開幕戦のキップを狙うチーム抗争の近況

チーム・ピーター

アーツの必殺ハイキックを伝授され トーナメントをかき回す！

天田ヒロミ

◀クロアチアでアーツと一緒に。今回、アーツはセコンドにつかないようだ

◀ようやく試合で蹴りが出せるようになってきたという天田。それだけにクロアチアでの試合は消化不良だったようだ

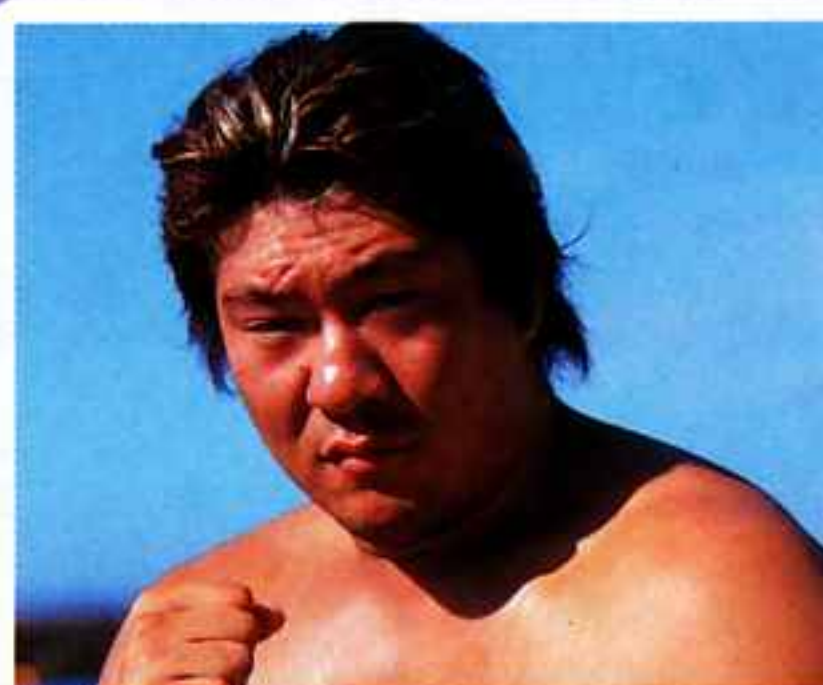
チーム・ピーターの天田は、クロアチアの試合のためにオランダで調整。その時にアーツからビデオでハイキックのタイミングなどを教えてもらったようだ。クロアチアでの試合後は、日本に戻り母校のボクシング部で国体に出る選手たちと合宿を行い、その後は正道会館総本部で最終調整。トーナメント初体験につき「凄く疲れると思うので、走り込みを重点的に行ってスタミナをつけます」とテーマを絞って挑んでいく。クロアチアでの試合で蹴りが出せるようになり「K—1の試合が楽しくなってきた。ジャパンの代表をつかむというより、とにかく勝ちたい」と語る天田。実は中迫が武蔵の次に警戒しているのが、勝ちだけにこだわっている天田なのだ。

大会までの特別練習

群馬で山篭り。母校のボクシング部で練習し、その後は大阪で最終調整

チーム・ボス・ジム

オランダで集中トレーニング トーナメント制覇のポイントは自己との闘い

宮本正明

◀群馬支部長としても忙しい日々を送っている宮本。オランダでの集中トレーニングで自分を追い込んでくるようだ

大会までの特別練習

7･5～12までタイで練習。7･29～8･9までオランダのボス･ジムで集中トレーニング

日本にいると群馬支部長としての仕事などがあり、なかなか選手だけに専念できない宮本は、このトーナメントに向けまず7月5日からタイで練習。さらに7月29日から中迫とともに、オランダのボス・ジムで心置きなくトレーニングだけに集中して試合に挑む。「今回は自分の心との闘い。武蔵、中迫、タケルは弟分みたいなものだから、非情になれるかどうかですね」と意気込みを語る。どこまで鬼になることができるか？

チーム正道

第一は大石へのリベンジ！ さらにズル賢く勝ちを狙いにいく！

タケル

◀タケルのポイントは1回戦の大石戦。昨年の雪辱を晴らして上を狙っていきたいところだ

大会までの特別練習

8・3～5まで白浜合宿。あとは正道会館総本部で仕上げる

1回戦の相手となる大石は、タケルが昨年のトーナメント1回戦で敗れた選手だ。「今回は万全なんで、やりますよ。昨年が格好悪かったから。大石選手にはリベンジしたいけど、みんなライバルですからね」と並々ならぬ闘志のタケル。練習は普段通り正道会館の総本部でスパーリング中心に行い、武蔵とともに白浜合宿にも参加する。今回はファイトスタイルを変えてズル賢く勝ちを狙う作戦のようだが、果たして上手くいくか？

チーム・アンディ

ベスト4でビッグパーティー開催！狙うはやっぱり1000万円？

安生洋二 & 長井満也

◀アンディ合宿に入ると、マイケル・マクドナルドやジャビット・バイラミとの厳しいスパーが行われる

▲両者ともに昨年は1回戦敗退だけに、今回は1試合目にすべてをかけるようだ

大会までの特別練習
6月末に沖縄合宿。8月第1週から正道会館東京本部でアンディ合宿

6月にアンディと共に沖縄合宿を敢行したプロレスラーコンビ。その後は正道会館東京本部で地獄の合宿が行われる。二人ともカラテのトーナメントやK―1GPなど、ことトーナメントに向けての知識が豊富なアンディを信じて仕上げていくようだ。お互いに昨年は1回戦敗退だったが、アンディから「ベスト4に入ったらビッグパーティーを開催」と言われたため俄然張り切りモードに入っている。「誰をマークするかの前にお金に目がくらまないように平常心で挑みたい」（安生）。「とにかくK―1で勝ち星を挙げたい。僕と安生さんはプロレス出身なんで、プロレス魂を見せるつもりで頑張ります」（長井）。果たしてトーナメントを撹乱させられるか？

チーム士道館

打倒・正道！　茶髪と金髪のチャラチャラした奴らには負けられない！

村上竜司 & 大石亨

大会までの特別練習
伊東市の伊豆でキャンプ（村上）

打倒・正道に燃える士道館コンビは、まず村上が伊豆でのキャンプでスタミナ重視のトレーニングを行った。「佐竹が出なくなった苦しみを誰かにぶつける！　若者にカツを入れる」と村上は燃えている。そして、大石は昨年の準決勝戦で佐竹に敗退した悔しさを支えに体重を10キロアップさせヘビー級戦士に変貌。「サムライスピリットを見せたい。チャラチャラした金髪・中迫と敗者坊主マッチをしたい」と士魂を戦前から爆発させている。

チーム中国武術

初参戦の散打王者はかなりの実力者！前田憲作のコーチで更なる変身を遂げるか？

滕軍&安虎

▲戦績は申し分のない中国武術勢。K－1で一泡吹かせるか？

◀前田憲作が何を教えてくるのかも興味深いところだ

大会までの特別練習
前田憲作が8・2～4まで中国で特別コーチを行った

中国武術チームには、キックの貴公子・前田憲作がコーチを買って出た。前田は8月2日から中国に渡り、ローキックに慣れていない二人に、ローキックのカットなどを教え込んでくる。どうやらK―1ルールには投げがあると思っていたようだが、きちんとルールも把握してやる気マンマン。石井館長が「二人ともかなり強いですよ」と太鼓判を押すほど、戦前から評価の高い中国武術コンビ。どんなファイトを見せてくれるのか楽しみだ。

佐竹、角田、武蔵、中迫、宮本も指導！

夏恒例！ 熱血＆爽快！ 正道カラテ合宿

7月24～25日に、愛知県蒲郡市にある西浦温泉海岸にて正道会館の夏季合宿が行われた。毎年恒例の夏合宿には、東京、名古屋、大阪の各支部から275名が参加。佐竹を始め、角田、武蔵、中迫、宮本らK-1ジャパン戦士も8・22有明決戦を前に参加して熱心に指導。普段はこういう形で接することが少ないだけに、道場生にとっては楽しい夏の思い出になったのでは？

なんと275名が参加！

2日目の朝6時30分より武蔵と中迫を先頭に海岸でランニング。夏合宿ならではの風景である

合宿には角田一家が勢揃い。長女の友里亜ちゃんは小学1年生、長男の拳士朗君は4歳。二人とも道衣を着て稽古に飛び入り参加！

中本“熱血”直樹本部長も汗を滴らせながら熱血指導！

総勢275名が一斉に稽古する姿は壮観だった

夜の親睦会では、角田師範代が掌底寸勁瓦割りを披露。どうです、お見事でしょ！

2日目は佐竹雅昭師範代が出陣！　佐竹の指導も今では貴重な機会である

初日の稽古の陣頭指揮をとったのは、角田信朗師範代。細かく指導を行っていた

2日目は稽古の後にスイカ割り大会が行われ、宮本正明は“和製・シカティック”ばりに右ストレート一撃！

スイカ割りのシメは佐竹雅昭師範代。左ハイキックでスイカは粉々。「こういう重たいハイキックが蹴れるようになりましょう」と角田が道場生に話していた

「金髪に道衣は失敗でした」と語る中迫も、海の中で組手稽古

武蔵も丁寧に教えていたぞ！

田村戦？たぶん負けないです。

バーリ・トゥード中量級「最強」桜庭和志（ゴキブリ殺し）

いまやバーリ・トゥード中量級において
「最強」の呼び声の高い桜庭和志。
そこで本誌は桜庭に直撃取材を敢行！
噂される船木誠勝戦、そしてファン待望の田村潔司戦、
さらには「プロレス」への原点回帰の可能性について、
率直にコメントしてもらった――。

構成◎“Show”大谷泰顕
写真◎乾晋也

か歩いて死んじゃいますね。今度、試し
すよ。桜庭さんとやったら引退してもい
なことを言ってましたよね。

――唐突ですけど、「ノーフィアー」（高山善廣＆大森隆男）をどう思いますか？
桜庭　えっ？　世界タッグチャンピオンですよね、今。
――そうです。
桜庭　じゃあ、凄いじゃないですか。
――「ノーフィアー」って「怖いもの知らず」っていう意味なんですけど、桜庭さんに怖いものはありますか？
桜庭　オバケとか。怖いじゃないですか（笑）。得体の知れないものですから。
――ゴキブリとかそういうのは？
桜庭　ゴキブリは怖いっていうか、気持ち悪いというか。ゴキブリはファイヤーやりますけどね。
――えっ？　焼いちゃうんですか。
桜庭　ライターに火を点けて『ＫＵＲＥ５５６』とかのスプレーをバーッと。あとはシャンプーをかけたりすると、何歩か歩いて死んじゃいますね。今度、試してみてください。
――「ゴ・キ・ブ・リ・ゴ・ロ・シ」「サ・ク・ラ・バ・カ・ズ・シ」、あっ、最後の「シ」しか一緒じゃないですね。まあいいや（苦笑）。
桜庭　はっ？
――いや、あのー、じゃあ……なんだっけ？　そうそう。『プライド6』のエベンゼール・ブラガ戦は桜庭さん的にはどうでした？
桜庭　（ブラガは）強かったですよ。
――印象からすると、それほど手こずったようには見えなかったですよね。
桜庭　やっぱり、ディフェンスだけしてる人を極めようとするには時間がかかるんですけど、向こうも勝とうとして何か技をかけようとしてくるじゃないですか。そしたら、絶対に隙ができるから、その隙を突いて試合が決まっただけなんですよ。だから、ディフェンスだけしてる人よりは、早く決まるんじゃないですか。
――はあ〜ん。じゃあ、桜庭さんとしてはやりやすい相手だったんだ。
桜庭　何も知らない人でもディフェンスだけなら「こうやるんですよ」って教えたら、もうできますもん。
――で、そのブラガとやった後に「フランク（・シャムロック）さん」と「船木（誠勝）さん」を聞き間違えられて、桜庭が「船木と闘いたい」と言った、みたいな騒動に発展したんですけど、前号のフランク・シャムロックのインタビューは読みましたか？
桜庭　パラッと読みました。
――フランク曰く「今まで名のあるファイターとはほとんど闘ってきたけど、サクラバだけは闘ったことがないから闘いたい」というようなことを言ってるんですよ。桜庭さんとやったら引退してもいい、らしいですよ。
桜庭　何かもったいないような感じもするんですけどね。悪い意味じゃなくて、いい意味で。もう続ける意志がなければ、引退したほうがいいと思います。ダラダラやっているよりも、キッチリと引退したほうがカッコいいし。それはその人の考え方だからいいんじゃないですかね。僕は続けますけどね（笑）。
――それは桜庭さんがまだ、いろんな人と闘ってないから？
桜庭　いろんな人っていうか、全然やってないから。いろんな人とやりたいです。
――じゃあフランクと間違えられた「船木さん」に関しての印象はどんなものがありますか？
桜庭　何に対しての？
――じゃあ、試合に対しての印象。
桜庭　凄く強いと思いますけど。
――実際に話したことはあるんですか？
桜庭　挨拶しかないですね。
――当然、悪い印象はないですよね。
桜庭　全然ないですよ。
――やってみたいなっていうのは、「漠然とはある」っていう感じですか。
桜庭　やってみたいと思いますけど……。
――たとえば「今、一週間後にやれ」っていう話になったらやりますか？
桜庭　うーん、試合はまた別の問題もいろいろからんでくるから、練習できるんだったら練習したいですね。
――フランク曰く「フナキとタムラではパンクラスみたいなスポーツ・スタイルだとタムラのほうが強いけど、バーリ・トゥードだったらフナキが強い」みたいなことを言ってましたよね。
桜庭　そうじゃないですかね。
――それはどんなところからわかるんですか？
桜庭　言っちゃっていいんですか？
――もちろん！
桜庭　バーリ・トゥードっていうのは一回でも極まったら終わりじゃないですか。スポーツ・スタイルっていうのはエスケープ・ルールがあるんで、逃げられるんですよ。だから、田村（潔司）さんの試合を見ていると、田村さんは必ずエスケープしてるじゃないですか。それで、最後にパッと極めてる試合が多いんですよ。だけど、バーリ・トゥードでそれをやったらボコボコになってるじゃないですか。
――あー、そうかそうか。
桜庭　だから本当の殺し合いをしたら、船木さんが強いんじゃないですか。だって「格闘技」は実戦で使うためにみんな練習したりするじゃないですか。それで、たまたまプロレスとかそういうものになってきて、商売になってきたわけで。元々は自分の身を守るためとか、護身術とかからできたものだから、もし街中でケンカしてロープに触って「エスケープですよ」とか「ちょっとお前、離れろ」とか、そんなのないじゃないですか。その違いじゃないですかね。
――はあはあ、なるほど。
桜庭　だから、僕も彼の意見とは少し合うところもありますね。
――じゃあ、もしたとえばですよ。船木選手か、田村選手とやるとなった場合は、桜庭さん的にはバーリ・トゥード・ルールがいいんですか、エスケープOKのス

▲先のプライド6ではエベンゼール・ブラガを相手に完勝した桜庭。その実力を満天下に知らしめる結果となった

船木戦？　いろんな問題が絡むから試合よりも練習がしたい

KAZUSHI SAKURABA

桜庭　ええ、僕もやってみたいですよ。

ういうことを考えれば、ライガーさんと

界ですから。まさかそれ（一対複数）を

——正直な話、やれるもんですかねえ？

桜庭　やれるんじゃないですか。タック

KAZUSHI SAKURABA

ポーツ・スタイルがいいんですか？

桜庭　今はバーリ・トゥードのほうがいいですね。それは一つ一つの技に重みがあるから。関節技をかけるにしても、ロープ際で逃げられると思うとやっぱりどうしても……。タックルで倒されたらロープ際に行って、自分が危険になればロープに手をかければまた始めからスタートという、それはやっぱり「スポーツ」だと思うんですね。

——フランク曰く、「プロレスはショー。パンクラスのようなスタイルがスポーツ。バーリ・トゥードはファイト」と三つに分けたんですけど、今の桜庭さんはフランクが言うところの「ファイト」がいいわけですね。

桜庭　うん、今は。Uインターの時は「スポーツ・スタイル」がよかったんですけど、今やってることがたまたまバーリ・トゥードなんで、今は他のことはあんまり考えたくない、と。

——じゃあ今、船木選手はバーリ・トゥードをやってるからいいけど、田村選手の場合もそうしてもらわないとダメなんですか？

桜庭　えっ？　僕が（田村と）試合するとしたらですか？

——ええ、田村選手と試合するとしたら。

桜庭　やるとしたら、ですよ。

——もちろん！　そんなの「馬場と猪木が闘ったらどうなったのかなあ？」とかみんな空想して楽しむんですから。実際にやるかやらないかは別ですもん。で、田村選手なんですけどね。

桜庭　えっ？　田村さんについて語るんですか？

——語っちゃマズいですか。

桜庭　僕は人生は限られてるんで、いろんなものを経験して、いろんなものを吸収したいと思うんで……。

——それは田村選手がそうじゃないと言いたいというか……。

桜庭　たまたま僕は今、バーリ・トゥードをやるような状態にいるので、それでいろんなものを吸収して、去年ロサンゼルス（ビバリーヒルズ柔術クラブ）にも行って、柔術にもいいところはあるから柔術のいいところを学んで、いろんなものを吸収したいと僕は思っていますから。

——過去に田村選手はパトリック・スミスとバーリ・トゥード・ルールの試合をやってます（95年12月9日、名古屋レインボーホール）けど、それは見てますか？

桜庭　見てる……とは思いますよ。

——どういう感じで見てたんですか？

桜庭　いや、田村さんが勝つだろうな、と。だってスミスは寝たら何もないじゃないですか。殴るにしても上になったほうが殴るのは強いけど、スミスは上になれないだろうなと思ったんで。絶対に田村さんがイケるだろうなと思いましたよ。

——やっぱり、船木VS桜庭なり、田村VS桜庭は見たいなあ。

田村さんはバーリ・トゥードならボコボコになっている

桜庭　バーリ・トゥードでですか？

——いや、ルールは何でもいいんですよ。それはフランクが言うところの「ショー」スタイルでもいいですよ！

桜庭　ああ、そうですか。じゃあ、ロープに振ってもいいんですね。

——ファンはどう思ってるか知らないけど、僕は全然いいです。

桜庭　僕はサソリ固めを出してもいいんですか（笑）。

——もちろん！　それ、バーリ・トゥード・スタイルで出してくれてもいいんですけどね（苦笑）。で、まあとりあえず、今、田村選手とやっても「負けない」っていうことですよね。

桜庭　ええ、たぶん負けないです。

——状況次第なんでしょうけど、船木戦にしろ田村戦にしろ、GOサインが出ればやりますよね。たとえば『プライド』のリングで、となったら。

桜庭　『プライド』だったらやりますよ。

——なるほど。その『プライド』なんですけど、桜庭さんの試合の前に小川直也選手がゲーリー・グッドリッジと試合をしましたけど、それはどう思いました？

桜庭　やっぱり僕はグッドリッジとは仲がいいので、グッドリッジを応援していました。

——たとえば小川選手の打撃はどう思いましたか？

桜庭　僕もグッドリッジとか、ああいうタイプと試合したらああなるかもしれないんで、べつに打撃に関しては何も言えないですけど、グラウンドのポジションを取るのは巧いんじゃないですかね。

——もしマッチメイクされちゃったらどうしますか？

桜庭　まあ、いつもと変わらないと思いますけど、体重も違いますから。

——じゃあ、桜庭さんの道場主でもある高田延彦選手とマーク・ケアーの試合はどう思ったんですか？　僕はあの試合に関して言うと、語弊のある言い方ですけど、プロレスラーらしい、いい負け方だったなと思ったんですけどね。

桜庭　いやあ、それでいいんじゃないですか。やっぱり実際にあの化け物みたいなケアーと肌を合わせてみて、高田さんも「ケアーも人間なんだな」と思った部分もあるんじゃないですかね。

——桜庭さん、マーク・ケアーと対戦してみたくはない？

桜庭　い、嫌ですよ（笑）。

——「霊長類最強」なのに（苦笑）。そういえば、ドリームステージから表彰された時に、高田選手が「今度は桜庭に弟子入りしたい」って言った、とスポーツ新聞に書いてあったんですけど、弟子入りしたんですか？

桜庭　そ、そんなの冗談に決まってるじゃないですか（笑）。

——あ、冗談だったんですか（笑）。もし、弟子入りしてきたらどうします？

桜庭　断りますよ（笑）。指導しづらいじゃないですか。高田さんと僕の闘い方は違うので、アドバイスにならないっていうか、難しい部分がありますけどね。

——で、一時期、高田選手が新日本のリングに上がるという噂がありましたけど、桜庭さん的には「高田さんがやりたいんだったらどうぞ」っていう感じ？

▲「髙田さんが弟子入りしてきたら？　断ります（笑）」と桜庭

バーリ・トゥードのタッグマッチ？　やれるんじゃないですか

桜庭　ええ、僕もやってみたいですよ。

――へえ〜。相手は誰と？

桜庭　相手は……やっぱりジュニアヘビーの人ですねえ。

――ボクはケンドー・カシンと桜庭さんがやったら、って思うんですけど、桜庭さん的には？

桜庭　それはフランク選手……、いや（間違われないように）フルネームで言いますけど（苦笑）、フランク・シャムロック選手の言う「ファイト」をやれっていうことですか？

――いやあ、「ファイト」はやってほしいけど、ルールはべつに何でもいいです。

桜庭　とりあえず試合が組まれればいいんですね。だったら、やってみたいですね。やっぱり一つのものをやっていると、偏ってしまうので、あんまり偏りすぎないようにしないと。

――というか、フランクは「ショー」「スポーツ」「ファイト」と三つに分けたけど、僕は同じ範疇の中の話だと思ってるから。

桜庭　僕も同じものだと考えていますけども……、まあ少し違いますけどね（苦笑）。ただ、その違いは空手の流派の違いだとか、そういう感じだと思います。

――たとえば、相手の名前を強いて挙げるとすると、「せっかくだから獣神サンダーライガーとやりたい」とかっていう気持ちはないですか？

桜庭　ああ、ああ、ライガーさん。ライガーさんとは昔、Uインター時代に試合が組まれていたんですけど、ライガーさんがケガしちゃったんで、代わりに折原昌夫選手とやったんですよ。だから、そういうことを考えれば、ライガーさんとやってみたいとは思いますよね。

――その時だけマスクを被るとか、そういうのはないんですか（笑）。

桜庭　カッコいいマスクを用意していただければ被ります（笑）。

――楽しそうだなあ。で、話は変わりますけど、桜庭さんは掣圏道ってどう思います？

桜庭　僕はちょっとわからないです。

――「総合格闘技」じゃなくて、「21世紀の市街地型実戦武道」らしいんです。

桜庭　どういうことですか？

――総合格闘技は一対一を想定してるけど、掣圏道は一人対複数を想定しているらしくて、下になっちゃったら他の奴に殴られたりするから下になっちゃダメだっていう論理らしいんですよ。だから、ニープレスっていう状態であれば、他の人も牽制できるし、下の人間も殴ることができる、その体勢が最強の体勢だそうなんです。

桜庭　ははあ〜。だから「とにかく上になれ」ってことなんですよね。でも、その体勢で下からキンタマをつかまれたりしたらどうするんですかね？　人間はやっぱり殴られたら放しますかね。

――どうなんですかね（笑）。でも、言ってる意味はわかります？

桜庭　わかりますよ。

――なんとなくその通りかな、という気もするし、でもそんなもんなのかなっていう気もするし。

桜庭　それはその通りだとは思いますけど、僕が今やってることは一対一の勝負で、それは一対五とか一対十の勝負の世界ですから。まさかそれ（一対複数）をリングで見せることもないだろうし（笑）。

――というのは、掣圏道の理論だと、バーリ・トゥードでのタッグマッチがやれそうなんですよ。

桜庭　えっ、タッグマッチですか。そう言われるとやりたいですねえ。

――というか、桜庭さんにはその経験があると思うんですよ。

桜庭　いつですか？

――厳密に言うと「バーリ・トゥード」じゃないけど、「10・9」と言われる東京ドーム（95年10月9日）で桜庭＆金原弘光VS永田裕志＆石沢常光でやってるじゃないですか。

桜庭　ああ。

――あのメンツは、いわゆる「プロレスラー」ですけど、総合格闘家に近いプロレスラーだったから、試合を見ても一回もロープに飛ばさないし、ガンガン蹴ってるし、極め合ってるし。あれは「プロレス」のなかでも、総合格闘技のタッグマッチだなあと思って見てたんですよね。

桜庭　やってみたいですねえ、バーリ・トゥードでタッグマッチ。今度お願いしてみます、ドリームステージに（笑）。

――正直な話、やれるもんですかねえ？

桜庭　やれるんじゃないですか。タックルしてまず自分のコーナーに連れてきて、マウントになってボコボコッて殴って、抑え込んでいてタッチして入れ替わって、また殴って。でも、それはエスケープはアリにしないと。

――もちろん、カットプレーはナシ？

桜庭　カットプレーしたらもう、2対2のケンカじゃないですか、それ。バトルロイヤルでも凄いですよね、もう乱闘ですよ!!

――いや、見たいなあ、高田＆桜庭VSヒクソン＆ホイス。

桜庭　それなら僕らが勝ちますよ。

――早くも勝利宣言しますか!?　でもなぜ？

桜庭　僕らのほうがタッグ慣れしてるもん。だからそれでもいいですよ。佐野（なおき）さんも入れて、向こうはホイラーを入れて6人タッグとか（笑）。僕がホイスを羽交い絞めにしてますから、そこにミサイルキックやってもらって。

――楽しそうだなあ。そしたら、その後は絶対に「ノーフィアー」の世界タッグ王座に挑戦してくださいよ（笑）。■

KAZUSHI SAKURABA

桜庭和志サイン入り髙田道場Tシャツプレゼント！

さあさあさあさあさあ、ご用とお急ぎのない方は寄ってらっしゃい、見てらっしゃい。あの桜庭和志の直筆サイン入り髙田道場Tシャツを限定一名様に大プレゼントだ！　左肩にヒッソリとサインを入れるなんざあ、桜庭らしく、おくゆかしくていいじゃねえか。詳しくはP.44の応募要項を参照してくれい。たくさんの応募を心より待ってるぜい！！

髙田道場情報！　髙田道場では随時会員を募集中。詳細は髙田道場（☎03-3755-1444）まで。また今号には一日体験クーポン券（P.3参照）も付いているので、活用してみるってのもアリだよね。

田村潔司（リングス無差別級王者）

桜庭戦？やれるなら髙田さんと闘いたいです。

前田日明が引退した今、その大黒柱となった田村潔司。
また「リングス無差別級王者」としてトップに位置する田村潔司。
本誌初登場にもかかわらず、なぜか「気分が悪い」を連発。
タイトルマッチ直前の田村にいったい何が起こったというのか。
注目の他団体選手へのコメントも含め、田村の“現在”をお届けする――。

構成◎“Show”大谷泰顕
写真◎乾晋也

いやいやいや。

浜アリーナ）で言ってましたけど。い

――あっぁぁぁぁぁぁっ！（ガシャンッ！＝コップを倒す）これ、動くんだ！

田村　どうしたんですか？

――ごめんなさ～い。今、脚を伸ばそうとしたらテーブルが動いてコップが倒れちゃいました（苦笑）。

田村　どこか気分でも悪いんですか？（笑）。

――ごめんなさ～い、大丈夫ですか？

田村　僕は大丈夫です（笑）。

――フーッ。でー、この間の試合（6月24日、後楽園ホール）から1カ月以上経ったんですけど、その話から聞きたいんですよ。

田村　はい！

――田村さん的には、あの山本宜久戦は、どんな感じだったんですか。

田村　……いやあ、疲れましたね。

――ははあ～、率直に。あの時は山本選手の小川直也戦っていうのが決まる決まらないって話があって、田村さんもそれを知っていながら山本選手と闘ったと思うんですけど、やりやすかったですか？　やりにくかったですか？

田村　うーん、やっぱりイヤですね、ハッキリ言って。気分悪いですね。

――あー、気分悪い。で、結局、山本選手の小川戦は延期ということになったわけですけど、田村さん的にはどういう気持ちがするんですか？

田村　うーん、気分悪いです（笑）。

――さらに気分が悪い（笑）。

田村　はい。

――田村さんから見て山本VS小川戦がもしあったらどうなると思いますか。

田村　うーん…………、うーん……………、今の僕の立場（リングス無差別級王者）だったら気分が悪いです。

――はあ～ん、気分が悪いですか。

田村　はい。

――わかりました。でね、本誌の前号でフランク・シャムロック選手のインタビューをやったんですけど、彼曰く、いわゆるプロレスは「ショー」だと。で、パンクラスは「スポーツ」で、バーリ・トゥードは「ファイト」って三つに分けたんですよ。で、「リングスはどれですか？」って聞いたら「ただの『スポーツ』じゃなくて、前田日明イズムみたいなものも感じられるよ」みたいなことを言ってたんですよね。

田村　はい。

――で、フランク選手の見解を聞いて田村さん的にはどう思うのかなと。

田村　気分が悪いです（笑）。

――いいなあ（笑）。まあ、それはそれで気分が悪いと。

田村　それでいいんですか？（笑）。

――いやいやいや。

田村　あのー、僕は基本的に自分のスタイルでお客さんが喜んでくれたらいいと思っているんで、そういう分け方っていうのはどうでもいいんですよ。映画を観に行っても、サーカスを観に行っても、人に感動を与えられたりしますからね。だからまあ、そういうスタイル的には何でもいいんじゃないですか。柔道やってる人でもアマレスやってる人でも、観に来ているお客さんに対して、何かを残せれば。ええ。

――フランク選手と田村さんっていうと、春に試合しています（4月23日、大阪府立体育会館）けど、率直にあのフランク戦っていうのは？

田村　うーん………。僕も勝てた試合なんで、それがね、ちょっとね。それを落としちゃったんで、無性に気分が悪いです。

――へへへッ、それも気分が悪い（笑）。あのー、フランク選手は過去に船木誠勝選手とも闘っていて、田村さんともやっているんですけど、二人の違いを聞いたら、「スポーツ・スタイルのルールでは田村が上だろう。バーリ・トゥードだったら船木のほうが経験があるから上だろう」と言ってたんですね。

田村　まあ、無難な答えですけど、気分が悪いですね。

――またしても気分が悪い（笑）。

田村　でも、頭がいいですよね、そういう言い方をするっていうのは。

――そうか。やっぱり田村さんは「リングス・スタイルを守ります」って前田さんの引退試合の日（2月21日、横浜アリーナ）で言ってましたけど。いわゆるバーリ・トゥード系に関して、今はあまり疎遠っていうか。

田村　いや、あっち系は昔から疎遠ですよ、僕は。

――でも、一回アルティメット・ルール（95年12月9日、名古屋レインボーホールでのパトリック・スミス戦）をやってるじゃないですか。

田村　それを言われたらね、返す言葉はありません（笑）。うーん。昔のあれは僕が生き残るための手段であって。生き残る手段であんなことやっちゃうんだよねえ。

――へへへへッ。

田村　でも、生き残る手段だったら僕は新日本プロレスにも出てたかもしれないし、もう究極の選択でどっちを取るかっていったら、そっちを取っただけなんで。まあ、だからその時からの考え方も変わっていないですから。

――ふう～ん、そうかあっ。じゃあ、今もうバーリ・トゥード系の試合は、今生き残るためにやる必要はない？

田村　うん、やる必要はないですね。それ以前にやっぱりリングスにもチャンピオンがいて、ランカーがいるわけですから。そこをうまい具合に利用するじゃないですけど、リングスは何をやりたいのかっていうのが、今は全然明確じゃないですから。いつも言っているんですけど、リングスっていう団体じゃなくて、選手派遣会社になってしまうんなら、選手は自分でマネージメントすればいいですし、僕だって自分で『プライド』とかと交渉して、自

リングスが何をやりたいのか、今は明確じゃない

▲試合後、観客から「リングスコール」が沸き起こった田村VS山本戦（6月24日、後楽園ホール）

KIYOSHI TAMURA

分で金を稼げばいいことですから。

――じゃあ、田村さんはリングスという団体とスタイルを守るっていう意志を持っていて、まず自分としてはタイトル・マッチをこなして防衛していくことが第一っていうことですね。

田村 はい。バーリ・トゥード系っていうのは、やっぱり打ち上げ花火ですから次につながらないですよね。まあ、でもそれはウチの社長（前田）が決めることなんで。

――しゃ、社長が決めることですね。

田村 今のリングスのチャンピオンとしては、僕はもう全然気分が悪いです。

――ちゃ、チャンピオンとしてですね。じゃあ、気分が悪いまんまタイトル・マッチ（8月19日、横浜文化体育館でヨープ・カステルの挑戦を受ける）に向かうということですね。

KIYOSHI TAMURA

▲無精髭をたくわえた田村は「お金がないから散髪に行っていないんです（笑）」とタムタムジョークを交えながらコメント

船木戦？ 桜庭戦？ リングスルールでならやらせてもらいたい

田村 はい（笑）。

――その気分の悪いタイトル・マッチももう20日後くらいですけど……、どーなんですか体調とかその辺は。

田村 バッチリですよ。まあ、歳取ってきてるんで、疲れが取れないっていうのはありますけどね。

――相手としては申し分ないですか。

田村 ……ええ、申し分ないですね。申し分ないですけど、もうワンクッションというか、チャンピオンに挑戦できるまでの壁をつくってもらいたいですね。「前のチャンピオンに勝ちました。だから実績があります。じゃあチャンピオンに挑戦させましょう」じゃなくて、その前に次期挑戦者決定戦でもいいですし。そういうのを一個もってきて、タイトル・マッチに臨むようなパターンというか、そういうのがほしいですね。

――チャンピオンとして田村さんが挑戦者を指名するとか、そういうのはないんですか？

田村 そういうふうにもっていきたいですね、僕が。僕とやるために挑戦者決定戦をやれ、と。それをやらないと僕は挑戦を受けない、と。

――ふう～ん、そうかあっ。リングスはこれからどうしていけばいいんでしょう？ それは田村さんの中にはあるんですか。

田村 いや、今僕が言ったのがリングスの本来の姿なんですよ。

――ああーっ、そうかあっ。でもでも、本来の姿であればあるほど、田村さんにはバーリ・トゥードをもう一回やってほしいなあ、と思うんですよね。

田村 なんでですかあ！

――ワガママだから。僕も含めてファンというか見る側が。「なんで田村はリングス・ルールでしかやらないんだよお。バーリ・トゥードもたまにはやってくれよ～」って。別に毎回やってほしいとは思ってないだろうけどね。

田村 うーん。でも、できないですよ、僕。

――なんでですかあ！

田村 顔面パンチの練習してないから。

――ああーっ、そういう意味かあっ。

田村 ロープに飛ぶ練習や空中技の練習もしてないですから、新日本のリングに上がることもできないですし。だから「バーリ・トゥードをやれ」って言われてもできないですよ。試合をやることはできますけど、それで結果を残すとなると、また別の話ですから。だから、ルールっていうのは、これも前から言ってるんですけど、柔道とサンボ、柔道にいろいろな関節技が加わったのがサンボなんですけど、サンボのルールだったら柔道の選手はサンボの選手に勝てないんですね。柔道の全日本のチャンピオンでもサンボの選手には勝てないと思うんですよ。

――はいはいはいはい。そのくらい違うものだってことですね。

田村 そうです。

――それは、たとえばテニスの選手とバドミントンの選手が闘うためにはどうしたらいいかってなった場合に、平等な条件であるためには「卓球にしよう」ってなったら全然違うものになっちゃうということですよね。

田村 はい。

――でも、格闘技的にはテニスとバドミントンはどっちが強いんだろうって考えてるわけじゃないですか。

田村 それがダメなんですよ、おかしいんですよ。バドミントンはバドミントン、テニスはテニスで成り立ってるわけですから。だから、僕から言わせたら格闘技界がおかしい。格闘技界は気分が悪いです。

――あっ、それも気分が悪い（笑）。

田村 でも、これはあくまで僕の個人的なワガママなんで。

――いや、わかりますわかります。

田村 でも、僕もこれでもなんだかんだ生き残ってきてますから。そうやって自分の言いたいことを言って、消されるようだったらそれだけのもんですからね。

――僕もこの世界で自分のやりたいことをやって、消されるようだったらそれだけのもんですから、それはよくわかります。でも、リングスにもバーリ・トゥード系で結果を残してきている高阪剛選手がいるじゃないですか。ああいう姿を見ていると、田村さん的にはどう思うのかなあ、と。

田村 うーん、気分が悪いですね。

――なんでですかあ！

田村 僕の話をちゃんと聞いていました？

――うーん、あっ、そうかあっ。田村さん的にはちゃんとリングスの中で切磋琢磨してほしいんだ。

田村 はい。でも十人十色、人それぞ

機会があれば、ヒクソンに胸を貸します（笑）。弱いから勝ってますから

れの生き方があるし。

——そうかあっ。じゃあ、ちょっとリングスから話題が離れますけど、桜庭選手とか『プライド』のリングで結果を残している選手は……。

田村　気分が悪いですねえ（笑）。まあ、でもいいことだとは思いますけどね。桜庭とか、やっぱり実力がありますからね。元々、実力がある選手がああやって『プライド』っていうリングで認められたわけですから。それはそれで、昔いっしょに練習してた仲間としては、すっごい嬉しいですよね。

——僕らはやっぱり田村VS桜庭、田村VS船木でもそうですけど、考えちゃうじゃないですか。

田村　元々ＵＷＦのルールでやれる選手じゃないですか、船木さんも桜庭も。逆に僕はバーリ・トゥードのルールでやれって言われてもできないんで、それは難しいと思うんだけど。リングス・ルールであれば、向こうもこっちもできるんで、そういう土俵、ルールの中でできるならやらせてもらいたいですね。

——Ｕ系のルールなら、田村さんは絶対負けませんか。

田村　そうですねえ。でもね、『週刊プロレス』のインタビューで、僕が「桜庭とは今やっても僕が勝つ」って言ったら、次に桜庭のインタビューで「どんなルールでも田村さんには勝てる」という発言があって、それはなんか嬉しかったですね。

——へえ～、嬉しいものなんですね。

田村　ただ、それはやってみないと、結果は出てこないですから。

——昔の仲間っていう意味でいったら、今「ノーフィアーーーー！」ってやってるじゃないですか、高山善廣選手が（笑）。ああいうのを見るとどう思うんですか？

田村　いやいやいやいや……、ここは「気分が悪い」って言うところですか？（笑）。

——いやいやいやいや（笑）。

田村　いやあ、嬉しいですよ、やっぱり。純粋に嬉しいですよ。高山とかはああやってね、スタイル的には180度違うところでチャンピオン（大森隆男とのコンビで現世界タッグ＆アジアタッグ王者）ですから。ある程度、基本的なものはいっしょなんでしょうけど、覚えなければいけないことっていっぱいあるじゃないですか、向こうのスタイルで。

——はい。

田村　10段階で2か3くらいはわかっていても、残りの7段階はわからないですから。それを二年、三年か、そのくらいで練習して自分のものにして頑張って認められて、チャンピオン獲ったんですから。それはもうたいしたもんですよね。

——凄いですよねえ。

田村　はい。それはもう認めなきゃいけないですよね。だから嬉しいですよ。三年前の僕を見ているような感じですから。彼らもそういうふうに頑張って、結果を出してきたっていうことで、僕はそういう意味で尊敬もしてますし、偉いなと思いますね。

——えーっと、「ノーフィアー」って「怖いもの知らず」っていう意味らしいんですけどね。

田村　はあ。

——田村さんの怖いものって何です？

田村　ハハ。怖いもの？　オバケが怖い。

——なんでですか？

田村　オバケ、怖くないですか？

——こ………わいですよねえ（笑）。

田村　なんで怖いんですか。

——なんで怖いか………考えたことないですね。

田村　ハハ、僕も同じです（笑）。

——そうかあっ。たとえばね……、あっ、いいや、その話は。

田村　いいんですか？（笑）。

——はい、ゴキブ……、やっぱりいいです（苦笑）。

田村　なんか気分悪いですねえ（笑）。

——いや、あのー、田村さんがいたＵＷＦの仲間っていう意味でいったら、高田延彦選手がいるじゃないですか。

田村　はい。

——当時は「真剣勝負してください」っていう発言もありました（95年8月18日、東京ベイＮＫホール）けど、高田戦とかは考えたことありますか。

田村　うん、高田さんとはやりたいですね。

——あっ、そうですか。

田村　やりたいですけど、僕は若気の至りでああいう発言をしてしまったんで、まず高田さんのほうで溝があると思いますから。その辺に関しては素直に「あの時はすいませんでした」って謝って、そういう感情的な部分の溝をなくしてからやりたいですね。

——おおーーーーーっ！

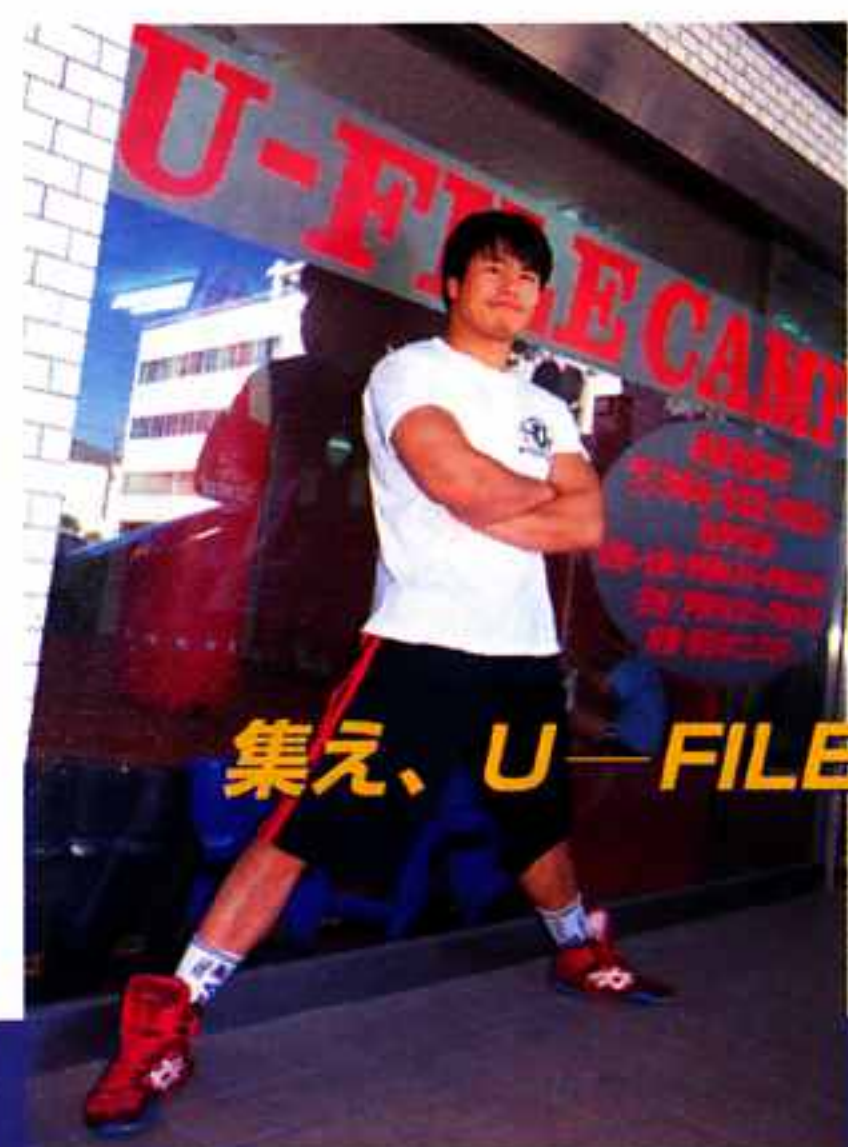
田村　一応、僕はリングスに所属してるんで、なかなか難しいと思うんですけど。もしやるとしたら、そういう溝をなくしてからやりたいですね。

——それは凄いです。あと一つ、一昨年だったかヒクソン・グレイシーについて田村さんに聞いたことがあったじゃないですか。

田村　その時もコップを倒しましたよね（笑）。

——ああ、ごめんなさ～い（苦笑）。で、その時にヒクソンについて聞いたら、田村さんは「どかしたいですね」って言ったんです。「ヒクソンのおかげでマット界がメチャクチャになっちゃったから」って。改めて今はヒクソンについてどう思ってるんですか？

田村　うーん………。ヒクソンに関しては、やっぱり高田さんとかが負けて、凄く悔しい気持ちっていうのは今でもあるんで。まあ、闘いたい気持ちはありますね。ただ、そんなに強い選手だとは思わないし、ヒクソンより強い選手っていうのは他にもいっぱいいると思うんですよ。まあ、ヒクソンに関しては高田さんが一回目に負けて

KIYOSHI TAMURA

集え、U—FILE！

「U—FILE　CAMP」では随時会員を募集中。小田急線向ヶ丘遊園徒歩5分。登戸郵便局前。入会金は2万5千円。月会費は一般会員で1万2千円（女性または学生は1万円）。これ以上の詳細を知りたい方は、U—FILE　CAMP（☎044-932-0282）まで。

KIYOSHI TAMURA

仕掛けられても、自分を見失うことはなかった。ただ、キレたら怖いと思う

（97年10月11日、東京ドーム）からの、なんとも言えない気持ちですね。その時、宮戸（優光）さんと、昔Uインターでお世話になった人と、5、6人でごはんを食べたんですけど、なんとも言えない雰囲気だったんですよ。

——はあ……………。

田村　僕も試合後に泣いたし、宮戸さんも泣いてたと思うんですよ。メシ食ってる時も思い出して宮戸さんは泣いちゃうんですよ。なんかその雰囲気がメッチャクチャ悔しくて。

——すっげ～えっ！　そんなことがあったんですかあっ！

田村　ホント、お葬式ですよ。だから、そういう気持ちがあるから、まあ機会があれば……、ヒクソンに胸を貸します（笑）。

——へへへへッ。素敵、素敵（笑）。

田村　でも、僕のことは眼中にないと思うんですよ。たぶん僕のことをヒクソンは知らないと思うんですけどね。

——ヒクソンはバーリ・トゥードの試合しかしないと思うんですけど、ヒクソンだったら田村さんも譲歩してバーリ・トゥードをやりますか。

田村　はい。弱いから勝てますから。まあ、ヒクソンに関しては、ですよ。それは高田さんなり、安生（洋二）さんがやられていますから。これは例外で、やれるのであれば個人的な闘いとして。ヒクソンは型にハメてるだけですから。立ち技にしても寝技にしても、技のバリエーションでいったら、僕らがやってるのが一番です。「ヒクソンとキック・ルールでやれ」って言われたらボコボコにできると思うんですよ。これはリップサービスじゃなくて。

——へえ～、本当に自信があるんですねえ。あの、もう一つ聞きたいんですけど。小川VS橋本真也戦（1月4日、東京ドーム）とか、いわゆる「ルールを超えて相手が仕掛けてきた試合」っていう意味では、田村さんと山本選手の初対決（96年12月21日、福岡国際センター）はそれに似たものがあったと思うんですけど、仕掛けられた時ってどういう気分なんですか？

田村　うーん、ムカつきますけど、なんか冷静なんですよね。昔、ゲーリー（・オブライト）と試合した時（95年6月18日、両国国技館）、知ってます？

——はい知ってます、両国でしたよね。

田村　そうです、そうです。あの時もなんか、（仕掛けられても）自分を見失うっていうのはなかったですし。でもね、自分で言うのもなんですけど、僕、キレたら怖いと思うんですよ。でも、山本にしてもゲーリーにしても、そういうことをされてもキレないんですよね。それ以上のことをされたら本当にキレちゃうと思うから、その時のほうが怖いと思いますね。どうなるかはわからないですけどね。

——そう言われると、そういう姿を見たくなっちゃうじゃないですか（笑）。

田村　そうなったらただのケンカになっちゃうから。本当に人を殺しかねないんで。

——じゃあ、プロレスラーになってからは、そういう経験はないですか。

田村　うん、ないですね。

——自分から仕掛けてやろうと思ったこともないですか。

田村　ええ、ないですね。たまにグリグリやる（二の腕を相手の顔に押しつける）くらいですね。

——ルール内で嫌がらせをするというか。じゃあ最後に、今ね、「プロレス」と「格闘技」って分けて言われるじゃないですか。僕、それが凄く気分が悪いんですよ。「プロレス＝格闘技」っていう考え方だから。

田村　僕はこだわりはないですね。「プロレスラー」でもいいですし、「格闘家」でもいいですし。昨日も紹介された時に「格闘技家の田村さんです」って言われて、なんかおかしかったんですけどね（笑）。まあ、どっちでもこだわりはないです。

——ムカつきもしないし、どっちでもいいんじゃないのって感じですか。

田村　はい。でも、絶対的な知名度では「プロレスラー」ですから。ただ、そうやって紹介される時に「プロレスをやってる」って言われると、「あっ、プロレスやってるんだ。大変ですね」って誰でもプロレスは知ってるじゃないですか。「カバディの選手です」だと、「ああ、カバディ」で終わっちゃいますからね。でも、「大変ですね」って言われるのがイヤなんですよ。

——あっ、イヤなんですか。

田村　もう、めんどくさくって。仕事の話するのがイヤなんですよ。どういう試合しているかを説明するのが。

——ああ、「血は出るんですか？」とか「電流爆破はやるんですか？」とか聞かれるのがめんどくさい？

田村　はい。だから、「まあ、とにかく一回見に来てください」って、それで終わり。それで遠回しにチケットを買ってもらう（笑）。

——それが一番大事なことですからね。わかりました。僕もこれからは田村さんを見習って「まあ、とにかく一回、僕の書いた記事を読んでください」って言います。それで遠回しにこの雑誌を買ってもらいま～す。

田村　なんか今回は気分悪いですねえ、最後まで（笑）。■

女性限定？
田村潔司直筆サイン入り、特製トランクスプレゼント

田村潔司がU―FILE　CAMPオリジナルトランクスにサインを入れて、本誌読者にプレゼントしてくれた。ただし、創刊2号の山本宜久のプレゼントが山本の希望により「女性限定」であることを聞きつけた田村は「じゃ、僕もそうしてください（笑）」と仲良く歩調を合わせ（？）女性限定に決定!!　詳しくはP.44の募集要項を参照のこと。

フランス『KARATE・BUSHIDO』誌提携

SRS DX

スペシャル・リング・ガイド

No.4 8・26号

CONTENTS

表紙デザイン◎小幡浩史 表紙写真◎長尾 迪

緊急大熱唱 格闘家の「プロ意識」

SRS・DXサスペンス

カラオケボックス・マウント事件①
プロとアマチュア論争の果てに凌辱されたオムライス。本誌の『貞(サダ)』の怨念がついに……

ターザン山本＝「格？」
サダハルンバ谷川＝「闘？」
Show（大谷泰顕）＝「技？」

司会◎柳沢忠之（本誌発行人）

プロの定義か？ そのヒントは前号の中にあったんだよ

山本 おいっ！ 谷川ぁ、また突然俺を呼び出したりしていったい何の用だぁ！

谷川 えーっと、前回の号で大反響を呼んだ座談会の第2弾を再びこのメンバーでやりたいと思います。

山本 で、なんでカラオケ・ボックスでやるんだ！

——んあ〜。いや、ちょっと唄も歌ってもらおうと思いまして（笑）。で、Showにはお得意のハーモニカを吹いてもらいますんで。

大谷 いや、ハーモニカじゃなくて、ブルース・ハープです！

山本 谷川ぁ！ お前は歌わないのか！

谷川 いやいや、もし山本さんが歌えとおっしゃるなら。で、前回、『プライド』の座談会で格闘家がいかに貧乏臭いかっていう話が出たんで、その続きとして今回は格闘家に今一番欠けているのがプロ意識……、じゃないかなあと思いまして。それについて、ちょっと話していきたいなあと思うんですが。

山本 それより前にさあ、まず一番に言わなきゃいけないことは！

谷川 はい……。

山本 サダハルンバ谷川と"世迷い人"Show大谷、お前らハッキリ言って、一生に一回くらいさあ、自分の言いたいことを言ったほうがいいんじゃないの？

谷川 んあああああーっ！ い、い、いや、言ってますよ。

——ダハハハハッ！

山本 今まで一回も言ったことないよ、お前らはホントに。

——いきなり結論！（笑）。一生に一回くらい言いたいことを言え。

山本 だって一回もないもん。こいつらはおべんちゃら野郎ですよおぉぉぉ！

谷川 いやいや、そんなことないです。Show、言いたいことちゃんと言え！

大谷 帰っていいですか、ボク。

山本 これは20世紀最後の真実ですよ！

谷川 Show、言いたいこと言えよ！ 今日は。

大谷 いえいえいえ、いいです。もうなんか、山本さんと一緒にいるのもイヤですから。

山本 お前、物を書いている人間が自分の言いたいことを言わないで、よく今まで生きてきたなあ、ホントに。

大谷 いや、そういう問題じゃなくて、じゃあ前号見ました？ まずは谷川さんですよ！ 小川直也のインタビューの中で「今日は小川さんにプロレスの定義を聞きにきました」って。それで「猪木さんは『プロレスは闘いである』、馬場さんは『プロレスはプロレスである』と言ってます。武藤さんは『プロレスは終わりのないドラマ』だと言ってます」って言ってるんですよ。

谷川 はい〜。

大谷 武藤は「プロレスはゴールのないマラソン」だって言ってるんですよ。「終わりのないドラマ」だなんて、一言も言ったことはないんですよ！ どういうことなんですか！

谷川 は、はあ〜？ そんなことどうだっていいじゃん（笑）。

大谷 よくないよ〜！

山本 どうだっていいことだよ。

——ダハハハハ、いきなりサダハルンバ擁護！（笑）。

大谷 だって、意味が違うじゃないですか！ 谷川さん、自分が知らないのにそういうこと言っちゃダメだよ〜！

山本 どうだっていいんだよ、谷川が勘違いしてることなんだから。今に始まったことじゃないよ。谷川の言ったことは訂正する必要はないんだから、ねえ？

谷川 そんなの、ねえ？ じゃあ、「間違ってました」って書けばいいんでしょ。

大谷 ダメだ、この人たちは。

山本 でも、あの小川インタビューは良かったよ。

大谷 うん、面白かった。

山本 面白かったというか、小川が面白いんだよね。谷川は一つも面白くないですよぉぉぉ！

大谷 あっ、オレ一個、今、プロの定義を見つけた！

山本 とにかく 言いたいこと言えよな。いつも俺だけに言いたいこと言わせて、俺一人が悪者か！ なぜ言いたいことを抑える装置が自分たちの中にあるんだ？

谷川 いやいや、ないですよぉ。

大谷 ボクは譲り合い精神なんですよ。「譲り合い埼玉」出身だから、ボク。山本さんに譲ってあげてるんだよねえ、分からないかなあ。

山本 二人とも、よく物書きの看板掲げてるなあ！

谷川 で、プロの定義って何を見つけたの？

大谷 落ちぶれて他人の悪口を言うことは、プロではない。

谷川 んあ〜！ もういいよ、山本さんに聞きましょう、プロの定義は。

山本 プロの定義か？ それ言うんだったらね、最初から説明すると、そのヒントは前の号の中にあったんだよ。

谷川 はあはあはあ。

山本 フランク・シャムロックがうまいことを言ってた。俺から言ったら、彼は墓穴を掘ったんだけど。

プロレス以外のファイターは「闘者」か「技者」のどちらかだ

——墓穴（笑）。

山本　大墓穴掘りだけど。「プロレスは『ショー』である。パンクラスは『スポーツ』である。バーリ・トゥード、アルチメット（本人発言ママ＝正確には『アルティメット』）は『ファイト』である」と言ったんだねえ。この定義は見事でね、感心したんだけど、大ミステイクしたんだよねぇ。なぜかと言うと、「格闘技」という言葉があるでしょ？　この「格」という概念は外国人にないんだよ、日本人だけのものでね。ホントはこれを取っ払って「闘技」でいいんですよぉ。よ〜するに「技」が「スポーツ」で、「闘」がバーリ・トゥードなのね。「闘」と「技」を合わして、それを培ってきたものにプラスアルファしたものが出てきた時に初めて「格」という概念が出てくるわけね。それで「格闘技」とつけたんだから、日本人というのはもう大天才なんだよぉ、俺から言わせたらぁ！　それで、その「格」というのは「闘」と「技」から培ったものからでき上がった、大きなプラスアルファのものだから、これは「格」＝「ショー」「プロレス」なんですよぉぉ！　「技」が一番下にあるということは、「技」はよ〜するに「スポーツ」でしょ。だから、パンクラスは一番下のランクなんですよぉ！　それよりも「闘」のバーリ・トゥードやアルチメットのほうが上なんだよぉ。でも、その上に一番頂上にあるのが「格」という概念であり、「ショー」という概念であり、「プロレス」なんですよぉ。だから、「プロレス」が一番上なんだよぉ！　「プロレス」＝「ショー」と言ったことは、たぶんフランク・シャムロックは軽蔑の意味で言ったけども、「ショー」にはお金を払えることができるけど、「闘」と「技」には金を払わないということだよぉ。

——ほおぉ〜。

山本　つまり、「ファイト」と「スポーツ」に何か大きなプラスアルファがあった時に初めて「ショー」になって金を払うわけよ。ここがよ〜するにプロフェッショナルの意識が出てくるかということの定義なんですよぉ。

——う〜ん、お見事！

山本　だから、「格闘家」という言い方をするけどね、違うんですよぉ。あれはね、「闘技者」なんだよ。「格」という言葉を使ったらプロの意識があるということなんですよぉ！　でも、今闘ってる人たち、プロレス以外のファイターを見たときは「格闘家」の「格」がついてないわけ。「闘者」か「技者」かのどちらかだ。違う？

——その通り！

山本　これですべてが言えるんですよぉ！

大谷　今さあ、パンクラスって話が出たんで……。

山本　一番最低なんだよ、パンクラスは。

大谷　いや、最低なら最低でもいいよ。昨日ね、パンクラスの試合があったんですよ。近藤有己選手がジェイソン・ゴトシーという選手と試合をしたんですよ。で、勝って、試合後のコメントで「僕は今度、タイトルマッチを國奥選手と争うんだけれども、そこでプロレス大賞の『年間最高試合』を狙います」って言ったんですよ。それで、それをそのまま國奥麒樹真選手に伝えたら、「僕もそんなの当たり前ですよ」って言ったんですよ。山本さんが言う一番下のレベルにいる人たちだって、ちゃんとプロレス大賞の「年間最高試合」を狙ってんですよ。そういう気持ちってボクは大事にしなきゃいけないと思うし、そういう選手がいるっていうことは忘れてほしくないよね。

山本　「スポーツ大賞」でも狙ってほしいねぇ〜。

——ダハハハハッ！　だからそういう「闘技者」も、リング外というか、しゃべりで「格」を狙おうとするんじゃないの。

大谷　でも、パンクラスには「格」はあるでしょ。船木誠勝、鈴木みのるがいるんだから、ちゃんと「格」はあるじゃないですか！

山本　違う！　「格」があると言った瞬間に、パンクラスにはヒエラルキーがあるということになるんだよ。

——う〜む、なるほど。

山本　船木、鈴木という階級があって、その下に冨宅とか柳澤の階級があって、その下に山田なんかの階級があって、近藤なんかの階級があって、ブラッドなんとか？

大谷　ネオブラッドです！

山本　そのネオブラッドの階級がある。つまり、パンクラスというのは5層に分かれた階級社会なんですよぉぉぉ！　これはもうカースト社会と言ってもいい。

——か、か、カースト制度！（笑）。

山本　スポーツという名のカースト社会なんですよぉ！

大谷　なんで!?　パンクラスはプロレスじゃないですか。

山本　最も「格」というものを否定した5層の世界ですよぉ！

——カーストっていうことは、生まれ変わってもダメってことですよね。

山本　そうそうそう（笑）。なんぼ生まれ変わっても、キング・オブ・パンクラシストになっても、その階級は越えられないんですよぉ！　パンクラスは永久カースト制度ですよぉ。

大谷　あ〜あ、もう知らない。

谷川　俺はパンクラス、よく分からないからなあ。

――こんなとこでまた日和見か（笑）。

山本　お前、なんでそうやって自分の言いたいこと言わないんだよぉ！　一生に一回言えよ、パンクラスに対して。

谷川　んあ～、でも、パンクラスはよく分からないから。最近は全然見てないし。でも尾崎社長のことはよく分かりますよ。僕らは厚い友情で結ばれていますから。事情があってまだご挨拶に行っていませんが、尾崎さん、誌面を借りて残暑お見舞い申し上げます。

山本　そんなことはどうでもいいんだよ！　だから、「格」と「闘」と「技」の話を今しただろ。「スポーツ」は一番下なんだよ。それで一番上の世界に「プロレス」があるんだよ。「プロ意識」というのは、その一番上の段階のことを言ってるの！　だから、アメリカ人は偉いよ。真ん中のアルチメットで成功した人間が、ウェイン・シャムロックでもタンク・アボットでもプロレスに行くでしょ。「格」の世界に行ってるんだよぉ、彼らは。だから、彼らはランク付けができてるんですよぉ！

――その通り！

山本　ウェイン・シャムロックは階段を上がったことになるでしょ。これこそがアメリカン・ドリームじゃない。「プロ意識」がどこにあるかと考えた時に、アルチメットにはなくて、ＷＷＦにあったということでしょ。証明されてますよぉ。なぜ、ドン・フライがアルチメットやって新日本プロレスに行くんだよぉ！　上を目指して行ってるんだよぉ！

大谷　じゃあ、髙田延彦はなぜバーリ・トゥードに関わっちゃったんですか？

山本　………あれは借金ができちゃったからやったんでしょ。

――ダハハハッ、そんなバカな（笑）。

大谷　借金ができるとバーリ・トゥードをやるんですか？　どういう意味？　説明してくださいよ。

「プロ意識」はアルチメットにはなくて、ＷＷＦにあったということでしょ

山本　Uインター時代の借金があったから、バーリ・トゥードをやらざるを得なかったということが『週刊ファイト』に書いてあったよ。読んだもん、俺。

――「読んだもん、俺」って（笑）。

山本　あれは妙にリアリティがあった。借金があったから彼はプロの世界からアルチメットの世界に落ちたんだよぉ。普通は落ちないよぉ。

大谷　ダメだ、このおっさんは。

谷川　あのー、山本さんの言う「格闘技」の定義は凄く面白いんですけど、「格闘技」の「格」っていうのは、「格」っていう字自体が「闘」の意味なんですよ。

山本　な～にを言ってるのか、意味が分からんなぁ。

谷川　本当の意味は「闘技」でもいいし、「格技」でもいいんですよ。だから学校体育とかで空手とか柔道の授業のことを「格技」って言うんですよ。

大谷　ああ、言ってる、言ってる。

山本　それはよ～するに、「闘」と「技」に付加価値がないから「格」というものを付けてるんですよぉ。「格」というのは越えた世界なんだよぉ。

谷川　だから、その話はそれで僕はいいと思います（笑）。

――いいのか、おい！（笑）。

谷川　ただ、漢和辞典の「格」の意味は「闘」っていう意味なんですよ。

山本　ということは、その「闘」はよ～するに「闘」の闘いよりも、もっとグレードの高い闘いのこと、つまり「プロレス」だよな。

谷川　そうなんですよ。「闘技」よりもグレードの高いものを「格技」って言うんですよ。それは「格闘技」よりもグレードが高いっていう意味で。

山本　それは学校教育はさぁ、「格技」というのは「闘技」というものの中にアルチメット的なヤバさがあるから避けているんだよ。うまくすり替えてるな、それは。「格技」と言えば教育的概念みたいなものになるから。「闘」ということを避けて通ってるもん。

谷川　まあ、それはどうだっていいことなんですけどね。

――どうだっていいことだそうです、言いたいことを言わない人的には（笑）。

谷川　一応、言っておこうかなあと思って（笑）。

山本　谷川ぁ！　お前はまたそこですり替えるかぁ！　無責任体質の極みだよぉ！　よ～くそれでマスコミやってるなぁ！

――あなたの元部下ですよ（笑）。あっ、注文したオムライス来ましたよ。

谷川　あっ、美味しそうだあ！　でも確かにＫ―１の一番面白くない部分っていうのは、「スポーツ」の部分ですね。

山本　おい、この発言ちゃんと載せろよ。だからＫ―１は「スポーツ」ということだから、選手も「なんだ自分たちは一番下のランクなんだ」と思わないと。一番安全地帯ですよぉ。「ショー」といったらよ～するに、「闘」の中に物凄くドロドロとしたエゲツないものだとか、いろんなものが、もっと感情的なものが加わってるわけでしょ。で、そういう「格」的なもっと高いものはＫ―１には必要ないか

自らを過剰にし、世界を過剰にしていくのがプロ意識なんだよぉ！

ら「スポーツ」にできてるわけ。たまたま現代では安全パイだよね。
谷川 そ、そうですね。
山本 でも、俺たちが求める「闘い」というのは安全パイを超えたところのヤバイ闘いか、よ〜するに「アートな闘い」を求めてるわけ。「闘」というのはよ〜するに「ヤバイ闘い」のこと。「格」というのは「アートな闘い」のことだから。「クリエイティブな闘い」のことを言ってるんだよぉ、俺は。
——「クリエイティブな闘い」（笑）。
山本 俺はプロレスは「クリエイティブ」で「アーティスティック」だと言ってるんだよ。それは猪木さんが言ってることなんだよぉ。とにかく「闘技者」がプロ意識を持つためには、「闘」とか「技」を超えたプラスアルファというかさぁ、そういうものが自分の中に芽生えた時に、初めてプロ意識が出てくるんだよねぇ。でも、格闘家はそういうものを「求めようとしないのか」、「素養がないのか」、「拒否してんのか」、という3つのことで「格」にならないからプロ意識が出てこないんだよぉ！
——また3つか（笑）。マスコミにもまったく同じことが言えるね。
谷川 言えます。
山本 だから、自らを世間に対して過剰なものにしていくのが一番のプロレスラーなんですよぉ！ アントニオ猪木は、自分を世界に向けて、あるいは観客、マスコミに向けて、過剰な存在にしたんだよねぇ。俺たちはその過剰なものを見て、過剰に愛していったんだよぉ！ それが一番、プロフェッショナルなメッセージ交換なんだよぉ。自らを過剰にし、世界を過剰にしていくのがプロ意識なんだよぉ！ で、格闘家は自らを等身大の世界に止めているんだよぉ。それをアマチュアというんだよぉ！ 自らを過剰にするからファンがその過剰なものを愛して、それがお金になるわけよ。
谷川 格闘家はどうやって「格」を見つけていけばいいんでしょうねえ。
山本 でも、極真にはあるじゃない。「極真」という習性を伝播させてるから。
——過剰な世界ですよね。
山本 あれは過剰だもん、プロですよぉ。過剰なものを一つのパワーにしようとして、極真魂とか極真精神とかを大山倍達先生が作ってきたんでしょ。
——たぶん、そこで大山倍達を意識していない選手は過剰になれないんでしょうね、絶対に。
山本 だから、大山倍達は過剰なものがプロであるということをよく知ってたから、極真というものを過剰なものに過剰なものに作り上げたわけね。芸術です、それは。芸術とはそういうもんでしょ。
——そういうことです！
山本 ベートーベンが曲を作るのだって過剰に過剰に考えてるから「運命」とか「第九」ができるんだよぉ。ピカソだっておんなじですよぉ！ でも今の平成の時代が、過剰なものとか突出したものとかカリスマ的なものを拒否してる時代なんですねぇ。
谷川 山本さん、僕、気がついてみれば……。
山本 （無視して）たとえば作家の村松さんも猪木の過剰なところを愛したわけよ。村松さんの好きな、あのスーパー歌舞伎をやってる猿之助も過剰なものを求めてああなったわけでしょ。なぜかというと、破壊しないことには創造ってないんだよぉ！ とりあえず、一番大前提は破壊して、創造するということだから。馬場さんは破壊しないでやるわけでしょ。とりあえず破壊という行動に出ないことには新しいものは生まれないからね。猪木さんはとにかくなんでもかんでも破壊した。それは過剰な精神から生まれるもんなんですよぉ。そこがプロだと言ってるわけよ、俺はぁ。
谷川 気がついてみれば山本さん、僕もそれが好きでした。
——ダハハハハッ！
山本 お前な、物事を後付けしないで先に言え、それを。
谷川 なかなか気がつかないもんで。だからカバンとか携帯電話とか、いつもどこかに忘れてきちゃうんですよねえ。
山本 先に言うのが俺たちプロじゃないかぁ！ 後付けして感じるのは大衆そのものなんだよぉ！ 市民とかね。
——究極の小市民魂（笑）。
谷川 いやいや、なんかそういえば過剰なものが好きだったなあ、と。
山本 コイツはいつも後付けして言うでしょ、こうやって。自分が最初に「こうだ！」と思って言うのがマスコミじゃねえのか！ フライングしろ！ 谷川ぁ！
谷川 知らないうちに桜庭になってましたよ、気がついたら（笑）。
山本 後付けの帝王だな。本当は違うんだよ、絶対に違うんだよ、谷川は。俺たちと一緒なんだよ、毒だらけの人間なんだけどさぁ。
谷川 いやいや、滅相もない（笑）。
——でも、石井館長はやっぱり壊しましたもんね。破壊者ですよね、あの人は。
山本 だって空手の先生やってた人がなんであんな大きな興行やるの？
——そういう意味で館長はプロレスラーに見えますよね。
山本 プロレスラーですよぉ。だから、

K-1はさぁ、そのスペアがないのに

やかましい！この野郎おおっ！

▲Showのシュートに対して突如キレたターザン。今年で御歳53歳！ ちなみにターザンの背中に伸びている手は両者の間に止めに入ろうとしたサダハルンバのものだが、どう見ても背中を押しているようにしか見えない

K―1はさぁ、そのスペアがないのに非難する意味はないんだよねぇ

過剰な精神を持ってたから、興行もやるしメディア、テレビとひっついて、どんどんプロの世界に行っちゃったじゃない。だから、普通、空手の先生でそんなになるはずはないよぉ。せいぜい40、50人とか100人の生徒を相手にしてる世界でしょ。過剰になりようがないですよぉ！

谷川 でも、K―1は問題ですよ。

山本 それ言えよ、お前！

谷川 いや、問題だと思いますよ、今聞いてて。なるほど、その通りだと思って。

山本 また後付けじゃねえか！

谷川 んあー。

山本 でもね、K―1はさぁ、非難しちゃいけないんですよぉ。このマット界というかさぁ、格闘技界やプロレス界で成功してるのはK―1しかないでしょ。それは潰しちゃいけないんだよ、ハッキリ言ったら。やっぱり、たまたまこういう形で成功したものは、育てるか生き残ってもらわないと困ると思うんですよぉ。そのスペアがないんだから。そのスペアがないのに、非難する意味はないんだよねぇ。でも、非難しないことには本当の成長はしないんだよぉ。

――ねえ、その成長が問題ですよね。どうやって成長させたらいいんだろう。

谷川 まあ、願うしかないね。

――ダハハハハッ！ K―1解説者として、なんちゅう発言だ（笑）。

山本 いや、対抗馬とかライバルの存在が出たら成長するんですよ。今は対抗馬がいないでしょ。そうしたらやっぱり停滞するよぉ。

谷川 やっぱりそういう対抗馬が出現るように、神頼みしかないですね、K―1は。Show、お前もいい加減に喋れよぉ。なんで今日は黙ってるんだよ。僕だってがんばって言いたいこと言ってるんだから。

大谷 もう～、やめましょうよ、こんな座談会。なんだかバカらしくって飽きちゃった。

――お前はどうしてここで水を差す！ じゃあ、お前は最初から。山本さんの言う「格」と「闘」と「技」の中でどれが好きなんだ？

大谷 いや、ボクは「プロレスは闘いである」。

――なんだ、そりゃ（笑）。

大谷 それ以上の意味はないです。

山本 だめだよぉ！ こいつは言語を持ってない男だから。何を聞いてもダメ。

大谷 そんなの「アマチュア以下」の人に言われたくないですね。だってプロじゃないしアマチュアでもないもん、山本さんは。

――どうします？ こいつシュートを仕掛けてきましたよ（笑）。

大谷 だって、山本さんはとりあえず無責任に言えばいいだけなんだもん。

山本 やかましい！ この野郎ぉ！

〈ここでターザン山本、いきなりShowにつかみかかる。ガシャーンッ！ ドーンッ！＝テーブルが倒れそうになり、食事の皿やコップが倒れる〉

――危ない！ 危ない！

谷川 あぁぁぁぁぁぁぁ～っ！ 僕のオムライスがぁ……。

〈ドーンッ！ ガッチャーン！ ガタンッ！ ガタンッ！ ガーンッ！ ガッガラララ～ンッ！〉

この後、驚愕の結末が！ 以下次号。

NEXT ISSUE 次号予告

SRS DX
スペシャル・リング・サイド

毎月第2・第4
木曜日発売！
定価680円（税込）

次号の発売日は
8月26日
(木)です！

8・19 リングス横浜文化体育館大会
田村vsカステル、髙阪vsアイブルの行方

8・17 全日本キック後楽園大会
魔裟斗、小比類巻、立嶋登場！

特集
8・22 K-1スピリッツ'99速報
佐竹vsグッドリッジ戦をはじめ、
緊張感あふれる闘いが満載！
この大会は、久々の活字K-1である。

キラー佐竹がスポーツライクなK-1をぶち壊す！

格闘技ファンの皆様、もう本当に
そろそろ目を覚まして下さい!!

夏の格闘技Tシャツ大特集

8/11 WED ～ 8/26 THU
CALENDAR

8/11 WED
★『SRS・DX』4号発売日

8/12 THU
●フジテレビ系『SRS』(25:20～25:50)放送⬅p77

8/13 FRI

8/14 SAT

8/15 SUN

8/16 MON

8/17 TUE
■全日本キックボクシング連盟/東京・後楽園ホール(18:30～)⬅p56

8/18 WED
◆K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS 開幕戦/FM802『ロックキッズ802』番組特別予約⬅p54

8/19 THU
●フジテレビ系『SRS』(25:20～25:50)放送⬅p77
■リングス/神奈川・横浜文化体育館(19:00～)⬅p55

8/20 FRI

8/21 SAT

8/22 SUN
●K-1 SPIRITS'99/有明コロシアム(11:00～)⬅p54
◆K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS 開幕戦/大先行予約⬅p54
◆PRIDE.7/チケット一斉発売⬅p56

8/23 MON
◆K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS 開幕戦/関西テレビ『SOLD OUT 番外編』番組特別予約⬅p54

8/24 TUE

8/25 WED

8/26 THU
●フジテレビ系『SRS』(25:20～25:50)放送⬅p77
★『SRS・DX』5号発売日

格闘技 パーフェクトガイド
Perfect Guide

大会ガイド&チケット情報

K-1ジャパン・シリーズ

佐竹vsグッドリッジ正式決定！
K-1史上に残る異種格闘技バトルの行方は…

K-1 SPIRITS'99 ～魂の戦い～
JAPAN GRAND PRIX'99
8月22日(日)　東京・有明コロシアム

◆開場／10:30　試合開始／11:00
◆入場料／SRS席20,000円　SS席15,000円　S席8,000円　A席5,000円
◆チケット発売日／発売中
◆チケット発売所／チケットぴあ、チケットセゾン、ローソンチケット、CNプレイガイド
◆会場アクセス／マップを参照
◆お問い合わせ／K-1 JAPAN事務局☎03-3796-2977

〈K-1スーパーファイト〉
佐竹雅昭 vs ゲーリー・グッドリッジ
(日本)　(トリニダード・トバコ)

◎K-1スーパーファイト・その他の対戦カード
前田憲作(日本) vs カリム・ナシャー(オーストラリア)
マイク・ベルナルド(南アフリカ) vs ロニー・セフォー(ニュージーランド)
アンディ・フグ(スイス) vs モーリス・スミス(アメリカ)
※トーナメント表は、P27に掲載しています

本誌既報の通り、今大会で佐竹雅昭vsゲーリー・グッドリッジの異種格闘技対決が実現することになった。グッドリッジといえば、その豪腕でノールール界にその名を轟かせている強豪で、『PRIDE.6』では小川直也を打撃で追い込んでいる。また、K-1初参戦の『K-1リベンジ99』では、武蔵を反則の金的蹴りで昏倒させる暴走ファイトを見せている。手強い相手だが、他ジャンルの選手との絶対に負けられない試合になればなるほど、俄然、強さを発揮するのが佐竹という男。これまでにも、ドン・中矢・ニールセン、キモなどとの"他流試合"を通して、凄みを見せつけてきた。試合というよりケンカ。そんな闘いこそ、佐竹の真骨頂といえる。有明では、"キラー佐竹"の危険な魅力が爆発しそうだ。

広報／石井俊治さん
「トーナメント準決勝で実現しそうな中迫vs大石は負けた方がボウズになるみたいですよ。でも、大石選手は元々ボウズなんですけどね。どうするんだろう？　中迫は気合いが入っていて、もし優勝したら佐竹に挑戦表明する気らしいです。それと、佐竹は本間聡選手と秘密特訓を行っていて、なにやらマウントパンチの練習をしているとか…。あっ、これはオフレコですよ。絶対書いちゃダメですからね！」

有明テニスの森
至お台場
有明コロシアム
東京都立
有明テニスの森公園
首都高速湾岸道路
国際展示場駅
有明駅

K-1グランプリ・シリーズ

K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS 開幕戦
10月3日(日)　大阪ドーム

◆開場／11:00　試合開始／13:00
◆出場予定選手／ピーター・アーツ、アンディ・フグ、マイク・ベルナルド、サム・グレコ、アーネスト・ホースト、レイ・セフォー、佐竹雅昭、ジャビット・バイラミ、ロイド・ヴァン・ダム、ステファン・レコ、サミール・ベナゾーズほか、K-1ジャパングランプリ'99上位2名、館長推薦枠2名
◆入場料／SRS席30,000円　RS席20,000円　SS席15,000円　S席10,000円　A席5,000円
◆チケット発売日／8月29日(日)一斉発売
◆会場アクセス／地下鉄大阪ドーム前千代崎駅すぐ、地下鉄九条駅徒歩9分、JR環状線大正駅徒歩7分
◆お問い合わせ／ステージア・K-1大阪事務局☎06-6344-4441、K-1GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977

K-1 GRAND PRIX'99決勝戦
12月5日(日)　東京ドーム

詳細未定
◆会場アクセス／JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ／K-1 GRAND PRIX事務局☎03-3796-2977

◎K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS 開幕戦チケット発売所
8月29日(日)一斉発売

チケットぴあ　☎(特電)06-6363-9911
※8月30日(月)～　☎06-6363-9999
チケットセゾン　☎(特電)0570-00-0097
※8月30日(月)～　☎06-6232-9999
ローソンチケット　☎(特電)06-6369-6655
※8月30日(月)～　☎06-6369-6633
(Lコード　55600)

◎K-1 GRAND PRIX'99 ALL STARS〈開幕戦〉
8月18、22、23日に先行予約あり！

[番組特別予約]
『ロックキッズ802』FM802
8月18日(水)16:00～19:00　☎0570-00-0098

[大先行予約]
『K-1 SPIRITS'99』日本テレビ24時間テレビ
8月22日(日)12:00～20:00　☎0570-00-0098

[番組特別予約]
『SOLD OUT番外編』関西テレビ
8月23日(月)24:25～29:00　☎0570-00-0097

◎主なチケット発売所は、P83『イエローページ』をご覧下さい

リングス

全対戦カード決定!
リングスの“今”がここにある

RISE 5th

8月19日(木)
神奈川・横浜文化体育館

〈リングス無差別級王座タイトルマッチ/30分一本勝負〉
田村潔司 vs ヨープ・カステル
(リングス・ジャパン)　(リングス・オランダ)

山本宜久vs小川直也は小川のケガにより延期となってしまったが、決定した今大会のカードは、どの対戦も今後のリングスを語る上で重要なテーマを含んでおり、期待度は高い。メインに出場する田村はカステルと王座防衛戦を行う。6.24後楽園大会でビターゼ・タリエルを破りトップコンテンダーとなったカステルを相手に、どれだけ“らしさ”を見せられるか。田村には、王者として、またリングスの顔として、勝利以上ものが求められる。セミではUFC帰りの高阪がアイブルとのリベンジ戦に挑む。前回同様、凄絶な打撃戦が展開されそうだ。

◎その他の対戦カード

〈ランキング戦/30分一本勝負〉
ギルバート・アイブル(リングス・オランダ) vs 高阪剛(リングス・ジャパン)
金原弘光(リングス・ジャパン) vs 坂田亘(リングス・ジャパン)

〈20分一本勝負〉
成瀬昌由(リングス・ジャパン) vs ウィリー・ピータース(リングス・オランダ)
滑川康仁(リングス・ジャパン) vs 上山龍紀(U-FILE CAMP)
リー・ハスデル(リングス・イギリス) vs リカルド・フィエート(リングス・オランダ)

◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆入場料/ロイヤルリングサイド20,000円　アリーナリングサイド15,000円　リングサイド10,000円　アリーナSS6,000円　スタンドS7,000円　スタンドA5,000円　スタンドB3,000円　学生特別優待席A2,000円　学生特別優待席B1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、ローソンチケット、オデッセー、後楽園ホール、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店
◆会場アクセス/マップを参照
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999、WOWOW情報ダイヤル(24時間テープ案内)☎045-683-8009

BATTLE GENESISVol.5
9月15日(祝・水)　東京・後楽園ホール

◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆主な対戦カード/未定
◆入場料/リングサイド席12,000円　S席8,000円　A席5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、ローソンチケット(Lコード39249)、後楽園ホール、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、書泉ブックマート、大山アメリカン、チャンピオン、フィットネスショップ水道橋店、ファイター新宿店
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999

大会名未定
10月28日(木)　東京・国立代々木第2体育館

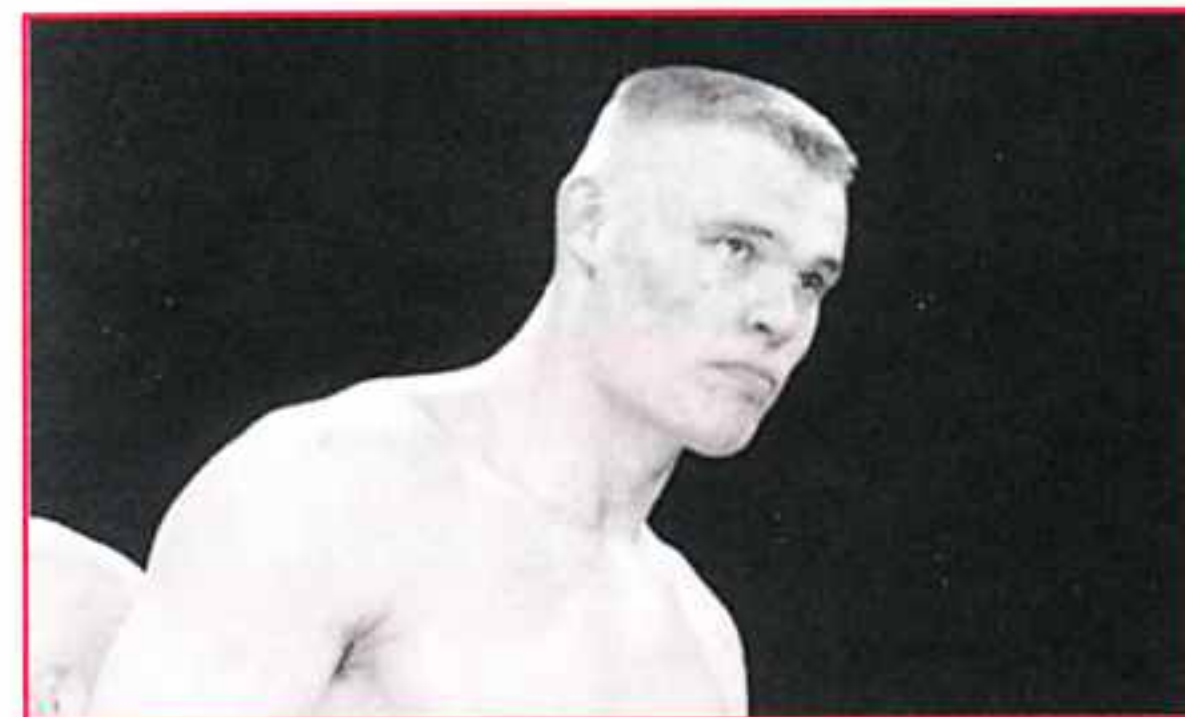
◆詳細未定
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/オデッセー☎03-3796-9999

市庁舎
横浜スタジアム
中華街方面
県庁・市庁 方面
磯子 方面
北口　JR関内駅　南口
至大船
首都高速横羽線
不老町
至新山下
教育文化センター
大通り公園
文化体育館前
横浜文化体育館
平沼記念レストハウス

住　所/神奈川県横浜市中区不老町2-7
アクセス/JR京浜東北線関内駅南口より徒歩5分、
地下鉄伊勢佐木長者町駅より徒歩5分

パンクラス

PANCRASE 1999 BREAKTHROUGH TOUR 仙台大会

9月4日(土)
宮城・仙台市泉総合体育館

〈メインイベント/10分1本勝負〉
セーム・シュルト vs 稲垣克臣
(オランダ/デーブ・ヨンカース道場)　(パンクラス横浜)

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆入場料/SS席12,000円　A席7,000円　B席5,000円　2F-A席6,500円　2F-B席4,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/ローソンチケット(Lコード22120)、パンクラス、ams西武、サイカワスポーツ、藤崎、エスパル
◆会場アクセス/地下鉄泉中央駅より徒歩10分
◆お問い合わせ/キョードー東北☎022-296-8888、パンクラス☎03-5792-0815

注目の初対決!
シュルトと稲垣、勢いに乗る二人がメインイベントで激突

9.4仙台大会で、注目の対決が決定した。今回発表されたメインイベント、セーム・シュルトと稲垣克臣の初対決がそれだ。シュルトは最近、近藤有己との王座決定戦で惜敗し、オランダでのフリーファイト大会ではギルバート・アイブルにKO負けを喫するなど、勝利に恵まれていなかった。だが、7.6後楽園大会で渋谷修身をチョークでタップさせ復活を果たした。ランキング1位として王座への再挑戦をアピールするためにも、ノーランカーには負けられないところだろう。しかし、対する稲垣もこれまでとは一味違う。7.6後楽園大会でパンクラチオンマッチに初挑戦、和術慧舟會の平松泰朗と対戦した稲垣は、グラウンドで頭突きと顔面パンチをこれでもかとばかりに叩き込み、快勝。まるで生まれ変わったかのような闘いぶりを見せ、一気に評価を上げているのだ。今回はメインに出場するという、願ってもない大チャンス。元々高いポテンシャルを持っている稲垣だけに、平松戦で見せた非常な攻めが再現できれば、大物喰いの可能性も十分ある。

KING OF PANCRASE TITLEMATCH
9月18日(土)　千葉・東京ベイN.K.ホール

◆開場/16:30　試合開始/18:00
◆主な対戦カード/近藤有己vs國奥麒樹真ほか
◆入場料/SS席16,000円　RS-A席8,000円　RS-B6,000円　ST-A10,500円　ST-B7,000円 ST-C5,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、YOKOHAMA AO CORNER、パンクラス
◆会場アクセス/京葉線舞浜駅よりホテル循環バス5分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 1999 BREAKTHROUGH TOUR
道場対抗戦part2
10月25日(月)　東京・後楽園ホール

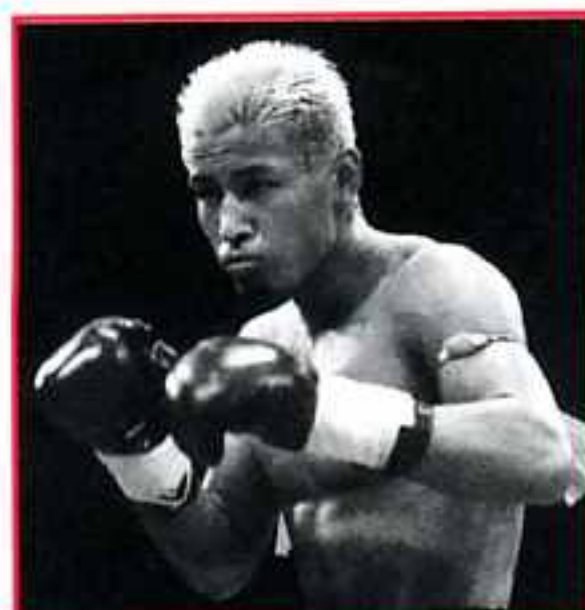
◆開場/18:00　試合開始/19:00
◆出場予定選手/(東京道場)船木誠勝、富宅飛駈、高橋義生、山田学、渋谷修身、山宮恵一郎、石井大輔、渡部謙吾、菊田早苗(横浜道場)鈴木みのる、柳澤龍志、稲垣克臣、國奥麒樹真、伊藤崇文、近藤有己、渡辺大介、窪田幸生、美濃輪育久(外国人選手)セーム・シュルト、ジェイソン・デルーシア、リオン・ダイク
◆入場料/SS12,000円　A9,000円　B6,500円　C4,500円　立見(当日券のみ)3,500円　※当日券は500円増し
◆チケット発売/[優先発売]パンクラスにて発売中。9.18東京ベイNKホール大会のロビーで発売[一般発売]9月25日(土)10:00〜
◆チケット発売所/チケットぴあ、CNプレイガイド、ローソンチケット、書泉ブックマート、大山アメリカン、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、後楽園ホール、チャンピオン、プロレスマニア館、アイドール新宿、ファイター、フィットネスショップ水道橋、パンクラス
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/パンクラス☎03-5792-0815

PANCRASE 1999BREAKTHROUGH TOUR
11月28日(日)　大阪・なみはやドーム

◆開場/15:30　試合開始/17:00
◆主な対戦カード/9.18NKホール大会のタイトルマッチ勝者による王座防衛戦
◆入場料/SS15,000円　RS-A8,000円　RS-B6,000円　2F-A7,500円　2F-B5,000円※当日券は500円増し
◆チケット発売/9月26日(日)
◆チケット発売所/チケットぴあ☎06-6363-9999、チケットセゾン☎06-6232-9999、ローソンチケット☎06-6369-6633、チャンピオン大阪☎06-6645-5186、バディスラム☎06-6645-1378、エース☎06-6636-5468、神戸ステーキ桜井ポートアイランド☎078-303-3901、神戸住吉・富万☎078-811-6222、パンクラス
◆会場アクセス/地下鉄長堀鶴見緑地線門真南駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/GAORA☎06-6374-0002、パンクラス☎03-5792-0815

全日本キックボクシング連盟

宿命のライバル・魔裟斗と小比類巻が揃って出場。なんと双子のキックボクサーと対戦

WAVE-Ⅴ
8月17日(火)
東京・後楽園ホール

〈メインイベント/日本・ニュージーランド国際戦〉
魔裟斗(藤)
VS
スティーブ・ミッチ(ニュージーランド)

〈セミファイナル/日本・ニュージーランド国際戦〉
小比類巻貴之(J-NETWORK/アクティブJ)
VS
ニック・ミッチ(ニュージーランド)

◎その他の主な対戦カード
立嶋篤史(谷山) VS 清水潤也(富士魅)
横山潔昌(谷山) VS 佃正晃(J-NETWORK/アクティブJ)

◆開場/17:30 試合開始/18:30
◆入場料/RS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円 一般立見3,500円(当日のみ)※当日は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

WAVE-Ⅵ
9月3日(金) 東京・後楽園ホール

◎主な対戦カード
〈メインイベント/国際戦〉
土屋ジョー(谷山) VS 強豪外国人選手
〈セミファイナル/日本・タイ国際戦〉
金沢久幸(富士魅) VS グライガンワーン・オー・スィーブワローイ(タイ)
山田隆博(谷山) VS 安川賢(SVG)
ヌンポントーン・バンコクストアー(タイ) VS 新田明臣(SVG)
小林聡(フリー/藤原) VS 林亜欧(SVG)

◆開場/17:00 試合開始/17:30
◆入場料/RS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円 一般立見3,500円(当日のみ)
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、全日本キックボクシング連盟
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

WAVE-Ⅶ
10月8日(金) 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆出場予定選手/内田康弘、林亜欧ほか
◆チケット発売/未定
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

WAVE-Ⅷ
11月22日(月) 東京・後楽園ホール

◆開場/17:00 試合開始/18:00
詳細未定
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/全日本キックボクシング連盟☎03-3365-1171

修斗

雪辱の時、来る!
朝日vsノゲーラ再戦決定

Ⅳ 修斗 the Renaxis
9月5日(日)
東京・後楽園ホール

朝日昇vsアレクサンドレ・フランク・ノゲーラ

7.16後楽園大会で、今大会の一部カードが発表されている。まずは、朝日とノゲーラのリマッチ。昨年4月の対戦では、朝日がまさかの一本負けを喫しており、朝日にとっては待ちに待ったリベンジ戦だろう。朝日は、3月の巽宇宙とのタイトルマッチで、噛み合わない試合展開のまま引き分けに終わっており、この試合が再評価されるチャンス。いわば二重の意味での雪辱戦となる。また今大会では、巽の出場も決定。池田久雄との対戦が決定している。

◆開場/17:00 試合開始/18:00
◆その他の主な対戦カード/巽宇宙vs池田久雄ほか
◆入場料/RS席10,000円 SS席7,000円 S席5,000円 A席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、ローソンチケット、書泉ブックマート、後楽園ホール、フィットネスショップ水道橋、ファイター、格闘技チケット(インターネット予約)http://www.interq.or.jp/tokyo/ticket/
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/イーフォース・ジャパン☎047-378-6400

大会名未定
10月6日(水) 東京・北沢タウンホール

◆試合開始/18:30
◆主な対戦カード/未定
◆入場料/S席6,000円 A席4,000円
◆チケット発売/未定
◆会場アクセス/小田急線・京王井の頭線下北沢南口より徒歩5分
◆お問い合わせ/総合格闘技木口道場修斗教室☎044-988-3633

PRIDE

期待度はマット界でもNo.1!
小川直也の再登場はあるのか?

PRIDE.7
9月12日(日)
神奈川・横浜アリーナ

◆開場/15:30 試合開始/17:00
◆出場予定選手/髙田延彦、桜庭和志、小路晃、エンセン井上、マーク・ケアー、ゲーリー・グッドリッジ、イゴール・ボブチャンチンほか
◆入場料/SRS20,000円 RS13,000円 S7,000円 A4,000円
◆チケット発売/8月22日(日)一斉発売
◆チケット発売所/ドリームステージ、チケットぴあ〈スポーツ専用〉☎03-5237-9977、チケットセゾン〈スポーツ専用〉☎03-3250-9911、ローソンチケット、CNプレイガイド、サークルK、レッスル渋谷店、レッスル池袋店、大山アメリカン、書泉ブックマート、フィトネスショップ格闘技、チャンピオン、チケット&トラベルT-1、後楽園ホール、アイドール、横浜アリーナ、YOKOHAMA AO CORNER、相鉄ジョイナスプレイガイド☎045-319-2456、神奈川新聞プレイガイド関内セルテ店☎045-651-1431、神奈川新聞プレイガイド横浜シアル店☎045-316-0001、公武道☎052-241-2511
◆会場アクセス/JR東海道新幹線、横浜線新横浜駅正面口、地下鉄新横浜駅より徒歩5分、

『PRIDE.6』でバーリ・トゥード戦に初挑戦、ゲーリー・グッドリッジと大激闘を繰り広げた小川直也。この試合で見せた高い戦闘能力と抜群のキラー・インスティンクト、そして元柔道世界王者のバックボーンから、小川には"日本最強"、"打倒ヒクソンへの一番手"との評価も高まっている。現状では、UFOに自主興行の予定はなく、リングス参戦も延期となっている。それだけに、小川の『PRIDE.7』参戦には十分期待が持てるのだが…。

◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント☎03-3552-6300

バトラーツ

"ヤンジェネ"リーグ戦いよいよ佳境
混沌とする優勝争いを制するのは誰だ!?

《大会日程》

ヤングジェネレーションバトル99
◆8月11日(水) 島根・益田市民体育館
◆8月22日(日) 北海道・札幌テイセンホール
◆8月23日(月) 北海道・岩見沢スポーツセンター
◆8月29日(日) TOKYO FMホール13:00〜
◆8月29日(日) TOKYO FMホール18:30〜

ACTIVE-B'99
◆9月23日(木・祝) 青森県民体育館サブアリーナ
◆9月25日(土) 宮城・若柳町公民館
◆9月26日(日) 宮城・白石勤労者体育センター
◆9月27日(月) 秋田市立体育館サブアリーナ
◆9月28日(火) 山形市総合スポーツセンター・サブアリーナ

OCTOBER INPACT in 大阪
◆10月8日(金) 大阪府立体育会館第2競技場
◆お問い合わせ/バトラーツ☎0489-63-0005

ニュージャパンキックボクシング連盟

空手トーナメントに強豪が続々参戦! 迎え撃つ主催団体・闘真会館の奮闘にも期待

BATTLE FRONT I &Achievement 6

8月29日(日)
愛知・安城市総合体育館

◎主な出場選手[BATTLE FRONT I]

ルシアーノ・バジレ(ブラジル勢和会)
※白蓮会館全日本大会重量級優勝、極真会館(大山派)全日本大会4位ほか

南豪宏(白蓮会館)
※白蓮会館全日本大会6度優勝、極真会館全日本ウェイト制大会準優勝ほか

大上忠伸(誠心会館)
※誠心会館全日本大会優勝2回、準優勝1回、佐藤塾全日本大会準優勝ほか

空手とキックの合同興行が行われる8.29安城大会。キックに続き、空手部門のトーナメント出場選手も確定した。既報のルシアーノ・バジレ以外では、白蓮会館の南豪宏の出場が決定。南は白蓮会館全日本大会で6度の優勝のほか、他流派にも積極的に参戦、数々の実績を残している名選手だ。また、誠心会館の代表選手、大上忠伸も今大会にエントリー。強豪を迎撃する主催団体・闘心会館勢のメンツを懸けた闘いぶりにも期待したい。

◎主な対戦カード[Achievement 6]

〈メインイベント/日本・タイ国際戦〉
中島昇(大和) vs アラビアン・長谷川(タイ)
石田智史(東京北星) vs 新見友恒(大和)
笛吹丈太郎(大和) vs 石毛伸也(東京北星)

◆開場/12:00　試合開始/[BATTLE FRONT I]13:00 [Achievement 6]16:00
◆入場料/特別リングサイド15,000円　指定席A10,000円　指定席B7,000円　2階指定席5,000円　2階自由席3,000円　子供(小・中)1,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ☎052-320-9999、闘真会館
◆会場アクセス/名鉄西尾線北安城駅より徒歩10分、名鉄本線新安城駅よりバス5分、JR東海道本線安城駅バス8分
◆お問い合わせ/ニュージャパンキックボクシング連盟☎03-3239-7703、闘真会館☎0566-77-5470

仙台大会
9月15日(水・祝)　宮城県スポーツセンター

◆開場/13:00　試合開始/14:00
◆入場料/特別席7,000円　リングサイド席5,000円　指定A席4,000円※当日券は1,000円増し。小学生以下は無料
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/森天裕堂☎022-222-3512、青葉プロモーション
◆会場アクセス/JR仙台駅よりバス乗車、「国際センター仙台博物館」下車
◆お問い合わせ/青葉プロモーション☎022-222-4772、仙台青葉ジム☎022-225-8149

◎主な対戦カード

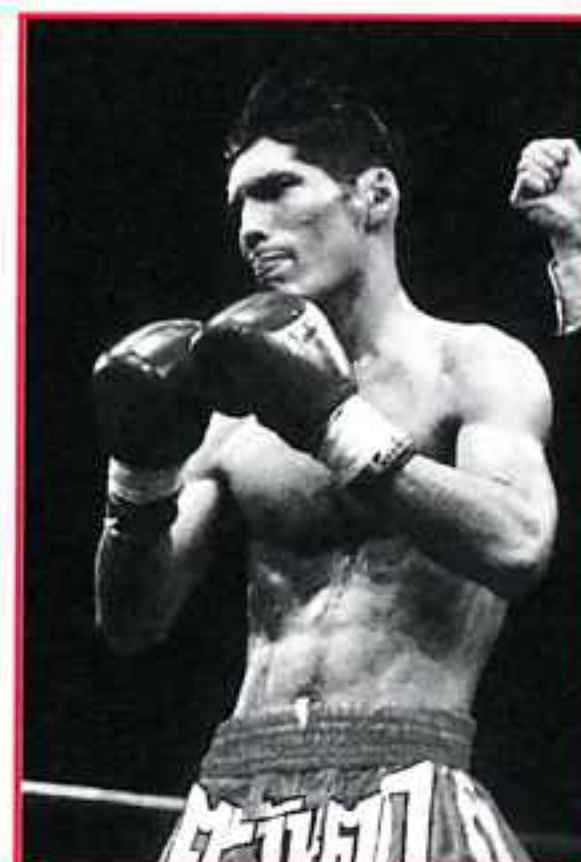
〈メインイベント〉
青葉繁(仙台青葉) vs ワンロップ・ソーサタパン(タイ)
〈セミファイナル/NJKFライト級挑戦者決定戦〉
相沢吉彦(北流会君津) vs 笹羅崇裕(仙台青葉)

新日本キックボクシング協会

崖っ淵に追い込まれた小野寺力を、ランキング1位の新鋭・西宗定が襲撃!

キック三銃士参上!

9月15日(水・祝)
東京マリン

5月のvsムエタイ初勝利も束の間、7.24後楽園大会でまたもタイ人に敗れてしまった小野寺力。巻き返しを図る今大会は、日本人対決だけにKO勝ちで実力を示しておきたいところだ。だが、対戦相手の西宗定は前回の試合に勝利してフェザー級1位となり、勢いがある。しかも、距離を取ってミドルを連打するタイ式の闘い方を得意とするタイプ。ムエタイ越えに活路を見い出したい小野寺にとって、試金石となる重要な一戦になりそうだ。

〈メインイベント1st〉
小野寺力(藤本) vs 西宗定(伊原)

◆開場/16:30　試合開始/17:00
◆入場料/SRS12,000円　RS10,000円　A席7,000円　B席5,000円　立見3,000円(当日券のみ)
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、治政館
◆会場アクセス/東武伊勢崎線、地下鉄日比谷線西新井駅より徒歩8分
◆お問い合わせ/治政館☎0489-53-1880

◎その他の主な対戦カード

〈メインイベント2nd/日本ウェルター級タイトルマッチ〉
武田幸三(治政館) vs 北沢勝(藤本)
〈セミファイナル〉
鷹山真吾(尚武会) vs 清水政和(治政館)
小出智(治政館) vs 山口志(宮川)
禹英鉄(伊原) vs 花村繁幸(トーエル)
マサル(トーエル) vs 江森禎紀(治政館)

大会名未定
10月30日(土)　東京・後楽園ホール

◆詳細未定
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

大会名未定
12月5日(日)　東京・後楽園ホール

◆詳細未定
◆お問い合わせ/伊原プロモーション☎03-3718-8941

MA日本キックボクシング連盟

ラビット関、またも試練の大一番 ベテラン・山崎通明と王者対決!

SET FIRE
キックに火をつけろ! Part2

9月25日(土)
東京・後楽園ホール

土屋ジョー、ランバー・ソムデートM16など、強豪選手との対戦を数多く行ってきたスーパーバンタム級王者・ラビット関に、今大会でも試練が待っている。対戦相手の山崎通明はスーパーフェザー級の王者で、かつて立嶋篤史や前田憲作とも激闘を繰り広げた歴戦の強者。関にとっては厳しい闘いが続くが、それは山木敏弘会長の「関には楽をさせたくない。アイツは相手が強いほど光るんです」という期待の表れでもある。巧さの山崎と若さの関。熱戦必至の好カードだ。

〈59kg契約/3分5R〉
ラビット関(山木) vs 山崎通明(東金)

◎その他の主な対戦カード

〈メインイベント〉
伊藤隆(山木) vs 東金リース(東金)
港太郎(山木) vs 東金ルーク(東金)
武藤孝行(土道館) vs 山田健博(東金)

◆開場/17:00　試合開始/17:15
◆入場料/特別リングサイド20,000円　リングサイド15,000円　S席10,000円　指定A席7,000円　指定B席5,000円　立見3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、山木ジム
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/山木ジム☎03-3485-7060

花澤ジム興行
10月10日(日・祝)
千葉・袖ケ浦臨海スポーツセンター

◆開場/16:00　試合開始/16:30
◆入場料/リングサイド10,000円　A席8,000円　B席5,000　1,2階席3,000円
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、花澤ジム
◆会場アクセス/JR長浦駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/花澤ジム☎0438-62-7967

◎主な対戦カード

〈メインイベント/MAフライ級タイトルマッチ〉
西村鋼太(花澤) vs 田中信一(山木)
〈MAミドル級タイトルマッチ〉
永田健一(マイウェイ) vs 山上健一(花澤)

勇志会

第4回勇志会オープン全日本空手道選手権大会
9月26日(日)
神奈川・川崎市とどろきアリーナ・メインアリーナ

◆開場/10:00(予選開始)　◆開会式/13:00　◆本戦開始13:30
◆入場料/1,500円　※当日は500円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、チケットセゾン、勇志会総本部・神奈川県本部および各支部
◆会場アクセス/JR南部線、東急東横線武蔵小杉駅下車バス7分、徒歩25分
◆お問い合わせ/勇志会総本部事務局☎03-3990-9270

内田塾

JAPAN-GAME'99
第7回全日本空手道選手権大会
10月24日(日)
大阪・東淀川体育館(予定)

詳細未定
◆お問い合わせ/大会事務局☎06-6379-2421

ワールド大山空手

'99全日本選手権大会
11月28日(日)　神奈川・横浜文化体育館

◆開場/13:00　試合開始/14:00
◆入場整理券料金/3,000円(全席自由)
◆入場整理券購入方法/希望枚数、住所、氏名、電話番号を明記して、料金を〒220-0051神奈川県横浜市西区中央藤棚郵便局留め「ワールド大山空手大会入場整理券係」まで送付
◆会場アクセス/P55のマップを参照
◆お問い合わせ/大会事務局☎045-324-0379

士道館

第19回全日本空手道選手権大会
11月21日(日)　東京・後楽園ホール

◆開場/10:00(予定)　試合開始/10:30(予定)
◆入場料/指定席5,000円　自由席1,000円(予定)
◆チケット発売/未定
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/士道館東京本部☎03-3642-3161

大道塾

'99オープントーナメント北斗旗
全日本無差別選手権
11月21日(日)
東京・国立代々木競技場第2体育館

◆開場/9:30
◆入場料/SS席5,000円　S席4,000円　A席3,000円　高校生以下1,500円　※当日券はSS、Sが1,000円増し、A、高校生以下が500円増し
◆チケット発売/未定
◆会場アクセス/JR山手線原宿駅、地下鉄千代田線明治神宮前駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/大道塾総本部☎03-3931-6856

白蓮会館

'99ファイティングオープントーナメント
白蓮会館全日本空手道選手権大会
(15周年記念大会)
10月31日(日)　大阪府立体育会館第1競技場

◆出場予定選手/未定(64名による無差別級トーナメント)
◆開場11:00
◆入場料/前売り2,500円　当日3,000円
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/未定
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/総本部☎06-6783-7833

極真会館(松井派)

第7回全世界空手道選手権大会
11月5日(金)、6日(土)、7日(日)
東京体育館

◆出場選手/第6回世界大会入賞者、97世界ウェイト制大会各階級優勝者、世界120カ国の予選を勝ち抜いた総勢192名の極真ファイター集結。
◆5日/10:00開場、11:00開会式　6、7日/10:00開場、11:30開会式
◆入場料/SS席50,000円(前売りのみ/アリーナ3日間通し券　指定券　大会記念品、パンフレット付き)　各日S席15,000円(前売り13,000)　A席8,000円(前売り7,000)　B席4,000円(前売り3,000)
◆チケット発売/発売中
◆会場アクセス/JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/極真会館チケット係☎03-5992-9900

第2回中部交流試合
8月22日(日)
長野・松本市総合体育館サブアリーナ

◆会場アクセス/JR中央東線松本駅下車バス20分
◆お問い合わせ/本部直轄長野道場☎026-227-9111

第4回極真カラテ大仏杯空手道選手権大会
9月5日(日)　奈良市第2武道場

◆会場アクセス/近鉄奈良駅よりバス10分
◆お問い合わせ/奈良支部☎0742-33-5799

第3回極真カラテ・クラス別山梨県交流大会
9月5日(日)　山梨・甲府市小瀬武道館

◆開場/9:00　試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR中央本線甲府駅より車で20分、中央自動車道甲府インターより10分
◆お問い合わせ/本部直轄山梨道場☎0553-22-2737

第17回北信越空手道選手権大会
9月12日(日)　松任総合運動公園体育館

◆会場アクセス/JR北陸本線松任駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ/石川支部☎0762-91-6110

'99京都府新人空手道選手権大会
9月15日(水・祝)
京都市武道センター旧武徳殿

◆会場アクセス/JR京都駅よりバス30分
◆お問い合わせ/京都支部☎075-801-8155

第7回オープン全関東空手道選手権大会
9月19日(日)　千葉・船橋アリーナ

◆開場/9:30　試合開始/10:00
◆入場料/1階アリーナS席6,000円　1階アリーナA席4,000円　2階自由席B席3,000円　※当日券は1,000円増し
◆チケット発売/発売中
◆チケット発売所/チケットぴあ、ローソンチケット、関東地方の極真会館各道場
◆会場アクセス/新京成線北習志野駅より高根公園行きバス乗車、「東警察署前」下車
◆お問い合わせ/千葉県北支部☎047-437-0188

第12回全九州空手道選手権大会
10月17日(日)　大分県総合体育館

◆会場アクセス/JR大分駅より大須運動公園行きバス乗車、「運動公園前」下車
◆お問い合わせ/大分支部☎0975-56-4511

正道会館

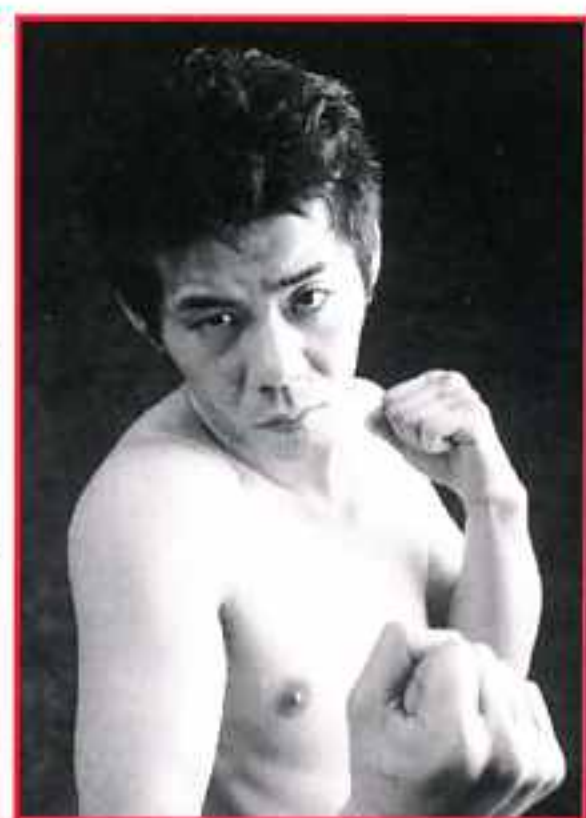
第18回全日本空手道選手権大会
9月26日(日)
大阪府立体育会館第1競技場

◆試合開始/10:00
◆会場アクセス/南海難波駅、地下鉄なんば駅より徒歩5分
◆お問い合わせ/正道会館総本部☎06-6357-1654

J-NETWORK

全日本キックで名を上げた増田&五十嵐がホームリングでムエタイ越えに挑む!

The KICK 1999～stage 3～
10月14日(日)
東京・後楽園ホール

増田博正(アクティブJ)
VS
タイ国強豪選手

五十嵐ヨシユキ(アクティブJ)
VS
ピニミット・シタラン(タイ)

7.13全日本キック後楽園大会で大活躍を見せた増田博正と五十嵐ヨシユキが、ホームリング・J-NETWORKの大会でムエタイに挑戦することになった。小林聡からダウンを奪い金星をあげた五十嵐はBBTVライト級1位のピニミットと対戦。全日本キックの新フェザー級王者となった増田の相手は未定だが、かなりの強豪との対戦が予想される。当然、苦戦は免れないだろうが、前回の二人の充実ぶりが持続していれば、期待してもよさそうだ。

◆開場/17:00　試合開始/18:00
◆その他の主な対戦カード/貝沼慶太vsアラビアン・長谷川ほか
◆入場料/RS席7,000円　S席5,000円　A席3,000円　立見3,500円(当日のみ)
◆チケット発売/未定
◆チケット発売所/チケットぴあ、後楽園ホール、アクティブJ三軒茶屋ジム、サバーイ町田ジム、J-NETWORK
◆会場アクセス/JR総武線、都営三田線水道橋駅より徒歩3分、地下鉄丸ノ内線・南北線後楽園駅より徒歩3分
◆お問い合わせ/J-NETWORK☎03-3418-5248

シュートボクシング

第11回アマチュアシュートボクシング東海大会
8月29日(日)　愛知県春日井市総合体育館

◆開会式/10:00　試合開始/10:30
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR春日井駅よりバス乗車、「総合体育館前」下車
◆問い合わせ/風吹ジム☎0568-76-5054

日本キックボクシング連盟

大会名未定
10月9日(土)　東京・後楽園ホール

詳細未定
◆お問い合わせ/日本キックボクシング連盟☎03-3691-4536

日本アマチュアキックボクシング連盟

第1回月例大会
8月22日(日)　山梨県武道館第2武道場

◆受付/11:00　試合開始/13:00
◆入場料/無料
◆会場アクセス/JR甲府駅より車で20分
◆お問い合わせ/連盟事務局☎055-228-2325

その他

日本女子ボクシング協会

第3回日本女子ボクシング大会
初代ミニフライ級王座決定トーナメント決勝戦
10月5日(火)　東京・北沢タウンホール

◆主な対戦カード／トーナメント決勝戦ほか
◆入場料／全席自由5,000円
◆チケット発売／発売中
◆チケット発売所／後楽園ホール、日本女子ボクシング協会
◆開場アクセス／小田急線・京王井の頭線下北沢駅南口より徒歩5分
◆お問い合わせ／日本女子ボクシング協会☎03-3485-7063

プロ団体連絡先リスト

K-1事務局
〒150-0001東京都渋谷区神宮前3-31-14
☎03-3796-2977

修斗コミッション
〒173-0001東京都板橋区本町34-4石田コーポラス501
☎03-3961-2704

リングス
〒150-0036東京都渋谷区南平台町13-1サトウビル2階202号
☎03-3461-0257

ワールドパンクラスクリエイト
〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25 2F
☎03-5792-0815

格闘探偵団バトラーツ
〒343-0807埼玉県越谷市赤山町2-158-1
☎0489-63-0005

髙田道場
〒146-0082東京都大田区池上4-27-13トウセン池上ビル
☎03-3755-1444

UFO
〒108-0071東京都港区白金台3-19-5OK白金台ビル７Ｆ
☎03-5447-2121

ドリームステージエンターテインメント
〒104-0033東京都中央区新川2-3-9新川第2ビル
☎03-3552-6300

掣圏道協会(SA)事務局
〒150-0021東京都渋谷区恵比寿西2-6-14恵比寿スカイハイツ607
☎03-5456-7333

マーシャルアーツ日本キックボクシング連盟
〒155-0031東京都世田谷区北沢2-6-5
☎03-3485-7060

全日本キックボクシング連盟
〒169-0074東京都新宿区北新宿1-6-21
☎03-3365-1171

日本キックボクシング連盟
〒124-0023東京都葛飾区東新小岩5-2-7江戸屋ビル4F
☎03-3691-4536

新日本キックボクシング協会
〒150-0034東京都渋谷区代官山町7-8
☎03-3718-8696

ニュージャパンキックボクシング連盟
〒102-0076東京都千代田区五番町12-7ドミール五番町1-055(5F)
☎03-3239-7703

J-NETWORK
〒154-0024東京都世田谷区三軒茶屋2-14-12三元ビル5F
☎03-3419-0536

K-U(キック・ユニオン)
〒144-0052東京都大田区蒲田4-40-10グレースワン603
☎03-5713-8061

シュートボクシング協会
〒111-0033東京都台東区花川戸2-2-8ワコー花川戸ハイツ1、2F
☎03-3843-1212

アマチュア

パレストラ東京

第15回柔術ワンマッチ交流戦
TOKYO B.J.J. JAM 6
8月22日(日)
東京都立夢の島総合体育館柔道場

◆試合開始／14:30
◆入場料／無料
◆会場アクセス／地下鉄有楽町線、JR京葉線新木場駅より徒歩10分
◆お問い合わせ／パレストラ東京☎03-5984-3209

日本テコンドー連盟

全日本学生テコンドー選手権大会
8月29日(日)
東京・台東リバーサイドスポーツセンター

◆会場アクセス／地下鉄銀座線浅草駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ／総本部☎03-3350-0550

全日本テコンドー選手権大会
11月28日(日)　東京都夢の島総合体育館

◆開会式／10:00(予定)
◆入場料／無料
◆会場アクセス／有楽町線・JR京葉線新木場駅下車徒歩10分
◆お問い合わせ／総本部☎03-3350-0550

S.A.W.サブミッションアーツレスリング

全日本サブミッションアーツ
レスリング選手権大会'99
『極　Ⅳ』　KIWAMI Ⅳ
10月3日(日)　東京・スポーツ会館

◆[1ST STAGE]開場／8:00　試合開始／10:00[2ND STAGE]開会式／14:00　ワンマッチ試合開始／14:10
◆会場アクセス／JR新大久保駅下車徒歩5分
◆お問い合わせ／S.A.W.総本部☎048-465-3362

コンプリート・ファイティング・コミッション

第11回アマチュア・コンプリート・
ファイティング・トーナメント
10月11日(月・振替休日)
東京・中央区立総合スポーツセンター　第1武道場

◆試合開始／10:30
◆入場料／無料
◆会場アクセス／都営新宿線浜町駅下車すぐ
◆お問い合わせ／CFC事務局☎0564-55-9070(16:00まで)、0120-00-4524(17:00以降)

合気道SA

第3回実践合気道選手権大会
SA杯争奪合気道戦
10月23日(土)
東京・都立多摩スポーツ会館柔道場

◆開場／12:30　試合開始／13:00
◆入場料／[往復ハガキで予約]2,000円　[当日券]3,000円
◆チケット予約方法／9月30日(木)までに、往復ハガキに住所、氏名、電話番号、年齢、『観戦希望』と明記の上、下記まで郵送。大会概要が 返信される。
◆会場アクセス／JR青梅線東中神駅より徒歩5分
◆お問い合わせ／櫻井文夫　〒193-0821東京都八王子市川町128-280　☎0426-51-8418

真武館

第14回オープントーナメント'99
全日本格闘技選手権大会
11月28日(日)　福岡武道館

◆会場アクセス／地下鉄大濠公園駅下車徒歩12分
◆お問い合わせ／真武館本部☎092-862-1006

極真会館(松島代表)

第31回オープントーナメント
全日本空手道選手権大会
11月7日(日)　茨城・茨城県武道館

◆会場アクセス／JR常磐線水戸駅よりバス15分
◆お問い合わせ／大会事務局☎0292-54-5830

極真会館(三瓶代表)

第7回全世界空手道選手権大会
12月4日(土)、5日(日)　東京体育館

◆会場アクセス／JR千駄ヶ谷駅より徒歩1分
◆お問い合わせ／国際武道センター☎03-3268-5671

第3回オープントーナメント
全北海道空手道選手権大会
8月29日(日)　北海道青少年会館

◆会場アクセス／地下鉄真駒内駅より真駒内線青少年会館行きバス乗車
◆お問い合わせ／札幌武道センター☎011-711-3377

第5回オープントーナメント
全関東空手道選手権大会
9月12日(日)　神奈川・平塚総合体育館

◆会場アクセス／JR平塚駅北口よりバス乗車、「共済病院総合公園西」下車
◆お問い合わせ／実行委員会☎0463-23-7891

第16回オープントーナメント
東北空手道選手権大会、第12回子供型空手道選手権大会、第6回シニア空手道選手権大会
9月26日(日)　福島市国体記念体育館

◆会場アクセス／JR福島駅よりバス乗車、「国体記念体育館前」下車徒歩5分
◆お問い合わせ／大会実行委員会☎024-531-5452

第16回オープントーナメント
学生空手道選手権大会
10月17日(日)
福島市国体記念体育館・サブアリーナ

◆会場アクセス／JR福島駅よりバス乗車、「国体記念体育館前」下車徒歩5分
◆お問い合わせ／福島大学極真空手道部・猪瀬☎024-548-3033

第14回オープントーナメント
全関西空手道選手権大会
10月17日(日)　和歌山県立体育館

◆会場アクセス／JR和歌山駅より徒歩10分
◆お問い合わせ／和歌山支部☎0734-26-2124

第10回福島県ジュニア空手道選手権大会
10月24日(日)
福島・郡山市総合体育館・柔道場

◆会場アクセス／JR郡山駅よりバス乗車、「一本松」前下車
◆お問い合わせ／無限塾・平野和博〈共進木材(株)内〉☎024-934-5445

第16回オープントーナメント
全中国空手道選手権大会
10月24日(日)
広島市東区スポーツセンター

◆会場アクセス／JR広島駅よりバス乗車、「東区スポーツセンター」下車
◆お問い合わせ／広島支部☎082-253-7350

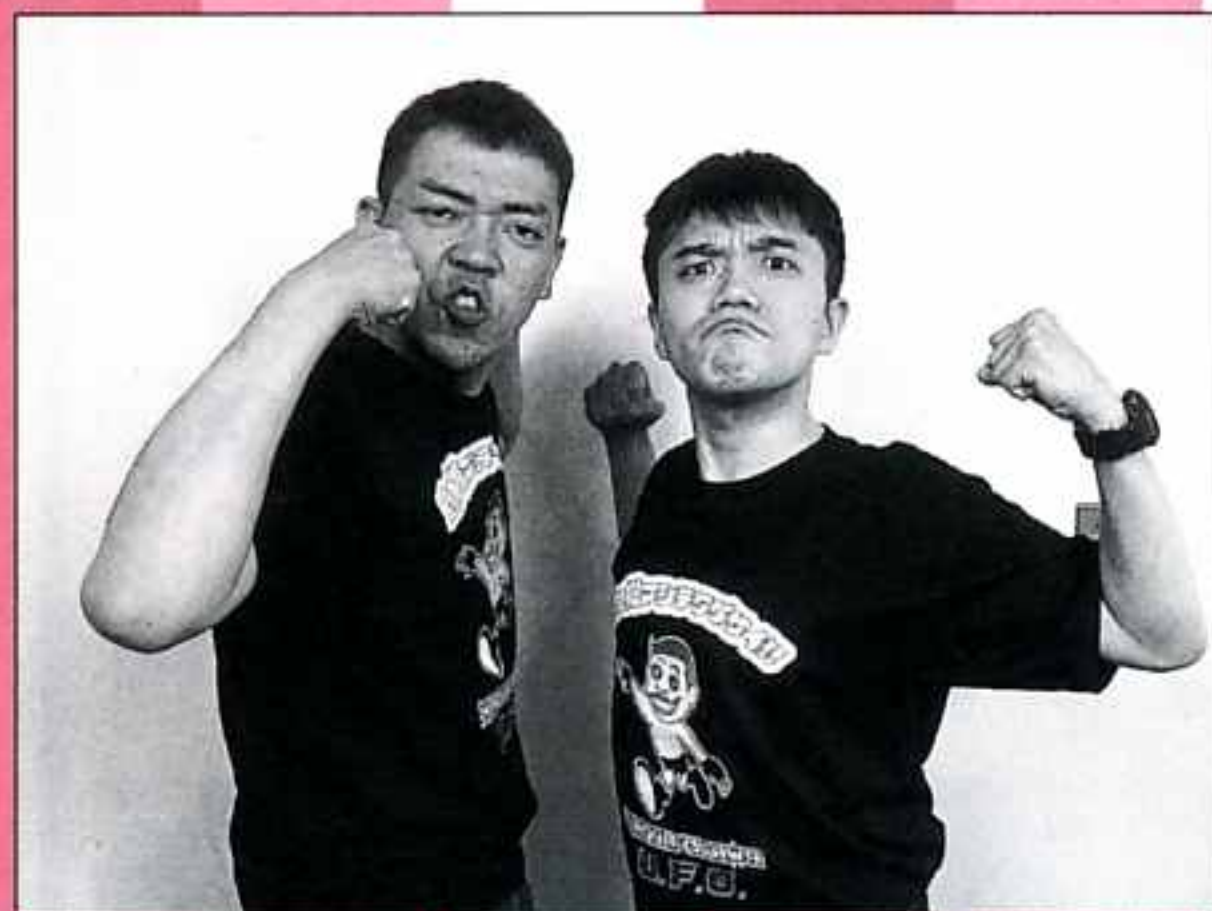
第3回オープントーナメント
福岡県空手道選手権大会
10月24日(日)　福岡・小倉北体育館

◆会場アクセス／JR小倉駅よりバス乗車、「市民球場前」下車
◆お問い合わせ／福岡支部☎093-923-6699

浅草キッドの底抜けアントンハイセル

キッドのイチ押し

リングス『RISE 5th』
8月19日（木） 神奈川・横浜文化体育館

芸能界随一の格闘技マニアが選んだ8/11～8/25の最注目大会はこれだ！

浅草キッド…多くのお笑いファンが『実力日本一』と認める、水道橋博士（右）と玉袋筋太郎の漫才コンビ。8月18日（水）に、恒例のライブ『浅草お兄さん会』を、新宿・シアターサンモールで開催する（前売り券はチケットぴあで発売中）。もちろん、コアなプロレス・格闘技ネタが飛び出すこと間違いなし！
◎浅草キッドHP《キッドリターン》
http://www02.so-net.ne.jp/˜a-kid/

山本VS小川は無念の延期 実現に向けて十勝花子が署名運動開始!?

博士 今回の注目イベントは、8・19リングス・横浜大会だ。しかし残念な知らせが入ってしまった。

玉袋 その前日、博士が37回目の誕生日を迎えまして、お笑い界の若手の最高齢記録を更新しました。

博士 そんな知らせじゃないよ。

玉袋 だって、リングスの前チャンピオン、ビターゼ・タリエルより年寄りなんですよ、この人。

博士 ほっとけよ！　山本宜久との対戦がウワサされていた、〝新ハマの大魔人〟UFO小川直也の参戦が延期になってしまった。

玉袋 理由は、『プライド6』のグッドリッジ戦での小川の左手首のケガ。

博士 これはリングスCEO（代表取締役社長）であるアキラ兄さんが直々に小川と面会して確認しての決断だから仕方がないね。しかも消滅ではなく延期って方向だからね。

玉袋 この山本VS小川戦は実現に向けて十勝花子が署名運動を街頭で繰り広げるそうです。

博士 十勝花子は関係ないだろ！　でも最近の我々は小川応援団を結成してるけど、根っからの前田信者でもあるし、団体として一番思い入れがあり、旗揚げ以来全試合をWOWOWの中継も含めて唯一見続けている団体がリングスだ。

玉袋 つのだ☆ひろか浅草キッドかっていうくらい、リスペクトさせてもらってます。

博士 アキラ兄さん引退以降はリングスも団体の過渡期だけど、今はエース争いは横一線だ。そして今回ズバリ注目は髙阪剛!!　今や、日本のプロレス・格闘技、ジャンル反復横飛びファイターの3強（小川・桜庭・髙阪）と言われてる。日本を飛び出してシアトルに腰を落ち着けてのファイトだけど海外での実績は十分。そして今回のカードは髙阪VSギルバート・アイブルのリベンジマッチ。

玉袋 髙阪は4・23大阪大会でオランダから参戦のギルバート・アイブルに壮絶KO負けしましたからね。

博士 でも髙阪は先日のUFCで、アマレスの全米大学チャンピオンだったティム・ラジックを戦意喪失させ勝利！　完全復活した。一方のアイブルはオランダの大会で、パンクラスでKOの山を築いたセーム・シュルトを、流血KO。

玉袋 これは横浜ベイの花火大会以上の派手なしばきあいの試合になりますよ。

博士 TKの巻き返しに期待！　そして新生リングス・オランダの、このギルバート・アイブルと田村を破ったこともあるバレンタイン・オーフレイムの若武者二人は、リングス外国人の若手の宝。とにかく今こそ派手に売り出せ!!　と声を大にしたい。

玉袋 博士のように遅咲きの、いつまでたっても若手界の年寄りになっては困るからね。

博士 ほっとけよ！　彼らがリングスに毎回来てくれたら若いファン層が広がるはず。そしてタイトルマッチでは王者に返り咲いた田村潔司が防衛戦。

玉袋 田村コサックダンスでいつもより余計に回ってくださ～い。

博士 中量級統一をぶちあげた成瀬や金原VS坂田の日本人対決も目が離せない。

玉袋 勝者はもっと飛び出していって、他のジャンルを食い散らかしてほしい。

博士 リングス名物、アキラ兄さんのポケットマネーで贈られる敢闘賞が出るような好勝負になるだろう。

玉袋 それを握って、今風俗界ではスゴイ事になっている新横浜ヘルスに直行して第二ラウンドへ突入だ！

博士 そんなところを食い散らかせって言ってるんじゃないだろ！　賞と言えばアキラ兄さんが引退を記念し注文打ちした日本刀が、新作刀剣展覧会で特賞（寒山賞）を受賞しました。

玉袋 その試し切り披露を兼ねて前田日明VS噂の真相・岡留編集長の便所マッチが開催との噂も流れている。

博士 横浜文体の男臭いトイレにお似合いのキナ臭いウワサだな。

極真カラテ〈松井派〉

世界大会へのカウントダウン

7月30日～8月1日☆福島県いわき健康センター

日本に数見肇あり！ それが史上最大の危機につながる

今回の日本代表メンバーは、数見が頭一つ抜きん出ている

夏合宿で発見した日本の課題とは？

7月30日から8月1日までの3日間、福島県にあるいわき健康センターで、極真恒例の夏合宿が行われた。今回は11月5日から3日間、東京体育館で開催される第7回世界大会に出場する日本代表19名が参加。フランシスコ・フィリォ、グラウベ・フェイトーザらブラジル勢の脅威もあり、今度こそ日本の王座が危ないと叫ばれる中で、彼らはどんな特訓を行ったのか？

この光景こそ、まさに極真だ！

文◎谷川貞治

このメンバーで世界を迎え撃つ果たして本当にフィリォ、グラウベに勝てるのか？

▲メンバーは決して悪くない。いや平均的な実力は過去最高だろう

私にとって世界大会前の夏合宿は一つの楽しみでもある。なぜなら、ほとんどの団体の夏合宿が、親睦を目的としているにもかかわらず、極真の合宿だけが短期間ながら本当に特訓を行うからだ。

特に大山倍達総裁が生きている時の極真がそうだった。総裁は思いついたように、いきなり急傾斜の坂道を見つけては何本もダッシュさせたり、灼熱の炎天下で何十分にもわたって連続蹴りをさせたりする。基礎体力では格闘技界一とも言われる、極真の日本代表選手がフラフラになる過酷な状況。そんな試練を総裁は課す。つまり、こうした夏合宿に「極真」を見ることができるのだ。

総裁がそんな不条理な試練を弟子たちに与えるとするならば、二代目・松井章圭館長の場合は、合理的に代表メンバーを鍛えようとする。フィリォはどんな技を使うのか、グラウベはどれほどのパワーを持っているのか、対戦経験者に語らせ、対策を練りながらの組手が続くのだ。

それでいて、松井館長の叱咤激励は、総裁の精神を噛み砕いたものばかりである。たとえば、

「できないことは決して恥ずかしいことじゃない。できることをやらないほうが恥ずかしいのだ」

「稽古というのは、潜在的な苦しみや痛みを呑み込むためにやるんです。苦しさに支配されているようじゃ稽古は足りません」

「人間はイメージすることが大切。ボーっと稽古していても向上はありません。カロリーを消費して健康のために空手をやっている人もいるかもしれませんが、空手というのは常に相手を想定してやるも

極真カラテ〈松井派〉

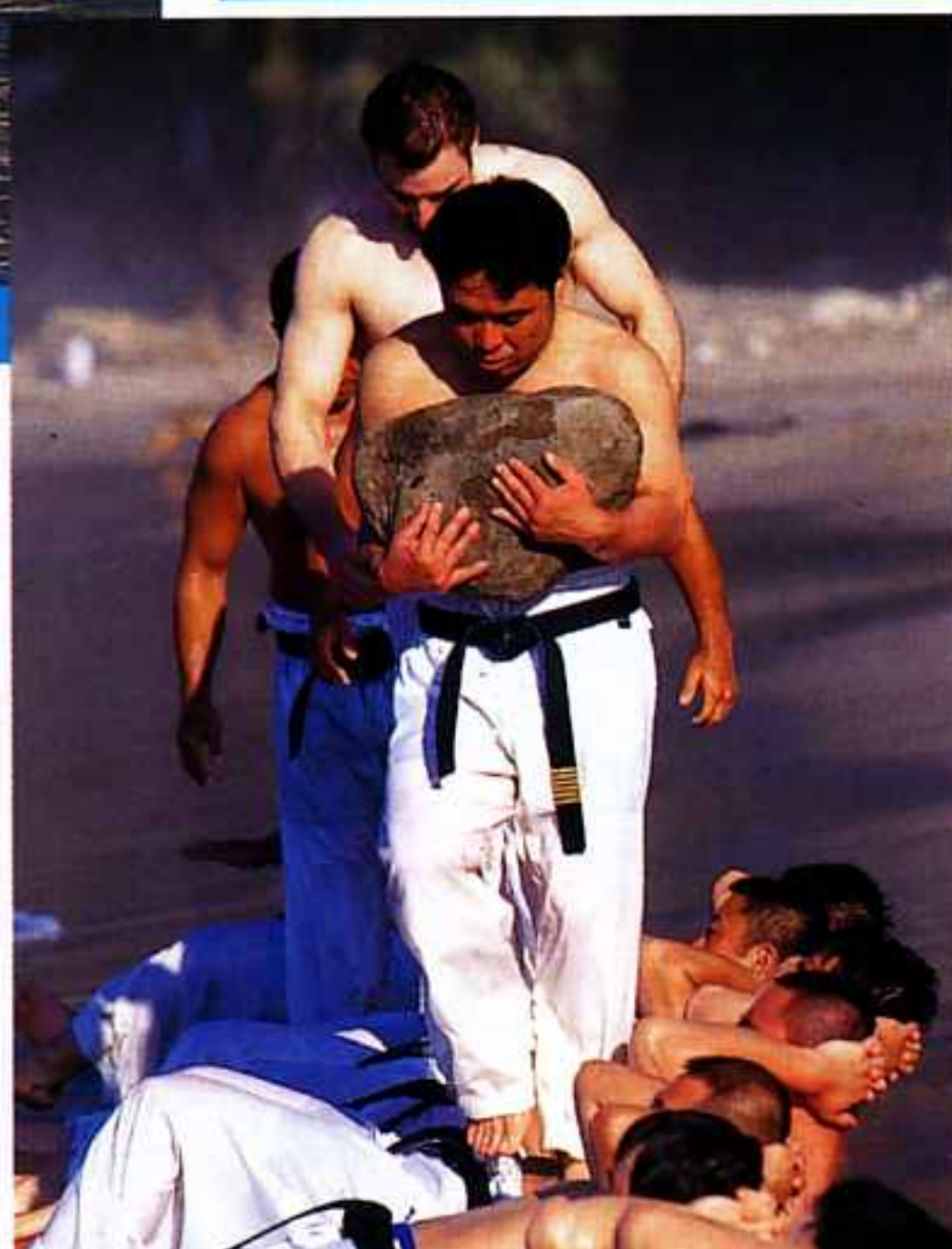
世界大会へのカウントダウン

7月30日〜8月1日☆福島県いわき健康センター

▲日本チームのキャプテン田村を中心に基本稽古が延々と続く

▲数見は102キロにウェイトアップ。田村も108キロある

▲交代で肩車をしながら海につかってスクワット。これはキツイ

▲正拳突きをしながら腕立て伏せ。これもキツイ

▲浜辺に寝そべって順番に腹を踏んでいく。川畑コーチは大きな石を持って踏みつけた

苦しい稽古の分だけ「日本チーム」という連帯感が生まれる

▲前世界チャンピオンの八巻は今でも世界大会に出そうな勢いがある

▲松井館長は、日本の危機をどう考えているのか？

▲海辺で組手の稽古。早朝稽古は午前5時から始まった

うのは常に相手を想定してやるものなのです」

「やれない動きがあるのは仕方がない。でも、その動作を繰り返し繰り返しやっていても身に付きません。できるようにするためには、どうしたらいいのか、考えながらやることが大切です」

と、まあウチの社員にも聞かせてやりたいような言葉を、一般の生徒にも代表選手にも言うのだ。

この夏合宿の意味は、非常に大きい。世界大会になると、日本代表メンバーは、個人競技の空手にもかかわらず、自然と「俺がここで食い止めなければ」という団結心が生まれてくる。極真の世界大会でなぜ、あのような磁場が起こるかというと、こうした苦しい合宿をわずかながらも一緒に味わい、日本代表という意識を叩き込まれるからである。

しかし、そんな過酷な夏合宿を踏んだとしても、今年の世界大会で日本が負ける可能性は高い。もちろん、世界大会が開かれるたびに「カラテ日本」の王座死守は危ぶまれているが、今回はフランシスコ・フィリォとグラウベ・フェイトーザの2人の怪物がいる。本当に史上最大の危機であり、極真の歴史は変わりそうなのである。

たとえば、数見が出場しなかった2年前の世界ウェイト制で、日本はあっさりと王座を外国勢に明け渡した。優勝・フィリォ、準優勝・グラウベ、3位・ニコラス・ペタス。全日本準優勝の田村悦宏は、グラウベのブラジリアンキックを食らって失神KO負けをしてしまったのである。

また、新空手のワンマッチでグ

▲炎天下の稽古で、数見といえども「倒れるかと思った」そうだ

館長稽古は500名を指導

▲合宿に参加した一般道場生は500人以上。初日からいきなり館長稽古が行われた

▲松井館長の言葉は、わかりやすく、それでいて厳しい！

松井館長も自ら技術指導！

▲松井館長自ら世界大会代表に熱のこもった指導をしていた

ラウベが木村靖彦を軽く一蹴し、全USA大会でも門井敦嗣が磯部師範いわく「グラウベの10％の力」で敗れた。もし、昨年パリで行われた団体戦に数見が出ていなかったら、優勝はブラジルが取っていたのは、間違いないだろう。

過去、熊殺しウィリーや鉄人アンディ・フグが脅威だった時代に比べても、こんな深刻な状況はなかった。ハッキリ言って、数見以外は全く信頼できないのである。

かつて大山総裁が口にした「日本が負けたらキミたち腹を切りなさい」と言っていた事態は、本当に今年訪れそうなのだ。

それでも、今の極真には「最後は数見がなんとかしてくれる」という空気がなんとなく蔓延している。確かに技術、精神力から言って、数見がブラジル勢に勝つ期待は十分あるだろう。

しかし、今回の合宿を見ていて感じたことは、その空気こそが日本代表の最大の欠点と思えるのだ。「日本に数見あり」という数見突出型のメンバーが、今度の日本代表の特徴である。しかし、それこそが日本の弱点でもある。

過去、世界大会で優勝してきた選手は何がなんでも優勝するという気概があった。しかも、そういう選手がチームに何人もいた。

たとえば、第4回世界大会で言えば、松井館長が今の数見のような立場にあった。しかし、横を見れば、増田章、黒澤浩樹といった選手が「優勝するのは松井じゃない。オレだ！」という強烈なオーラを発していたのである。

そういう増田、黒澤のような選手が今回見当たらないのである。

極真カラテ《松井派》

世界大会へのカウントダウン

7月30日〜8月1日☆福島県いわき健康センター

▲夜は松井館長の講話が2時間続けられた

廣重日本監督の話

「新しい選手と古い選手が噛み合ったいい合宿だと思います。でも、数見が一枚看板で一人で勝てるかといったら、たぶん無理です。自分のいるブロックからできるだけ、日本選手が出ていくんだ、外国人選手にそのブロックを譲らないんだという気持ちが大切です。その結果が上に行く人間の援護射撃になる。もし途中で刀が折れて、矢が尽きたとしても相手を無傷では出ていかせないという気持ちが必要なんです。カラテ母国として、もちろん王座は守っていきたい。大山総裁が「私の目の黒いうちは、絶対に日本は負けない」と言って、それを実行されたことは本当に尊敬します。私も自分が監督をしている代にもちろん負けたくはない。ただ大山総裁のような覚悟はなかなかできない。あとはやるべきことはすべてやる、という心境です」

数見に頼らず優勝をもぎとれ！

▲軽量級ながら一本勝ちを狙う成嶋。緑健児に続き世界をもぎとれ！

▲数見に次いで穴が少なく安定感のある木山。ぜひ優勝するという強烈な"我"を出してほしい

▲史上最年少18歳で世界大会に出場する田中は、あの松坂大輔と同級生。数見との組手は貴重な経験だ

▲岩崎も急遽代表に決定。あの強烈な左のリードパンチよ甦れ！

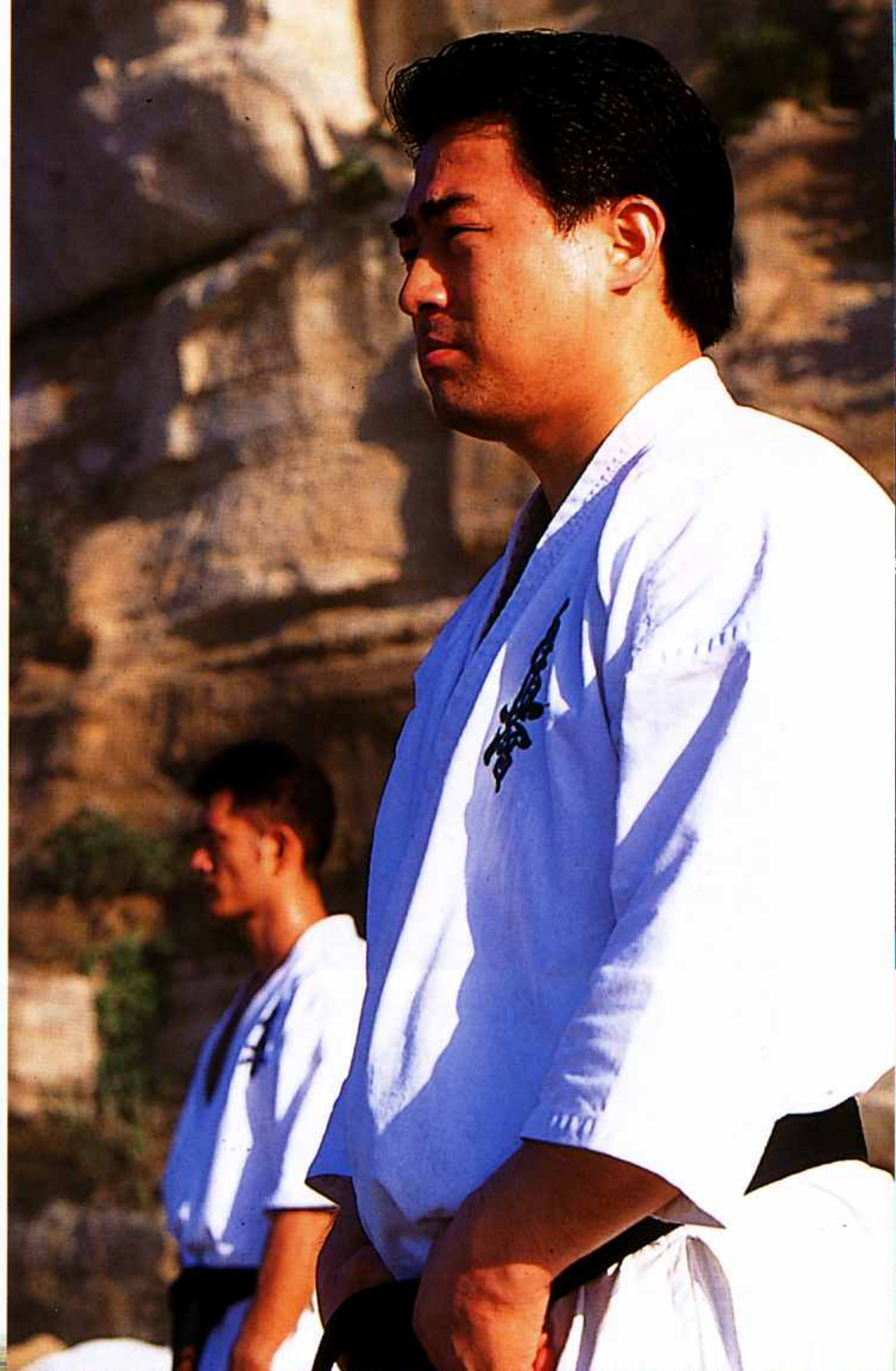
▲天性のセンスを持った野地は、野生味あふれる攻撃で外国人をぶっ潰してほしい

意地の悪い言い方をすれば、私が海外のチームの関係者ならば、まず数見一人をみんなで徹底的に潰しにかかる。数見はスロースターターで、一発で相手を倒す組手はまずしない。

だから、本戦で決着をつけるようパワーで押しまくる。そして、判定で数見を破れば、日本は一気に精神的支柱を失うはずだ。そうなれば、外国勢が王座に就くチャンスを手にしたのも同然である。

それが、日本代表にとっての最悪の状況だろう。同じようなことを言っていたのは、前回チャンピオンの八巻建弐だ。

「みんなフィリォ、フィリォと言うけど、自分は大したことがないと思っています。もちろんパワーは凄いけど、日本で稽古したこともあって、日本人に近い組手をするようになった。自分に負けた第5回大会の時のほうがトリッキーな動きをしていた。グラウベにしても最初の猛攻を止めれば、勝てないことはないと思います。問題は何がなんでも優勝するんだという気迫ですよ。それを出せば、ブラジル人はやはり日本人に対して引きますよ。でも、そういう気持ちがあるのは数見だけでしょう。あとの選手は、自分が第4回大会に出た時と同じで、松井先輩や増田先輩がなんとかしてくれるんじゃないかと思っている。そこが、今の日本代表の最大の欠点です」

確かに八巻の言うとおり。しかし、今回のフィリォはK―1に出場していれば、かなりの大金を稼げたはずなのに、それを蹴って世界大会を選んだ。この気持ちも日本代表は忘れてはならない。

松井章圭館長はどう見ているか？

勝っても勝ち方があるし、負けても負け方がある。負けて下を向くようなみっともないことだけはしてほしくない！

故大山総裁は世界大会について「私の目の黒いうちは、外国人に王座を絶対に渡さない」と言っていた。では、この危機的状況の中で、松井館長は何を思うのか。合宿中にインタビューしてみた。

――松井館長、世界大会前の合宿というのは、どういう意味があるんですか？

松井　ひとことで言えば、連帯意識を持たせるということです。全日本選手権というのは一人ひとり個人の闘いですが、世界大会というのは日本代表という、チームで闘う形になる。その連帯意識を植えつけるのが、この合宿の意味です。それと、普段はおのおの違った道場で稽古していますが、同じ現場で同じ人の指導を受けるわけですから、技術交流という意味もありますね。

――世界大会を睨んで、日本代表の戦力を客観的に分析してもらいたいんですが。やはり、フィリォやグラウベの存在が脅威だと思いますけど……。

松井　確かにフィリォとグラウベが今、世界のトップに来ていて、それと比肩できる戦力を持った日本選手は唯一、数見君だけじゃないかというのが正直な意見です。しかし、他の19名がじゃあ、かなり戦力的に落ちるかというと、そうでもない。若手もベテランも、世界大会ではかなりの力は発揮してくれるんじゃないかと期待しているんですが……。

――館長自身が世界大会のシミュレーションをした場合、ベスト4には誰が残ると思いますか？

松井　う〜ん、単純に想像すれば数見、フィリォ、グラウベ、そしてニコラスなのか、もしくは日本人選手なのか、ロシアの選手といったところでしょうね。もちろん、若い選手に期待しているんですが。

――たとえば、磯部師範が教えるブラジル勢は、フィリォ、グラウベが優勝するために、他は捨て石になってもいいと考えているんですが、数見選手を軸として、日本チームが戦術的にやらなければいけないことは何だと思いますか？

松井　その磯部師範の発想というのは、まさに今までの大会で日本選手が持っていた発想です。私自身、21歳で第3回世界大会に出場した時は、決勝に行く意識というより、最初から立派な捨て石になろうと考えていました。そこらへんはもう、日本選手も世界大会に近づくにつれてどんどん高めていくと思います。もちろん、自分が優勝するんだという気持ちを持っている人は何人かいると思うんですが、それでも自分が力尽きた時には、必ず相手を傷めつけて次の選手に渡してやるという気持ちは常に持っていると思いますよ。

――その意識は現時点で、十分浸透していますか。

松井　今現在浸透していなくても、こういう合宿で連帯感を持ったり、世界大会の会場でそういう雰囲気に包まれていくものなんです。世界大会というのは不思議な雰囲気があって、そこに参加した選手はお互いに自然と励ましあって、自分の力以上の力を発揮するというケースが多々あるんです。ただ、私はあえて意図してそういう意識は煽らないです。

――今回の日本代表メンバーの特徴は「数見肇突出型メンバー」だと思うんですが、逆に数見選手に

依存しているところが最大の弱点だと思うんですが、どうですか。

松井　精神的にはそういう部分があるかもしれないですね。ただ、田村君や市村君なんか、それなりに考えていると思いますけどね。

——世界チャンピオンになる資質って、どういう人なんですか。

松井　まず、とりこぼしをしない人、負けない人ですね。攻撃型というか爆発力のある人よりも、土俵際での安定感が一番要求されます。あとは、精神的な部分ですね。何がなんでも勝ちたいという意志が強くて、謙虚で落ちついた人。チャラチャラした人はダメですね。

——日本の砦と言われている数見選手は百人組手を達成して、どんなところが変わりましたか。

松井　数見君は前回の世界大会が終わったあたりから、自分の組手を変革しようという意識を持って稽古してきたんだと思うんです。それが昨年の全日本の時に、ようやく表に現われてきた。でも、実は百人組手の中で私が技術的に望んでいたことはあまり達成されていないんですよ。具体的に言えば、タイミングを計るとか、間合いを計るとか、呼吸を読むとか。彼は常にフルで攻撃しようとしていますが、基本的にそれは必要であっても、より打撃力を増すためにそういう相手との操作が必要になってくる。言い方を変えると、もっと楽をして組手をやることを覚えるんじゃないかと思っていた。百人組手で肉体的限界を迎えた時に、そういうことに気がついてくれるんじゃないかと思っていたんです。実際、百人組手を達成したことで精神的な糧にはなったと思いますけど、技術的な部分での答は今度の世界大会にあるんでしょう。立派な百人組手でしたけど、私はそういうふうに捉えています。

——もし何かのアクシデントで数見選手が途中で負けたらどうなるんでしょう。

松井　そういう事態が生じれば、残っている選手が気を引き締めることになるでしょうけど、落胆は大きいと思います。マイナスに作用することはあっても、プラスにはなりません。日本が王座を奪われる可能性は本当に高くなるのは間違いないでしょう。

——2年前の世界ウェイト制で、すでに日本は一度王座をフィリォとグラウベに取られているわけですけど、見ていてあまりにもあっさりとタイトルを奪われてしまった。そこが非常に心配なんですが。

松井　あっさり負けちゃいけません。あの時は私も怒りました。大山総裁は、第1回の世界大会では自分が腹を斬る、第2回世界大会からは「負けたらキミたちが腹を斬れ」と言われた。私は選手たちにそういうことは言わないし、自分も考えていません。しかし、自分自身を高めるためにも、勝った姿勢、負けた姿勢が問われてくるんです。たとえ勝ったとしても誉められない勝ち方では意味がないし、負けたとしても負け方が問題。もし日本が負けて、落胆して下を向いて2位や3位の表彰台に上がるようなことでは、そんなみっともないことはない。負けても誉められるような、ある種自分でも納得して胸を張って表彰を受けられるところまで自分を高めてもらいたいですね。

——館長は負けることも心の中においておく必要がある、と。

松井　勝負というのは勝つこともあるし、負けることもあるんです。だから、負けることを意識しない人間は、逆に言うと勝てないですよね。これは日本が危機的な状況にあるから言うのではなく、常に言えることなんです。勝っても負けても正々堂々といられるように、自分の姿勢を変えず大会に臨めるか。そういう意識は、逆にしっかりと稽古していないと芽生えないはずです。

——館長自身、世界大会の頂点に立っていますが、その難しさや苦しみはどんな点にあると考えていますか。

松井　とおりいっぺんの言い方で言えば、一生懸命稽古しないといけないとか、ダメージを少なくして上に上がらなければいけないとか、試合にあたって油断しちゃいけないとかいろんなことが言えますけど、私が都合3回優勝した経験で言えば、3回とも自分がなぜ優勝できたかは明確な説明がつかないんです。正直に言えば、運が良かったのだと。で、負けたことには一つ一つ、きちんと理由があるんですね。あの時はこうだったから負けたんだという説明がつくんです。「勝ち負け」というのは、そういうものなんですね。ですから、私なんかが選手に言っておきたいのは、常に最悪のケースを想定して日頃から稽古に臨んでほしいということです。自分が最悪の状況で、相手が絶好調でも試合では闘わなければいけないし、勝たなければならない。たとえば私も尊敬している柔道の山下泰裕先生なんかは、ずっとそんなことを言っておられて、その中でも一本勝ちしてきた。試合にあたってシミュレーションをよくするんですが、最悪の状況を想定して、その中で相手に勝つシミュレーションをしていくうちに自分が一本勝ちできるところまでもっていく。そして、山下先生が普通の人と違うんだなと思うところは、一本勝ちできるまでにシミュレーションした自分に対して、もしかしたら驕っているんじゃないかと不安になるというんです。そして、自分の意識をまた疑って稽古を進める。ホントダメ押しくらいにね。そういう人がやはり、王者になれるんじゃないかと思うんです。

——世界大会まで100日を切ったんですが、日本代表がこの短期間でどこまで変わるか期待しています。

あのK-1グッズを電話注文で手に入れろ!!
K-1 OFFICIAL GOODS('99 Version) 誌上販売
東京☎03-3204-4410　大阪☎06-6358-4363

■Tシャツ(サイズ/S・L)　¥3,000

○ピーター・アーツ666
(カラー/ブルー・レッド)
○ピーター・アーツA
○ピーター・アーツB
○アンディ・フグ
○マイク・ベルナルドA
○マイク・ベルナルドB
○アーネスト・ホーストA
○アーネスト・ホーストB
○サム・グレコA
○サム・グレコB
FRONT
○チームJAPAN
(カラー/ホワイト・ネイビー)
BACK
○チーム・キック
○チーム・カラテ
○フランシスコ・フィリォ
(¥2,500)
○レイ・セフォー

■リストバンド

各¥700

○アーツ666
○マイク・ベルナルド

■チビT

¥3,000

○アーツ666
○アンディ・フグ
「かかとおとし」
○マイク・ベルナルド
○アーネスト・ホースト
○サム・グレコ
○レイ・セフォー

■タオル

フェイスタオル　各¥1,500
ハンドタオル　各¥700

○アーツ666
○アンディ・フグ
○マイク・ベルナルド
○アーネスト・ホースト

■トランクス(サイズ/フリー) 各¥5,500

○アーツ666
○アンディ・フグ
○アーネスト・ホースト
○マイク・ベルナルド

■キャップ

○アーツ666
¥2,500

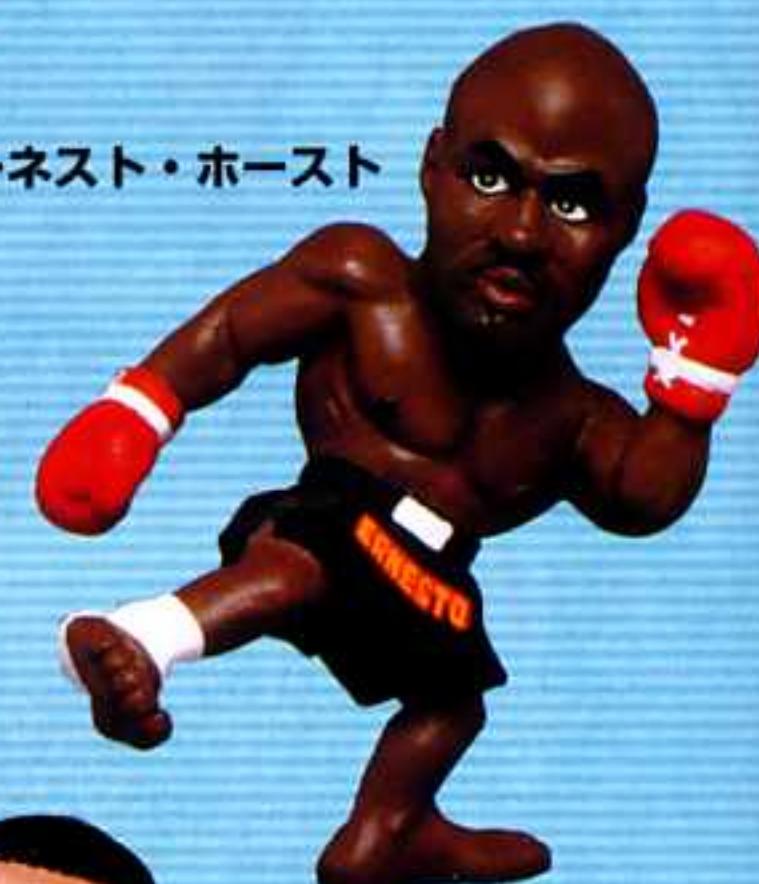
○アーツ666ハット
¥3,500

○マイク・ベルナルド
¥2,500

■フィギュア~FIRST TYPE~

爆発的人気!! 各¥4,200

- 質感・重量感抜群のポリストーン素材を使用
- 高さ15cm
- カラー天然色
- 全8体

○サム・グレコ
○マイク・ベルナルド
○ピーター・アーツ
○アーネスト・ホースト
○レイ・セフォー
○フランシスコ・フィリォ
○アンディ・フグ
○角田信朗(竹刀つき)

■アクセサリー

○シルバーリング
(19or21サイズ)
¥5,500

○ペンダント
¥9,500

○ブレスレット
¥7,000

■商品のご注文方法

・電話注文のみのご注文となります
☎03-3204-4410(東京)☎06-6358-4363(大阪)
(株)BEGINスポーツ
・商品お渡し方法
代金引換でのお受け取りとなりますので、ご注意ください。
(ご家族がいらっしゃる場合は、その旨お伝えください)
・注意事項
◎商品代金のほかに送料500円、代引手数料360円がかかります。
◎現金書留での受付はいたしません。
◎『SRS・DX』編集部では、注文を受け付けておりません。

お問い合わせは、(有)M・D・K ☎03-3796-2993まで。

カラテ母国の名に懸けて、世界王座を守り抜く!

これが世界大会日本代表の猛者たちだ!

①名前②生年月日③身長・体重④支部⑤段位⑥血液型⑦得意技⑧主な戦績⑨過去の世界大会戦績⑩職業⑪趣味⑫尊敬する人物⑬好きな格闘家⑭ライバル⑮あなたにとって極真とは⑯あなたにとって世界大会とは⑰世界大会の目標は

世界大会代表メンバーが決定してからは初めての合同稽古となった夏合宿。厳しい暑さの中で一緒の時を過ごし、より連帯感を強めて強豪ひしめく世界大会を勝ち抜く志気を高めた日本代表20名を紹介する。なお、先日行われた第16回全日本ウェイト制大会で本部推薦枠で出場が決定した福田達也は欠席。また、この合宿で急遽、岩崎達也が代表となった。これは、前回の世界大会でベスト8以上の成績を収めたものは、無条件で第7回世界大会に出場できる規定があり、前回チャンピオンとなった八巻建弐が引退し、その出場枠に岩崎を推薦したからだ。果たして、総勢20名で世界の壁を突き破り、王座を死守することができるか!

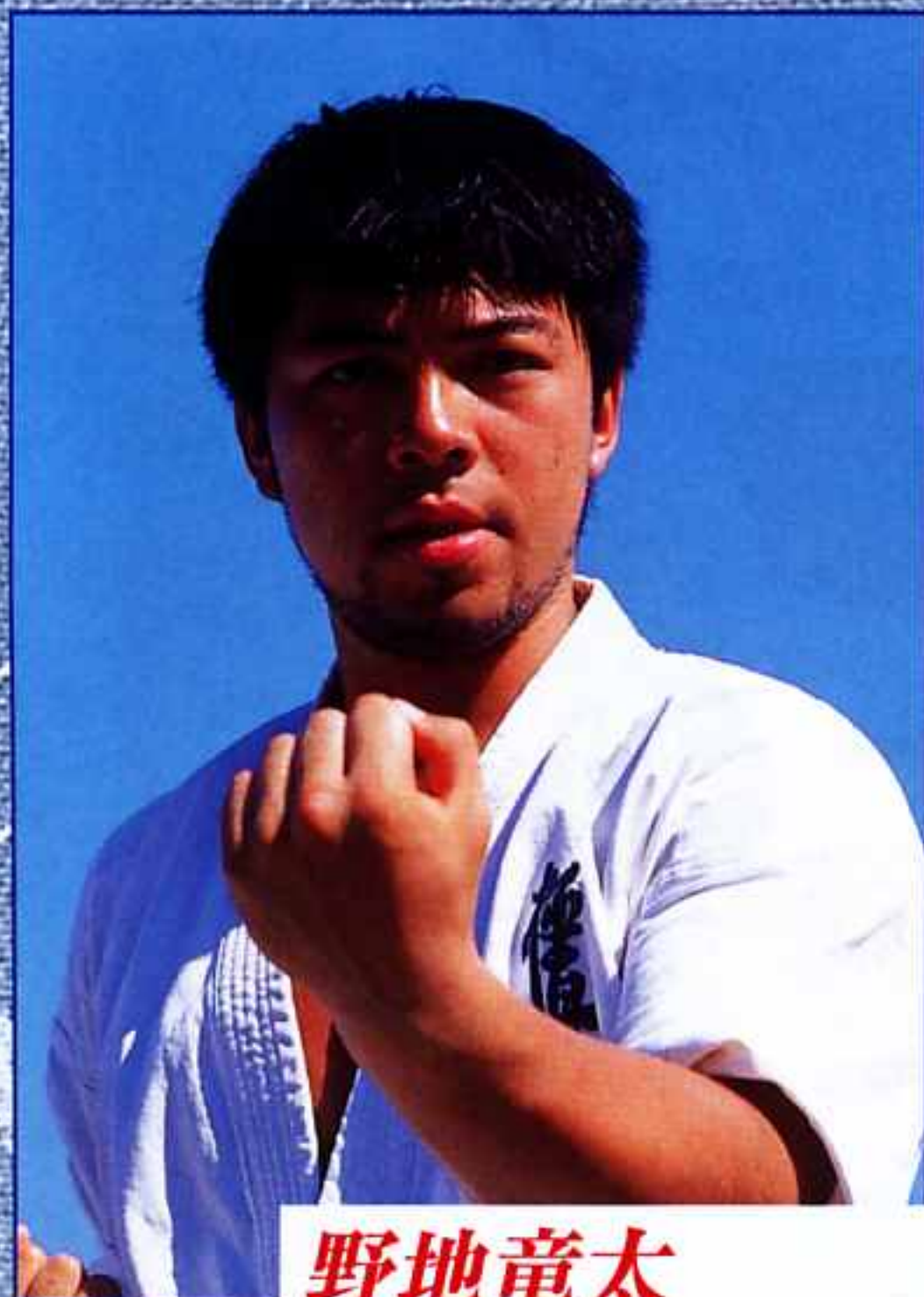
数見肇

①かずみ・はじめ②1971年12月14日③180cm、102kg④千葉県中央支部⑤参段⑥B型⑦下段回し蹴り⑧第25、28、29、30回全日本大会優勝、第24、26回全日本大会準優勝⑨第6回世界大会準優勝⑩支部長⑪車の運転(愛車はランドクルーザー)、サウナ⑫大山倍達総裁、廣重毅師範、父親⑬大山倍達総裁⑭強い人⑮生きがい⑯人生⑰優勝

田村悦宏

①たむら・よしひろ②1965年6月14日③176cm、100kg④湘南支部⑤五段⑥B型⑦突き⑧第24回全日本大会優勝、第30回全日本大会準優勝⑨第5回世界大会1回戦敗退、第6回世界大会ベスト16⑩支部長⑪映画鑑賞⑫大山倍達総裁⑬数見肇⑭いない⑮マイ・ライフ⑯夢⑰優勝

木山仁

①きやま・ひとし②1974年1月9日③175cm、88kg④鹿児島支部⑤参段⑥A型⑦突き⑧第30回全日本大会3位、第1回全世界ウェイト制中量級3位⑨初出場⑩職員⑪なし⑫竹和也師範⑬なし⑭極真空手家全員⑮全て⑯憧れ⑰優勝

野地竜太

①のじ・りゅうた②1973年10月6日③186cm、100kg④城西世田谷東支部⑤初段⑥A型⑦右上段回し蹴り⑧第30回全日本大会4位⑨初出場⑩指導員⑪漫画を読むこと。「グラップラー刃牙」を会場で読んでる⑫両親⑬アレクサンダー・カレリン⑭佐野忠輝⑮生きる道⑯最大の目標⑰優勝

高久昌義

①たかく・まさよし②1971年7月19日③177cm、90kg④東京城南川崎支部⑤参段⑥O型⑦横蹴り⑧第1回全世界ウェイト制軽重量級優勝⑨第6回世界大会ベスト16⑩城南支部向ヶ丘道場責任者⑪食べ歩き（グルメ！）⑫両親、廣重毅師範⑬特になし⑭大会に出る人全員⑮嘘の通じない場所⑯現時点での自分の空手の最大の目標⑰優勝

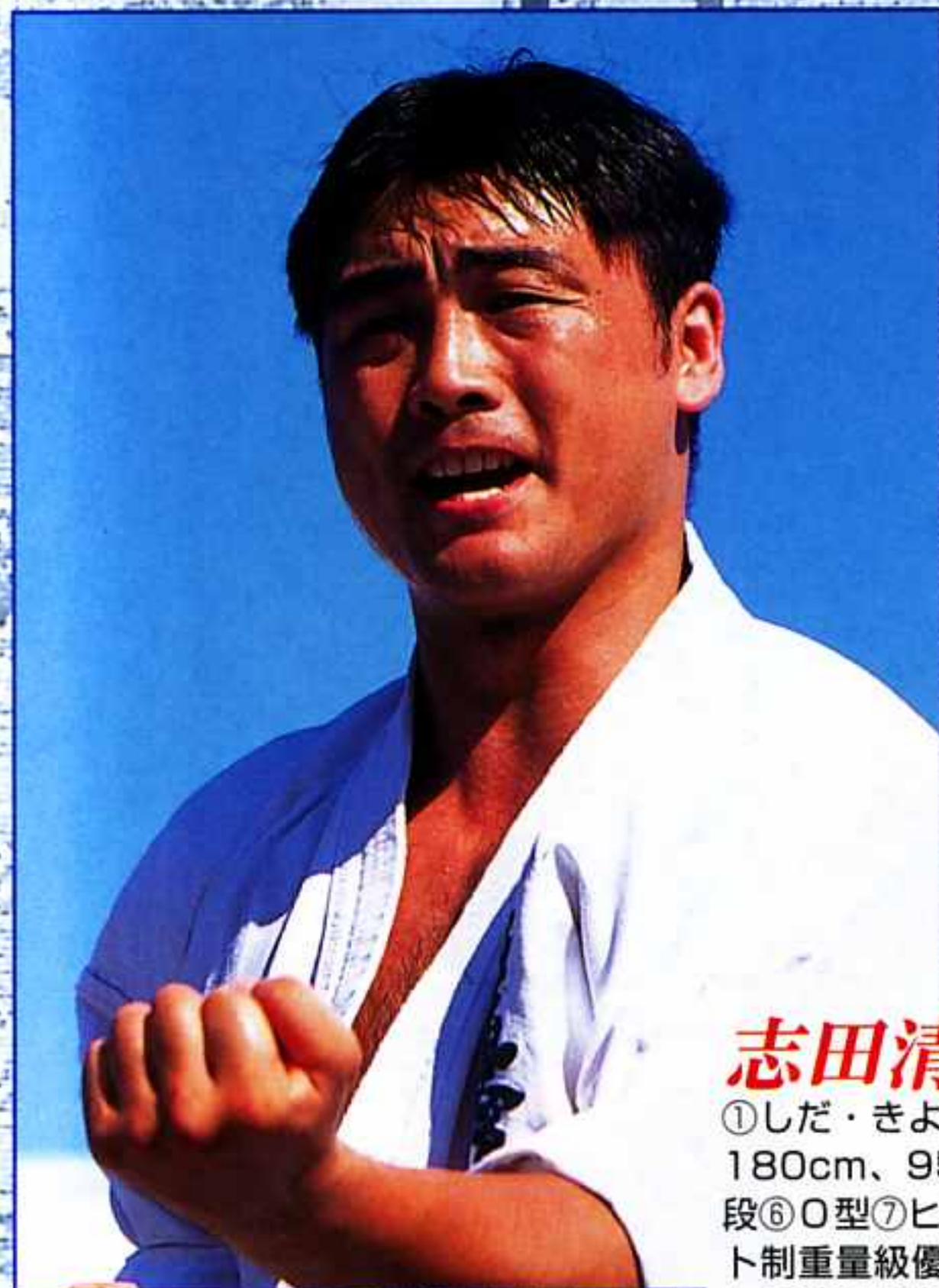
木村靖彦

①きむら・やすひこ②1971年1月16日③180cm、97kg④本部直轄浅草道場⑤弐段⑥B型⑦左中段回し蹴り⑧第13回ウェイト制重量級3位、第15回ウェイト制重量級準優勝、第30回全日本大会8位⑨初出場⑩指導員⑪ドライブ（愛車はマークⅡツアラーV）⑫松井章圭館長⑬特になし⑭選手全員⑮人生の上で道筋を与えてくれるもの⑯最高の舞台⑰悔いを残さないこと

市村直樹

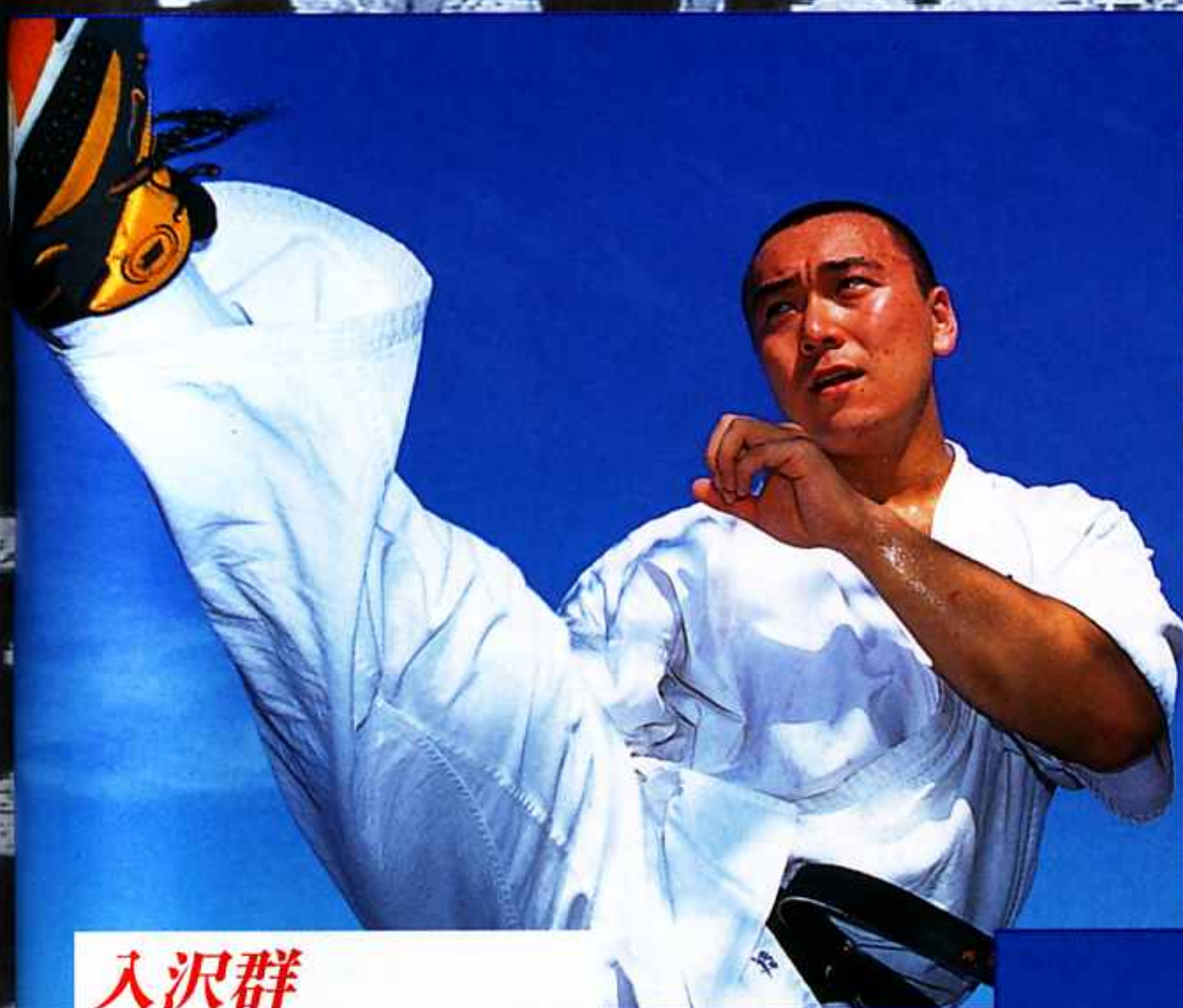
①いちむら・なおき②1966年10月19日③175cm、88kg④城西下北沢支部⑤参段⑥B型⑦正拳突き⑧第26回全日本大会3位、第28回全日本大会5位、第29、30回全日本大会6位⑨第6回世界大会ベスト16⑩支部長⑪ベースギター⑫矢沢永吉⑬大山倍達総裁⑭矢沢永吉⑮人生⑯今はすべて⑰完全燃焼

門井敦嗣

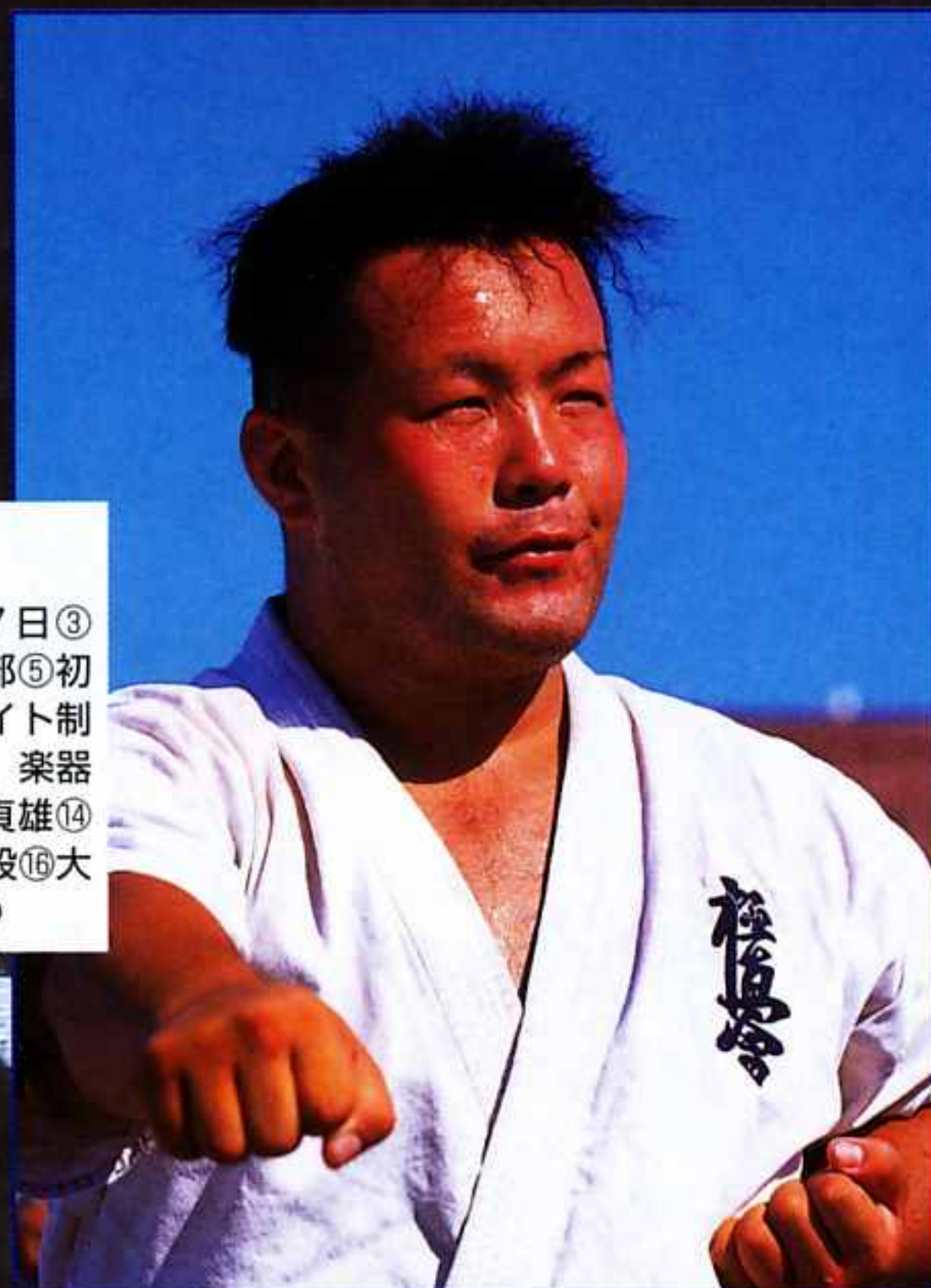
①かどい・あつし②1972年12月1日③176cm、93kg④下総支部⑤初段⑥AB型⑦下突き⑧第30回全日本大会7位⑨初出場⑩昼間の水商売⑪愛車の洗車⑫親分⑬黒澤浩樹⑭特になし⑮青春⑯最高の舞台⑰打倒グラウベ・フェイトーザ！

志田清之

①しだ・きよゆき②1972年11月3日③180cm、95kg④東京城南川崎支部⑤初段⑥O型⑦ヒザ蹴り⑧第16、17回ウェイト制重量級優勝、第30回全日本大会ベスト16⑨初出場⑩内弟子⑪映画鑑賞⑫廣重毅師範⑬バス・ルッテン⑭なし⑮生きがい⑯空手と出合って今まで自分がやってきたことの集大成⑰自分の組手を出し切る

佐野忠輝

①さの・ただてる②1971年7月7日③168cm、102kg④城西世田谷東支部⑤初段⑥O型⑦突き⑧第16回全日本ウェイト制重量級準優勝⑨初出場⑩植木屋⑪釣り、楽器（ベースギター）⑫川畑幸一師範⑬堺貞雄⑭野地竜太⑮人生を豊かにするための手段⑯大きくて魅力的な試練⑰1つでも多く勝つ

入沢群

①いりさわ・ぐん②1973年2月11日③180cm、95kg④総本部⑤参段⑥AB型⑦突き⑧第16回全日本ウェイト制重量級3位⑨第6回世界大会2回戦敗退⑩指導員⑪ドライブ（愛車はプリメーラ）⑫大山倍達総裁⑬なし⑭己⑮己の人生⑯憧れの舞台⑰優勝

住谷統

①すみたに・おさむ②1974年4月30日③175cm、89kg④兵庫支部⑤弐段⑥B型⑦諸手突き⑧第16回全日本ウェイト制軽重量級準優勝⑨初出場⑩会社員⑪新しい技を考える⑫高尾正紀⑬堀池典久⑭安田幸治⑮生きがい⑯怖いところ⑰一つでも多く上に勝ち上がる

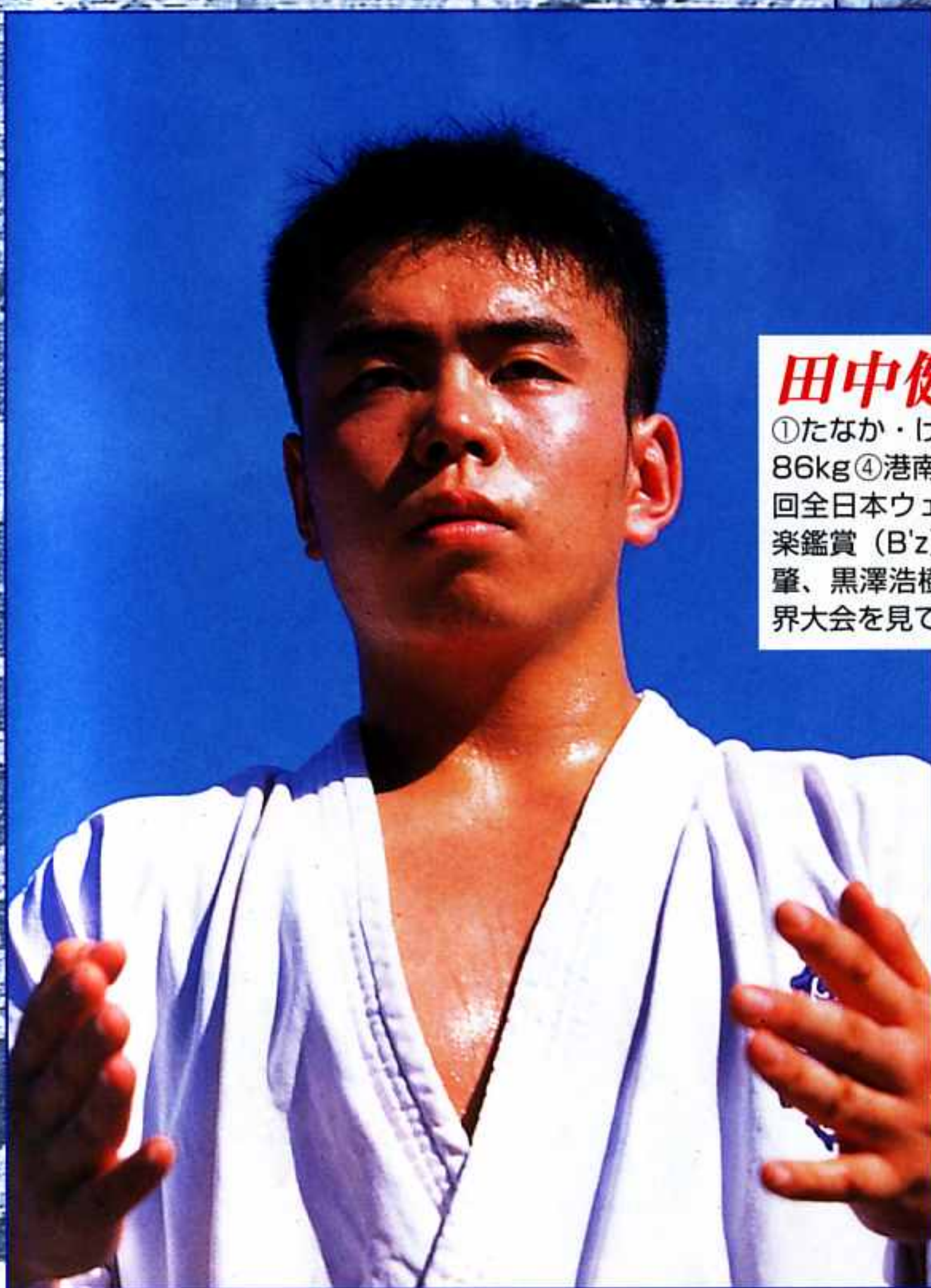
田中健太郎

①たなか・けんたろう②1981年3月29日③180cm、86kg④港南支部⑤初段⑥B型⑦左下段回し蹴り⑧第16回全日本ウェイト制軽重量級3位⑨初出場⑩内弟子⑪音楽鑑賞（B'z）⑫世界大会を代表する選手の皆さん⑬数見肇、黒澤浩樹⑭松坂大輔⑮まだわかりません⑯第6回世界大会を見て極真を始めたので夢みたい⑰優勝

足立慎史

①あだち・しんじ②1970年6月26日③180cm、88kg④本部直轄浅草道場⑤弐段⑥O型⑦右上段回し蹴り⑧第16回全日本ウェイト制軽重量級優勝、第1回全世界ウェイト制中量級準優勝⑨初出場⑩職員⑪釣り⑫松井章圭館長、神尾伸幸師範⑬大山倍達総裁⑭みんな！⑮最高の生き方⑯戦争⑰優勝

木立裕之

①きだち・ひろゆき②1972年2月6日③169cm、75kg④本部直轄浅草道場⑤弐段⑥B型⑦突き⑧第6回全関東大会優勝、第15回全日本ウェイト制軽量級優勝、第16回全日本ウェイト制中量級優勝⑨初出場⑩会社員（カードメーカー営業）⑪絵を描くこと（デザイン）⑫父親⑬石井豊⑭会社、課長⑮好きなコト⑯空手を始めた時からの目標、夢、動機⑰期待に応えられるよう頑張ります

伊藤慎

①いとう・しん②1972年11月3日③173cm、74kg④京都支部⑤初段⑥O型⑦上段前蹴り⑧第15回全日本ウェイト制軽量級4位、第16回全日本ウェイト制中量級2位、第30回全日本大会ベスト16⑨初出場⑩指導員⑪映画鑑賞（アクションもの）⑫川畑幸一師範⑬特になし、自分自身⑭自分自身⑮自分自身を追求する場⑯空手を始めた時からの夢⑰とにかく終わった後に後悔しないよう、精一杯の練習をし、精一杯試合をする

成嶋竜

①なるしま・りゅう②1968年9月5日③168cm、68kg④総本部⑤参段⑥O型⑦左上段回し蹴り⑧第11回全日本ウェイト制軽量級準優勝、第12回全日本ウェイト制軽量級優勝、第13回全日本ウェイト制中量級優勝、第1回全世界ウェイト制中量級3位、第16回全日本ウェイト制軽量級優勝⑨第6回世界大会ベスト32⑩指導員⑪釣り⑫父親⑬ない⑭選手全員⑮最強の格闘技⑯選手の目標、最高の場所⑰前回よりも上を目指す

岩崎達也

①いわさき・たつや②1969年6月20日③175cm、98kg④東京城南川崎支部⑤四段⑥A型⑦右上段回し蹴り⑧第7、12回全日本ウェイト制重量級優勝、第22回全日本大会3位、第29回全日本大会8位⑨第5回世界大会4回戦敗退、第6回世界大会ベスト16⑩会社員⑪音楽鑑賞（Dragon Ash、R&B）⑫父親、大山倍達総裁⑬マイク・タイソン⑭特になし⑮存在理由⑯人生最大の目標⑰推薦で出していただくので、周りの方の気持ちに応える。いい意味で予想外の結果を残したい。日本の王座を守りたい

安田幸治

①やすだ・こうじ②1973年4月2日③173cm、70kg④兵庫支部⑤弐段⑥A型⑦正拳突き⑧第15、16回全日本ウェイト制軽量級準優勝⑨初出場⑩会社員⑪映画鑑賞⑫中村誠師範⑬ジョージ・フォアマン（雰囲気が好き）⑭住谷統、田ヶ原正文⑮すべて⑯第3回世界大会のビデオを見て、インパクト、インスピレーションを受けた大会⑰120％の力を出して、頑張ります。一戦でも多く勝つ

日本最後の砦

数見 肇

僕は池の中の鯉のような組手がしたいんです

インタビュー◎谷川貞治

極真合宿最後には、日本最後の砦でエース数見肇に現在の心境を聞いてみた。果たして、フィリォやグラウベのような怪物と闘う、数見とはどんな男なのか？ 数見に「極真」は見えてくるのか？

――数見さん、おいくつになられたんですか。

数見 27です。12月で28になります。

――早いですねぇ。というと僕が初めて数見さんを取材したのが、21の時ですから、あれからもう7年も経っているんですね。

数見 自分ではまだ22、3の気持ちなんですけど、ふと思うとああもう28なのかっていう感じですね。

――そうですかぁ、でも数見さんは最初に会った時からずいぶん落ちついている人だなぁと思いましたけどね。それにしても、数見さんほどデビューしてから安定した成績をあげている人はいない。いきなり全日本で準優勝してから全ての大会で決勝に進んでいる。この3年間は3連覇で4年前の世界大会の決勝から、まったく負けていませんからね。そういうわけで、もちろん数見さんが今度の世界大会のエースというか、数見さんしかフィリォたちの優勝を止められないという意見も多いんですけど、そのへんはどうですか。

数見 とにかく自分が絶対に優勝するんだ、絶対に獲ってやるという気持ちだけですね。僕はまあ、そんなに別に自分が日本のエースだということは思っていないです。ただ、世界大会になると、海外に王座を奪われたら絶対いけませんから、それだけなんですよ。

――その王座を明け渡したのが、数見さんだったらシャレにならないですよね。王選手の800号ホームランを打たれたのは誰々ピッチャーだったって感じで、不名誉な記録が一生残っちゃいますからね（笑）。

数見 それだけは、なりたくないですよね。

――いや、意地の悪い言い方をして申し訳ないですけど、僕が海外の支部長だったら、数見さんを真っ先に狙いますもん。数見さんを破ったら、たぶん日本人はコロコロ負けると思いますよ。それだけ今の極真を見ていると、数見さんに頼りきっている感じがするんです。

数見 まあ、でも確かに前回の世界大会の時は、八巻先輩や黒澤先輩がいましたから、僕は気持ち的にけっこう楽だったですね。初めての世界大会を存分に楽しんでやろうという気持ちだったんですけど、今はとてもそんな気持ちにはなれないですね。

――数見さんにとって、まだ極真の競技者としてやっていないことが、世界大会の優勝じゃないですか。もう世界大会を獲るということは宿命みたいなもんでしょう。全日本も三連覇したし、百人組手もやったし。

数見 この3年間で全日本で優勝できて、百人組手もやってですね、

それは全部世界大会を見越してやってましたからね。ここで負けてしまったら、自分にとってこの3年間が無駄になってしまう。そっちのほうが怖いです。

――その日本を守るために、数見さんは自分にどんなことを課しているんですか。

数見　それは……何ですかね。気持ち的に普段と違う精神状態に常に自分を追い込んでいくというか、プレッシャーを与えていくというか、ちょっとうまく説明がつかないんですけどね。欲を断つというんですかねぇ。要するに怠惰な生活を送らないように気を抜かないということですね。

――遊びに行きたいとか、女の子と遊ばないとか、そういうことですか。

数見　僕はそういうの、意外と面倒臭がり屋なんですよ（笑）。

――確かに数見さんの合宿中の稽古を見ていても、本当に一つ一つの動作に気合いを入れて丁寧にやっている感じがしました。そういうところを毎日自分に課しているんですね。

数見　今回の合宿について言いますと、やっぱりいろんな支部から集まってですね、普段やったことない選手と手合わせできる。やっぱり人それぞれに個性があるわけですよね。だから、良いところは自分に取り入れていきたいなっていう気持ちですね。でも、初日の炎天下の稽古（福島は36度もあった！）では、本当に苦しくて倒れそうでした（笑）。

――数見さんほどの人でもですか。よく聞かれると思うんですけど、百人組手をやって何を得ましたか？

数見　技術的なことはそんなに変わらないと思うんですけど、組手に対しての意識は変わりました。百人組手をやっている時は夢中だったんですけど、やった時のビデオを改めて見て、もっとここをこうしていかなければいけないと、凄く当たり前のことなんですけど、間合いとか技の緩急とか、今まで意識していなかったことを変えていかなくちゃと思うようになりましたね。

――松井館長に聞いたら「数見選手は立派な百人組手なんだけど、技術的に得たものを感じなかった」とか、八巻さんも「自分は百人組手中にピシッと効かせる前蹴りを蹴るコツなどつかんだんですけど、数見は変わっていない」と言っていたんですけど。

数見　そうですね。百人組手の中で何か技術的な面で突破口が見えたらいいなと思っていたんですけど、結局普段慣れたスタイルになっていましたね。

――いや、それは普段のスタイルで最後まで貫けたという点で、数見さんがやっぱり怪物なんだろうと思うんですけど、僕が見た百人組手の中では非常に淡々とこなした感じがするんですよ。前回達成した八巻さんは本当に死にそうだったじゃないですか。

数見　僕は百人組手をやるにあたって、一人目から１００人目まで全部、脚を使ってさばききってやろうと思ってたんですよ。最後まで自分の足腰をきちんと保ったまま、相手をさばいて崩していく。でも、やっぱりできませんでしたね。

――ホホウ、１００人全部さばく！　でも重心は落ちてましたよ。全部さばこうと考えていたのは凄いですね。豪快にぶっ潰してやろうとか、組手を変えようとは思わないんですか。

数見　そういうイメージはあるんですけど、それを思えば思うほど力みとなってしまうんです。でも、変えたいというか、今の自分の組手にプラスアルファ、技の変化とか、体のキレとか、もっと精進していきたいと思いますよ。

――数見さんの理想の組手って、何なんですか。

数見　これは前から言ってるんですけど、池に鯉が泳いでいて、石をポンと投げるとピシャピシャと動くじゃないですか。ああいう動きを身につけたいんです。

――へぇぇ、数見さんはお魚になりたいんですか。

数見　ええ、お魚になりたいんです。

――いや、本当に達人系の素養を持っている方ですね。組手も近来稀にみる「受け」の名人ですし。

数見　いや、本当に将来的にはそういう達人になりたいっていう願望はありますね。凄く興味あります。

――なるほどね。でも、その達人系の数見さんが実際、フィリォとどう闘うのか。数見さんは前回の世界大会でフィリォやグラウベと闘っているんですが、どうだったんですか。

数見　あの体で、あのパワーで技がけっこう正確なんですよね。スピードもあって、的確に効くところを突いてくるんです。

――じゃあ、フィリォにあって数見さんにないものって何ですか？

数見　う〜ん、どうでしょうね。僕よりもフィリォが絶対に優れているのは、あの体とパワーですね。だから、ガンガン打ち合っても力負けしないように１０２キロまで上げて、いつものように動ける体を作っているんです。で、フィリォになくて僕にあるものですか。う〜ん、足さばきですかね。

――もう僕はフィリォと闘う可能性は１００％あると思うんですよ。他は誰も止められないんじゃないか、と。そのへんのプレッシャーはありますか。

数見　もちろんありますよ。ありますけど、やるしかないんですよ。やるしかない。やっぱり、フィリォにしても、グラウベにしても怖いですよ。前回の世界大会で向かい合った時でも、他の選手と全然威圧感が違うんですよね。もう、なんて大きな人なんだと思いましたもん。怖いんですけど、行くしかないんですよ。

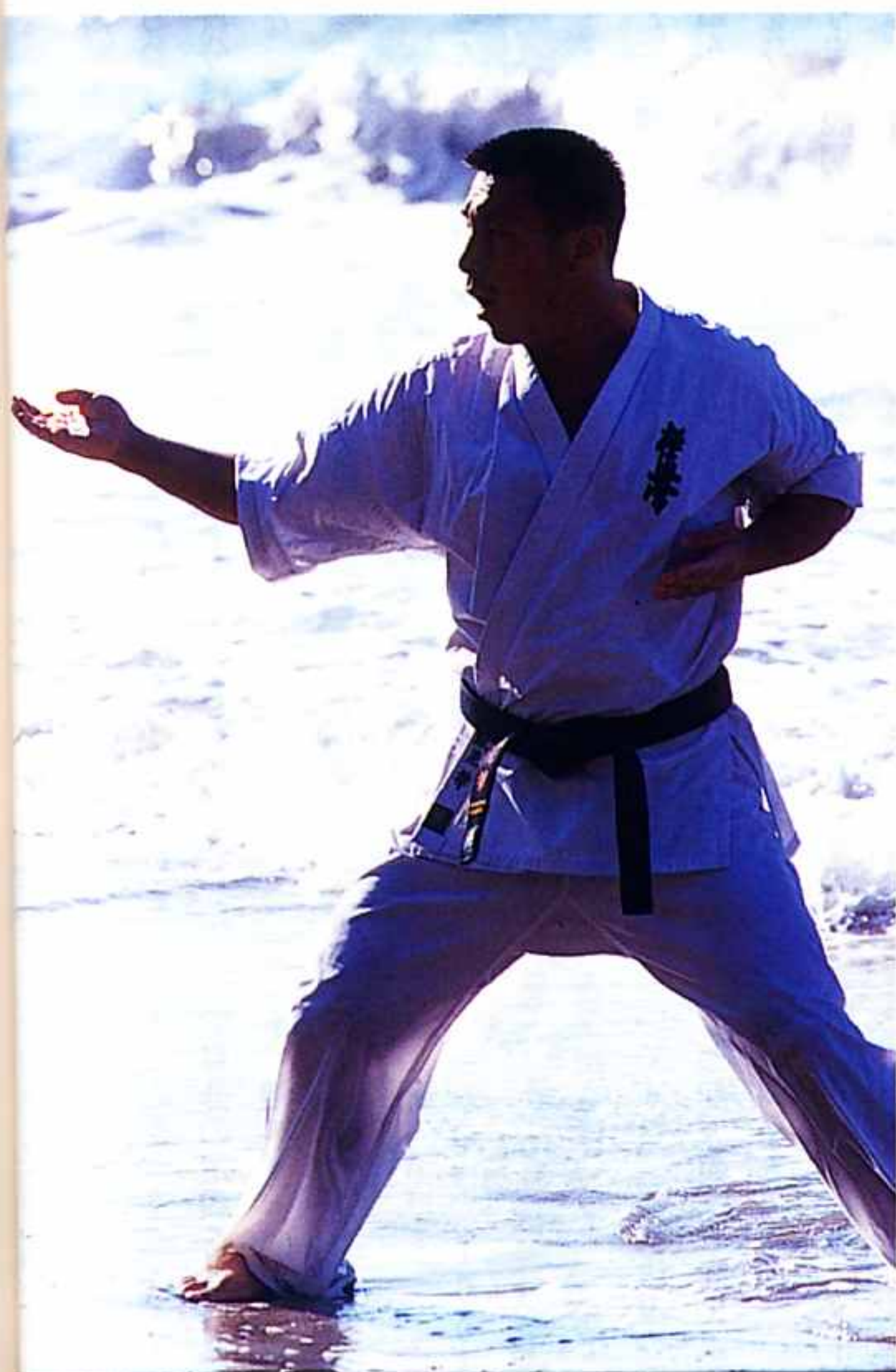
――フィリォはこの2年間、K―1という舞台に出場しました。グラウベやニコラスもそうです。この経験は彼らにとってプラスになりますか、それともマイナスになりますか。

数見　物凄くプラスになるでしょうね。K―1という未知の世界に飛び込んで、特にフィリォの場合なんか勝ってるわけですから、とてつもない自信になっているでしょうね。

――ある意味じゃ自分より強いと言われていたアーツ、ホースト、グレコ、ベルナルド、アンディと全員闘ってきているわけですからね。

数見　そういう精神的な自信は物凄いでしょうね。確かにK―1の期間中は空手の稽古はしていなか

百人組手をやって意識が変わった！　本当は百人全部さばくつもりだった

▲髪を染めて街を歩く若者よりも、やっぱり数見のほうがかっこいい！

ったかもしれないけれど、それは長年やってきたことですから、すぐに調整できると思うし、精神的な部分は怖いですね。

――これはうがった見方かもしれませんが、来年からまたK―1に戻るフィリォにここで勝たれたりすると、K―1にも負けた印象を与えるかもしれない。フィリォはK―1でやっぱり勝ったり負けたりすると思いますからね。数見さんとしては勝ち逃げされたくないでしょう。

数見　ああ、なるほど。まあ面白くないですね。

――もちろん、ルールは違いますけどね。ただ、僕が本当に怖いなあと思うのは、今年フィリォがK―1に出続けていたら何千万円の大金を手にできてたと思うんですよ。それを蹴って世界大会に出てくる。極真は決してお金がもらえるから闘うわけじゃないですからね。それなのに世界チャンピオンになることを選んだフィリォというのは、本当に怖い気がするんです。数見さんの場合は、最初からファイトマネーのために闘っている人じゃないけど、一度そうした大金をつかんだ人がまたそれを捨てて戻って来るというのも、もっと怖い気がするんですね。

数見　そうですね。やっぱり谷川さんよく考えていますね。僕はそこまで考えていなかったです。

――プレッシャーばかりかけて申し訳ないんですけど（笑）。

数見　いえいえ。そういえば、4年前の世界大会の時は格通にいらっしゃったんですよね。それで表紙に「日本に極真魂がないのなら、本誌はフィリォを応援します」と書いてあったじゃないですか。あれを見て「よーし、やってやろうじゃないか」と思いましたもん。そういうプレッシャーは励みになりますよ。

――ああ、ちょうどあの当時は、分裂騒動の渦中での世界大会でしたからね。分裂で極真の精神が失われるんじゃないかと、日本の選手にプレッシャーをかけたんです。でも、そんなフィリォの精神力も怖いんですが、僕はやっぱり数見さんのほうが潜在的に強いと思うんです。2年前の全日本大会の決勝で、腕は折れ、足のじん帯を伸ばしていながらギャリーに勝ったり、百人組手を見ても、この人は痛みにも強いし、精神的にも強い人なんだなと思いましたから。

数見　百人組手の場合は、ストップする時は自分がくたばった時だと決めてましたからね。死んだらしょうがないですけど、死なない限りやり続けるつもりでした。でも、試合には勝ち負けがあるので、別の難しさがある。ギャリーとの決勝戦でも、あれが決勝じゃなかったら、どうなっているかわからなかった。だって、あの試合は引き分けでもダメなんですから。僕に残された選択肢は、勝つことしかなかった。その意味で、今度の世界大会もそういう気分です。負けたらシャレにならないし、引き分けでもダメなんだと自分に言いきかせています。勝つしかないんですよ。

◀現在、数見は1日6時間の稽古をこなしている

本当は200年前に生まれたかった。剣のある時代に生きたかったんです

――その精神力は本当に強いですね。大金を捨てて世界大会に賭けるフィリォと、日本を背負ったサムライ魂の数見さんと、どちらが精神力で上回るか。最終的には、二人の勝負はそんな闘いになるんじゃないかとワクワクしているんです。

数見　そのへんの気持ちは自分の中でピシッと植えつけないとダメでしょうね。みんな同じように苦しい思いをして、世界大会に賭けてくるんですから、その精神力では負けたくないですね。

――八巻さんは「フィリォ、フィリォと言うけど、実際は大したことないんじゃないか。それよりも大切なのは、絶対に何がなんでも勝つんだという気持ちだ」と言ってましたけど。

数見　実際はそんなうまくはいかないでしょうけどね。確かに松井館長が合宿中に言ってたんですが、イメージする上で過小評価はいけないんですけど、過大評価する必要もないと思うんです。実際のフィリォよりも、少し大きく膨らましたぐらいで、少しは気が楽に闘えるようにイメージできたら一番いいでしょうね。

――なるほど。では、数見さんにとって世界大会とは何ですか。

数見　大げさに言うつもりはないんですけど、やっぱり「人生のすべて」ですね。もし、世界大会で優勝できたら、本当に死んでもいいくらいに思っています。

――いやぁ、そういうことを言う数見さんは、今の日本じゃ珍しいタイプだと思いますよ。

数見　なんか溶け込めないんですよね、今の同世代にというか。僕、浮いてません（笑）？　これは昔よく思ったんですけど、自分があと200年か300年くらい前に生まれていたら、馴染めたんじゃないかな、と（笑）。

――ハハハ、生まれてくるのが遅すぎたんですね。

数見　やっぱり剣が持てる時代に生まれたかったですね。そんな時代に生まれていたら、自分はどうなっていたんだろうとよく考えるんですよ。怖かったと思うんですよ、毎日が。だから、そんな時代から比べれば、世界大会も精神的に負けていたら恥ずかしいですよね。

――さすがですねぇ。では、王選手に800号ホームランを打たれた投手みたいにならないように、世界大会ではがんばってください（笑）。

数見　ハイ、どんどんプレッシャーをかけてください（笑）。

SRS
SPECIAL RING SIDE

番組インフォメーション
8/12、8/19の見どころ

情報提供◎『SRS』アシスタントプロデューサー・金井由紀子

地域により放送日時が異なります。また、この番組インフォメーションは7月31日現在のものです。
都合により多少の内容変更の可能性がございますのでご了承下さい。

『SRS』は毎週木曜日深夜1時20分～1時50分フジテレビ系で放送中。お見逃しなく！

『ＳＲＳ』史上初の沖縄ロケ。今だから、沖縄武道を徹底取材！

8/12 沖縄達人特集第一弾　沖縄剛柔流と達人・上原清吉に注目

8/12（木）放送　25:20～25:50

『夏だ！　武道だ！　沖縄だ！』ということで、『ＳＲＳ』が番組史上初の沖縄ロケを敢行。2週にわたって“沖縄達人特集”を放送します。

前編（8/12）では、五十流派を超える沖縄武道の中から琉球王家秘伝武術・本部御殿手をピックアップ。『本部御殿手』の達人、上原清吉（95歳）さんに密着取材します。本部御殿手は一子相伝で琉球王家に伝えられてきた武術で、王家が途絶えたため上原さんが十二代目として継承し今に伝えています。上原さんは、武道の世界では、合気道の植芝盛平、塩田剛三、柔道の木村政彦亡きあとの「最後の達人」と言われ、95歳の今も後進に指導していますが、年齢を感じさせないその動きと強さはまさに「本物の達人」。一見の価値ありです。そして、もう一つクローズアップするのが『沖縄剛柔流』。経絡秘孔の達人と言われる外間哲弘師範が相手を死に至らしめる秘技を公開します。剛柔流ロケでは、田代まさし、サダハルンバ谷川が流血！　という事件も。

『ＳＲＳ』が遂にやった！　非公開・米軍基地に初潜入！

8/19 沖縄達人特集第二弾　知られざる秘技、鍛錬法を大公開

8/19（木）放送　25:20～25:50

沖縄達人特集後編では、今回初めてテレビ撮影が許可された米軍基地内で空手を教える少林流空手拳真館の喜瀬富盛館長をクローズアップ。少林流は空手のルーツの一つであり、サイやトンファーを使う実戦さながらの空手。米軍基地内での稽古、指導の模様など超貴重な映像をタップリ放送します。さらに、鋼鉄の体を作る『上地流』の鍛錬法も公開。スネ、お腹、肩に力いっぱい打ちつけた角材を折ってしまう、そんな鋼鉄の肉体がどのように作られるのか。知られざる鍛錬法に迫ります。また、踊りながら相手を倒す武術『舞手合戦空手』にも取材を敢行。琉球舞踊と本部御殿手をかけ合わせたまさに沖縄らしい？　武道『舞手』、その実体は放送で確認して下さい。

空手発祥の地であり、今も300から500の空手道場がある沖縄。グレイシー柔術のヒクソンが山に篭っての独特の調整法（鍛錬法）で話題になりましたが、今回の沖縄特集で取材した達人たちは、95歳の老人あり、人里離れた山小屋で暮らす人ありとまさに達人中の達人揃い。沖縄特集を見ずして武道を語ることなかれ！

噂の掣圏道ついに『ＳＲＳ』に登場決定！

フジテレビ　8/26（木）25:20～25:50

本誌で前号でも特集した噂の『掣圏道』がついに『ＳＲＳ』に登場します！　本当は、この号で掲載する「見どころ」は8/12分と8/19分の予定でしたが、8/26分の放送予定が、今もっとも注目されている『市街地型実戦武道・掣圏道』の特集ということなので、ちょっとフライングして予告を掲載します。といっても、内容等に関しては次号のこのコーナーで掲載しますので、それまでお待ちを。――8/26、ついに『掣圏道』の全貌がわかる!?　ゼッタイお見逃しなく！

SRSホームページにアクセスしてみよう!　http://www.fujitv.co.jp/

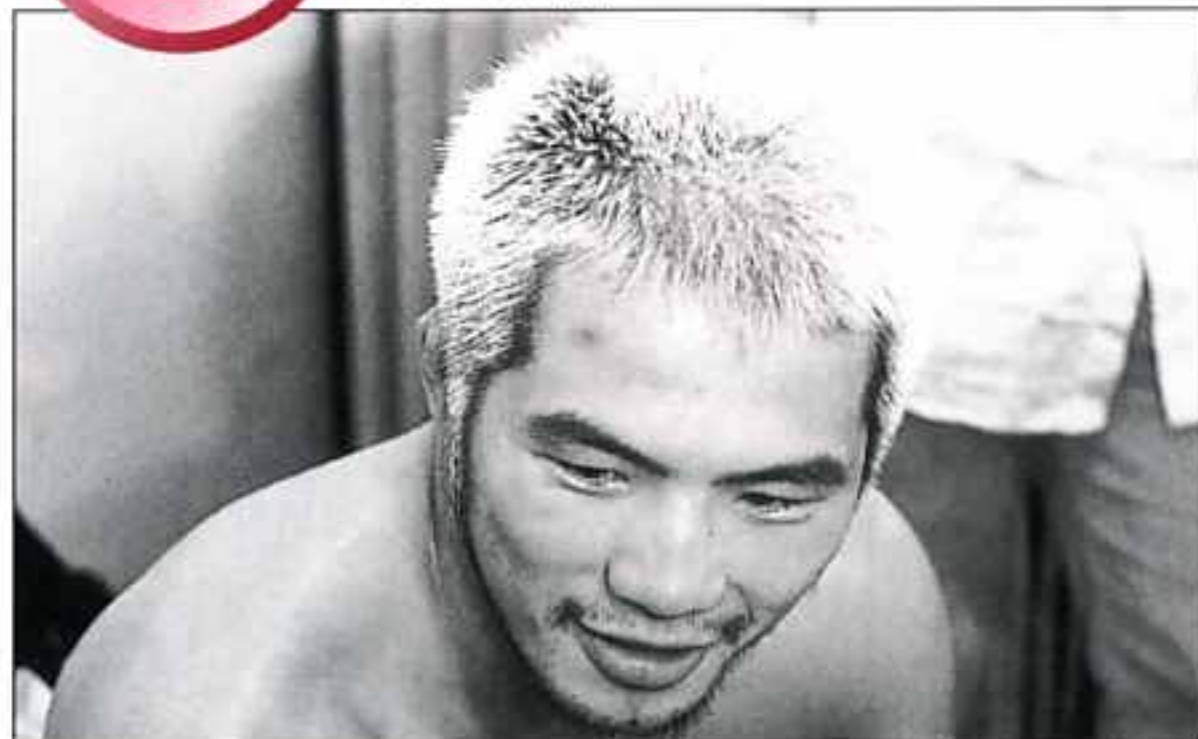
TV

日付	チャンネル	番組名	時間	内容・見所
8/12 THU	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールド・コンバット・ファイト	19：00〜20：00 23：00〜24：00	98.11.21『エクストリーム・チャレンジ22』パート2　アミールVSデビッド・デイビスほか6試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	20：00〜21：30 24：00〜25：30	ニュージャパンキックボクシング連盟が7.4に開催した『achievement5』大会から、鈴木秀明と佐藤孝也が強敵タイ人に挑んだ熱戦を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	22：00〜23：00 26：30〜27：30	さまざまな格闘技の最新情報を紹介する番組。毎回格闘家のゲストも登場し、ファイターの等身大の魅力に迫る
	フジテレビ	SRS	25：20〜25：50	⬅P77
8/13 FRI	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	7：00〜 8：00 12：00〜13：00	8/12を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	14：00〜15：30	8/12と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールド・コンバット・ファイト	18：00〜19：00	8/12と同内容
	テレビ東京	格闘コロシアム	22：30〜22：54	⬅Pick up1〈8.17全日本キック直前特集〉
8/14 SAT	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	16：00〜17：25	99サマースペシャル　ワールドプロレスリング〜真夏の祭典・G1クライマックス2日連続緊急特番を放送。1日目は8.10〜11大阪府立、8.13〜15両国国技館で行われるリーグ戦の模様をハイライトで
8/15 SUN	SKY sports 3	ムエタイ	7：30〜 8：30 22：00〜23：00	タイ国内のムエタイ中継番組をそのまま放送。日本に居ながらにして本場の熱気を味わうことができるマニア必見のプログラム
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	15：30〜17：25	真夏の祭典・G1クライマックス2日連続緊急特番の2日目は、両国国技館で行われる決勝戦を生中継！　同局でプロレス生中継は7年半ぶり。今年度の新日格闘王決定の瞬間と、気迫あふれる闘いをブラウン管からリアルタイムで！
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	9：30〜11：00	8/12と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールド・コンバット・ファイト	11：00〜12：00	8/12と同内容
	GAORA	パンクラッシュ!PANCRASE	17：30〜20：30	他団体選手も多数参戦で、ますます目が離せない8.1後楽園ホール『GAORA NEO BLOOD TOURNAMENT DAY&NIGHT』を3時間の拡大バージョンで放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	闘いのワンダーランド	19：00〜20：00	髙田延彦編。UWFの新日本提携時代の貴重な映像から、ザ・コブラ戦を放送
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	24：55〜25：25	7.23日本武道館大会より、小橋健太、秋山準組VSベイダー、ゲイリー・オブライト組を放送
8/16 MON	GAORA	PANCRASE　DAYS	23：00〜25：00	95.7.22〜23第1回『NEO BLOOD TOURNAMENT』から伊藤崇文VS柳澤龍志、船木誠勝VSリオン・ダイクなど熱戦の数々を一挙放送
	日本テレビ	超K-1宣言	25：45〜26：15	8.22に開催される『K-1 SPIRITS'99』直前情報。出場選手の紹介など
8/17TUE	GAORA	パンクラッシュ!PANCRASE	23：00〜26：00	8/15と同内容
8/19 THU	WOWOW	リングス1999	4：05〜 6：05	4.23大阪府立体育会館大会より、田村潔司vsフランク・シャムロック、髙阪剛vsギルバート・アイブルほか6試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールド・コンバット・ファイト	19：00〜20：00 23：00〜24：00	99.4.2『エクストリーム・チャレンジ23』パート1より、ジェイソン・ゴトシーVSジーン・フレージャーほか5試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	20：00〜21：30 24：00〜25：30	⬅Pick up2〈7.16修斗後楽園大会〉
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	22：00〜23：00 26：30〜27：30	8/12を参照
	フジテレビ	SRS	25：20〜25：50	⬅P77
8/20 FRI	WOWOW	リングス1999	4：00〜 6：00	5.22有明コロシアム大会より、ビターゼ・タリエルVS田村潔司、ヴォルク・ハンVS成瀬昌由ほか6試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	7：00〜 8：00 12：00〜13：00	8/12を参照
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	14：00〜15：30	8/19と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールド・コンバット・ファイト	18：00〜19：00	8/19と同内容
	テレビ東京	格闘コロシアム	22：30〜22：54	8.17全日本キックボクシング連盟・後楽園ホール大会の試合の模様を中心に放送。全日本キックの選手がゲスト出場の予定
	SKY sports 3	ブラジル格闘技99　VT	23：00〜24：00	⬅Pick up3〈第1回IVC大会トーナメント〉
8/21 SAT	WOWOW	リングス1999	4：05〜 6：10	6.24後楽園ホール大会より、ビターゼ・タリエルVSヨープ・カステルほか7試合を放送
	GAORA	パンクラッシュ!PANCRASE	20：00〜23：00	8/15と同内容
	テレビ朝日	リングの魂	24：40〜25：11	南原清隆とダチョウ倶楽部が『ファイティング・カジノ』で対戦。手持ちの「格闘家カード」「J-1カード」「モノマネカード」の中からカードを提出、カードで選ばれた選手、芸能人が相撲で対決し、勝敗を競う
	テレビ朝日	ワールドプロレスリング	27：35〜28：35	8.15に両国国技館で決勝が行われた『G1クライマックス』の総集編を放送
8/22SUN	SKY sports 3	ムエタイ	6：00〜 7：00 10：00〜11：00	8/15を参照。別内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	9：30〜11：00	8/19と同内容
	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールド・コンバット・ファイト	11：00〜12：00	8/19と同内容
	WOWOW	リングス1999	18：00〜19：55	⬅Pick up4〈8.19横浜文化体育館大会〉
	FIGHTING TV SAMURAI!!	闘いのワンダーランド	19：00〜20：00	髙田延彦編。UWFvs新日本の中でも異色の名勝負、越中詩郎戦を放送
	日本テレビ	K-1SPIRITS'99	14：30〜16：30	⬅Pick up5
	日本テレビ	全日本プロレス中継30	26：25〜26：55	『サマーアクションシリーズⅡ』開幕戦の模様を放送
8/23 MON	日本テレビ	超K-1宣言	25：45〜26：15	8.22『K-1 SPIRITS'99』大会後のパーティー会場からの中継。大会を振り返りながら、試合後の選手の表情などを放送
8/24 TUE	GAORA	PANCRASE　DAYS	19：00〜21：00	8/16と同内容
8/26 THU	FIGHTING TV SAMURAI!!	ワールド・コンバット・ファイト	19：00〜20：00 23：00〜24：00	99.4.2『エクストリーム・チャレンジ23』パート2より、スーパーバウト、ゲイリー・マイヤースVSキース・ミエルキほか11試合を放送
	FIGHTING TV SAMURAI!!	バトルステーション	20：00〜21：30 24：00〜25：30	⬅Pick up6〈7.24新日本キック協会後楽園大会〉
	FIGHTING TV SAMURAI!!	格闘ジャングル	22：00〜23：00 26：30〜27：30	8/12を参照
	フジテレビ	SRS	25：20〜25：50	⬅P77

ON THE AIR 8/11～8/26
格闘技番組ガイド TV&RADIO

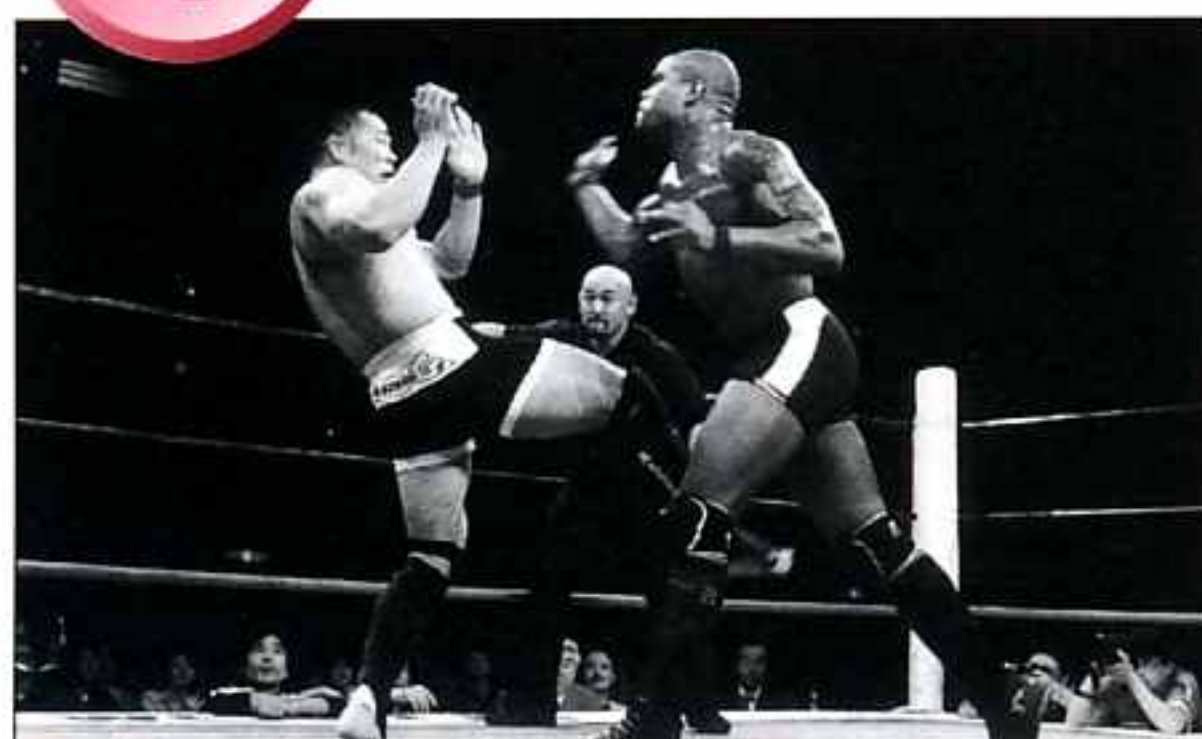
Pick Up 1 『格闘コロシアム』
〈8・17全日本キック直前特集〉
テレビ東京系
8月13日（金）/22:30～22:54

8月17日（火）に行われる、全日本キック後楽園大会の直前特集。大会には番組イメージキャラクターの魔裟斗がメインイベントの国際戦に出場するほか、魔裟斗のライバル、小比類巻貴之も出場。また、立嶋篤史の復帰戦も行われるなど注目度も高い。番組では大会の直前情報、試合を控えた選手の近況などを放送する。

Pick Up 2 『バトルステージョン』
〈7・16修斗後楽園大会〉
FIGHTING TV SAMURAI!
8月19日（木）/20:00～21:30 24:00～25:30

桜井“マッハ”速人が出場した、7.16修斗後楽園大会の模様を放送する。メインでオーストラリア修斗の若きエース、ブレッド・エアズと対戦した桜井は、なんとわずか34秒で一本勝ち。桜井の底無しの強さ、凄さをTVで確認しよう。また、セミの新鋭・佐々木有生vsラリー・パパドポロス、進境著しい桑原卓也の試合も要注目！

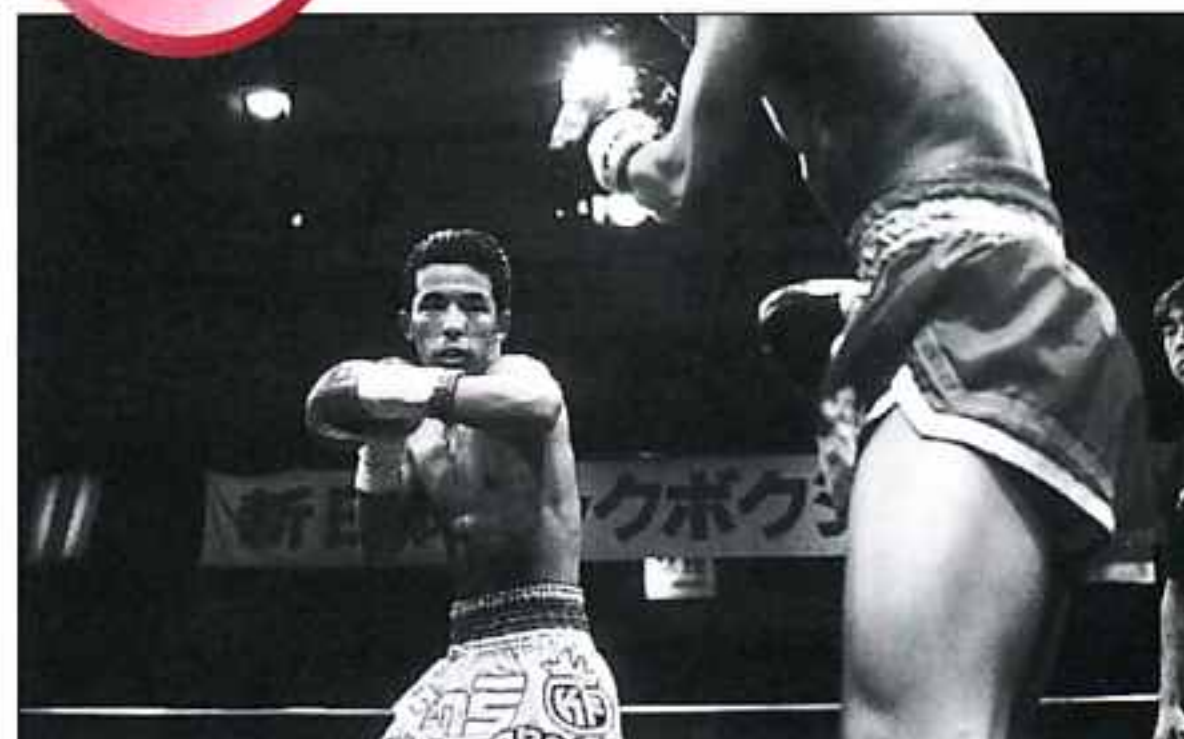
Pick Up 3 『ブラジル格闘技99 VT』
〈第1回IVC大会トーナメント〉
Sky sports 3
8月20日（金）/23:00～24:00

バーリ・トゥード発祥の地、ブラジルでの大会の模様を放送する話題のプログラム。第1回、2回の放送分では、97年7月に行われた『第1回IVC大会』をオンエア、ゲスト解説を修斗の佐藤ルミナが務める。『プライド』シリーズでおなじみのゲーリー・グッドリッジも参戦した今大会。本場ならではの迫力バトルを堪能したい。

Pick Up 4 『リングス1999』
〈8・19リングス横浜文化体育館大会〉
WOWOW
8月22日（日）/18:00～19:55

8.19横浜文化体育館大会を中継。田村潔司がランキング1位、ヨープ・カステルの挑戦を迎え撃つタイトルマッチや、前回、壮絶な試合の末ギルバート・アイブルに敗北を喫した高阪剛がリベンジに挑む一戦など、見所は盛り沢山。21世紀に向けて突き進む“現在進行形”のリングスの姿が、じっくり味わえる大会だ。

Pick Up 5 『K-1 SPIRITS'99』
〈8・22K-1ジャパンシリーズ『K-1SPIRITS'99』〉
日本テレビ系
8月22日（日）/14:30～16:30

K-1初進出となる有明コロシアムでの大会を、当日に中継する。グランプリの日本代表選手を決めるトーナメント『K-1ジャパングランプリ'99』では、武蔵、中迫剛の直接対決が期待される。また、中国からは散打の強豪が参戦、佐竹雅昭とゲーリー・グッドリッジとの異種格闘技対決も行われるなど、見逃せない試合が並んでいる。

Pick Up 6 『バトルステーション』
〈7・24新日本キック協会後楽園大会〉
FIGHTING TV SAMURAI!
8月26日（木）/20:00～21:30 24:00～25:30

超満員の観客を集めて行われた、新日本キック協会の7.24後楽園大会を放送する。日本選手と強豪タイ人の5vs5マッチが行われた今大会には、前回、タイ人から初勝利を挙げて勢いに乗る小野寺力、本誌注目の“リトル・タイソン”深津飛成など協会が誇る5人の日本チャンピオンが登場。総力を挙げて打倒ムエタイに挑む。

マル得情報
8/13～8/15にSAMURAI!フリービュー

プロレス・格闘技専門のCS放送チャンネルFIGHTING TV SAMURAI!が、8月13日（金）4:00から8月15日（日）4:00までフリービューを行う。SAMURAI!に加入していなくても、ディレクTVかスカイパーフェクTV！の加入者なら、見ることが可能だ。フリービューの期間中には、格闘技界の最新ニュースを1時間ワクでたっぷり放送する『格闘ジャングル』や、世界のノールール大会から注目の試合をオンエアする『ワールド・コンバット・ファイト』、鈴木秀明がムエタイへのリベンジに挑んだ“NJKF 7・4後楽園大会”など、見応えのあるラインナップがギッシリ！ 加入しようかと迷っている人は、この機会にその充実した内容の一部に触れてみては？ すでにディレクTVからSAMURAI!に加入している人には、PPV番組『FMWブレーンバスタープラス』を9月まで無料視聴できるサービスが実施されている。お問い合わせは、FIGHTING TV SAMURAI! またはディレクTVのカスタマーセンターまで。

※BS、CS放送は加入しないと視聴できません。加入のお申し込みに関するお問い合わせは下記までご連絡下さい。

■スカイパーフェクTV！
☎0570-039-888 ☎03-5802-5550
（9：00～21：00）

■ディレク・ティービー
☎044-862-0011（9：00～21：00）

■GAORA
〔スカイパーフェクTV！／ディレク・ティービー〕
☎03-5280-1104／06-6374-0002
（月～金10：00～18：00）

■スポーツ・アイ―ESPN
〔スカイパーフェクTV！／ディレク・ティービー〕
☎03-5474-3344（月～金10：00～18：00）

■FIGHTING TV SAMURAI！
〔スカイパーフェクTV／ディレク・ティービー〕
☎03-5351-4055（12：00～20：00）

■フジテレビ721＆739
〔スカイパーフェクTV〕☎03-5500-8888

■SKY SPORTS 1&SKY SPORTS 3
〔スカイパーフェクTV〕☎03-5500-3488

■ディレクTVボクシング
〔ディレク・ティービー〕☎044-862-0011
（9：00～21：00）

■J-SPORTS
〔スカイパーフェクTV！／ディレク・ティービー〕
☎0120-197-520（9：00～20：00）

■WOWOW
☎0570-008-080（9：00～20：00）

VIDEO
注目作品＆NEWリリース情報

〈新作紹介〉 It's HOT!

『PRIDE.6 オフィシャルビデオ』
メディアファクトリー/90分
9,500円（税別）/8月11日（水）セル先行発売、9月17日（金）レンタル開始

超豪華カード8試合を収録 格闘家の意地、レスラーの凄みを感じ取れ！

7月4日に横浜アリーナで開催された『PRIDE.6』。好試合の連続に観客も大興奮、ついに『プライド』シリーズがブレイクを果たした記念すべきこの大会のオフィシャルビデオが、8月11日に発売された。もちろん、大会で行われた全8試合を収録している。『霊長類最強の男』の異名を持つマーク・ケアーに髙田延彦が真っ向勝負を挑んだメインイベントをはじめ、セミファイナルではいまやバーリ・トゥード中量級最強の呼び声も挙がる桜庭和志がパンクラスのリングで船木誠勝を圧倒したエベンゼール・フォンテス・ブラガを腕ひしぎで一蹴、プロレスファンの溜飲を下げまくった。そして、初のVT参戦ながら「これもプロレスの一部」と言い切る小川直也とゲーリー・グッドリッジの試合は超ド迫力！　勝利を収めた瞬間、ブッ飛んだ目で飛行機ポーズを披露する小川は抜群のカッコ良さだ。また、黒澤浩樹と角田信朗の男気あふれる名勝負や、元パンクラス王者ガイ・メッツアーvs“Mr.プライド”小路晃、イゴール・ボブチャンチンvsカーロス・バヘットなどの試合にも注目。一見、地味に見えて、実は「絶対に負けられない」という格闘家の意地が交錯する技術戦をじっくりチェックできるのは、やはりビデオならではだ。その他、試合以外にも各選手のインタビューやトレーニング風景も収められており、完全保存版といえるビデオだ。

〈おすすめの一本〉 Recommend!

『凄技（すごテク）』
ベースボールマガジン社/90分
4,762円（税別）/発売中

VTの常識を覆えす技の数々を桜庭和志が伝授！

『チャンピオン』の丸野マネージャーが、おすすめの一本として選んでくれたのが、セル部門のランキングで一位を獲得したこのビデオだ。『プライド』のリングで大活躍、世界中から脚光を浴びている桜庭和志が、これまでのVTの常識とはまったく違う、ユニークなテクニックの数々を公開している。なんと、キーロックや監獄固めといった純プロレス的と思われている技も、VTで有効な技として紹介されているのだ。学校の廊下で、宴会の座敷で、さっそく……試しちゃダメだよ！

RENTAL RANKING（7/8～7/21調べ）

1. 『ルミナ6秒の閃光』
クエスト/90分
2. 『PRIDE.5 in NAGOYA』
メディアファクトリー/90分
3. 『VALE TUDO JAPAN'98』
クエスト/100分
4. 『パンクラス新たなる挑戦』
クエスト/120分
5. 『VALE TUDO JAPAN'97』
クエスト/86分

1位 『ルミナ6秒の閃光』
もはや伝説の“ルミナ6秒勝利”ビデオがレンタル部門でも1位を獲得！

前々回のセル部門に続いて、今回レンタル部門でも、わずか6秒で一本勝ちという佐藤ルミナの芸術的な試合をフィーチャーした今作が1位に輝いた。宇野薫戦での衝撃的な敗北が記憶に新しいルミナ。だが、格闘技ファンのルミナ復活への期待が、今回の1位に結び付いたようだ。また、今作にはほかにも桜井速人とブラジリアン柔術の強豪オリヴェイラの対決や巽宇宙の復帰戦など、見逃せない試合が満載されている。

SELL RANKING（7/8～7/21調べ）

1. 『凄技（すごテク）プロレスラー桜庭和志の“反”常識技術講座』
2. 『1999年のヤマトダマシイ』
クエスト/2本組　8,000円（税別）
3. 『第5回コンバットレスリング選手権大会』
クエスト/110分　6,600円（税別）
4. 『修斗バイブル奇人・朝日昇のスーパーテクニック』
メディアファクトリー/90分
9,500円（税別）
5. 『PRIDE.5 in NAGOYA』
メディアファクトリー/90分
9,500円（税別）

4位 『修斗バイブル奇人・朝日昇のスーパーテクニック』
修斗の真髄“打・投・極”そのすべてがこの1本に！

修斗関連のビデオの中でも異彩を放ち、ロングセラーとなっているのが、セル部門で4位にランクインしたこの作品。修斗でも屈指のテクニシャン・朝日昇が、高度に体系化された修斗の真髄である打撃、組技、寝技、すなわち“打・投・極”の技術を紹介している。その内容は構え方に始まってポジショニング、数多くの関節技など多岐にわたっており、この一本さえあれば修斗の試合に出場するだけの技術が養えるのでは、と思えるほどだ。

プロレス＆格闘技専門ビデオショップ『チャンピオン』
東京都千代田区三崎町3-8-1 西田ビル6F
☎03-3221-6237

チャンピオン
丸野大樹マネージャー
「当店では、ビデオ以外にも様々なグッズやプロレス・格闘技関連のCDなども多数取り扱っております。是非、夏休みを利用して来店してみて下さい。きっと、ご満足いただける商品が見つかると思いますよ」

ランキングにご協力いただいている『チャンピオン』では、ビデオのほかにもたくさんのグッズが販売されている。中には、プレミアものの商品もあるとか…

GOODS
修斗グッズの勢いはどこまで続く!?

〈新作紹介〉 It's HOT!

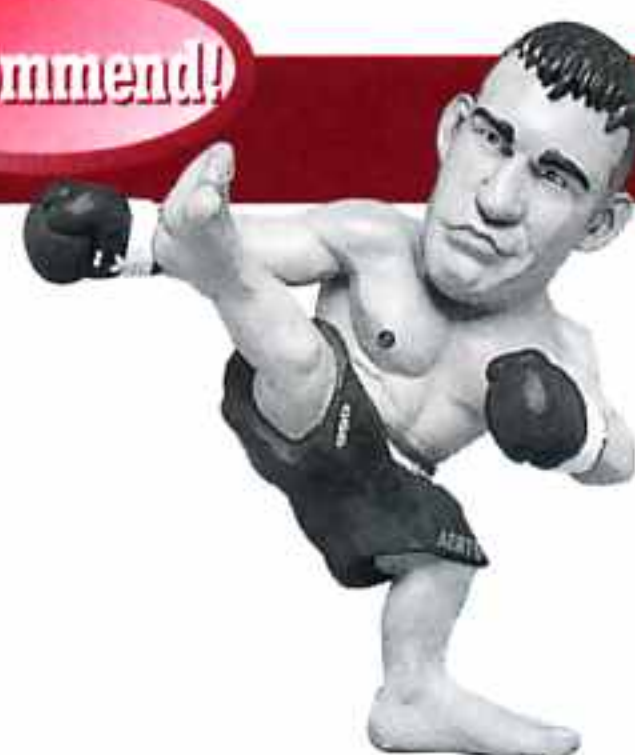
エンセン井上野蛮人Tシャツ
3,500円（税込み）発売中

エンセン井上グッズの新作発売
『大和魂』の次は『野蛮人』だ！

「えっ、また修斗グッズなの？」と思う人も多いかもしれないが、とにかく、試合もグッズも今の修斗の勢いは凄い！　続々と新作が発売され、しかもことごとく売れまくっている。今回、登場したのはエンセン井上の『野蛮人』Tシャツ。これはエンセンがインタビューの中で「野蛮人みたいに闘いたい」「賢い野蛮人になりたい」と発言したことをもとにTシャツにしたもの。迫力バツグンの『野蛮人』のロゴが大人気となっている。

〈おすすめグッズ〉 Recommend!

K-1フィギュア ～FIRST TYPE～
各4,200円（税込み）発売中

人気爆発のK-1フィギュア
君のお気に入りはどれ？

数あるK-1グッズの中でも、発売されると同時にファンの注目を集め、現在人気爆発中なのがフィギュア。完成度の高さはもちろん、ポリストーンという素材を使用したことで実現した手にズシリとくる重量感も人気の一つ。写真で紹介したのはアーツだが、ほかにもベルナルド、ホーストなど全8種類が用意されている。

ワールドスポーツプラザKINGS
河田規郎店長

「最近、人気が上がってきているのが、WWFやWCWなど海外のプロレスのグッズですね。フィギュアをはじめ新商品もたくさん入荷してます。また、やはり夏ということもあって、普段以上にTシャツの人気が高いですね」

ワールドスポーツプラザKINGS
東京都渋谷区神南1-9-5ワールドスポーツプラザWEST 1F（渋谷消防署前）
☎03-3462-1001　通信販売受付 ☎03-3462-7775
営業時間/11:00～20:00　通信販売受付/11:00～19:00

GOODS RANKING（7/8～7/21調べ）

1. 『アブダビフランスメモリアルTシャツ』 修斗/4,800円
2. 『ゲームボーイマサTシャツ』 バンバンビガロ/3,800円
3. 『U.S.A SHOOTO　Tシャツ』 修斗/3,500円
4. 『カーロス・ローニンTシャツ』 修斗/4,000円
5. 『猪木塾Tシャツ』 新日本/3,500円（ネイビー、レッド）、4,200円（グレー）

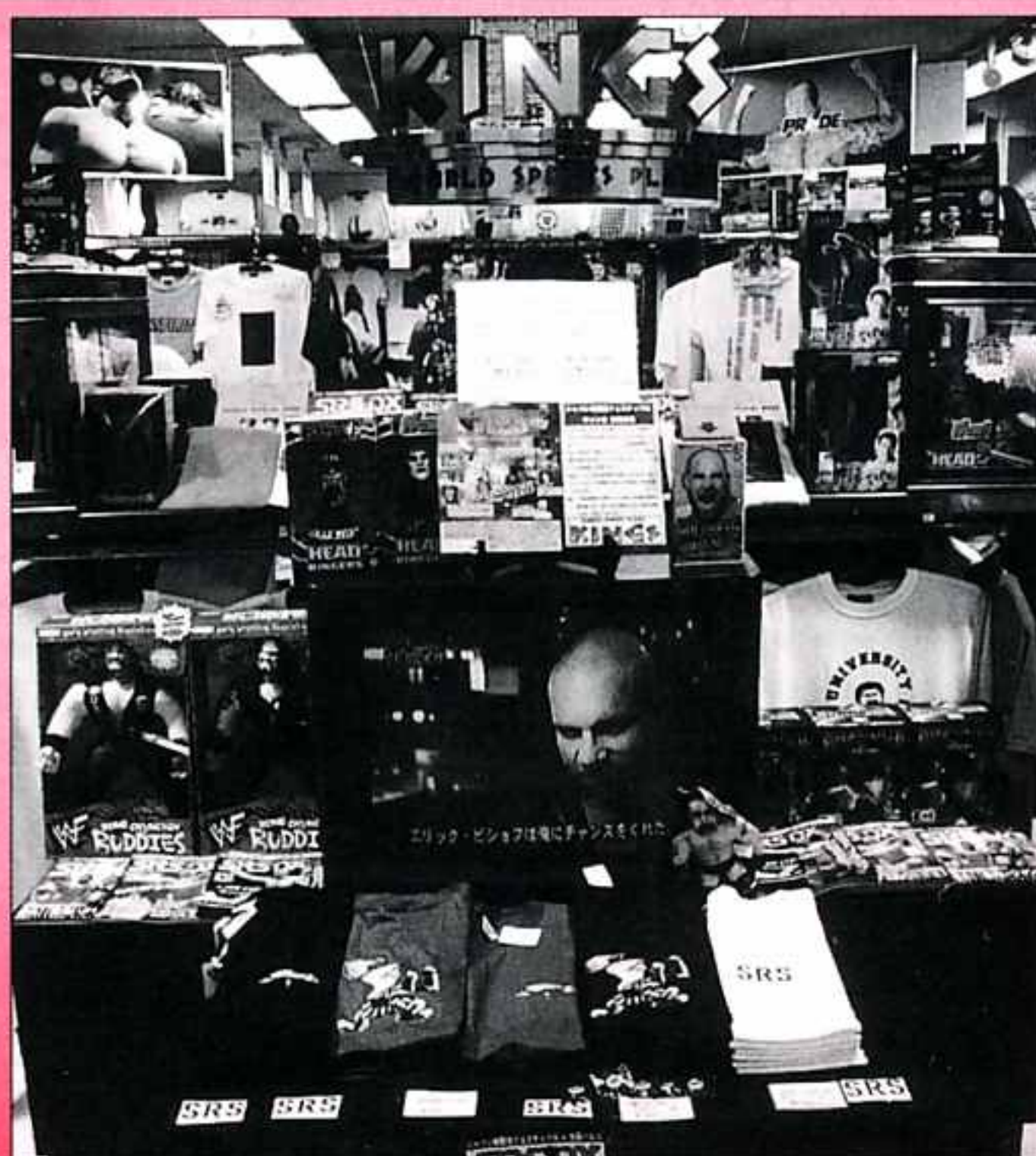
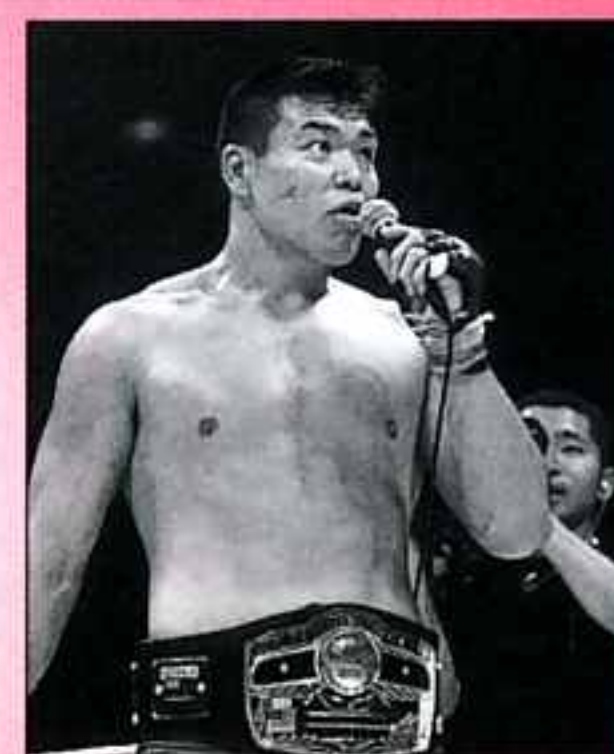
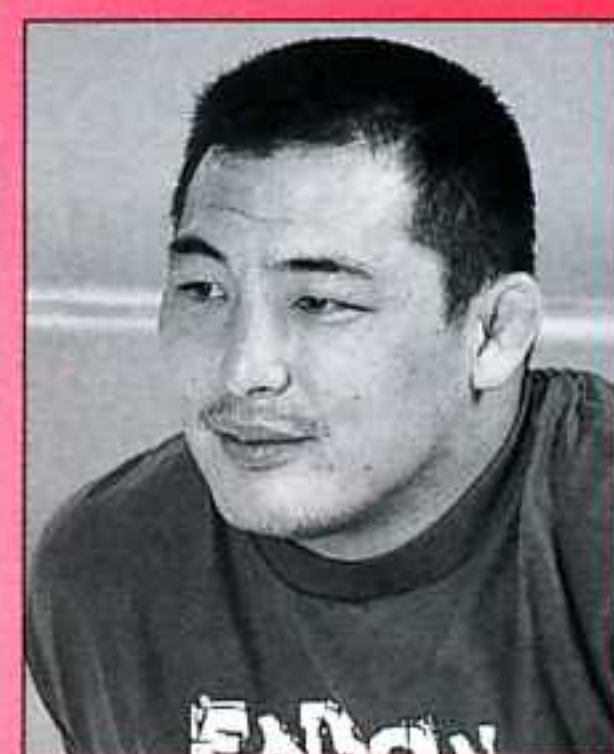
1位

修斗人気恐るべし
桜井Tシャツが1位をゲット！

入れ替わりの激しいランキングだが、1位はまたしても修斗モノとなった。桜井"マッハ"速人が、海外の総合系大会『アブダビ・コンバット』で準優勝、『ゴールデントロフィー』で優勝したのを記念して作られたTシャツだ。

ワールドスポーツプラザKINGS SRS・DX創刊記念ショップ 格闘家参加イベントも続々開催

大好評開催中!!

前号でもお伝えした通り、ワールドスポーツプラザ池袋店（池袋パルコ5F）で『SRS・DX』創刊記念フェスティバルが開催されている。期間は7月30日（土）から8月31日（火）までの毎日。メジャーリーグやNBA、サッカーなど、数多くのスポーツグッズを揃えているワールドスポーツプラザだが、期間中は格闘技コーナーのみを移転・増設、大人気の修斗Tシャツはもちろん、K-1グッズや、ブレイク間近の注目商品『オーちゃんTシャツ』、そのほか、雑誌、ビデオまで、ありとあらゆる格闘技グッズが店内を埋めつくしている。また、期間中はゲストを招いてのイベントも開催されており、さる8月8日（日）には、桜庭和志と松井大二郎の高田道場コンビが出演、トークショーとサイン会を行った。今後も、別表にある通り、8月14日（土）にK-1 GIRLSが、15日（日）には和術慧舟會の宇野薫がイベントに参加するのをはじめ、超豪華なゲストが予定されている。

▲店内の様子。ありとあらゆるプロレス＆格闘技グッズが、所狭しと並んでいる

▲8月22日には小川直也が、29日にはシューティングジム大宮勢がイベントに参加するぞ！

★今後のイベント開催予定★

8月14日（土）13:00～**K-1 GIRLS**
8月15日（日）14:00～**宇野薫**（和術慧舟會）
8月22日（日）14:00～**小川直也**（UFO）
8月29日（日）14:00～**エンセン井上＆朝日　昇＆加藤鉄史**
（PUREBREDシューティングジム大宮）

お問い合わせ：ワールドスポーツプラザ池袋店
☎03-5391-8388

Et cetra

■桜庭和志が『PRIDE.6』MVP受賞＆30歳のバースデー

7月15日(木)、東京プリンスホテル「高砂」で、『プライド』シリーズの記者懇親会が行われ、選手では髙田延彦、桜庭和志、黒澤浩樹の3人が出席した。この会では、『PRIDE.6』のMVP受賞式も行われ、MVPに選ばれた桜庭には、『プライド』シリーズを主催するドリームステージエンターテインメントより、記念のパネルと賞金が贈られた。また、桜庭は前日の14日が30歳の誕生日で、バースデーケーキも併せてプレゼント。桜庭は「30歳かぁ、嫌ですねぇ」と言いながらも、いつにもましてニコニコ顔だった。

■田村潔司が『オセロ』のラジオに出演

リングスの田村潔司が、7月23日(金)、19:00より放送のラジオ番組『オセロのカラKINGフライデー』(TOKYO-FM)に出演した。東京・渋谷のスペイン坂にあるスタジオから生放送されたこの番組。始めこそパーソナリティーのお笑いタレント、オセロのトークに圧倒されていた田村だが、番組が進むにつれて次第に慣れてきたのか、普段の無口な姿からは想像できないほどよく喋り、8月19日の横浜大会や、8月1日に発売されたリングスのオフィシャルCDについてしっかりアピールしていた。

■リングス横浜大会で前田日明フィギュア先行発売

この夏に発売される予定の前田日明フィギュア。発売前からかなりの話題となっているが、8月19日(木)に開催されるリングス・横浜文化体育館大会で先行発売される(予定販売価格1,500円)。しかも、ここで販売されるのは通常のものとは異なるクリアタイプの特別仕様バージョン。ひとつ一つにシリアルナンバーが入った1000体のみの完全限定品だ。フィギュアで甦ったアキラ兄さんの雄姿を、誰よりも早くゲットすべし！

■ビデオ『髙阪剛のバーリトゥード必勝法』8月25日(水)発売

7月16日に開催された第21回UFCでも勝利を収め、いまやリングスのみならずバーリ・トゥード界でも完全に"主役級"の扱いを受けている髙阪剛。その髙阪のVTテクニックが紹介されるビデオ『髙阪剛のバーリトゥード必勝法』が、8月25日(水)にバンダイビジュアルより定価6,800円(税別)で発売される。基本トレーニングからテイクダウン、グラウンドのテクニックまで、"TK"のテクニックがギッシリ詰まっているこのビデオを見て、TKガードをマスターしよう！

■パンクラス技術講座が全国各地で開催中！9月は大阪、新潟に上陸

全国各地で開催中のパンクラスのアマチュア対象トレーニング『P's LAB』講座。9月は大阪と新潟で開催される。パンクラシストが直接指導してくれるだけでなく、講座終了後にはサイン会、写真撮影会、グッズ販売も行われるだけに、ファンならマストのイベントだ！

[P's LAB in大阪]
◆9月25日(土) 18:00〜21:00
◆会場／FLEX1野田スタジオ(大阪市福島区吉野3-8-1 3〜4F、地下鉄千日前線玉川駅、JR環状線野田駅より徒歩1分)
◆講師／船木誠勝、近藤有己
※大阪での講座は月一回定期的に行われる予定
[P's LAB in新潟]
◆日時／9月26日(日)13:00〜16:00
◆会場／セントラルフィットネスクラブNEXT21(新潟市西堀通6-866NEXT21-6F、JR新潟駅より古町行きバス・三越前下車)
◆講師／船木誠勝、近藤有己
※同店舗にて9月19日(日)〜9月26日(日)、パンクラスグッズフェアを開催
◆受講料(共通)／一般5,000円。ファンクラブ、セントラル会員4,000円
◆申し込み方法(大阪、新潟とも)／格闘技経験の有無を明記して、下記住所の「P's LAB in○○」係まで現金書留で受講料を送付
◆締切／(大阪、新潟とも)9月22日(水)消印有効
◆お問い合わせ／パンクラス 〒106-0047東京都港区南麻布4-2-25 ☎03-5792-0815

■バトラーツ情報5連発！

◎7月19日(月)より、バトラーツのアマレスクラブ『情念クラブ』がスタートした。監督には浅見佳広(レフェリーのマーティ浅見)が就任、インストラクターはアレクサンダー大塚ほかアマレス経験者が務め、指導にあたる。同クラブでは現在、会員を募集中だ。
◆練習日／月曜日、木曜日の19:00〜21:00
◆入会金／5,000円 月会費／3,000円
◆お問い合わせ／バトラーツ☎0489-63-0005

◎バトラーツジムでは、新しいシステムとして、会員以外でも利用できる「ビジター回数券」を導入、現在発売中だ。料金は3回分で12,000円。定期的に通う時間がない人は、この回数券をどんどん利用しよう！
◆お問い合わせ／バトラーツ☎0489-63-0005

◎『リングスタッフ』では、リングアナウンサー兼営業を大募集中！ やる気さえあれば年齢、性別は不問(要普通免許)。君も第2のパンチ田原を目指してみないか!?
◆お問い合わせ／リングスタッフ☎0489-66-3222(担当:山口)

◎10月8日(金)に開催される大阪大会のチケット先行発売を兼ねたイベントが、8月14日(土)、大阪・AXESS梅田ナショナルショウルーム(阪神百貨店6階)で行われる。これは選手自らの企画によって開催されるもので、池田大輔と日高郁人が参加する。特別先行発売でチケットを買い損ねたファンには、良い席を確保するラストチャンスだ。
◆開催時刻／16:30〜18:00
◆入場料／無料(8月10日にチケットを購入した方には整理券を配布)
◆お問い合わせ／バディスラム☎06-6645-1378

◎8月26日(木)に開催される静岡大会の終了後、静岡市内の居酒屋にて、恒例の『ザ・飲み会』が行われる。今回は石川雄規、田中稔、アレクサンダー大塚の参加が決定。酒とバカ騒ぎが好きなバトファンよ、集え！
◆時間／8.26静岡大会終了後に開始(21:30予定)
◆料金／一般8,000円 FC会員7,000円
◆申し込み方法／バトラーツまで電話連絡の上、料金を同封した現金書留を送付
◆締切／8月23日(月)必着
◆お問い合わせ／バトラーツ 〒343-0807埼玉県越谷市赤山町2-158-1☎0489-63-0005

■格闘写真展『ガチンコ・グラフィック』好評開催中。いよいよ8月17日まで！

現在、名古屋パルコ東館7F・イベントスペース「E7」にて開催されている、写真家・長尾迪氏の写真展『ガチンコ・グラフィック』。修斗、プライドシリーズ、UFC、パンクラスの闘いの記録を迫力の写真で振り返っているこの写真展、8月17日(火)まで開催しているので、まだ見ていない東海地方のファンは必修！ また、会場では選手が使用した道衣や、現在では市場に出ていないプレミアものののTシャツを特別展示するほか、会場限定オリジナルTシャツなどの販売も行われている。
◆会場／名古屋パルコ東館7F・イベントスペース「E7」
◆期間／8月17日(火)まで。10:00〜21:00。会期中無休
◆お問い合わせ／名古屋PARCO☎052-264-8101

■全日本サブミッションアーツレスリング選手権大会『極 Ⅳ』出場選手募集

◆日時／10月3日(日)9:00集合
◆場所／東京・スポーツ会館
◆募集階級／[ルーキークラス]-65kg級、-75kg級、+75〜-100kg級の3階級[全日本・SPクラス]無差別※初出場及び昨年度の実績が無い選手は、ルーキークラスへの出場となる
◆参加費／8,000円(保険料、記念品込み)
◆申し込み方法／下記住所まで参加費を現金書留で送付
◆締切／[全日本・SPクラス]9月12日(日)必着[ルーキークラス]9月21日(火)必着※事前に電話連絡をした場合は、9月24日(金)まで
◆お問い合わせ／SAW STUDIO 〒351-0015埼玉県朝霞市幸町1-5-15「SAW全日本大会」係☎048-465-3362(8/16〜 毎週土曜日を除く12:00〜18:00)

■第11回アマチュア・コンプリート・ファイティング出場選手募集

◆日時／10月11日(月・祝)9:00計量・ドクターチェック 10:30試合開始
◆場所／東京・中央区立総合スポーツセンター第1武道場
◆参加資格／18歳以上の健康なアマチュアの男子
◆ルール／グラウンドでの打撃を認めた総合ルール。道衣、スーパーセーフ、オープンフィンガーグローブ着用
◆募集階級／フェザー級(58kg以下)、ライト級(64kg以下)、ミドル級(72kg以下)、クルーザー級(82kg以下)、ヘビー級(82kg超過)の5階級
◆参加費／5,000円
◆申し込み方法／電話で要項を取り寄せた上、下記の住所まで現金書留で参加費を送付
◆締切／9月17日(金)必着
◆お問い合わせ／CFC事務局 〒444-0835愛知県岡崎市城南町3-2-26☎0564-55-9070(16:00まで)、0120-00-4524(17:00以降)

■大道塾『北斗旗全日本無差別選手権』出場選手募集

◆日時／11月21日(日)9:30開場
◆場所／東京・国立代々木第2体育館
◆参加資格／18歳以上の空手、キック、拳法、ボクシング等各種格闘技経験者(流派・会派不問、非公開可)
◆参加費／5,000円
◆申し込み方法／下記まで問い合わせ
◆締切／9月20日(月)消印有効
◆お問い合わせ／大道塾総本部 〒179-0081東京都練馬区北町7-4-6 ☎03-3931-6781

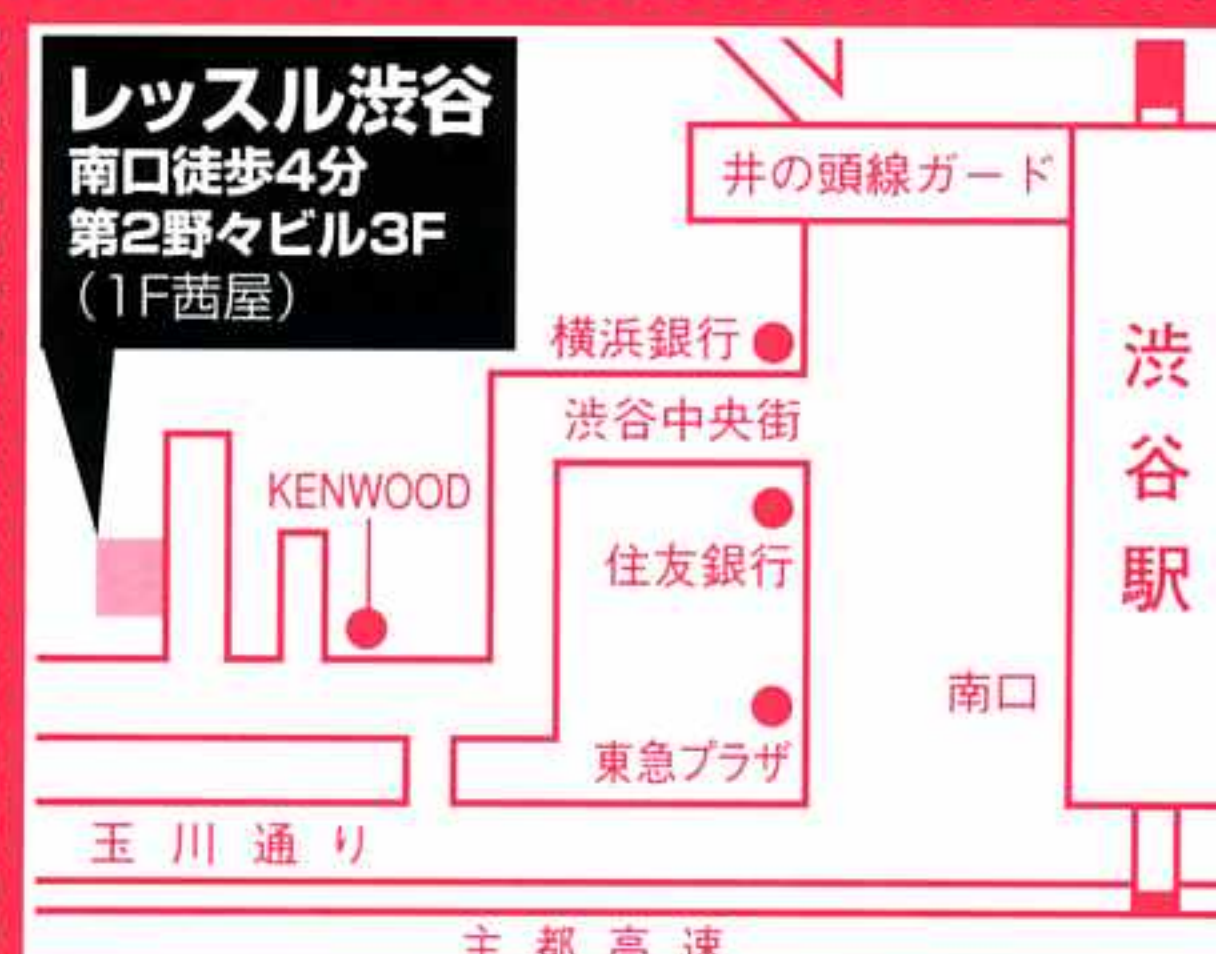
■白蓮会館全日本空手道選手権大会出場選手募集

◆日時／10月31日(日)10:00開場
◆場所／大阪府立体育会館第1競技場
◆参加費／10,000円
◆申し込み方法／下記まで連絡
◆締切／9月30日(木)
◆お問い合わせ／白蓮会館総本部 〒577-0054大阪府東大阪市高井田元町2-8-3☎06-6783-7833

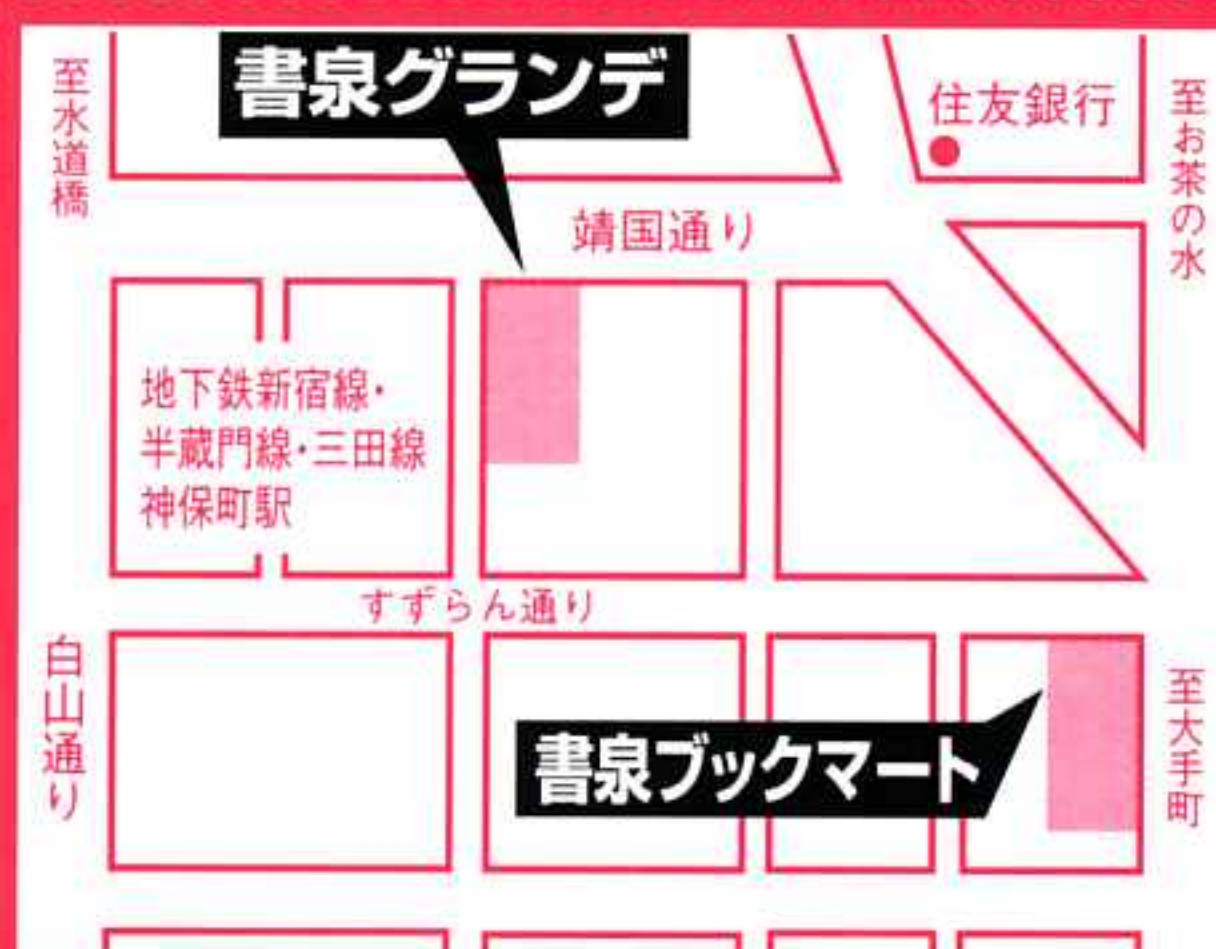
格闘技オフィシャルホームページ

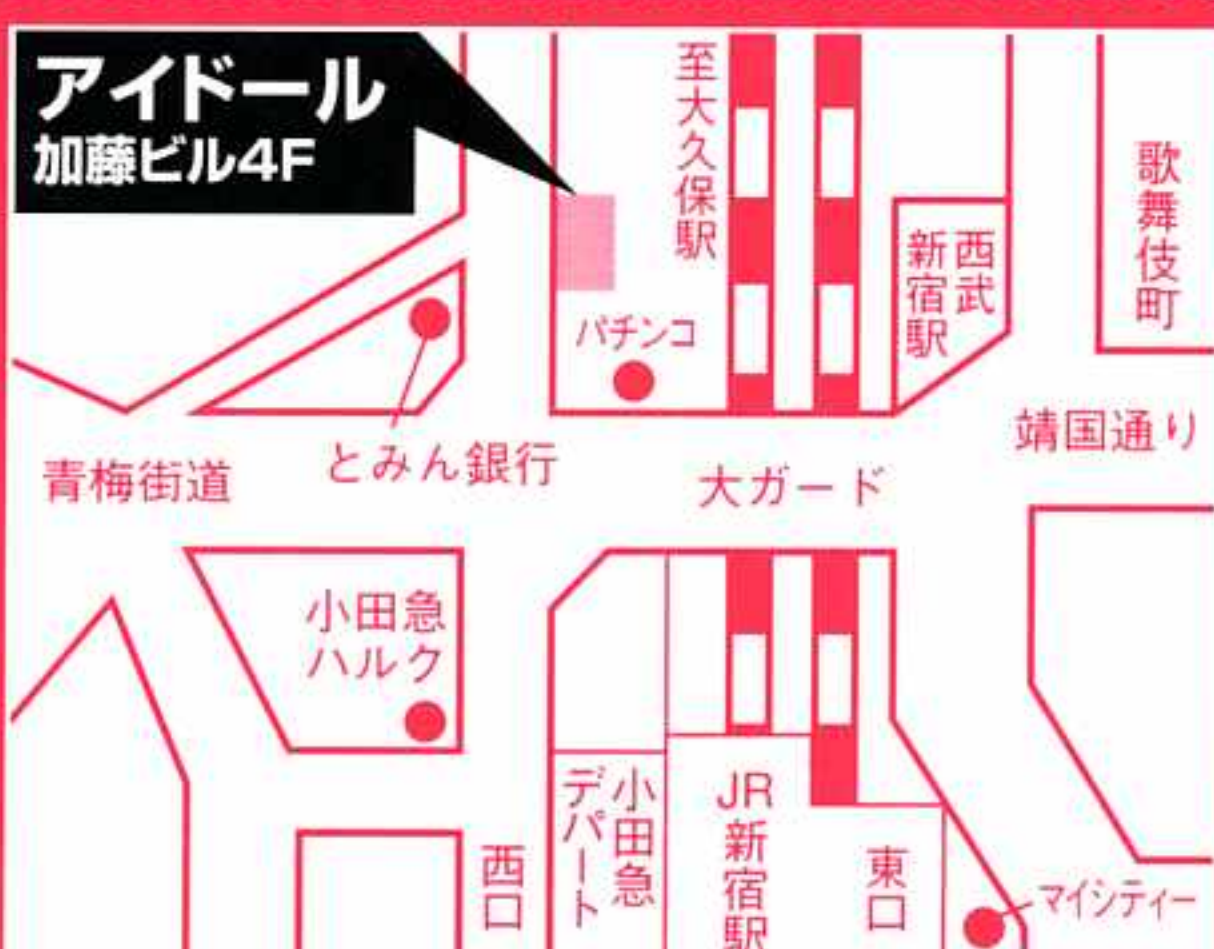
K-1 http://www.k-1.co.jp/	UFO http://www.ufojp.co.jp/	極真会館（松井派） http://www.kyokushin.co.jp
リングス http://www.rings.co.jp/	アントニオ猪木 http://www.antonio-inoki.com	大道塾 http://www.digiadv.co.jp/daidoujuku/
パンクラス http://www.so-net.ne.jp/pancrase/	UFC http://www.seg.com/ufc/	極真会館（大山派） http://www.enjoy.ne.jp/~kyokusin/
バトラーツ http://www.ops.dti.ne.jp/~batbat/	シュートボクシング http://www.portnet.ne.jp/~ko-tech/index.html	日本武道伝骨法會 http://www9.big.or.jp/~koppo/
修斗 http://www.alles.or.jp/~shooto/index.html	新日本キックボクシング協会 http://www1.neweb.ne.jp/wa/kick/	

GOODS&TICKETS
イエローページ

チャンピオン 西田ビル6F
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-8-1西田ビル6Ｆ
☎03-3221-6237
年中無休 営業時間11:00〜22:20

レッスル渋谷
南口徒歩4分
第2野々ビル3F
（1F茜屋）
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-17-2第2野々ビル
☎03-3464-0078
営業時間（平日）10:00〜19:00（日祝）10:00〜18:00

レッスル池袋
豊島区区役所真向かい
池袋陽光ハイツ3F
（1Fうどん屋）
〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-36-3池袋陽光ハイツ306
☎03-3989-0056
営業時間（平日）10:00〜19:00（日祝）10:00〜18:00

板橋大山アメリカン
〒173-0014 東京都板橋区大山東町24-11
☎03-3962-6443
年中無休 営業時間（平日）10:00〜20:00

書泉グランデ / 書泉ブックマート
〒101-0051 東京都千代田区神保町1-21-6（書泉ブックマート）
☎03-3294-0011
営業時間（平日）10:30〜19:00（日祝）10:30〜18:30

プロレス・マニア館
ラーメン屋の3F
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-7-14 たかのビル3Ｆ
☎03-5276-0304
営業時間（平日）12:00〜21:30（日祝）11:00〜21:30

アイドール
加藤ビル4F
〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-1-3 加藤ビル4Ｆ
☎03-3371-5211
毎週月曜日定休 営業時間 11:00〜19:00

ファイター
都営地下鉄
新宿線・丸の内線
「新宿３丁目」駅
C4 出口より徒歩1分
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-3-9-B1
☎03-3354-1903
毎月第3水曜日定休 営業時間 11:00〜19:00

フィットネスショップ格闘技
寺本ビル2F
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-13 寺本ビル2Ｆ
☎0120-4646-81

横浜AOコーナー
YOKOHAMA AO CORNER
〒220-0011 神奈川県横浜市西区高島2-8-5 篠崎ビル2F
☎045-440-3355
毎週月曜日定休 営業時間(火〜土)14:00〜19:00(日祝)12:00〜18:00

■主要チケット発売所一覧

発売所	電話
チケットぴあ	☎03-5237-9999
チケットセゾン	☎03-3250-9999
ローソンチケット	☎03-3569-9900
CNプレイガイド	☎03-5802-9999
オデッセー	☎03-3408-0331
渋谷東急文化チケットセンター	☎03-3406-1513
レッスル渋谷店	☎03-3464-0078
レッスル池袋店	☎03-3989-0056
板橋大山アメリカン	☎03-3962-6443
チャンピオン	☎03-3221-6237
書泉ブックマート	☎03-3294-0011
後楽園ホール	☎03-5800-9999

星座別 タロット占い

宇月田麿凛慧
marie utsukita

8/11 Wed. ～ 8/25 Wed.

プロフィール　フォーチュンクリエーターとして、ハッピネスファクトリーを主宰。独自の占術「ダ・マーヤー占星術」を中心にタロットカード、西洋占星術、四柱推命などオールマイティな占いを使う。極真世界王者の八巻建弐（現ホリプロ所属、俳優）のプロデュースも手掛けた。現在、雑誌・映像などで活躍中。URL http://www.happiness-f.com/

牡羊座　3/21～4/20

全体運　前半は危ない夏の香りに惑わされそう。イメージトレーニングがうまくいかなかったり、理想と現実のギャップに悩んだりする出来事あり。でも、ご安心を。徐々に運気はアップしてくるので、そんなイライラ状態からは脱皮できるハズ！　恋愛でも、恋人のイメージや外面だけじゃなく、現実の姿や内面を受け入れられそう。

勝負運　勝利の可能性が高いとき。頑張って！

健康運　的確な治療方法が見つかりづらいとき。

金　運　厳しい状況からは、まだ脱皮できないよう。

ラッキーアイテム：**和食**
ラッキーカラー：**シルバー**

牡牛座　4/21～5/21

全体運　前半はちょっとしたトラブルがあるかも。後半には運が開けてくるので、親やパートナーからの反対を受けたりと、立ちはだかりがちだった障害は、勉強や努力することで徐々に取り除かれていくハズ。あなたの気持ちを伝えるには、交渉より、努力している姿を見せるのが効果的。夏だからと浮かれてないで、努力あるのみ。

勝負運　直前になって、緊張が押し寄せてきそう。

健康運　徐々に完治の方向に向かっているよう。

金　運　夜の遊びにハマりがち。散財に注意。

ラッキーアイテム：**西の方角**
ラッキーカラー：**ブラウン**

双子座　5/22～6/21

全体運　真夏の太陽はあなたの味方。トレーニングや勉強は継続することで、ハッキリ成果が表れるハズ！　周囲の援助に恵まれるので、思い切り勝負に出よう。特に年配の女性が協力的なので、困ったことがあったら必ず相談を。恋愛も明るい兆し。シングルの人は告白のチャンスありなので、迷っていないでデートの申込みを。

勝負運　勝負を賭けるときのタイミングが重要。

健康運　思いどおりに、体力が持続できるとき。

金　運　コツコツと貯める努力をしないと散財するかも。

ラッキーアイテム：**年上の女性**
ラッキーカラー：**瑠璃色**

蟹座　6/22～7/23

全体運　前半は自信がアップしてくるので、何事も順調に進行。しかし後半は一転して、家庭環境が悪くなったり、ライバルが出現したりして停滞しがちなので、状況が良い前半のうちに、やれることはやっておくとグッド。恋愛は、恋人に誰か他の人の陰を感じても、しばらくは状況を見守っているのが賢明。

勝負運　許容範囲内の結果は得られる予感。

健康運　前半は運動神経もアップして気力充実。

金　運　仕事での実力不足が収入に影響しそう。

ラッキーアイテム：**携帯電話**
ラッキーカラー：**ライトベージュ**

魚座　2/20～3/20

全体運　贅沢なものや煌びやかなものにひかれるとき。暴飲暴食や浪費しがちになるので、セルフコントロールをしていかないと後半になって、身体的にも経済的にも無理が利かない状況に陥ることに。恋愛は恋人が変わる可能性があり。お金がかかるような相手とはさよならを。あなたに相応しい、分相応な恋人候補が出現するかも…。

勝負運　ハッタリが効くとき。ハッタリ勝負でグッド。

健康運　高カロリー、高脂肪の食事はパスして。

金　運　交際での出費が…。コントロールが必要。

ラッキーアイテム：**ルール**
ラッキーカラー：**オレンジ**

獅子座　7/24～8/23

全体運　真夏の太陽を浴びて、もっとも活動的になるとき。持続的ではないが、大胆に行動することで栄光を手に入れたりと、嬉しいことがある予感。後半は罠に陥れようとする人の陰があるので、特に儲け話や恋愛関係には要注意。スキャンダルの原因や、借金を負う危険がありそう。信頼できる目上の人のアドバイスを受けるとグッド。

勝負運　資金不足が、勝敗に影響するとき。

健康運　後半は体力ダウン。バランス栄養食の補充を。

金　運　肩書きのある人に騙されそう。要注意。

ラッキーアイテム：**タイマー**
ラッキーカラー：**ワインレッド**

水瓶座　1/21～2/19

全体運　真夏の誘惑が多くなるので要注意。前半は誘惑に負けて思いがけないトラブルが…。仕事での失敗やスポンサーが突然の降板など、試練が起きそう。後半からは運気もアップし、新たな可能性が出てくるので、気持ちを切り替えて、新規事業に向かってチャレンジ精神を発揮していくとグッド。恋人のセレクトも後半にチャンス。

勝負運　即決勝負は困難。目標をプランニングして。

健康運　不眠症や過労気味に。規則正しい生活を。

金　運　体力ダウンに比例して、金運もダウン。

ラッキーアイテム：**インテリア**
ラッキーカラー：**シルバー**

乙女座　8/24～9/23

全体運　前半はあなたに必要な物や相応しい物が見つかる暗示。フィットネスクラブ、トレーナー、スパーリングパートナーなど、必要と感じていたものを、宝探しをするように積極的に探してみて。後半は運気ダウンで優柔不断になりがち。的確な判断力に欠け、良いものが見つからなくなりそう。恋愛は二人の関係にヒビが入りやすい。

勝負運　実力が付いてきているよう。踏み出す勇気を。

健康運　病気が潜伏しているかも。早期治療を。

金　運　お金はうまく循環していくとき。

ラッキーアイテム：**火曜日**
ラッキーカラー：**パープル**

山羊座　12/23～1/20

全体運　夏シーズンで心が浮かれているせいもあり、仕事、勉強などに努力が疎かになりがち。頭の中は恋愛のことでいっぱい。恋人は何をしているんだろうとか、海やクラブに行ってナンパしようとか…。そんなことばかり考えてないで、少しは勉強や仕事に向上心をもって。恋愛と仕事や勉強のバランスを取っていくことがポイントに。

勝負運　シッカリとした意識をもっていければＯＫ。

健康運　バイタリティがあるとき。時間の有効利用を。

金　運　金銭苦からようやく脱皮できそう。

ラッキーアイテム：**実用書**
ラッキーカラー：**エメラルドグリーン**

射手座　11/23～12/22

全体運　真夏の太陽エネルギーを思いっきり吸収してパワー全開。向かうところ敵ナシのようで最高の気分。集中力アップで、勉強やトレーニングにも身が入り、イメージトレーニングもバッチリいくハズ。恋人とラブラブな時間を過ごすよりも、自分のチャレンジに時間を使った方が有効的なときで、ビックリするような成果の期待大。

勝負運　好結果の期待。思い切り行こう！

健康運　ちょっと疲れても、回復が早いとき。

金　運　良くも悪くもお金の流れはないとき。

ラッキーアイテム：**タオル**
ラッキーカラー：**レッド**

蠍座　10/24～11/22

全体運　可能性を求めて投資をしてもムダになりそうな予感。毎日の生活の中で、ムダな労力やお金を使っていることが多いようなので、夏休み期間に見直して一度クリアにしておこう。恋愛はタイプの人との出会いはあるものの、お金目当ての可能性が。ご馳走やプレゼントをしても、恋人になる可能性は低いので、よく相手を見極めて。

勝負運　賭事は×。ムダなお金を賭けるだけ損。

健康運　夏バテや疲労がたまりやすいとき。

金　運　バカンスシーズンなので出費が多くなりそう。

ラッキーアイテム：**避暑地**
ラッキーカラー：**グリーン**

天秤座　9/24～10/23

全体運　ギリギリで良い結果が得られるかどうかの瀬戸際。現実が開けてくるときなので、迷うことなく自信をもってチャレンジを。ようやくストレスを感じていたことから解放されそう。恋愛では、三角関係や不倫で悩んでいた人には、腐れ縁を切れるチャンスあり。泥沼の恋愛劇を演じているより、気分良い恋愛の方がいいのでは？

勝負運　復活劇あり！　勝負に出てグッド。

健康運　暑いからと冷たい物ばかり飲むと体調不良に。

金　運　夢やロマンを追っての出費が多くなりそう。

ラッキーアイテム：**花束**
ラッキーカラー：**ライトブルー**

「SRS・DX」スタッフ募集に、な
句を言わず、使い易いかどうか、それも
そもそも、この世界に入るきっかけは
縁ができるかもしれない。

サダハルンバ編集長の

一撃コラム

連載第4回

格闘技マスコミを目指す人へ——どういう資質が求められているか

「SRS・DX」スタッフ募集に、なんと100通近い応募があった。この場を借りて、ご応募いただいた方にはお礼を申し上げます。

本当は、猫の手も借りたいほど忙しい編集部だが、正直に言ってまだ誰にするかは選考中。できるだけ、良い形でスタッフを選びたいので、ご応募していただいた方は、もうしばらくお待ちいただきたい（応募は締め切らせていただいてます）。

この手の募集をするたびに思うのだが、いわゆる「格闘技マスコミ」に憧れている人はかなりいる。そういう人に言いたいことは、この世界に入れるかどうかは、運しかない、ということだ。なぜなら、履歴書や作文を一通一通読んでいても優秀な人間はかなりいるのだが、それだけをポイントに選んでいないからである。

かつて、週刊ファイトの編集長の井上義啓さんは「プロレス記者は朝日新聞の記者でも務まらない」といったことがある。それほど、この世界には向き不向きがある。そういう意味で、ターザン山本さんのような人材が迷い込んでくることは、まず奇跡に近い。どういう人間を選ぶかは、我々にとってもいつも頭の痛い問題である。

だから、私は最初から良い人材を集めようという期待は全くしていない。まず、この人は格闘技が好きかどうか、そして好きだからこそ続けていけるタイプかどうかを見分けるだけである。そして、文句を言わず、使い易いかどうか、それも条件に入れている。あえて、選考基準といえば、その二つである。

正直に言って、雑誌編集という仕事は、賃金に比べて割の合わない激務を強いられる。これは、まず「好き」というパワーがないと続けられない。休日がどうとか、保障がどうのと考えるタイプは、途中で挫折することは目に見えている。格闘技とか雑誌作りに、大げさに言えば全人生を賭けられる人、それが我々が求める最大の条件なのである。

そんなことを思いながら、私は履歴書に目を通しているのだが、作文ではできるだけ素直な人を採ろうと考えている。格闘技はガチンコでマニアックなものでなければならないと考えている人は、正直に言って「SRS・DX」には合わない。むしろ、そういうタイプよりプロレス心のある人を選ぼうと思っている。できるだけ、最大公約数の読者と同じ感性をもっている人。格闘技の知識よりも、そういうことが重要だ。その中で、キラリと光る見方をもっている人、そういう素質がある人を最終的に選ぶつもりである。その中で何人の人が、この業界で残っていくかは全くの偶然だろう。

ただし、残念ながら選ばれなかった人も、これで完全にあきらめることはないだろう。もちろん、スッパリとあきらめて別の人生を歩むことも大切だが、そうじゃない、どうしても「格闘技マスコミ」になりたい人に、いくつかのアドバイスをしておく。

そもそも、この世界に入るきっかけはいくつかのタイプに分けられる。まず、一番多いのが、読者投稿をしながらアルバイトやライターになっていくタイプだ。

現在、格闘技のライターをやっている人のほとんどは、そうしてこの世界に迷い込んで来た人たちだ。特に私が以前働いていた週プロや格通の社員、ライターがそのタイプ。完全なる読者上がりである。

以前、週プロでは読者投稿常連者の会「プレッシャー」という集まりがあったが、その出身者で現在ライターや編集者として活躍している人はたくさんいる。また、格通ではサンボツアーやアルティメット大会ツアーをたくさんやっていたが、そこで私に声をかけてライターになった人も多い。ライターで活躍している布施鋼治氏は、懸賞論文に応募してきた一人であるし、小島和宏氏や関巧氏は「プレッシャー」の会員だった。須山浩継氏、Show、高島学氏は、サンボツアーやアルティメットツアーがきっかけで迷い込んで来た人たちである。本誌で書いている橋本宗洋も格通の常連投稿者の一人。皆、最初は読者からスタートを切っているのである。

もし、どうしてもあきらめきれない人がいるならば、そういう人たちに習って自分から積極的にきっかけを作ることをお勧めする。こういうタイプは、「好き」という大前提があるので、採用する側も一生懸命やってくれるという安心感がある。もしかしたら、他誌なんかでも良い縁ができるかもしれない。

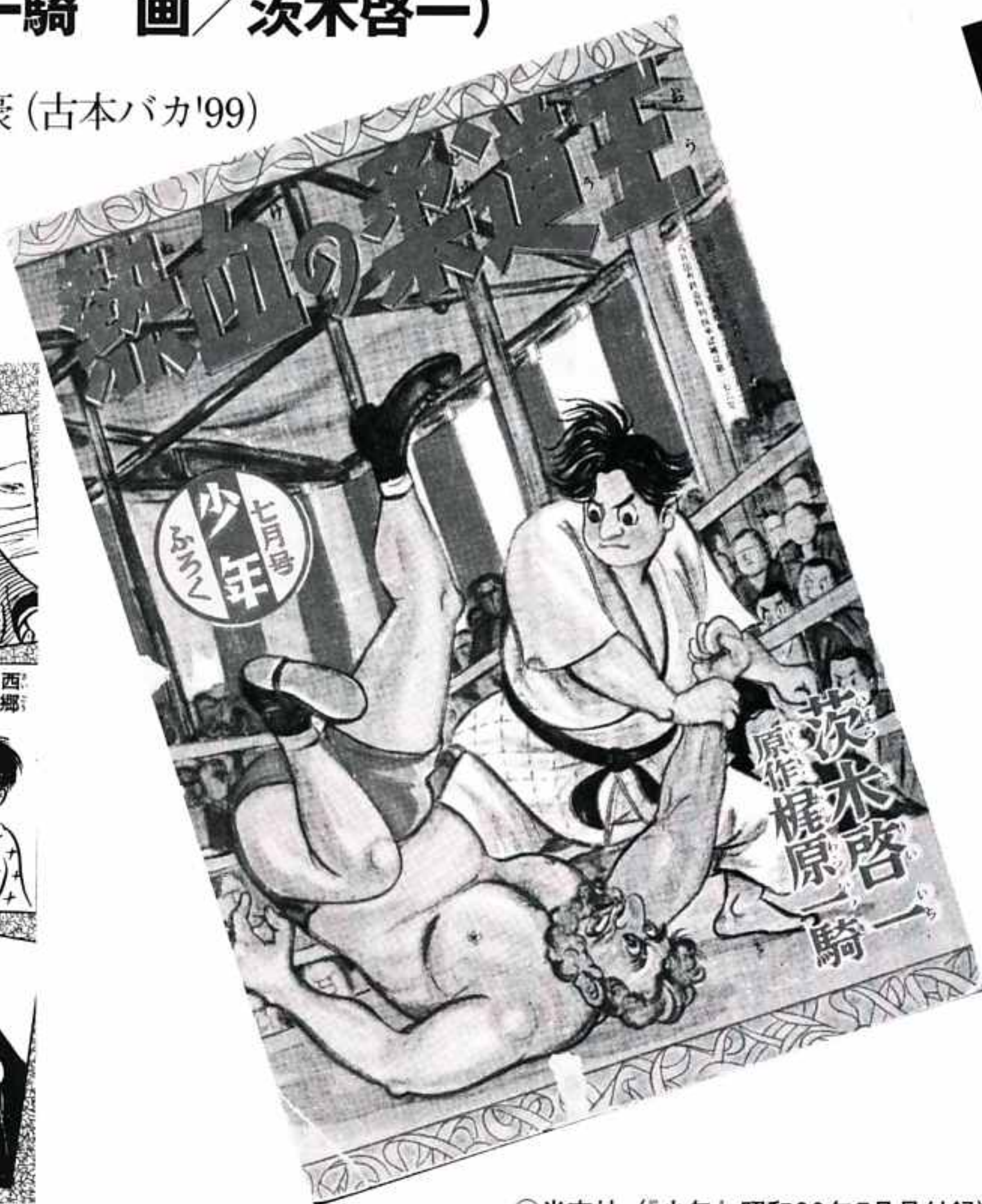
もし、学生ならばアルバイトから始めるといいだろう。専門誌の編集者も、アルバイトから社員になった人がほとんどである。ベースボール・マガジン社にいた時は、週プロ・格通の社員だけはアルバイト出身が多かった。ベースボール・マガジン社も当時は、一般試験と面接で新入社員を採っていたのだが、それだとどうしても学生時代に真面目に勉強していた女の子の方が優秀。しかし、その女の子がプロレスや格闘技の雑誌を希望することはめったにない。だから、アルバイトから社員になる人が、ほとんどなのだ。

また編集部に欠員が出たり、本誌のように新しく雑誌が創刊されて公募があって入ってくる人間もいる。とにかく、自ら扉を叩いてみること。そうしていくうちに、いつか縁が訪れることがある。

では、私の場合はどうだったか。その話については、次号でお届けする。

発掘!! お宝格闘技漫画

第4回 「熱血の柔道王」〈第4話／「決戦の朝」〉（原作／梶原一騎　画／茨木啓一）

▶発掘＆文／吉田豪（古本バカ'99）

©光文社（『少年』昭和30年7月号付録）

本誌で最も面白いコーナーといえば、もちろんサダハルンバ編集長の珠玉連載『一撃コラム』である。

前号でも、2号目が出た直後というほとんど何もデータのないような時期に「2号はほぼ完売状態となった」と力強くキッパリ言い切ってみせる、その切れ味はまさに一撃必殺。

邪道拳ならぬ邪道コラムとでも言うしかないが、「邪道で何が悪いんじゃあ（涙）！」（大仁田調）である。

400字詰め原稿用紙50枚分近い膨大なボリュームの『K―1物語』をわずか半日で書き上げたという伝説や座談会での日和見ぶり、ついでに言うなら小川直也がゲーリー・グッドリッジの腕をなかなか極められなかった理由を「大会場で緊張していたから」と『サンデー毎日』誌上でキッパリ断定してみせた呑気さも含めて、つくづく素晴しすぎ。パワー、スピード、それに熱さと呑気さが入り交じったサダハルンバ編集長の原稿は、とにかく文句なしなのである。

それに比べて、このコーナー。果たして読者の皆様は読んでくれているのだろうか？

まあ、UFCミドル級チャンプのフランク・シャムロックを「キヒヒヒヒヒ」と笑う不気味な男に仕立て上げ、「霊長類最強の男」マーク・ケアーに初恋の話ばかりぶつけていくハイパー・ビジュアル・ライターShow（大谷泰顕）氏のインタビューよりはマシだと思うので、そんなことはノー問題！

追いつけ追い越せ『一撃コラム』。そんなビッグな野望を勝手に掲げつつ『熱血の柔道王』、第4回、いってみよう（アーリー山田邦子調）！

劇画王・梶原一騎がわずか19歳にして描き上げた、講道館柔道初期の大物たちの総出演による、この知られざるメ・デ・ィ・ア・ミ・ッ・ク・ス作品。今回は、柔術家・好地円太郎と講道館の若手・西郷四郎が遂に激突する！

ラストに向けていよいよ盛り上がってきましたよ！　大変ですよ！

……と、無理矢理テンションを高めてはみたが、しょせんボクは乙女座のA型。占いによると「夢見がちなロマンチスト」といつでも判断されるだけあって、やっぱり無闇に熱い原稿を書くのは苦手なのである。

ところがビックリ。男臭さの塊のような梶原先生も、乙女座のA型というドリーミーな男だったのだ！

その反動ゆえか男気溢れる方面へと突き進んだ上に、実弟の真樹日佐夫先生にも死ぬまで「俺はO型だ！」とまで言い張っていた梶原先生。その姿勢に敬意を表して、ボクもガンガンいきますよ！　さあ、どうぞ！

決戦の朝

西郷 いよいよきょうは試合の日だな
はい
試合の心がまえはできているか…
はい！
勝ち負けはもんだいではありません
うむ
心身を正しく、つよくがんばります
よしっ
きょうの試合にはけいこ着をきていってくれ！
このけいこ着にはわしの いや講道館柔道のあせとあぶらがしみこんでいる……
先生
きっと
やりますよ！
やるともきょうの試合は好地のものだ
そうだ柔道なんかにまけてたまるか
おい！島崎先生だ！
おおだいぶわるいらしいな！
先生がご病気でさえなければなあ……
嘉納などに
まったくだ！柔術の鬼といわれた先生も病気にはかてないものなあ
先生！だいじょうぶですか？
おれのことは心配するな
好地につたえてくれ けっしてゆだんをするなとな
柔術家は好地円太郎 柔道家は西郷四郎！
うむ
そらよーっ！
とうっ
うえっう
おっ
いくらなげてもたつじゃないか
まるでネコみたいなやつだ
おのれっ

23
たあーっ
おうっ!
24
いまだっ!
25
うううっ!
26
えええいっ!
27
28
柔道の勝利だ!
29
柔道ばんざいっ!
えらいぞっ
30
……
31
西郷くん おめでとう
はあ
32
好地はやぶれたか だが柔術界にはこの島崎英之助がいる
33
講道館柔道が日本一になるにはわしをたおさねばならないのだ
34
きみでも嘉納さんでもいい この島崎とたたかってほしい
35
島崎さん のちほどごへんじをします
36
おお 嘉納さん まっていますぞ
37
島崎さんはからだがわるいのでしょう
38
ありがとう あまりいいとはいえませんが 嘉納さん
39
島崎は柔術のめいよにかけてもあなたと……
40
わかりました かんがえておきましょう
41
先生あの人は……
柔術の鬼といわれた人だ
42
柔術家としてのさいご そしてもっともおそるべきあいてだ
43
いずれはたたかわねばならないあいてだ
44
正々堂々とな!

柔道家も本当は強いんです！

この作品や小川直也の試合を見るだけで、そんな桜庭チックな言葉が誰にでも浮かんでくることだろう。

柔術から当て身技（打撃）や危険な関節技を排除してスポーツ化させた柔道のブレイクによって、日本古来の格闘技・柔術は廃れていった。

ところが、講道館柔道の代表として世界へ飛び出した前田光世がブラジルに伝えた実戦的な柔道も、やがて「グレイシー柔術」と名を変えて日本上陸。いつしかすっかり柔術が復権を果たしたわけなのだが、そもそも選手層がケタが違いすぎる。柔道のエリートは本当に強いんです！

この作品でも、講道館の西郷は「勝ち負けはもんだいではありません。心身を正しくつよくがんばります」とつまらないことを言い出すスポーツマンシップを披露するんだが、それだけではない。当て身も関節技も使わない健全な柔術家に何度投げられても見事に着地してみせると、あっさり一本勝ちを収めるのだ。

伊達に前回、ニャンコ先生（野良猫の「しろ」）からキャット空中三回転を教わっちゃあいないのである。

7コマめから9コマ目にかけて「先生」「きっと」「やりますよ！」とまだるっこしい間の悪さで宣言しただけあって、やっぱりただの柔道家ではなかった西郷。そこへ、これまたただの柔術家ではないアメリカから来た赤鬼、怪力ルイケルが立ちはだかる！

次号は遂に最終回だ！ ■

⬅次号に続く!!

●協力／真樹プロダクション

修斗

ルミナ 6 秒の閃光

'99.1.15&'98.11.27東京·後楽園ホール　カラー90分　税込6,930円

フランク·シャムロック門下の強豪テイラーを相手に、開始後わずか6秒で1本勝ちを奪い、バリジャパ98での失神KO敗けという屈辱を見事な形で払拭したルミナ衝撃の一戦に加え、マッハ桜井とブラジリアン柔術オリヴェイラとの激突、そして巽宇宙1年ぶりの復活、天才児·郷野vsカポエイラ戦士スーザ。修斗の面白さが満喫できる名勝負を収録。

タイトル	内容	価格
バーリトゥード·ジャパン'98	カラー110分	税込6,930円
エリック·バーソンvs須田匡昇	カラー90分	税込6,930円
修斗 vs 欧州最強軍団	カラー72分	税込6,930円
桜井速人vs中尾受太郎	カラー90分	税込6,930円
朝日の復活、ルミナの敗戦	カラー105分	税込6,930円
バーリ·トゥード·ジャパン'97	カラー86分	税込6,930円
エンセン井上vsジョー·エステス	カラー60分	税込6,930円
修斗vsレスリング　激突 3 対 3	カラー80分	税込6,930円
エンセン井上vsズール	カラー70分	税込6,930円

パンクラス

パンクラス新たなる挑戦

98.12.19東京ベイN.K.ホール&10.4&10.26後楽園ホール　カラー120分　税込6,930円

待ち望まれたパンクラスマットでのノールール系マッチがついに実現。レンケンと激突した船木をはじめ、山宮はホーンと、新星渡部はローバーと対戦。素足にシューティンググローブでリングに上がった船木はどんな戦いぶりを見せたのか？12·19N.K.ホール大会に加え10·4&10·26の後楽園2大会も収録。

タイトル	内容	価格
パンクラス五周年記念大会	カラー120分	税込6,930円
船木誠勝故郷凱旋試合	カラー120分	税込6,930円
鈴木vsローバー シュルトvs高橋	カラー118分	税込6,930円
船木誠勝vsガイ·メッツァー	カラー90分	税込6,930円
鈴木vs山宮 船木vsシュルト	カラー120分	税込6,930円
鈴木vsシュルト&道場対抗戦	カラー116分	税込6,930円
船木誠勝　真実の17分05秒	カラー90分	税込6,930円
近藤有己vs船木誠勝	カラー90分	税込6,930円
近藤vs高橋 船木vsゴドシー	カラー60分	税込6,930円
近藤有己vsリオン·ダイク	カラー60分	税込6,930円
近藤有己vsジェイソン·デルーシア	カラー90分	税込6,930円

バーリ·トゥード

PRIDE-5

99.4.29名古屋レインボーホール　カラー90分　税込9,975円

プライドシリーズの新たなる歴史、開幕！高田vsコールマン、桜庭vsベウフォート、エンセンvs西田、小路vsボブチャンチン、本間vsブエノ、豊永vsイーゲン、全6試合に加え、小川の高田戦マイクアピールなど。見所をすべて収録。

タイトル	内容	価格
PRIDE-1～4	各巻カラー90分	税込9,975円
VALE TUDO JAPAN OPEN 1995	カラー120分	税込9,991円
ヒクソン·グレイシー王者の真実	カラー98分	税込6,090円
フアス·バーリトゥード1～7	各巻カラー30～45分	税込5,880円
バス·ルッテンのスーパーテクニック1～5	各巻カラー33分～50分	税込5,880円

極真会館

キングオブテクニック

カラー50分　税込8,800円

王道を歩んだ大山倍達、王者となった松井章圭、王者を育てた廣重毅、王道をゆく数見肇。今、キング·オブ·テクニックが明かされる。大山倍達最後の直伝指導と猛牛決戦、ストリートファイトの名シーンを初公開。世界の王者松井館長と王者を育てた廣重毅を中心として伝授された、勝つための間合い、さばき、技の数々。さらに郷田勇三師範が大山道場時代の一撃必殺を再現。貴重映像満載の王道伝授ビデオ。

タイトル	内容	価格
100人と戦った男、数見肇	カラー60分	税込8,800円
第30回全日本空手道選手権大会	カラー90分	税込9,800円
意拳　孫立	カラー40分	税込7,800円
一撃必殺　廬山初雄	カラー60分	税込9,800円
第6回全関東空手道選手権大会	カラー60分	税込8,800円
第15回全日本ウェイト制空手道選手権大会	カラー80分	税込9,800円
組手最前線パート2　3秒で倒せ！	カラー60分	税込9,800円
最終兵器　数見　肇	カラー80分	税込9,800円
極真空手全集　全3巻	各巻カラー75分	税込9,800円
第29回全日本空手道選手権大会	カラー85分	税込9,800円
この稽古でチャンピオン達は生まれた　上·下巻	各巻カラー50分	税込8,800円
組手最前線	カラー60分	税込9,800円
極真世界制覇バイブル	カラー80分	税込9,991円
この技で勝ちを狙え	カラー90分	税込9,991円
極真空手バイブル	カラー90分	税込9,991円
人間·大山倍達	カラー50分	税込9,991円
牛殺し　大山倍達	カラー50分	税込9,991円

レスリング

セルゲイ·ベログラゾフ

レスリングの奥義

カラー100分+テキスト32頁　税込5,880円

レスリング·フリースタイルに君臨した偉大な王者。あのカレリンに次ぐ実績を誇るS·ベログラゾフが世界を制した最高峰のテクニックを詳しく紹介する。誰もが真似をすることができないような秘技ではなく、シンプルな技の組み立てで相手を追いつめる真の奥義。これは、組技競技を志すすべての人々に向けたバイブルである。練習に携行できるテキスト付き。

タイトル	内容	価格
最強のレスリング	カラー90分	税込5,880円

空手

二宮城光　ENSHIN METHOD

カラー53分　税込6,930円

極真空手の黄金期に、その華麗な組手で戦国時代を勝ち抜き、貴公子、天才児と称された二宮城光。長年の実戦経験を基に考案した円心空手は、攻防における円の動きとポジショニング、独特の崩し、捌き、投げのテイクダウン、相手のパワーを最大限に利用するカウンター攻撃を特色とする。このビデオでは、華麗にして重厚な円心会館のテクニックと精神を、二宮館長が自ら解説する。

タイトル	内容	価格
白蓮会館·柔法篇～逆技の極意～	カラー60分	税込6,930円
白蓮会館·剛法篇～最強の組手～	カラー75分	税込6,932円
山崎照朝の実戦空手[基本篇]	カラー70分	税込5,914円
山崎照朝の実戦空手[移動稽古篇]	カラー75分	税込5,914円
山崎照朝の実戦空手[組手基本篇]	カラー50分	税込5,914円
格闘空手大道塾	カラー60分	税込6,932円
格闘空手大道塾　実戦組手編	カラー80分	税込6,930円
THE WARS 4	カラー120分	税込7,980円
世紀末カラテ他流試合	カラー81分	税込10,290円

ボクシング

ボクシングスーパー教則ビデオ　初級、中級、実戦編

各巻カラー35分　各5,098円

日本ボクシングコミッション公認。基礎トレーニングから実戦での高等技術までをわかりやすく解説した教則ビデオの決定版。初級編は基本テクニック-フォーム、攻撃、防御、基礎トレーニング、ジムワーク等収録。中級編は、中級技術-攻撃、防御、中級トレーニング等収録。実戦編は、高等技術-攻撃&防御、ジムワーク、プロテストとは、実戦の分析等を収録。

タイトル	内容	価格
エディ·タウンゼント王者への必殺パンチ	カラー33分	税込8,971円
ファイティング原田のボクシング教室 基礎編	カラー31分	税込3,990円
ファイティング原田のボクシング教室 応用編	カラー25分	税込3,990円
ワールドドリームビッグマッチ	カラー115分	税込6,932円
ワールドチャンプビッグフェスティバル	カラー71分	税込6,930円

合気道

神技·塩田剛三

カラー40分　税込8,971円

実戦合気道の総本山、合気道養神館を率い、現代に生きる数少ない達人の一人として、素晴しい演武の数々を披露して見せた塩田剛三。その若き日の映像から演武大会での最後の演武まで、貴重な秘蔵映像で綴るドキュメントビデオ。その小さな体から繰り出される技はまさに神技である。

タイトル	内容	価格
合気道養神館	カラー60分	税込8,971円
合気道養神館[演武篇]	カラー32分	税込6,321円
映画　合気道	モノクロ27分	税込4,894円
技術全集１～10	各巻約40分	税込各8,155円
塩田剛三スペシャル１～10	各巻約30分	税込各8,971円
合気道　極意	カラー90分	税込6,930円
塩田剛三の高弟達　井上強一	カラー90分	税込6,930円

K-1

最強への道

カラー43分　税込5,250円

世紀末、絶大なるブームを巻き起こしたK-1グランプリ。その原点を辿るドキュメントは、門外不出、幻の奥義が満載の現代格闘技大全となった。スクリーンに刻まれたK-1最強伝説がビデオとなって甦る。フグ、アーツ、ベルナルド、フィリョ、佐竹、ムサシ、金、角田。そして黒澤、野地、立嶋、前田、小野寺、吉鷹、港らスーパーファイター多数出演。

タイトル	内容	価格
K-1 GRAND PRIX '98 FINAL	カラー120分	税込12,600円
K-1 GRAND PRIX '98開幕戦	カラー120分	税込12,600円
マイク·ベルナルド·ストーリー	カラー75分	税込10,500円
ピーター·アーツ·ストーリー	カラー75分	税込10,500円
アーネスト·ホースト	カラー75分	税込10,500円
K-1 DREAM '98	カラー120分	税込12,600円
K-1 EUROPE GRAND PRIX '98	カラー120分	税込12,600円
K-1 BRAVES '98	カラー120分	税込12,600円

キックボクシング

KICK CHAMPION'S NIGHT

98.9.19後楽園ホール　カラー60分　税込6,930円

土屋ジョーvsラビット関。意地と気迫が真っ向からぶつかりあったバンタム級王者対決に加え、伊藤隆がジョン·ウェインを血祭りに上げた一戦、フェザー級王者砂田vs無冠の帝王山口、コンディション抜群の両雄が対戦した金沢vs山崎、初のボクシングマッチに挑戦したSBクイーン中村ルミvs高野など、注目の対戦が連続した全日本とMAキックの合同興行。

タイトル	内容	価格
キックボクシング完全教則ビデオ　初級、中級、上級編	各巻カラー50分	各税込6,930円
BURNING-5	カラー60分	税込6,930円
SHOOT THE SHOOT XX	カラー120分	税込6,090円
SK DOUBLE CROSS 2nd	カラー120分	税込6,090円
小野寺力	カラー90分	税込6,930円
立嶋篤史	カラー60分	税込6,932円
前田憲作	カラー60分	税込6,932円

日本武術

水口修孝　至高の柔道

カラー80分　税込6,930円

プライドシリーズで大活躍中の慧舟會·小路晃、そして日本における柔術の第一人者·中井祐樹らが指導を受け、その技術の奥深さに驚いたという水口修孝の柔道。一本を取るために研き抜かれた究極の技を、水口修孝は体現している。嘉納治五郎から三船久蔵、水口修孝へと続く、柔道が本来持っていた素晴らしき技の数々。その中に隠された理を、ビデオはひとつひとつ解明していく。

タイトル	内容	価格
高専柔道	カラー68分	税込6,930円
中井祐樹　柔術バイブル	カラー90分	税込6,930円
神技·三船十段	モノクロ30分	税込6,930円
大東流合気柔術	カラー60分	税込8,971円
柳生心眼流竹翁舎ビデオ教傳所	カラー80分	税込8,971円
天然理心流	カラー60分	税込8,971円

中国武術

澤井健一直伝　大気拳

カラー31分　税込5,880円

大気至誠拳法·大気拳、その極意は気であり、その真髄は過去、現在、未来、一切の万物に至るまで妙応無方なる気の本領を顕現することである。臨機応変、攻防自在、本能の力、自然の法則の従い、自然に体得する形あって形無し無敵の拳法、大気拳。在り日の拳聖·澤井健一の秘蔵映像を約6分間収録している他、直弟子、飯島弘志五段練士がその秘伝を紹介する。

タイトル	内容	価格
酔八仙拳～藍采和の型～	カラー37分	税込5,880円
真傳　尚雲祥派形意拳	カラー40分	税込6,932円
楊氏太極拳～散手対打·化勁～	カラー55分	税込8,971円
程聖龍内家拳～八卦掌～	カラー54分	税込8,971円
程聖龍内家拳～形意拳～	カラー55分	税込8,971円
程聖龍内家拳～陳氏太極拳～	カラー41分	税込8,971円
螳螂拳	カラー42分	税込6,930円

コマンド格闘術

毛利流総合戦闘格闘術

カラー53分　税込5,880円

軍隊格闘術のエキスパート毛利元貞が、そのサバイバルテクニックのすべてを明かす初めてのビデオ。危険を事前に回避するための心構えや行動、そして危険に遭遇してしまったときの格闘術、実戦における四大原則「防止」「警戒」「対処」「離脱」などを、格闘時の基本、ボディガード流接近格闘術、軍隊流戦闘格闘術の3部構成で紹介。

タイトル	内容	価格
コマンドサンボ基本技術	カラー54分	税込5,914円
コマンドサンボ応用技術200	カラー84分+テキスト/123頁	税込7,137円
実戦コマンドサンボ百科上巻	カラー90分+テキスト/116頁	税込7,137円
実戦コマンドサンボ百科下巻	カラー90分+テキスト/116頁	税込7,137円
ポポフ流コマンド格闘術	カラー123分	税込5,880円
スラブ式格闘術	カラー120分	税込5,880円
ポポフ流コマンド格闘護身術	カラー51分+テキスト/128頁	税込7,137円

忍術

古武道の奇本

カラー60分　税込6,300円

最後の忍者マスター初見良昭が初めて明かす武道のエッセンス。あらゆる武道の元になる動き·基本八法が正しく出来なければ、その武道はものにならない。骨指基本三法、捕手基本型五法、そして宝拳十六法(鬼角拳、手起拳、不動拳、起転拳、指針拳、指端拳、蝦蛄拳、指刀拳、指環拳、骨法拳、八葉拳、足躍拳、足起拳、足逆拳、体拳、心拳)を完全収録。

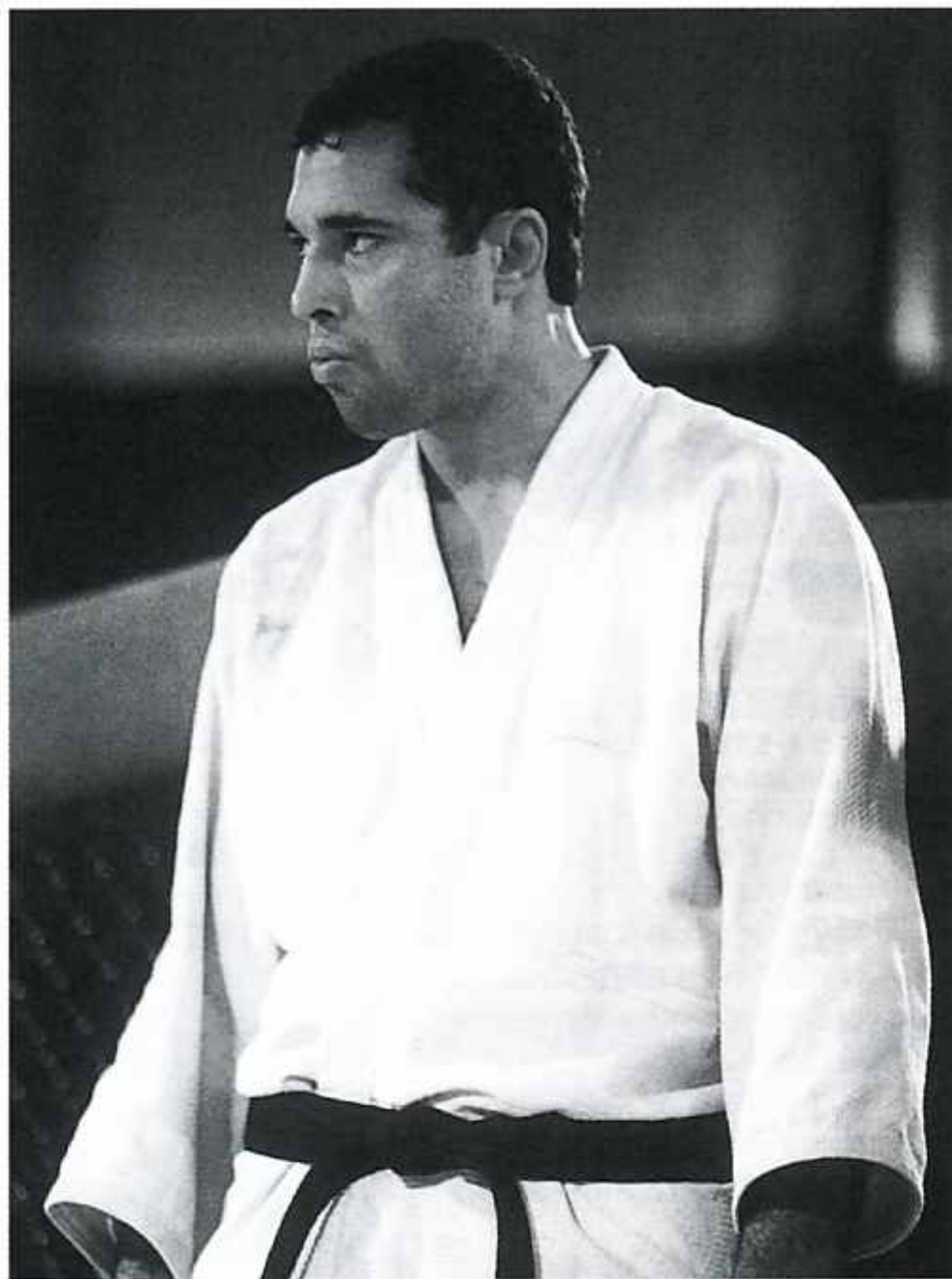
タイトル	内容	価格
神伝不動流八方秘剣　上·中·下巻	各巻カラー60分	税込各4,830円
剣　太刀　刃	カラー70分	税込6,300円
虎倒流骨法術	カラー30分	税込6,321円
高木揚心流柔体術	カラー30分	税込6,321円
九鬼神伝流鎧組討	カラー24分	税込6,321円
玉虎流骨指術	カラー30分	税込6,321円
戸隠流忍法体術	カラー30分	税込6,321円
神伝不動流打拳体術	カラー30分	税込6,321円

チャクリキ·グッズ

※表示価格は消費税·送料込です。

商品	価格
TシャツA	黒·白各¥3,200
TシャツB	黒¥3,200
TシャツC	黒(会長写真入)¥3,400
タンクトップ	白¥3,200
トレーナー	黒·紺·グレー各¥6,300
ブルゾン	¥20,000
トランクス	¥4,100
ウォームアップスーツ	赤·黒各¥16,000
ジョギングパンツ	黒·紺各¥4,400
キャップ	黒·黒地につば赤各¥2,800
ディパック	黒·赤各¥10,300
スポーツバッグ	黒·赤各¥17,800

格闘技・裏事情

編集部トーク

A　巻頭でも書いたんだけど、ホイスが来年の1月に『プライド』に出場することを決意し、トーナメントにも出る、髙田ともやるということで『プライド』には大きな道筋ができた。これからの『プライド』はトーナメントを軸に、バーリ・トゥード最強の男は誰かということがテーマになってくる。

B　『プライド』は何をやろうとしているのか、もうひとつ方向性がわからないと言われていただけに、これは大きいですね。でも、K―1の独占状態に比べて、バーリ・トゥードの世界はコンペティターが多い。UFC、UJ、Uドリーム、『プライド』さらにパンクラス、リングス、修斗（バリ・ジャパ）といった大会で、激しい選手の争奪戦が起こりそう。そういえば、UJも来年の開催になったという噂が……。

C　『ぴあ』のチケット情報を見ると、たしかにUJの大会が9月23日に行われることが書いてあり、延期と表記されていた。きっと校正が間に合わなかったんだろうけど、本誌が言っていたように、9・23を予定していたのは、間違いなかったようだ。

A　K―1が出てきて、格闘技界のどこが変わったかというと、プロデューサーという概念が生まれたこと。石井館長がいわば「プロデューサーの時代」というものを作ったことにある。それまでは、プロレス団体のように、団体が選手を抱え、特にその看板選手が社長になって興行を開いていた。ところが、K―1誕生以来、業界の外部の人までプロデューサーになり、第三者として舞台を用意する興行が頻繁に増えてきたことが大きな特徴。同時にそれは団体という概念の行き詰まりも意味している。

B　そういえば、団体も興行のリスクを背負うより、道場経営に乗り出すところが増えてきましたね。その意味で、髙田道場は最先端を行っています。

C　でも、業界外のプロデューサーが開く大会が成功しているかと言えば失敗しているとこの方が多い。石井館長は業界内の人だからね。今後も、石井館長のような存在をめざす人は増えると思うけど、石井館長はやっぱり正道会館という組織を世界的にもっているし、キックボクシングのジムとも関係が深い。その差は大きいよ。かつて、北尾が出たUV大会、ビガロが出たU―ジャパンとみんな失敗しているからね。その中で「プライド」が髙田や小川、エンセンといった大物をしっかり出していることは評価が高い。

A　K―1や「プライド」が続けられているのは、契約という概念がしっかりあるからだよ。それまでの格闘技界って、契約書ひとつ作っていなかったから、選手の変更が多かった。「プライド」に関しては、ヒクソンやホイスと契約を結ぶことで、徹底的に鍛えられたんだろう（笑）。

B　あと、業界外のプロデューサーがよく間違えるのは、いいカードを組めば、あとは他力本願というか、勝手に客が集まると思っている傾向がありますね。マスコミも自然と何か書いてくれるだろうと、安心しているところがある。でも、これもプロレスから学ばなければならないことだけど、プロレスは自分たちであの手この手でネタを提供してきますからね。そういうところが格闘技界には全くない。何を見せたいのか、どんなストーリーがあるのか見えて来ないんです。

A　その点、「プライド」の小川は物議を醸したけど新鮮だった。小川のストーリー作り自体にプロレス心があったり、シュート話があったりしてどこまでが本当なのかワクワクした。いきなり、記者会見で30分以上も遅れて、「聞いてない」と5分で席を立ってしまったけど、小川が席を立ってから、記者からは真剣な質問が自然と30分以上も延々と飛び出したからね。これは、どんなに大掛かりな記者会見をやっても、「プライド」ではなかったこと。というより、格闘技界ではこんなに多くの質問が出るのはまずない。すごく面白い光景だった。

C　我々マスコミからドラマ作りの渦に巻き込まれた感じ。ああ、これがプロレスなんだな、と（笑）。

B　今回、編集長が佐竹選手のところにインタビューに行った時、佐竹選手はこちらの意図を汲みとって、自分から柔術の道衣を着てくれたそうです。あれでこそ、昔の佐竹選手。そういうネタを提供してくれると、こっちも凄くやる気になりますし、ファンも喜びますよね。

A　そこがプロと、ただ強くなる人の差。広告にお金をかけるより、よっぽど効果あるよ。そういう仕掛けを我々はもっと期待したいよね。■

ホイスの参戦が決まったことで、また髙田や小川に新たなドラマが生まれてくる

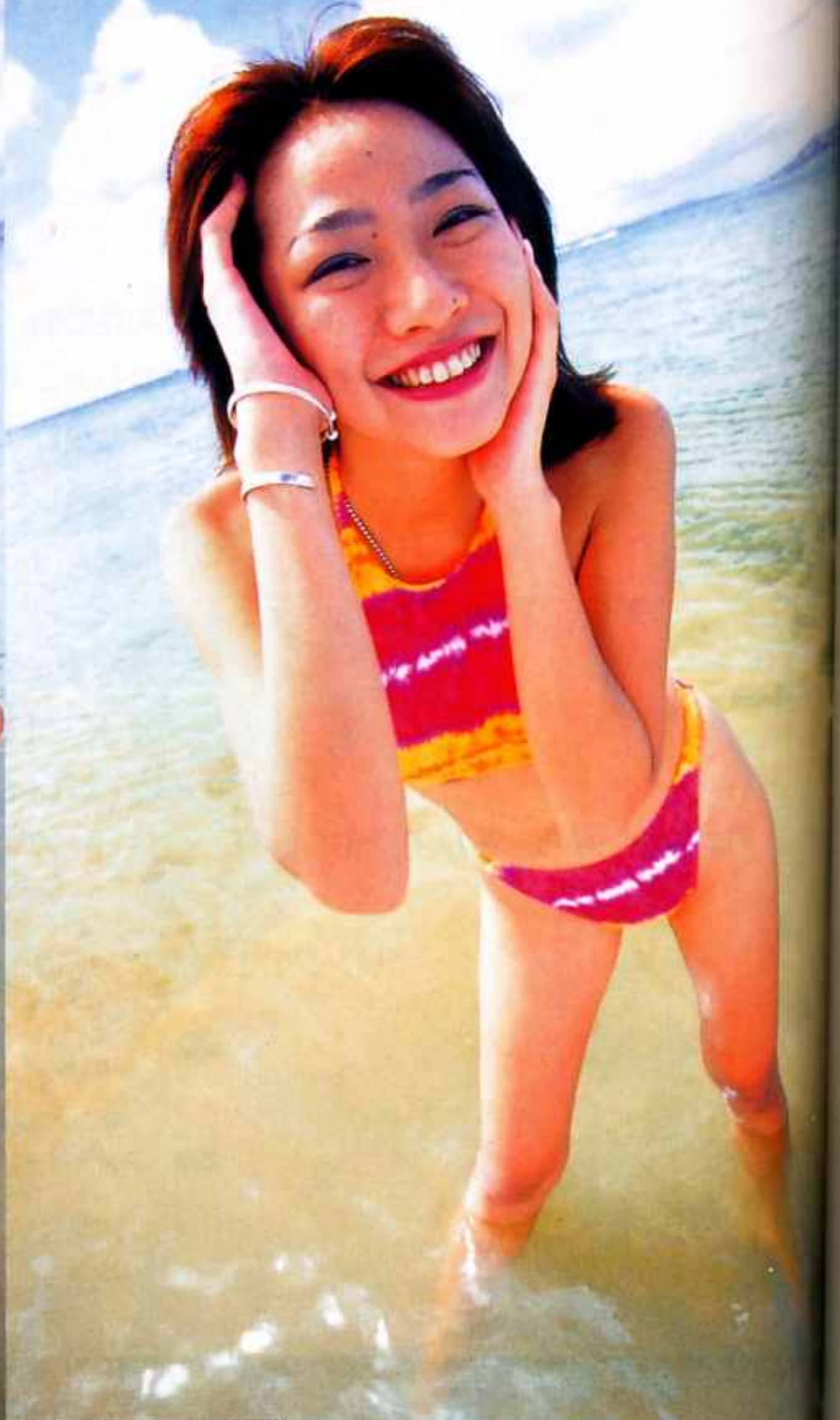
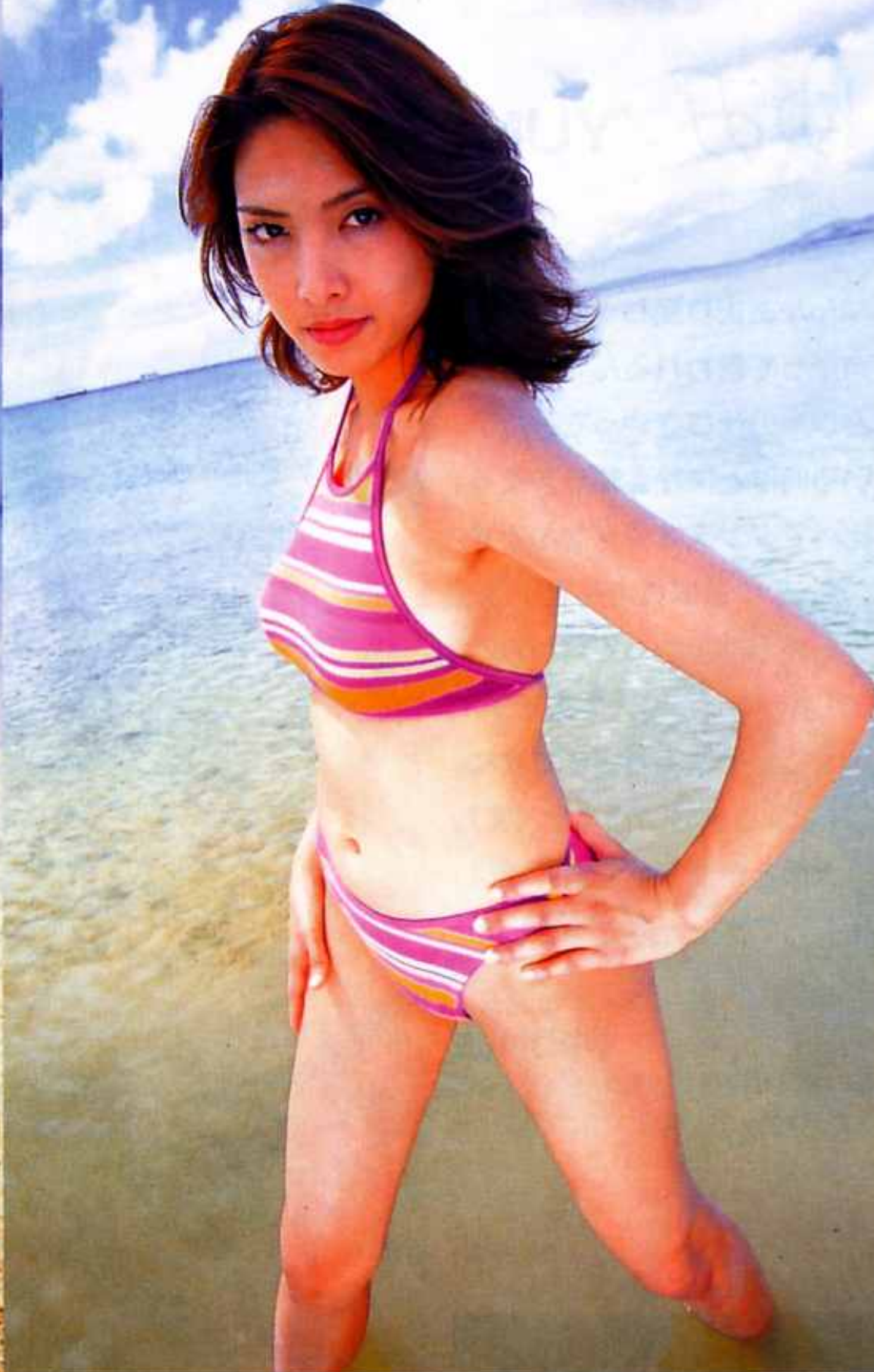
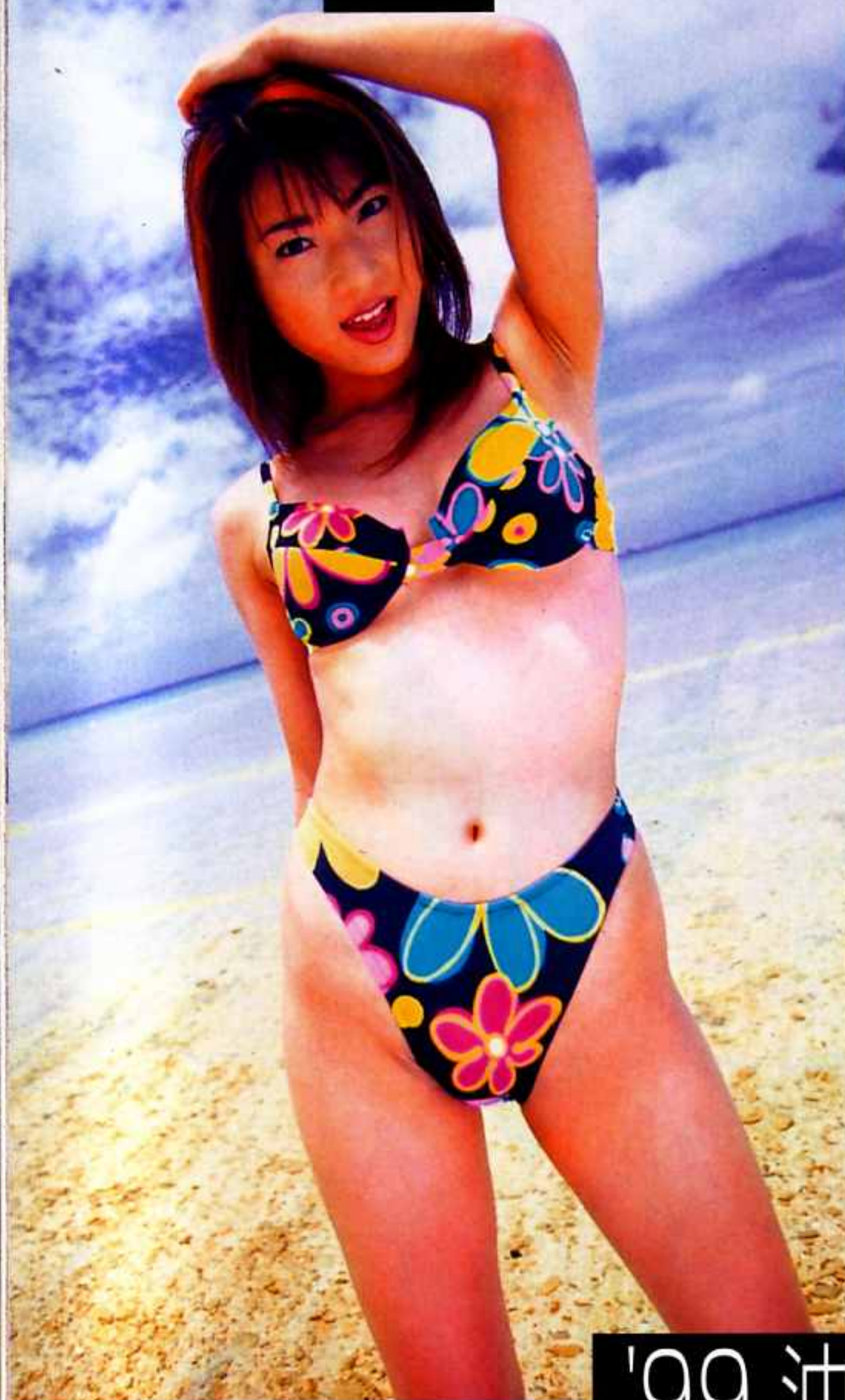
★次号予告★

SRS-DX 第5号

次号の発売日は **8月26日**（木）です。

速報！8・22 K−1 SPIRITS'99

発行元★株式会社フジテレビ出版／株式会社ローデス
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F ☎03-3295-4445
販売元★株式会社扶桑社
〒105-8070 東京都港区海岸1-15-1
☎03-5403-8888

発行人・柳沢忠之 編集人・谷川貞治
●STAFF&WRITER
ソプラノ林、ユカポン、井上半角、松林上等兵、橋本宗洋、"Show"大谷泰顕、宮崎正博、押切伸一、ターザン山本、島田裕二、中村カタブツ君、吉田豪、宇月田麿凛慧、ユキポン、岩村唯是、宮崎慎吾
●DESIGNER
梅村あゆみ、小幡浩史、早乙女事務所、IDS、su・plex、水町由美子、D-Cube

'99 沖縄の夏　美女と達人に出会う旅

まぶしすぎだ！　夏色に輝くK−1ガールズ！

構成◎押切伸一
写真◎大久保義高
撮影協力◎ルネッサンスリゾート・オキナワ
☎098-965-0707

夏といえばオキナワ！

この直球ど真ん中のシチュエーションにSRS・DXが乗り込んだ。
PART1では、ビデオ撮影を行うK−1ガールズに完全密着。
初のインタビューと素晴らしすぎる特写をご堪能あれ。
PART2では、空手発祥の地・沖縄ならではの達人たちの深遠な技とナイスキャラに触れた。
世界最強の95歳、恐るべき鍛錬法、踊りながら倒す技など、
沖縄武道の神秘と強さにシビレっぱなし！
沖縄の夏は予想を超えて熱かった〜。

打たれ強そうなヒトが好き。

ゆみ／YUMI

子供の頃の写真を見ても、なんかあまり変わっていない。
声もそうで、いつもアニメ声だって言われるんですけど、
自分でも声優とかＤＪとか声の仕事をやってみたい。
私はリラックスしている時はとにかく喋りまくる。
でも、喋るのに比べてダンスはダメなんです。
前に、ヴェルファーレ（ディスコ）のイメージガールに選ばれたんですけど
みんなにダンスがヘンだねって言われて。
でも、Ｋ－１のウォーキングは大丈夫です！
選手の中ではレイ・セフォー選手が好きですね。
打たれ強いから、私がイジメてもイジメても許してくれそうじゃないですか（笑）。
大阪と東京（ドーム）では、
リングの上の私に「ゆみー！」って声をかけて下さいね。

PROFILE
ゆみ／22歳／身長167cm、B83、W58、H85
趣味・スノーボード、ボディボード、料理、カリグラフィー

一番応援しているのは武蔵選手。
福岡でリベンジして、ウォンウォン男泣きしているのを観て、
私もノックアウトされちゃいました。
みんないろいろ言うけど、あのタラコクチビルがいいんですよ。
やっぱり日本人として日本の選手には頑張ってもらいたいし。
でもグレコ選手も好きなんですけど（笑）。
私ってパっと見で、「キツイ性格」とか「とっつきにくそう」って思わてれるけど、
ビデオではほんとはそうじゃない、っていうところが見えると思います。
撮影はけっこうハードで、私服は日数分をもってきたんですけど
全然必要なかったけど、その分頑張りました。
監督はだいぶエッチなカットをねらってましたけど、
それだけじゃなくてカッコイイ絵になっているハズだから絶対観てください！

PROFILE
はやの・くみこ／24歳／身長165cm、B83、W58、H85
趣味・スノーボード、パソコン

「本当の私」を見てほしい！

早野久美子／KUMIKO HAYANO

とっても男っぽい性格だったんですけど、
好きな人ができてからは女らしくしようと思って。
恋が実らなかったから、その人を見返したかった……。
でも、まだ女っぽくない?
男の人はスポーティでワイルドな人が好きです。
K－1選手はもちろんですけど、
アウトドアでも「火はオレが起こす！」みたいな。
得意なのは、スペイン語、英語、フィリピン語とダンス。
ダンスはヒップホップからバレエまでなんでも好きですね。
もちろん、ダンスミュージックは大好き。
でも、最近ボサノバも好きになって、大人っぽくなったのかなあ。
あと、年に一回だけヘヴィメタがむしょうに聞きたくなります（笑）。
ギャーっ！て叫びたくなる。それってストレスがたまった時かも?

PROFILE

こうもと・かれん／19歳／身長167cm、B88、W55、H85
特技・語学（英語、スペイン語など）、ダンス

いつでもダンス！ の陽気な性格だけど…

幸本花梨／KAREN KOUMOTO

妄想癖アリ、の私でもいいですか？

高木雅子／MASAKO TAKAGI

K－1ガールズのビデオでは、私のテーマカラーはオレンジなんですよ。
偶然にもオレンジは、私のラッキーカラーで
K－1のオーディションでもオレンジの水着で合格したし。
オレンジは「夢」を表す色らしくて、妄想癖のある私にピッタリ。
まだ恋人でもない人のことを考えて
「ああなって、こうなって……いやー、どうしよう！」って騒いで
友達に注意されます。
K－1の選手はみんな好きですけど、
印象深いのはベルナルド選手とグレコ選手。
記者会見でベルちゃんと腕を組んで入場した時、
「キレテナ～イ」って言ってくれたの！
グレコ選手はパンフのアーツ選手の写真をポコポコ叩いてました。
石井館長の写真はすごくナデナデしてたんで、
この人おもしろい！ と思いました。

PROFILE
たかぎ・まさこ／21歳／身長164cm、B85、W58、H82
趣味・映画鑑賞、風水、マンガ

人には「細かいこと気にしないよね」とか
「マイペースでいいね」って言われがちだけど、
ほんとはそんな“大物”じゃありません。 いろいろ悩むことも多いし……。
でも、ハジケちゃう時はパーッとハジケちゃうんですけどね。
10代の頃はモテてたと思うんですけど、
恋愛がしたかったんじゃなくて、友達同士として騒ぎたかっただけ。
最近は……出会いがないですねえ。
陸上のハードルをやってて、「カモシカ」って言われてました（笑）。
スポーツは全般的に好きで、もちろんK－1も観てたから、
間近で観られるのがほんとに嬉しい。
カラダではおヘソがキレイだと思うんだけどどうですか？（笑）
ビデオではそこも含めてチェックして下さい。
全体的には「ありのままの私で、どーもすいません」て感じかな。

PROFILE
みわ・じゅんこ／21歳／身長170cm、B83、W58、H88
趣味・スポーツ、カラオケ、読書、音楽鑑賞、ビデオ鑑賞

カモシカ脚とおヘソが自慢かな？

三輪潤子／JUNKO MIWA

こんな仕事してるのに、すごい人見知りするほうで、
初めてリングに上がったときも、観客席まで遠いのに恥ずかしかった。
K－1ファンに「写真とってください」と言われて
恥ずかしくて逃げちゃって。「イヤな女」って言われたけど、
悪気はないんです！　今度はガンバリます。
こんな私だから男女関係でも慎重で、
なかなか“つき合う”までにはいかないの。
K－1ではアンディがセクシーですよね。
セクシーすぎて、「何これ？」って感じ（笑）。
あ、私、今回は初めての水着ショットです。貴重でしょ？（笑）。
40分入浴とストレッチの成果は出てるかな？
でも運動は一人でやります。人見知りですから。

PROFILE

たかはし・ゆりこ／23歳／身長166cm、B84、W58、H87
趣味・映画鑑賞、音楽鑑賞、ハーブ・ポプリ収

初めての水着ショットです！

高橋優理子／YURIKO TAKAHASHI

超ハードロケ敢行! 撮影秘話「ありのままの私を見て!」

VIDEO“K-1 Girls '99”にメロメロ!

だいぶキンチョーもとれました。
高橋優理子

とことんアップにこだわるカメラマン。
ヘソを撮影中!?

沖縄で仲良し度はアップ

ピンクの液体を体中にかけられる
衝撃のシーン

はじける声もアニメ声。ゆみ

史上最多の6人のメンバーとなったK-1ガールズ'99。

彼女たちの魅力を余すところなく伝えようと、ビデオ製作が決定した。ロケ地は夏まっさかりの沖縄。ガールズは7月27日の朝6時30分羽田発の便に乗り込んだ。

到着して休む間もなく、撮影開始。ホテルのスイートを借り切りなんとひとりずつのシャワーシーンだ。「ああ、ガールズのボディを伝う水滴になりたい!」と思う男性読者は約20万人とみられる。延々と撮影は続き、夜は新開地と呼ばれる飲み屋街へ。ここは基地のすぐ側で、客はほとんど外国人という無国籍な雰囲気だ。バーでの撮影では、マスターがホーストに似ているので盛り上がった。

翌28日は潜水艦「もぐりん」

テコンドーの防具ではありません。これからマリンスポーツに挑戦

ちょっとアダルトに……高木雅子

この表情は恐怖なのか喜びなのか？

狙いどおりに見事にコケてくれた花梨

長身が海に映えるミワジュンこと
三輪潤子

「撮影はハードだけど充実してた」
早野久美子

海中散歩をするシーウォークで
お魚と遊んだ

ボートにハマリながらも
アピールは忘れません

陽気でダンス好きな幸本花梨

お宝！ 直筆ポラロイドをプレゼント

撮影中にスナップした、ポラロイドを20名にプレゼント。ガールズの直筆メッセージ付きだ。

ご希望の方は、K−1ガールズへのメッセージを添えて、〒101-0054　東京都千代田区神田錦町3-14-12 神田NSビル8F「SRS・DX　K−1ガールズ・ポラロイド写真プレゼント」係まで。8月30日締め切りだ！

監督激白！
「健康的なエッチがギュウ詰めです!!」

K−1ビデオの監督、池田氏は、こうアピールする。「テーマはオリジナル・カラー＝原色です。ガールズのキャラクター色と夏の海の色を見せたい。映像的には寄って寄って寄りまくりました。ガールズにはバレないように撮りました（笑）。ホクロやマツ毛までバッチリで、えー、ここまで見せるのかという感じで、さわやかなエロスが炸裂しています。このビデオはきっと各賞を総ナメにしますよっ！」

に乗り込み、深海でカラフルなお魚たちと遊ぶ。そのあとはガールズのすべてを浮き彫りにする、ディープ・インタビューを敢行。果たして、彼女たちの深層心理やいかに……。

29日はビーチでの水着撮影のあと、以前はホテルだった廃墟での撮影。ここではTシャツをビリビリと裂かれ、そこに絵の具をかけられるという衝撃的シーンがみられた。「あぁ、絵の具になってガールズを俺色に染めたい！」と思う男性読者は約40万人と見られる。

最終日30日は初めてづくしのマリンスポーツにチャレンジ。最初に3人が流行のウエイクボードにトライしたが、これが翌日には筋肉痛になるハードなもの。それでもみんな一度は水上に立てた。夕方はシーウォークで海中散歩。そしてホテルに帰ってバスローブに着替え、撮影は夜9時すぎまで続いた。

まさに沖縄を駆け抜けたという感じのロケ。もちろん、仕上がりは最高！ これを買わなきゃK−1ファンを名乗れない！

VIDEO『K−1ガールズ'99』
10月2日先行発売。
¥3800（税別）

あなたのおじいちゃん、おばあちゃん　ター攻撃の餌食となるため、打たれる前

世界最高齢の武人は、「世界最強」だった！

琉球王家秘伝武術十二代宗家・本部御殿手

95歳！上原清吉

独自の文化を誇った琉球王国は武術王国でもあった。空手発祥の地・沖縄の武術文化がなければK-1も、極真もなかった。現在も武術・武道熱は変わらず、石を投げれば道場に当たる、と言われるほどである。それだけに沖縄の武術・武道は奥が深く、とんでもない達人も存在するのだ。

SRSとSRS・DX合同取材班は、達人を求めて沖縄を駆け巡った。そして、各地で出会ったのは、格闘技が本来持っている凄みと、神秘的な技の冴えを見せる武人たちだった。

まずは日本が世界に誇る、95歳の超達人・上原清吉師からご紹介しよう。

神技！なんと真剣に対し触れずに相手を制した！

あなたのおじいちゃん、おばあちゃんよりずっと高齢の、95歳老人が、屈強の青年を突き、関節を極める。信じられない話だ。だが本当である。

何よりも写真の上原師の背中に注目してほしい。こんなにピンと背筋を伸ばしたまま、技を捌ける格闘家がいるだろうか。これだけでも凄いことである。

琉球王家秘伝武術「本部御殿手（むとぶうどぅんでぃ）」第12代宗家・上原清吉師は、多人数を相手にしても素手はもちろん、ほうき、ステッキ、キセル、櫂（ウエーク）などどんなものでも武器として扱い、的確に攻撃する。

はじめて、その演武を見るとたいていの人はヤラセではないか、と笑うか、首をかしげる。師の技があまりに鮮やかで、攻める門弟が勝手に倒れているように見えるからである。

だが、よく見ていると、師の技は、ここだ！という絶妙のタイミングで出されていることが分かってくる。攻める側は、突っ込んでいってしまうと、カウンター攻撃の餌食となるため、打たれる前に自分でよけないと危ないのだ。

それでも師と弟子の関係である。田代まさしさんと畑野浩子ちゃんと谷川編集長はまだ半信半疑だ。3人は神をも恐れず、「先生、僕らが打ち込んでもいいですか？」とお願いした。

お弟子さんや、家族が止めるのかと思ったら、「どうぞ」と全くのフリーパス。それでは……と3人が打ち込むと、ことごとく手をはたかれた。どうスピードを変えようが結果は同じだった。サダハルンバに至っては「あっちむいてホイ」のフェイントで打ち込んだら、腕をしたたか打たれて腫れてしまった。つまり、誰も上原師に触れることすらできない。

「すごい、すごすぎる」

そして、もしかしたら現役格闘家より強いのでは……という思いが広がっていった。

竹ぼうきで
3人を一瞬のうちに…..

▶刀を振りかざして襲いかかる複数の敵を、ホウキで退ける。ホウキなんか効くかって？　すべて目つぶしになるように狙っているのだ

今度はステッキで

▶今度はステッキでの妙技。すれちがいざまに死角に入って、的確に急所をつく。一人を制した瞬間、次の相手の攻撃に備えながら、歩みを決して止めない

サダハルンバ編集長も

▶「あっちむいてホイ」でフェイントをかけて打ちかかったら、完全に見破られて迎撃されました。おそろしい

本部御殿手とは？

琉球王家のひとつ、本部家に一子相伝されてきた秘伝武術。基本的に多人数の敵を想定し、相手を傷つけぬようにして制圧する技が特徴。秘伝技に［渦巻・竜巻の剣］がある。上原師は12代目の継承者で、初の本部家以外の入門として受けついだ。主な練習場所は、沖縄・サンセットビーチ。

上原達人、もしヒクソンと闘わば…

▲腰を落とし、上原師をタックルしようと狙うが……

▲勢いがつく寸前で大いに指がスッと顔面に合わされる

▲バランスを崩され、恐怖を感じて倒れる。ヒクソン君、君の負けだ！

数年前、某番組で上原師と元世界王者・薬師寺保栄が対戦するという企画があった。最初は互いに遠慮がちだったが、薬師寺がジャブを打ち始めた。ところが、元世界王者のジャブがまるで当たらない。すべて見切られた上に最後は鋭い蹴りまで見舞われて、薬師寺は逃げるしかなかった。上原師の凄さを目の当りにした我々は、薬師寺の気持ちがよく分かる。

そこでサダハルンバは新たな質問をした。「タックルでこられたらどうするんですか？」

これは仮想ヒクソンということだ。すると上原師は無造作にお弟子さんにタックルさせた。入ろうとした瞬間！　手のひらが弟子の顔面を覆った。しかも指が目をとらえようとしている。何度やっても同じだ。もちろん、普通の人間がこんな単純な手でタックルを防げるわけはなく、上原師ゆえの絶妙の間なのだ。

「では、ハイキックが来たら？」そ、それは仮想アーツということか？　ムチャだ、サダハルンバ、と言おうとした瞬間、弟子はすぐにきれいなハイキックを放った。弟子もムチャだ。しかし、上原師は磁石で吸い寄せられるように歩み寄り、足が顔面の高さに来る前に弟子の態勢を崩してしまった。

目を突くことが許されるルールなら（実戦以外にないけど）、上原清吉は、ヒクソンにもアーツにも勝てるということか？

マーシー＝田代も興奮して「ヒクソンって奴がいるんですけど、やっちゃってくださいよ！」とけしかけた。すると上原師は「いやあ、もう年だから……」なんてトボけたところが素敵だ！　とにかく上原師には幻想をかきたてられっ放しだったのである。

驚異の歩法、その秘密を探る

上原清吉の動きで目につくのは何といっても、その歩き方である。まったくヒザを曲げず、身体を一本の棒のようにして歩きながら何人でもさばいてしまう。これは前進だけではなく、後進のときも同じだ。

蹴るときも、そのまままっすぐ蹴り込むので「棒蹴り」というらしい。普通の人間がこの歩き方をやると、オモチャの兵隊のようにぎこちないものになってしまうが、この歩き方が全ての基本になっているという。

本部御殿手の基本中の基本をマスターするため、上原師は入門当時、ヒザが曲がらないようにするため、ヒザの裏に薪をあてて布でくくりつけたまま歩く練習をさせられたそうだ。

ではなぜ、ヒザを曲げないのかという理由に関してはどうもよく分からなかった。ヒザを曲げた普通の歩き方で重心移動がバレてしまうからだろうか？

いずれにせよ、スタスタとまっすぐこちらに向かってこられるのは想像以上に迫力があり、そこから突きや蹴りが出ても非常に分かりにくい。そして、また相手の動きを見ながら、スタスタ歩き、寸前のところでどちらの方向に身をかわす。まさに神技だ。

格闘家のみなさん、ピョンピョンはねるフットワークではなく、御殿手のスタスタ歩きを取り入れてみては？

なぜ95歳でありながら、上原清吉は達人なのか？

ラリーアート的なタイミングで見事にカウンターの拳がアゴをとらえる

やっぱ何度聞いてみても1904年生まれの95歳で、この技というのは凄すぎる。

テレビのバラエティ番組では、たまーに100歳前後の名剣士とか合気道の達人が紹介されることがある。だが、ようやく竹刀を持てる程度だったり、30分以上は立っていられなかったり、と凄いと言ってしまうにはかなり無理がある。お約束でタレントやレポーターがその老人たちと立ち会うのだが、うまく負けてみせることに神経を使うという。要するに技は二の次、道衣を着て立っているだけでリッパという結論だ。まあ、普通はそんなところだろう。

しかし、上原師はまるで違う。たとえばほとんどのSRSスタッフが、"取手"（関節技、固め技など）を体験しているが、その痛さたるや大変なもので一度極まったら、かなりの怪力でもはずすことはできない。そして指も異常に太い。

上原氏の肉体に驚かされることはまだまだある。足の拇指丘で地面をしっかりとらえ、すっと背を伸ばすと、自然に下腹に力が集まり腹筋がぐっと固くなる。畑野ちゃんのような女の子はもちろん、格闘技経験のない男が、上原師の下腹を思いきり殴っても全然平気そうな固さである。

そして「ビールは体にいい！」と言って、沖縄のオリオン・ビールをグイグイ飲む。これも強さとは関係ありか……？

一瞬にして死角に回り込み、二丁鎌で首を刈る

極真・数見も強い関心を示す！

また、84歳時、87歳時に二度にわたって、演武中の心拍数の変化を調査したことがある。その結果、ふつう心拍数は演武をやればやるほど上がっていくものだが、時折逆に下がっていくという現象が見られたという。これなら闘っていて「息があがる」ということはないだろう。

これらの現象はもはや現代医学の常識を越えているような部分もあるが、とにかく「どんな技でも受けられる」という余裕が、心拍数の安定にもつながるようだ。

達人・上原清吉の「絶対の境地」沖縄取材を終えた足で、極真の夏合宿取材を行ったサダハルンバが、日本のエース・数見肇に上原師の凄さを伝えた。

それを聞いた、数見の目はキラリと光り、

「それは……ぜひこの目で見たいですね。沖縄に連れていってください」

と、強い関心を示した。

考えてみれば、数見も形は違えど、ピョンピョン跳ねるようなフットワークではなく、流れるような送足が特徴。達人の歩法になにかヒントあり、と感じたのかもしれない。

いずれにせよ、95歳の達人はまだまだ衰えぬ強さを21世紀も見せてくれそうである。

▲気さくな達人と田代＆畑野。撮影の後は必ず手を握ります

▶SRSスタッフも身をもって、達人の技を体験。痛いけど、なんかうれしい

▲シビれるような痛みが走り、逃げようとするほど、動きがとれなくなっていく

踊りながら一撃必倒！ 謎の武術"舞手(モウディー)"発見

舞手合戦空手の達人 城間清範

琉球ならではの音曲に乗って舞う城間師範。舞の動きは武術の動きと全く同じだという。太鼓を叩くのは伝統のロックバンド「紫」のドラマー、チビさん

▶踊っているところを襲われたら知らん顔で踊り続け、相手が攻撃してきたらカウンターをとる。この「ダンシング・カウンター」は相手に気配を悟られにくい。相手を制したら、再び舞に。スキがありそうでない流麗な流れだ

ケース1 もし踊っている時に襲われたら…

新旧の武術が混然となって息づく沖縄にあっても、とびきりユニークな武術があるとの噂を聞いた。

それは舞いながら敵を一撃で倒し、何事もなかったように舞いに戻る武術だという。ただし、よく考えればその手のものは、新宿コマ劇場などの歌謡ショーでよくやっているため、余り期待をせずに出かけた……。

だが、そこでSRS・DX十SRSチームが出会ったのは、武術とダンスとアートと音楽が一体となった、「舞手」（もうでぃ）という武術だった。そしてそのインパクトたるやかなりのもので、誰もが頭がクラクラすること必至、の楽しさだった！

舞手の道場があるのは海を一望できる風光明媚な小高い丘の上。ここは舞手を創始した、城間清範先生の別荘で、"湧泉館"と名づけられている。道場といっても板の間ではなく、芝生の上で稽古する。

我々の耳に飛び込んできたのはのどかな琉球音楽。三線（さんしん）を弾く人は昔の琉球人のように髪を結っていて、「シューチョー」と呼ばれていることが判明した。あまりにも謎めいている……。

その曲をバックに優雅に舞うのは城間師範。だが、それを付け狙う怪しい男たち（偶然にもお弟子さん）がいた。男たちは城間師範にいきなり襲いかかった！

やられた、と思った瞬間、師範は紙一重で突きを交わし、手をからめてバランスを崩して、たたきつけていた。

短刀で襲いかかっても結果は同じ。城間師範はひらりと飛ぶと、暴漢の首筋に手をかけ、ゴロンと転がす。その技のキレは本物だ。

男たちを制圧した城間師範は、何事もなかったように、のどかな三線の音に乗って舞いを続けたのだった……。

▲相手を傷つけず押さえるための関節技、逆技も得意とする城間師範。しかし、あくまでも基本は突き蹴りだという

ケース2

舞の中に凄技が隠されている

空手、中国武術、御殿手などを修得してきた城間師範が、なぜ舞手を創始したのか？

「以前から言われていた武術と古典舞踊の共通点を追求していったら、あまりにも二つは似ていた。だから舞の中に技を隠しているのでは？　と考えて、舞手を作りました」

足をひらりとあげればそれは蹴りの動作であり、柔らかな手首の返しは刀で切ったり、関節技を極めるときと同じなのである。

踊りに武を隠す、といえばブラジルのカポエイラなども同じ。表だって、武術、格闘技の練習できない場合は、ダンスにしてカモフラージュするのだ。

「じゃあ、"かわず掛け"は、フォークダンスから来てるな」と新説を発表する田代まさし氏。となると、かわず掛けの使い手、故G馬場さんはフォークダンスの名手だったということになるのだが、その真相は今後追求しよう。

さらに城間師範のユニークさは留まるところを知らない。体のバランスをとり、軸の感覚を養成するために底が丸くなった「不安定ゲタ」を発明し、特許をとってしまったのである。

さらにさらに、城間師範は飛んでくる矢をつかむこともできる！

「約7割の確率でつかめます」

豪語する師範。残り3割が心配だが……。

とにかく、城間師範のあくなき研究心がこのユニークな武術を生んだのだ。

▲不安定ゲタを履いて稽古すれば、自然とバランス感覚が養われる。Dr.中松のジャンピングシューズなんて目じゃないぜ

ケース3

舞手道場はこんなにパラダイス

「道場ですが、上下関係などなしでやっとります」という城間師範。久高島の酋長さんを始め、さまざまな人が道場を訪れる。

稽古を目的としない人でも歓迎する自由な雰囲気があった。

「童心に帰れる場所ですよ」と、フランキー堺に似た笑顔で語る師範。壁に書かれた原色の絵、フンドシ小僧などのナイスなオブジェなども全て手作り。それらが独特の雰囲気を醸し出す。おまけに娘さんはアイドル並みのかわいさ！

武術が好きな人もそうでない人も、ここにいるだけでハッピーになれる、不思議な空間だった。

▲三味線の名手、酋長のおヒゲはパープルに染まっていた

PROFILE

舞手マスター・城間師範とは!?

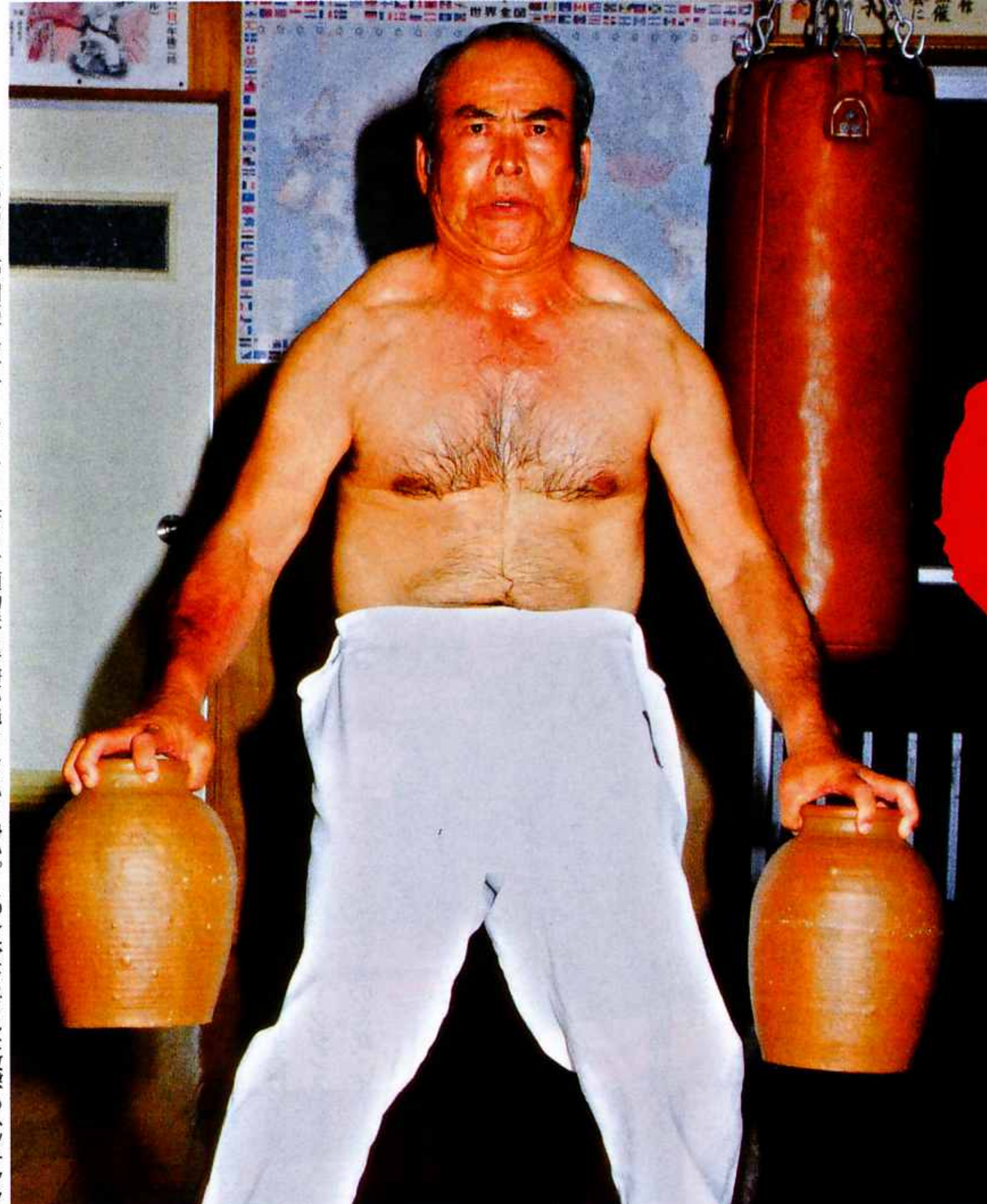
舞手合戦空手会宗家・城間清範

昭和17年生まれ。琉球大学時代から空手を本格的に始め、本部御殿手、中国武術（鳴鶴拳）を修得後、平成元年に舞手を創始した。高校の保健体育の先生でもある。

己のカラダを武器とせよ！ 上地流・驚異の鍛錬法

哈！

上地流の達人 瀬長義常

▶肩の筋肉（僧帽筋）がグ〜ッとせり上がり、頚動脈まで覆い隠さんという勢い。この身体ならどんな攻撃もヘッチャラ

「くわ〜〜っっ！」

那覇市の隣、のどかな田園地帯豊見城村の一角から、裂帛（れっぱく）の気合いが聞こえてくる。

ここは上地（うえち）流拳誠会の道場だ。会長の瀬長義常師範は両手で壷（カーミ）をぐっとつかみ、全身の筋肉をビシィ〜ッと締めて剛体化する三戦（さんちん）を行っていた。この僧帽筋の盛り上がりを見よ！ 何か人間を通り越してガメラにでもなったような……。

瀬長師範はこの肉体で60歳を越えているのだから驚きだ。

三戦に代表されるように、上地流は肉体が武器となるまで徹底的に鍛え上げるのが特徴だ。たとえば三戦で締めた身体を攻撃しても効果がなく、逆に攻撃側がケガをしてしまうほどだ。

そして、手足の指先を徹底的に鍛えまくる。正拳よりも指先での攻撃が多いくらいだが、これは貫手技の方が点の攻撃ができるからだ。つまり、痛〜いツボ、喉仏、目といった急所に正確にヒットするからなのだ。

写真のように相手の弱点をビシッと突き、自分も突き指をしないように鍛錬する。また、上地流の真髄ともいえるのが拇指拳。親指の関節を折り曲げ、その部分でバシッと打っていく。写真にあるように、マキワラに思い切り当てて鍛えているのだという。

もう、見ているだけで痛そうだが、これだけでは終わらない。三戦で締めた身体がどれほどのものか、確かめるため、誰かに攻撃してもらうのだ。拳、足はもちろん、角材まで持ち出して、バンバン殴る！

この角材が、よくフルコンタクト空手の演武で見るものより、ひと回り太く、もっと硬そうである。

瀬長師範が、その太角材でお弟子さんを試してみると言う。しかも狙うのはローキックで狙われる、太股の弱い部分である。

鋭い指先が狙うのはすべて急所。痛っー！

鉄の指先となって、ツボ、喉仏、目を狙う攻撃。突き指を恐れているようではまだ甘い

やめておいた方が……と言おうとした

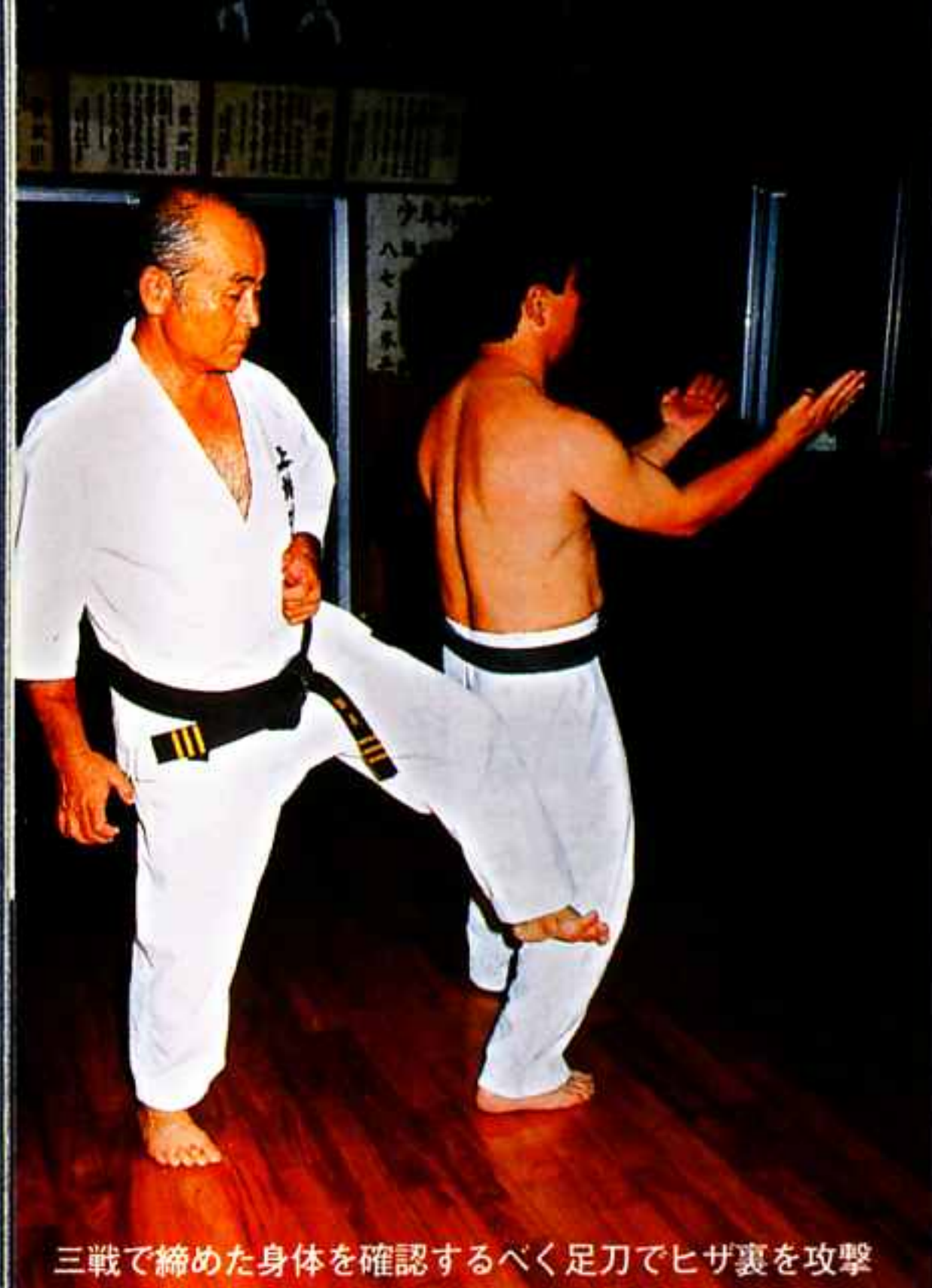
やめておいた方が……と言おうとしたが、師範の持つ、でっかい角材が弟子の太股を襲った。パキッと重い音がして角材が二つ折りになった。恐るべきサンチンパワーだ。

三戦で鍛えれば痛みはないのだろうか？　この疑問をお弟子さんにぶつけてみると、

「痛いのは……皮だけです」

皮！　微妙な答えだ。とにかく、こんなに激しく打たれても中までは響かないらしい。

人間の己の身体を武器化する上地流は、沖縄県下で最大の勢力を誇っているそうだ。

▼拇指拳を鍛えるため、ドンドコ巻ワラに打ちつける

三戦で締めた身体を確認するべく足刀でヒザ裏を攻撃

あらゆる部位を鍛えまくる！ 鶴の型に秘伝あり、の剛柔流も痛い！

剛柔流にとって大切な白鶴拳の型。キエエエッと怪しい気合いとともにポーズ

剛柔流の達人 外間哲弘

剛柔流拳志會会長、外間（ほかま）哲弘師範は、高校で空手を教えている。これは体育の中の空手ではなくて、「空手」という独立した教科なのである。これを選択したら、単位を取らなくては卒業できない。だから、普段はナマイキな沖縄のコギャルも、懸命にセイヤッ！　とやっているらしい。

空手ティーチャー外間師範は、空手研究の第一人者として知られ、生きた空手百科のような人だ。

だからといって指導が温厚で学者肌かというと、そうでもない。

『SRS』の収録で師範を訪ね、ツボ、経絡秘孔について伺った。人間には365のツボがあると言われているが、そのうち24カ所だけ、決して触れてはいけないツボがあるという。そこが「死ねツボ」で、そこを突く技こそ「24段法」と言うそうである。

「じゃあ、やってみましょう」と外間師範。え、それじゃ死んじゃうよ!、おい！

「死なないツボを押しますから大丈夫ですよ」

しかし、その言葉を信じたのがまずかった。外間師範は容赦なくツボを突いてくるが、これが痛いのなんの！　SRS史上最痛のロケとなってしまった。特にサダハルンバは首筋に血までにじんでいる。

「や、もう結構ですってば！」

決してやめようとしない師範の目は怖い色に変化していた。ヤ、ヤバイ！

身をもって、古伝のツボ攻撃の恐ろしさを知ったSRSレギュラー陣。人を実験台にすんなよ！　と心で叫びながらも、笑顔を作って道場を後にした。

▲ダンスのステップではなく、運足の図

マーシーも鶴のポーズを決める。サマになってます

痛い目に合わされたＳＲＳレギュラー陣

沖縄武術ヒストリー

格闘技幻想の原点がここにある！

SRS・DXの読者をはじめ、格闘技ファンはリアリストというより幻想を楽しむのが好きなタイプが多い。「まだ見ぬ格闘技・武術」なんていうのに弱い。グレイシー柔術はこのパターンに見事にはまったし、K−1に参戦が決定した散打がファンの期待に応えられるかどうか、というところだ。

だが、その幻想は外国にのみあるのではない。空手発祥の地・沖縄には、その幻想が埋まっている。

まずなぜ沖縄に空手などの武術が発達したのか？

諸説があるが、「武器の携帯」を2度、3度と禁止されてきたため、素手の武術が発達してきたというのが有力だ。沖縄にはもともと自然発生的にあった「手（てぃー）」という武術があり、それに中国や東南アジアの武術の影響の強い「唐手（とぅでぃー）」、さらには薩摩の示現流などの影響が加わって、琉球文化の特徴である「チャンプルー」（ごった煮）状態で発展した。そして、武術は昔から決して人前では行わず、マンツーマンに近い形で伝えられてきたことが、現在まで沖縄における流派の多さにつながっていると見られる。

流派を大きく分けると、少林系、上地系、剛柔系、古武道系、その他ということになろうか。

そしてその中には、マスメディアに全く紹介されぬまま、人知れず修行を続ける流派があると聞いた。一体、どんな技なのだろうか、と想像するだけで夢はふくらむ。

▶さまざまな武器が吊るされている。沖縄の人は生活道具を武器へと転化させた

▼外間師範の道場に配置された空手博物館

牛殺し、ケンカ「唐手」。沖縄は達人の宝庫だ

沖縄の空手・武術界はさまざまな人材を生んだ。

近代空手の普及に命をかけた糸州安恒。彼は突進してくる猛牛を正拳一発で動きを止め、角をつかんでねじり倒した。元祖「牛殺し」である。

本土で初めて唐手を披露した船越義珍。大山倍達の師匠だ。

最初に異種格闘技戦で名をあげた「ケンカ唐手」の本部朝基。彼は賭け試合で巨漢の外国人ボクサーをノックアウトした。

映画『ベストキッド』のミヤギのモデルとなった宮城長順。

沖縄秘伝の武器はユニーク

沖縄の武術で忘れてはいけないのが、独特の武器。

ヌンチャク、トンファー、サイ、鎌、鍬、スルチン、ティンベー、キセル、三節昆など。また、基礎鍛錬の道具として、壷、据石（チーシー）、沖縄の森に生える樹木も鍛錬に使われる。沖縄の人はなかなか工夫好きである。

さて、闘いの原点である急所攻撃や、身体のあらゆる部位を鍛錬する沖縄古伝空手を、現代の格闘技シーンに活かす道はないのか。グローブで指が覆われているキックやK−1などは無理かもしれないが、オープンフィンガー・グローブ着用のバーリ・トゥード、修斗などでは十分に使い方があるだろう。

沖縄の空手・武術こそ、急所攻撃が基本の何でもありの元祖。

だから十分、研究の余地あり。秘伝をマスターしたバーリ・トゥーダーに活躍してほしいものだ。そうなれば、ふたたび闘いは劇画チックなものとなって興奮間違いなしである！

撃圏道トーナメント
SEIKENDOH SA
SEIKENDOH BOXING
7.30 札幌中島体育センター

オープニングツアー最終戦で、ついに撃圏道の理想形・ニープレスを体現

▶試合前の演武で、撃圏道の理念と技術を語る佐山聡。相手を組み伏せ、ヒザを腹の上に乗せたこの状態が、撃圏道の理想とする、ニープレスだ

恐るべし虎の穴の凄玉ども！

SAボクシングのメイン、スルタンマゴメドフ・カフカス（上）とモナスティルロフ・アレクサンドルの一戦。佐山によれば、この形もニープレスのひとつ。確かに、相手の動きを制圧し、反撃できなくしている

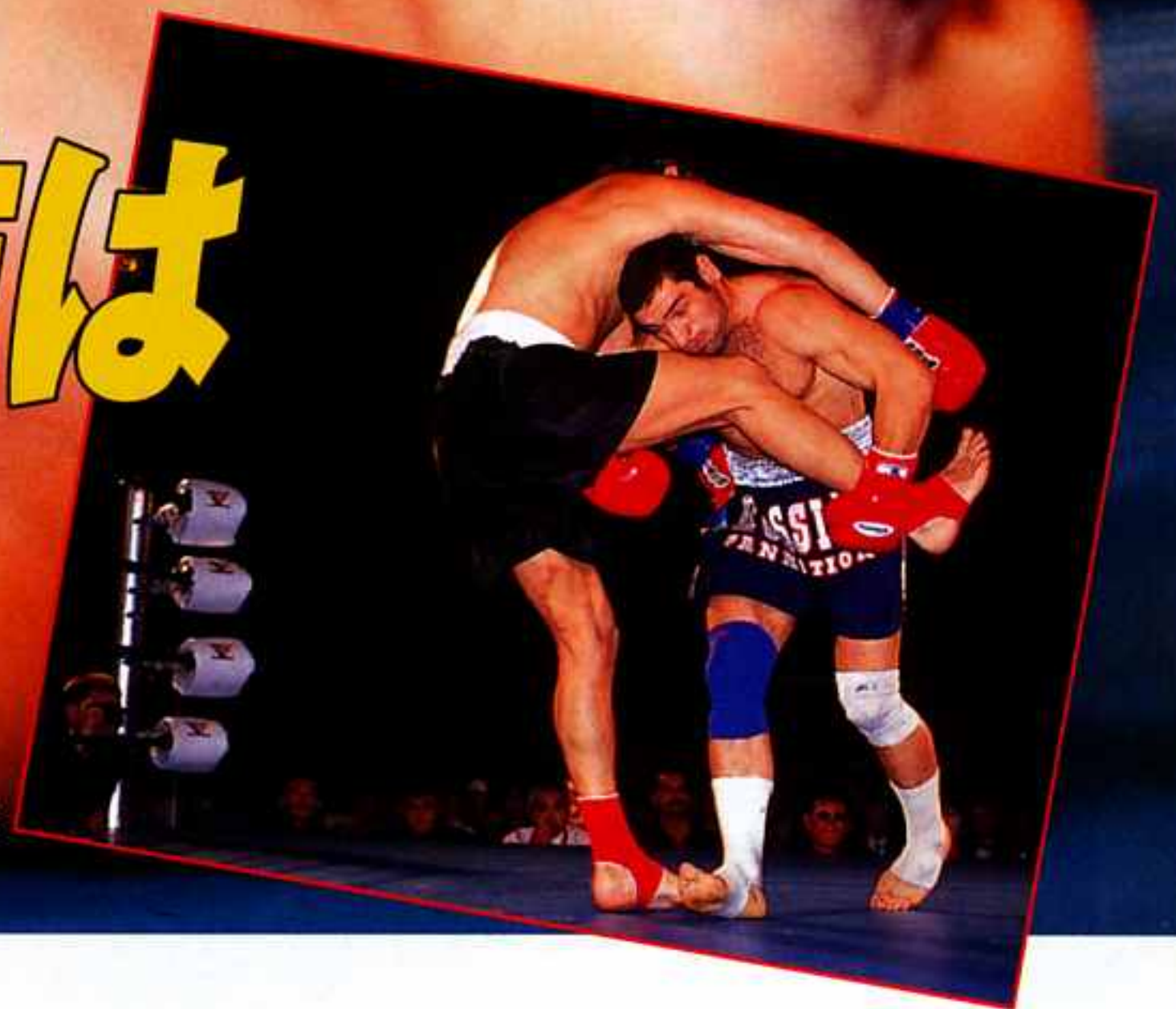
K-1出場のアレクサンドル、壮絶なKO負け！

7.18『K-1ドリーム』にも出場した実力者、アレクサンドル（K-1にはセメノビッチの名で出場）だったが、上の写真の状態からパンチ連打、そしてとどめの蹴りを食らい大出血。KO負けとなった

これが掣圏道の“肝”だ！

今大会では、ニープレスを意識した闘いを見せた選手が多かった。ニープレスに持ち込もうとする側と、反撃を狙う側の攻防は見応え十分だった（写真はカフカズvsアレクサンドル）

ニープレスを巡る攻防はスリル＆迫力120％

アブソリュート王者だけあって、カフカズは打撃だけでなくタックルも巧みに使いこなしていた。スーパーヘビー級で出場したカフカズだが、今後はヘビー級に移る模様

佐山聡が始めたまったく新しい格闘技『掣圏道』が、北の地で産声をあげた。様々な団体を渡り歩いてきた佐山が、誰もが考えつかないような理論をもとに、武道家として再出発を果たしたのだ。

格闘技界の大きな注目を集めた旗揚げシリーズは、ついにここ札幌中島体育センターで最終戦を迎え、〝北の聖地〟には掣圏道に興味を示す多くのプロレスファン、格闘技ファンが足を運んでいた。

まず、掣圏道プロ部門の中心、SAボクシングである。なんとロシア人の強豪を20人近く呼び寄せ、佐山自ら旭川の道場・虎の穴でSAボクシングの何たるかを教えているそうだ。皆ハングリーでやる気もマンマンのファイターたちである。聞くところによると、2回負けると二度と日本に呼んでもらえないとのこと。彼らが必死になるわけだ。特にこの札幌大会は最終戦であり、出場する選手はこれまでの闘いを生き残った選りすぐりの猛者である。何より、前に前にと出て攻撃する姿勢が素晴しい。なるほど市街地で暴漢に襲われた時にじっとしていたら、やられるだけである。また、今大会の選手たちは、旭川ではあまり見られなかった掣圏道の核となる技術・ニープレスを積極的に披露していた。これも、虎の穴での特訓の成果なのだろう。

そんな選手たちの中で特に目を引いたのは、スルタンマゴメドフ・カフカズである。相手はK－1にも出場したモナスティルロフ・アレクサンドル。カフカズは、ゴングと同時に左右のパンチを振り回し、サイドからのヒザ蹴りで優位に立つ。そしてフィニッシュ

撃圏道トーナメント
SEIKENDOH SA
SEIKENDOH BOXING
7.30 札幌中島体育センター

RESULTS

★第1試合／ミドル級3R
○プホフ・ミハイル（3R2分0秒、KO）
※右ストレート　サリエフ・ソベトベク●

★第2試合／ミドル級準決勝4R
○ナグニビダ・ルスラン（1R0分14秒、KO）
※右ハイキック　ダダシェフ・エルヌル●

★第3試合／ライトヘビー級準決勝4R
○サヴィン・ニコライ（1R2分58秒、KO）
※右ハイキック　スリン・アルトゥル●

★第4試合／ヘビー級準決勝4R
△キルサノフ・アンドレイ（ノーコンテスト）
恩田武範△

★第5試合／時間無制限一本勝負
〈ロシアンアブソリュート〉
○シバンコフ・デニス（2分58秒、アキレス腱固め）
シドロフ・オレグ●

★第6試合／スーパーヘビー級準決勝4R
○スルタンマゴメドフ・カフカズ
（2R0分58秒、KO）
モナスティルロフ・アレクサンドル●
※倒れた相手の顔面への蹴り

★第7試合／30分一本勝負〈SAプロレス〉
○タイガーマスク（8分20秒、チキンウィングフェイスロック）日高郁人●

★第8試合／45分一本勝負〈SAプロレス〉
初代タイガーマスク
○田中　稔（11分23秒　ミノルスペシャルI）TAKAみちのく
アジアン・クーガー●

▲第1試合でサリエフ・ソベトベクをパンチでKOしたプホフ・ミハイルも組み技やニープレスを積極的に狙うタイプの選手だった。佐山の理念は確実に選手たちに浸透したようだ

第2試合に出場したナグニビダ・ルスラン（左）は、試合開始わずか14秒でダダシェフ・エルヌルをKO！　しかもその内の10秒はダウンカウントなのだから恐ろしい。出した技もハイキック一発だけだった

"シベリア超特急"ルスラン14秒でハイキックKO勝利！

◀第3試合。ライトヘビー級のサヴィン・ニコライがスリン・アルトゥルに勝利し、ヘビー級のカフカズ、ミドル級のルスランとともに10月の王者決定トーナメント出場を確定的にした

10月3日、有明コロシアムで初代王者が決定！

▲今大会での発表では、今回のトーナメントで好成績を残した選手と9月に行われるトーナメントの優勝者、そしてヨーロッパなどからの招待選手によって、10月3日、有明コロシアムで王者決定トーナメントが開催されるという。佐山と共にベルトを持っているのは、アブソリュートの主催者、コビリャンスキー・ゲルギオ氏

▼今大会からルールが改訂され、倒れた相手へのヒザ蹴りも有効となった

▼ニコライにハイキックで失神KO負けを喫したアルトゥル。今大会で行われたSAボクシング5試合の内、なんと4試合がKO決着だった

▼会場には真樹道場宗師・真樹日佐夫先生も来場。興味深げに試合を観戦していた。それにしても、この素敵すぎるシャツは一体なんだ!?

8月で閉館となる札幌中島体育センター。格闘技の北の聖地ともいえる会場だったが、撃圏道は最初で最後の大会となった

優位に立つ。そしてフィニッシュはグラウンド状態での顔面へのカカト蹴り。相手を大流血させての見事なKOである。佐山もイチ押しのカフカズは〝北の最終兵器〟イゴール・ボブチャンチンなみ、いや、それ以上の逸材であると私も断言する（これホント）。

K―1にもファイターを送り込み、ボブチャンチンなみの素材がごろごろいる撃圏道は、今後どうなっていくのか。佐山に聞くと、なんと10月3日、有明コロシアムで大会を開くとのこと。

これは事件である。K―1や『プライド』に次ぐ、第3の格闘技ビッグイベントの東京上陸と考えていいだろう。10月の大会は、SAボクシングとアブソリュートの二本立て興行らしい。今回、一試合だけ行われたアブソリュートだったが、有明には世界中のファイターを集めるという。また、日本全国で巡業も行う予定だ。今大会はKOが多く、選手にはダメージが蓄積されているはず。次回の大会前にはまた多くのロシア人が来日し、秋の一大イベントに備えるのだろう。そして彼らも、虎の穴で急成長を遂げるに違いない。

「日本人の参加も待ってます」

佐山は試合前リング上でそう言った。今、日本人選手は恩田だけだが、今後、虎の穴に入門する日本の若者が現れるかもしれない。アニメのタイガーマスクは、虎の穴で悪役レスラーとして育ったわけだが、現実の世界ではどんなファイターを作り上げるのか。まさか悪役ファイターじゃないだろうな？　とにかく、この秋も撃圏道から目が離せない。（シマコブラ）

ロシア版アルティメット、アブソリュートがついに日本初上陸！

これは世界で最も危険なルールかも…

ヒザ蹴りから投げを見せるなど、序盤はオレグが優勢だったが…

フィニッシュはアキレス腱固め。ガードポジションから鮮やかに身を翻して極めた

勝ったデニスは嬉しさのあまり思わず（？）飛行機ポーズ

ラウンドガールは、今回１ＲＫＯの試合が多かったためほとんど出番なし。残念…

入場時に選手を先導するロシア美女たち。選手がリングに上がった後は、そのままリングサイドを一周し、大喝采を浴びていた

素手で試合を行い、ヒジ打ち、頭突きも認めたアブソリュート。シバンコフ・デニスとシドロフ・オレグが対戦し、デニスが勝利した。SAボクシングでは結果を残していないデニスだが、ここで本領を発揮した

グレイシー一族の出現によってポピュラーになった何でもあり（バーリ・トゥード）。現在、世界中で大会が開かれているが、その中でもひときわ危険な大会が、ロシア版アルティメットのアブソリュート大会なのだ。

アブソリュートとは、ロシア語で究極を意味する。この闘いをロシア直輸入でやってしまおうとする掣圏道。いやはやなんとも恐るべしなのである。４大会が行われた旗揚げシリーズで、唯一札幌で行われたこのアブソリュート。ロシアの国技・サンボの技、アキレス腱固めでシバンコフ・デニスが勝利したのだが、内容以上に驚いたのが、なんと素手での試合だったことだ。

今、世界中で何でもありの試合がグローブなしで行われるなんて掣圏道だけだろう。しかしレフェリングさえしっかりしていればノー問題と考えると、実に興味深いものであった。まさにこの試合は、現代版パンクラチオンなのではなかろうか。となると10月の有明コロシアムは、一大パンクラチオン会場となりうる可能性が出てきた。

そんなとんでもない興行を考えている男こそ、掣圏道の創始者・佐山聡である。まだまだ彼の頭の中には、様々な構想があることだろう。それでいて自分はチャッカリSAプロレスとしてタッグマッチをやっちゃったりなんかしている（しかも場外乱闘付きである）。

とにかく掣圏道自体が何でもありなのだ。誌面では伝わらない刺激がそこにはあった。10月の有明には、女房を質にいれてでも見に行く価値がある。（シマコブラ）

撃圏道トーナメント
SEIKENDOH SA
SEIKENDOH BOXING
7.30 札幌中島体育センター

日本期待の恩田武範 金的蹴りで無念の病院送り

第4試合に出場、キルサノフ・アンドレイと対戦した掣圏道の日本人選手第1号、恩田武範。強豪ロシア勢の中にあって、彼にかかる期待は大きかった

打撃だけでなく、タックルを多用した恩田。佐山イズムを最も理解している選手は、やはり恩田なのだろう

▲だが、試合はアンドレイの金的蹴り（故意ではない）でノーコンテストに。体の震えと吐き気を訴え、危険な状態の恩田は、すぐに救急車で病院に運ばれた

佐山聡のコメント

ニープレスは結構、浸透してきてますね

佐山　今日は本当にありがとうございました。
――オープニングツアーを終えての感想は？
佐山　非常に手応えがあって、大成功だったと思いますけども、はい。
――今日はロシア勢が凄かったですね。
佐山　やはり、照準をここに合わせてますから。旭川の大会では見合ってしまってたところがあって。その後、函館でバシバシやって。それで釧路でみんなケガしたような状態になってしまって、5人くらい、骨が折れたりしたんですけれども。でも残った選手の中で、本当に一生懸命やってもらいましたね。いい試合が続きました。
――恩田選手はどうなりましたか？
佐山　恩田選手は救急車で運びました。大丈夫だとは言ってくれてるんですけども。
――金的に当たった？
佐山　はい、金的です。ひとつ潰れちゃったかなっていう。いや、これは冗談です。こんなこと言っちゃいけないですね。すいませ～ん、はい。
――ニープレスなど掣圏道らしさで目立った選手はいましたか？
佐山　みんな結構やってましたね。ただ、誤解のないようにしておきたいんですけど、ヒザで抑えるのがニープレスじゃないんですよ。（両足でまたいで）プレッシャーをかけるのもニープレスなんです。これで相手を動けなくしますから。それで追いかけていくっていうのがニープレスなんで。両方ニープレスなんです。結構みんな、カフカズもやってましたし、最初の選手（ブホフ・ミハイル）もやってましたし。かなり浸透してきましたね。
――カフカズ選手は良かったですね。
佐山　ありがとうございます。カフカズはもう、本当にバケモノですから。相手も凄く強い選手なんで、いずれもう一回やればいいんじゃないですか。それで、カフカズが（アブソリュートの）第2位で、今度は1位の選手も来ますから。190センチ以上で、100キロ近い選手です。今もう、無敵でやってますから。そういうことで、みなさんなんとか表紙でお願いします。あっ、東スポさん！　東スポさんも一面で。よろしくお願いしま～す。

"伝説の虎"も登場！ 最初で最後の札幌中島大会

もちろん佐山も初代タイガーとして出場。田中稔とタッグを組み、TAKAみちのく&アジアン・クーガー組と対戦した試合は田中の飛びつき十字固めでタイガー&佐山組の勝利

▶田中とTAKAは、ジュニアのベルトを巡るライバル関係。久々の対戦に、両者ともヒートアップしっぱなしだった

▲SAプロレスの試合も2試合行われた。四代目タイガーマスクは『掣圏道』の文字を入れたレガースを付けた"格闘技モード"で登場。日高郁人をチキンウィング・フェイスロックで破った

「最高のシューターこそが最高のプロレスラーなんだよ」

“人間風車”ビル・ロビンソン インタビュー

構成◎”Show“大谷泰顕
写真◎乾晋也

あのイギリスに存在した「蛇の穴」が日本に出現した。しかも、あの〝人間風車〟ビル・ロビンソンが直接指導をしてくれるというのだ。ロビンソンといえばアントニオ猪木と名勝負を展開するなど、日本プロレス界に幾多の足跡を残した男。我が『SRSコロシアム』に名を残すには十分なシューターのひとりなのだ。〝人間風車〟による珠玉のプロレスラー観をじっくり読み込め!!

—ロビンソンさん、今日はよろしくお願いしま～す。

ビル ちゃんと、いい質問を用意してきてくれたのかな？

—あ、はい。頑張ります（笑）。まず日本にはどのくらい前から住んでいるんですか？

ビル 3カ月ほど前からになるね。

—やはりそれは、かつて「スネーク・ピット（蛇の穴）」と呼ばれ、イギリスにあったというビリー・ライレー・ジムの日本版を開設するために、ですよね。

ビル そうだ。かつてのビリー・ライレーとまったく同じように教えているよ。

—「スネーク・ピット」と他のレスリングでは何が違うんですか？

ビル ビリー・ライレーのレスリングは、他のどのレスリングよりも技が豊富なんだ。それはパワーとか身体の大きさではなく、すべて頭で考えるレスリングなんだ。言ってみれば「フィジカル・チェス」というか、肉体を使ったチェスだな。

—なぜロビンソンさんはそこに行くことになったんですか？

ビル それは私の父とビリー・ライレーが友だちだったからだ。私の父はベルギーからカール・ゴッチを連れてきて、ビリー・ライレー・ジムに入れた男なんだ。

—ああ、あのゴッチさんを。当時のゴッチさんはどういう人でした？

ビル その頃はゴッチを含め、毎日みんな厳しく練習していたよ。

—日本ではゴッチさんや、ロビンソンさんは有名ですけど、当時いたメンバーは誰がいたんですか？

ビル ジョージ・グレゴリー、ジョン・フォーイ、メルボン・リス、ジャック・デンプシー、ビリー・ジョイス、アーニー・ライレー、フランシス・サルバン、ジャッキー・シーアー、ジミー・ハート……、とにかくいっぱいいたよ。

—その中でロビンソンさんが一番強いと認めていたのは？

ビル ビリー・ジョイスだと思う。

—えっ、ゴッチさんじゃなかったんですか。

ビル 当時の「蛇の穴」にはゴッチより強いヤツはいくらでもいたよ。ジョイスはゴッチや私を含む5、6人のメンバーを一人で相手しても、息も切らさなかったし、脚も触らせなかったほど凄かったよ。ゴッチは5年間ずっとやられていたよ。

—えーッ、そんなに強かった方なんですか!!　じゃあそのジョイスさんは何かタイトルは獲っている方なんですか？

ビル 大英帝国ヘビー級のタイトルを獲っている（※実際、ロビンソンはジョイスからタイトルを奪っている）。ただ、彼は日本には一度だけ国際プロレスに来たくらいで、イギリスからほとんど出ていないんじゃないかな。

—いや、日本ではゴッチさんは神格化されているので……。

ビル それは日本でだけだろうな。

—えっ、そうなんですか？

ビル 確かに彼は日本では有名かもしれない。ただ、インドやアフリカやヨーロッパに行けばゴッチのことは誰も知らない。私はその国々では、ほとんどの人に知られているけどな（とニヤリ）。

—じゃあ、ゴッチさんの直弟子であるアントニオ猪木をどう思いますか？

ビル 彼はベリー・ベリー・ベリー・グッド・レスラーだ。彼はコンディション面、テクニック面においても日本人選手の中ではナンバーワンだった。ただ、彼の師匠はゴッチだから、そのルーツはビリー・ライレー・ジムにある。ライレー先生、ビリー・ジョイス、ゴッチ、私……、誰であろうがそれはランカシャー・スタイルを指す。それが一番なんだよ。

—日本で言うところの「ストロング・スタイル」という考えでいいんですよね。

ビル それは違うな。

—えっ、違うんですか？

ビル ランカシャー・スタイルはレスリングのルーツなんだ。キャッチ・アズ・キャッチ・キャンというスタイルのことだよ。だから、今のオリンピック・スタイルやプロレスリングの原点に近いスタイルのことなんだ。

—猪木さん以外に日本人選手で強かったのは誰ですか？

ビル 私は知らないが、ルー・テーズは「リキドーザン（力道山）がナンバー・ワンだ」と言っていたな。実際にこの目で見て、闘ってみないとわからないがね。あとはフジナミ（藤波辰爾）、フジワラ（藤原喜明）とか、ゴッチを

蛇の穴にはカール・ゴッチより強いヤツはいくらでもいたさ

▶往年の"人間風車"ダブルアームスープレックスへの導入を、実際に見せてくれたロビンソン。この目線にこそ本家本元の意地を感ぜずにはいられない!!

通じてランカシャー・スタイルが伝わったレスラーが何人かいたな。

——ところで、当時のロビンソンさんは、今で言うところの「バーリ・トゥード」のような闘いをしたことがありますか？

ビル　たくさん、やっているよ。

——えっ、本当ですか!!

ビル　目潰しと金的はダメだったな。あとはチョークも禁止。下手をすると、死んでしまうからな（※実際に死人が出たのでチョークが禁止になったという）。ただ、間違わないでほしいのは、すべての試合がプロのリングではないけどな。

——というと？

ビル　お金を賭けた特別な試合も含まれている、ということさ。

——今で言う、「地下プロレス」みたいなものですかねえ。

ビル　お金を賭け合って、二人で話し合ってルールを決めるんだ。一方が評判のいい選手だったらもう一方にアドバンテージを与えて、評判のいい選手が何キロか体重を落としたりとか、闘う二人でルールを決める。だから、その意味においてみんなに平等なルールになるんだよ。

——平等というと？

ビル　聞くところによると、今はアルティメット大会に優勝することが、さもナンバー・ワンだと思われているそうじゃないか。でも、今は一口に「バーリ・トゥード・スタイル」と言ってもプロモーターによってルールが微妙に違ったりするだろう？　だから、その意味においても、あの大会に優勝することがすなわちナンバーワン、というわけではないさ。とにかくルールを一つにまとめないと、誰がナンバー・ワンだとは認められないんだ。当時はみんな同じルールでやっていたんだから。そうでなければ平等とは言えないんだ。

——なるほど。

ビル　だから今の「バーリ・トゥード」と当時の試合は、考え方としてはまったく違うものだよ。

——ただ、やっぱり壮絶な闘いになるんですよね。

腕と足を折り、耳を引きちぎって3カ月間の病院送りにしてやった

ビル　インドで試合をした時に指を折られたことがあるな。

——えっ、指をですか？

ビル　私が四つん這いになって手のひらを地面についていたら、小指を折られたんだ。

——うわあ〜!!　じゃあ、その後に相手に対しては報復したんですか？

ビル　当然さ。相手を投げて顔面にヒザを落としてやったよ。

——相手の名前は覚えてますか？

ビル　バイロン・シットだ。その試合はリングではなく土に掘った穴の中でやったんだがな。

——へえ〜、何年くらい前の話ですか？

ビル　1962年だったな。

——今、ロビンソンさんが60歳だから、23歳の時の話になりますね。そういう経験はその一度だけですか？

ビル　イギリスでは目に指を突っ込まれたこともある。1960年だったな。

——相手は誰ですか？

ビル　覚えてないよ（苦笑）。ただ、腕と脚を折って、耳を引きちぎって3カ月間の病院送りにしてやったさ（笑）。

——うわあ〜、凄い話だなあ。

ビル　そういう試合で負けたら、次からは試合ができなくなるから、みんないつも以上に真剣にやっていたさ。何をしても勝たなければならなかったんだよ。

——えっ、でもそういった類いの攻撃は反則じゃないんですか？

ビル　そういうことをやる時は、アクシデントでそうなったフリをするんだ。

——当時、そういう危険な試合は何試合くらい経験してるんですか？

ビル　いっぱいあってよくわからないよ。とにかく、しょっちゅうあったな。

——う〜ん、何とも言えなくなっちゃったなあ（笑）。当時はそういうヤツらは数多くいたんですか？

ビル　1920年代にはそういうレスラーが多かったと聞いたことがあるな。

——じゃあ、やっぱり今のアルティメット大会を見ても、あんまり驚きはしないですよね。

ビル　驚きはしないよ。それに今のアルティメット大会はグローブをしているだろう？　それなら安全な闘いだよ。私たちが現役バリバリの頃にはそんなグローブなんかなかったから。ただ、もし一つ驚かされることがあるとしたら、サクラバ（桜庭和志）のようなレスリングの強い選手が出てくることだな。それは凄く嬉しいし、いい意味での驚きになるよ。

——桜庭選手は、過去（Uインター時代）にロビンソンさんも実際に指導をしたことがあると思うんですけど、当時から素質としてはズバ抜けていましたか？

ビル　彼のことはデビューする前から知っているよ。タカダ（髙田延彦）とのスパーリングを見ていても私の好きなスタイルだったしな。

SRSコロシアム vol.1
LEGEND OF SHOOTER

確かにレスリングと柔術の技術は違う。だが発想は同じだよ

―最近の桜庭選手の試合はどう見ていますか？

ビル　先日の試合（※99年7月4日、横浜アリーナで開催された『プライド6』でのエベンゼール・ブラガ戦）を見た。常に力をあんまり使わずリラックスして、常に動き続けて、常に相手の攻撃に反応していたな。そういうスタイルはいいんじゃないか。それはランカシャー・スタイルと同じものだからな。

―桜庭選手の試合は相手がルタ・リーブリの選手でしたけど、あれはミックスド・マッチ（異種格闘技戦）だと思いますか？　それともロビンソンさんの目から見て、プロレスラー同士が闘っていると思いました？

ビル　あれはミックスド・マッチだ。

―じゃあ『プライド6』では、小川直也選手の試合もあったんですけど、彼の試合を見てどう思いました？

ビル　彼は身体も大きいし、熱心だとは思うよ。ただ、まだミステイクが多すぎる。とにかく慌て過ぎだ。まあそれでも、あと2、3年勉強すれば、とても凄い選手にはなるだろうな。

―彼はプロレスの世界では猪木さんの弟子に当たるんですけど、ロビンソンさんの目から見て、ランカシャー・スタイルのレスリングは入っていますか？　それともまだ柔道家に見えますか？

ビル　OH！　それはジュードーだな。まだレスリングそのものはまったく持っていないよ。レスリングの動きはまったくしてなかったからな。ただ、彼が最後に極めた技だけはレスリングのテクニックだがな。

―同じ日に高田選手もマーク・ケアーと試合をしていましたけど、あの試合をロビンソンさんはどう見たんでしょうか。

ビル　とにかく相手のパワーには驚かされたな。ただ、タカダもあの試合で相手の実力がわかっただろうから、次にやったら勝てるんじゃないかと思うな。

―率直に言って、ケアーは何の選手に見えました？

ビル　単なるアマチュア・レスラーだ。

―あ、ケアーでもロビンソンさんの考える「プロレスラー」には当たらないのか……。じゃあ今、日本ではヒクソン・グレイシーの名前が大きくなってるんですけど、率直にヒクソンに関してはどんな印象を持ってますか？

ビル　ベリー・グッドだと思うよ。

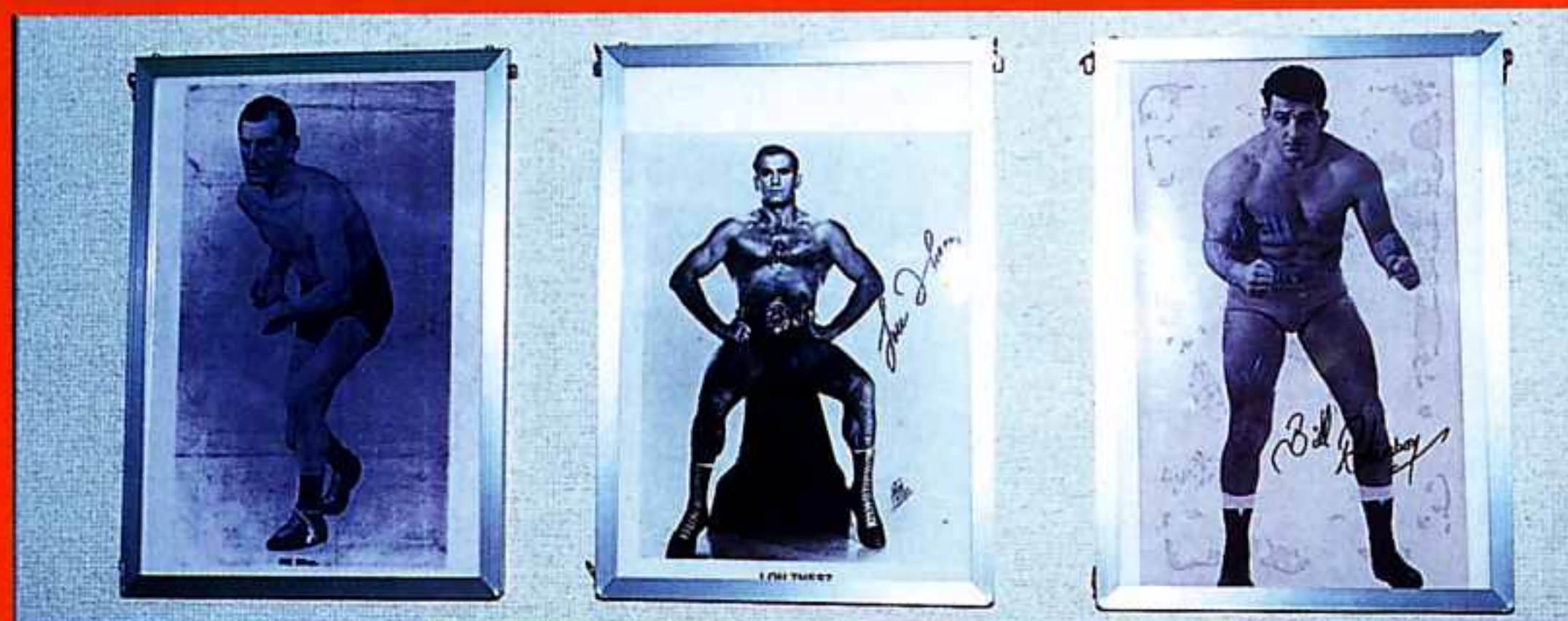
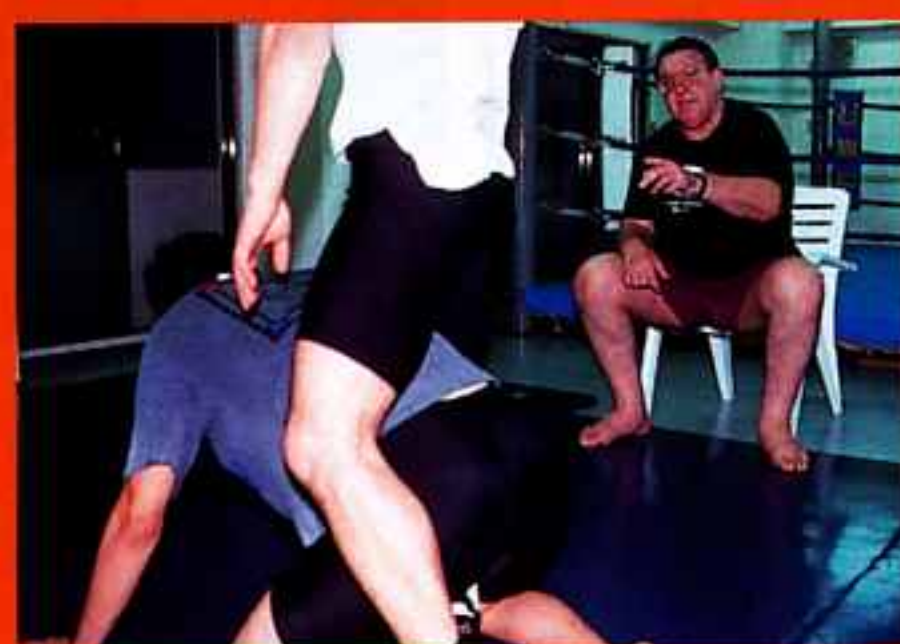
―どういうところがいいんでしょう？

ビル　確かに我々のやっていたウイガン・スタイル（ランカシャー・レスリングスタイル）と柔術の技術は違うよ。ただ、非常にキャッチ・アズ・キャッチ・キャンの考え方に近いと思うな。

―発想は同じだと。

ビル　きっと柔術も昔のウイガン・スタイルと同じように、たくさんの人が集まって数多くのスパーリングをして、切磋琢磨してやっているんだろう。ただ、ひとつだけ断っておかなければならないことは、私やビリー・ジョイスの時代にもウイガン・スタイルの練習場に柔術や柔道の選手が来ていたんだ。でも、絶対に我々は負けなかった。それは、いつのまにかウイガン・スタイルのレスラーがいなくなってしまったということなんじゃないかな。それで柔術が上がってきたんだろう。だから、これからは私が今やっているように、ウイガン・スタイルのレスラーをどんどん育てていく。そうすれば、また追いつくと思うんだよ。

―じゃあ、なぜランカシャー・レスリングが下火になって、柔術が上がっていると思いますか？

ビル　というのも、ランカシャー・レスリングはとにかくハードすぎるんだ（苦笑）。それでも我々の時代はそれに熱中するしかなかった。当時はまずテレビがなかっただろう？　もちろん、ディスコもクラブもなかったし、ビデオやテレビゲームもなかった。若者がやることといえば、レスリングかボクシングしかなかったんだ。今は娯楽が多すぎる。だから、そちらに逃げてしまうんだろうな。とにかくハードなレスリングをしなくなってしまうわけだ

▲左より若き日のビリー・ライレー、若き日のルー・テーズ、そして若き日のビル・ロビンソン大先生

◀Uインターの名参謀だった宮戸がロビンソンと合体！この両者がマット界に与える衝撃はハンパじゃないぜ!!

ビル・ロビンソン

1938年9月18日生まれ。イギリス、マンチェスター出身。16歳の時に「あのジムに行くのは蛇に噛まれに行くようなもの」といった噂から「蛇の穴」と恐れられた「ビリー・ライレー・ジム」で修行を積み、ランカシャー・スタイルのレスリングを学ぶ。59年にプロデビュー。68年に初来日し、国際プロレス時代にはＩＷＡ世界ヘビー級王者として外国人選手ながらエース的存在として活躍し、その後、アントニオ猪木やジャイアント馬場とも名勝負を展開。「人間風車」と呼ばれたダブルアームスープレックスはまさに一撃必殺の破壊力を誇った。85年の引退後は米国で暮らすが、今年、宮戸優光参謀（写真右）の下、「スネークピットジャパン」の常任コーチとして再来日を果たした。

よ（苦笑）。

——当時、ブラジルの柔術家と試合をしたことはあるんですか？

ビル ノー。

——じゃあ見たことや、聞いたことは？

ビル 実際に闘ったことはなかった。ただ、あるキックボクサーが柔術家と闘うということでコーチを頼まれたことはあった。結局、その試合はなくなってしまったがな。でも、グレイシー一族がやっていた試合や、練習は見たことがあるよ。

——えっ、それはいつ頃の話ですか？

ビル 1986年にアメリカのどこかで試合があって、その時に見たんだ。

——その時にグレイシーを見て、強いな、とは思ったんですか？

ビル まあ、いいんじゃないか、とは思ったよ。

——実は、数年前に僕はゴッチさんにグレイシー柔術の話を聞いたことがあるんですけど、ガード・ポジションについて聞いたら「あんなものは売春婦がやる技だ。だからあんなことをわざわざやる必要はない」と言っていたんですよ。

ビル 私もそう思うよ、あの格好は好きではない（笑）。ただ、いつもゴッチはそうやってすべてを否定するんだよ（苦笑）。

——ロビンソンさんはそこまで否定はしないと。

ビル 私はグレイシー柔術にも素晴らしいところがあるから、それはそれで素直に認めるよ。今、「レスリング」と「柔術」の立場が逆転しているようだが、要は誰が何をやるかによって変わってくるだけの話だからな。

——ロビンソンさんが現役バリバリの頃の「レスリング」は、本当の殺し合いというか、相手を殺すつもりで試合に臨んだわけですか。

ビル 相手がギブアップしなかったら、そういうことになったかもしれないな。とにかくレスラーが「シュート」をやるのは当たり前のことなんだ。それが本来のプロフェッショナルレスラーなんだ。とにかくベストの状態で相手を捕らえる。最高のレスラー同士を闘わせれば、それがやる側にも見る側にも最高の闘いなんだ。そういうものでなければプロレスリングとは呼べないんだよ。

レスラーが「シュート」をやるのは当たり前のことなんだ

——じゃあ、シュートは当たり前なんだという考え方でいいんですね。

ビル そのとおりだ。それがアメリカを見てみろ。「プロレスリング」でないものが堂々と「プロレスリング」を名乗っているじゃないか。それに「シュート」というのはアメリカでは隠語かもしれないが、ヨーロッパ、インド、アフリカ、ロシア、世界の多くの国ではそんなことは通用しない。隠語でも何でもないよ。

——あ、そうだったんですか。

ビル ただ、ひとつだけ言っておくと、WWFの中にもあえて「シューター」と呼べる人間もいることは確かだ。でも「あいつはシューターだから気をつけろ」というような感じであまり好まれなくなっている、というじゃないか。それはおかしいんだ。我々が現役の頃は、90%がシューターだったんだからな。それが「プロレスラー」なんだ。

——それが「プロレスラー」なんですね!!

ビル そうだ。「プロレスラー」というものがどういうものであるかわかっただろう。

——最近の傾向で「プロレスラー」とは本来そういうものであることを知ってか知らずか、自分自身のことを「総合格闘家」と称するレスラーが増えているんですよ。

ビル こんな話があるんだ。ローマ・オリンピックのレスリングではトルコ人がたくさんのメダルを獲っていた。

日本のレスリングの歴史が力道山からしか知らないから間違うんだ

だから、我々ウイガン・スタイルの連中にも「トルコ人選手の技を教わりたいな」という話をしたヤツがいたんだ。そこにビリー・ライレーが来て、「おい、ちょっとみんなここに来てこれを見てみろ」と言って、昔のレスリングの本を持ち出してきたんだ。そこには、もう400年前に、今（ロビンソンが現役の頃）のトルコ人が使っているのと同じ技が載っていたのさ。つまりは今、新しいとされているものでも、それは新しくも何ともなくて、ただ忘れられていたものなんだ。だから、50年前に遡れば「古い」と言われるかもしれない（笑）。

——なるほど。

ビル　だから、シューターがどうのこうのと言う前に、ジャパンのレスリングの歴史がリキドーザン（力道山）からしか知らないということで、間違いが生まれているんだ。日本のすべての人が知っているプロレスの歴史はリキドーザンからなんだからな。

——まだまだ知識として浅いということですか。

ビル　私はビリー・ライレーに認められるまでは自分で「プロレスラー」とは名乗れなかったんだ。レスラーとは本来、そうあるべきものなんだ。だから、「プロレスラー」と呼ばれた時は凄く誇りを持ったものだよ。

——じゃあロビンソンさんは「プロレスラー」の地位を復権していくのが使命になりますね。

ビル　そのつもりだよ。

——ところで、話は変わりますけど、今回は年頭にお亡くなりになったジャイアント馬場さんについて聞きたかったんです。

ビル　ババサンか。彼はグッド・フレンドだった。ババサンとザ・デストロイヤーといっしょにカード・ゲームを楽しんだこともあった。だから哀しかったよ。

——生前の馬場さんの「プロレスラー」としての印象はどんなものがありますか？

ビル　う〜ん、彼の場合、身体の大きさだけで十分だったから、テクニックをもつ必要がなかったからな。ただ、とても「いい人」ではあったよ。

——英語にした時にどう伝わるのかわからないんですけど、生前の馬場さんは「シューティング（※総合格闘技団体である「シューティング」のことではない）を超えたものがプロレスなんだ」と言っていたんです。

ビル　いや、それは逆だろうな。

——逆というと？

ビル　グッド・シューターこそグッド・レスラーなんだ。本当のシューターはテクニックが素晴らしいから、シュートやワークの区別がなくなるからな。それ自体が素晴らしいレスリングとして成立してしまうんだ。だから、あえて言うならグッド・シュート＝グッド・ワークなんだ。最高のシューターこそが最高のプロレスラーなんだよ。

——ああ、そうか!!　謎が解けましたよ!!

ビル　そうか、それはよかった（笑）。

——で、最後にちょっと聞きたいことがあるんですけど、いいですか？

ビル　なんだね。

——あのー、せっかくなのでロビンソンさんの初恋について聞きたかったんです。

ビル　ファースト・ラブか？　19歳か20歳の頃だったかな。

——ずいぶん遅いですね。

ビル　なにせビリー・ライレー・ジムで練習していて忙しかったからな（苦笑）。

——ちなみに相手はなんという名前だったんでしょうか。

ビル　いや、憶えていないな（笑）。

——やっぱり、初めて女の子を好きになった時はドキドキしましたか。

ビル　とにかく燃え上がったよ。

——そりゃあ、そうですよねえ。

ビル　あとは何か質問はあるかい？

——じゃあ、もしロビンソンさんが今、バリバリの現役選手だったらアルティメット大会に出ていますか？

ビル　もちろん。それが私のスタイルだからな。

——ああぁ、ロビンソンさんにレスリング・イズ・ストロンゲストということを証明してもらいたかったなあ。

ビル　本当にヒザの調子が良くて、若ければやっているんだがな。

——ぜひこの「蛇の穴」から、ロビンソンさんに続くランカシャー・スタイルのレスラーを育ててください！。今日はいろいろと話が聞けて嬉しかったです。本当にありがとうございましたあ!!　■

ビル・ロビンソン直筆サイン入り、スネーク・ピット・Tシャツプレゼント！

“人間風車”ビル・ロビンソンがUWFスネーク・ピット・ジャパンオリジナルTシャツにサインを入れて、本誌読者にプレゼントしてくれた。限定2名と高倍率必至だが、ぜひともGETしておきたい一品であることは間違いない。詳しくはP.44の募集要項を参照のこと。

K-1 最新Tシャツ特集!!

「上物」と書いて「ハイカラ」とよむ!
ハイカラ印 上物 ハイカラ印
アメ村のカリスマ、原タコヤキ君（ダジャレ有名人）大絶賛!!

TOKYO GINZA

読者プレゼント◉銀座風味
ごっつぁん銀座
ごちそうSUMMER
TRADITIONAL TASTE

BACK

⇩チーム・カラテ

⇦レイ・セフォー

FRONT

⇧チームキック

⇧チーム・ジャパン
（角田、武蔵、中迫、タケル、宮本、天田、計6選手のサイン入り）

⇦サム・グレコB

⇦サム・グレコA

■応募方法

本ページ右下の応募券を官製ハガキに貼って、
①郵便番号・住所・電話番号　②お名前
③年齢・ご職業　④希望プレゼント名
⑤今号で面白かった記事（複数可）
⑥今号で面白くなかった記事（複数可）
⑦あなたが今までで一番燃えた試合（オールジャンル可）
⑧本誌以外でお読みになっている専門誌名
⑨プロレス・格闘技以外で今ハマっているもの
⑩本誌に対するご意見・ご感想を山ほどどうぞ！
を書いて、ビシバシ応募してください！

あて先は、〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『ごっつぁん銀座❹』係まで
締め切り…8月28日（土）当日消印有効。

【M・D・K提供】各3名様
（サイズはそれぞれLかS）

次号では、深津飛成選手（新日本キック）のサイン入り使用グローブ＆Tシャツをプレゼントしま〜す!

■UFOグッズ通信販売

各ショップで売り切れ続出!!
今秋、驚愕のゴルドーTも登場か!?

いま、どこぞの売れ行きランキングには登場しないものの、本当は世界で一番売れているUFOグッズ。流行に敏感な『SRS・DX』では、このUFOグッズの通信販売をおこなっていま〜す。

住所、氏名、電話番号、希望商品（サイズも）を明記したメモを添えて、希望商品の代金と送料（何枚買っても500円）を現金書留で、編集部までお送りください。なお、ステッカーのみの販売はしません（送料を別途いただくのがしのびないので！）。商品は、ご注文をいただいてから3日〜3週間位でお届けします。

①オーチャンTシャツA（黒／サイズL・M）
②オーチャンTシャツB（ラグラン／サイズL・M・S・XS）
③Mr.ウォーリーTシャツ（サイズL・M）
④UFOTシャツ（サイズL・M）
⑤オーチャンステッカー

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F
SRS・DX編集部『UFOグッズ通販』係まで

BACK
④UFOTシャツ
FRONT

③Mr.ウォーリーTシャツ

①オーチャンTシャツA

②オーチャンTシャツB

⑤オーチャンステッカー

Tシャツはすべて¥3,500（税込）
ステッカーは¥1,000（税込）

応募券 ごっつぁん銀座 第4号

新日本キック協会

覇王傳

[S A G A]

7.24★後楽園ホール

新日本キック協会、日・タイ5VS5マッチは超満員の大盛況！期待の小野寺力、深津飛成は苦杯を嘗めたが…

泣かなくていい『敗戦』だってある

▲初回、左ストレートで倒された深津飛成。パンチでやり返そうと強引に打って出たが、対戦者の激しい蹴りに跳ね返された

小野寺力、まさかのダウン！

▶左ハイキックをカウンターされて不覚のダウンを喫した小野寺力は、最後まで自分のペースで闘えず、判定で敗れた

深津飛成、屈辱の判定負け

打倒ランバーの切り札、予想外の強敵の前に沈黙…

深津、こんな蹴りをもっと見たかったぜ！

▲ミドルキックであばらを強襲する。しかし、この日の深津にはこんな攻撃が少なかった

★第9試合（日・タイ フライ級対決／3分5R）
○デンナムチャイ・ゲオサムリット（5R判定3-0）深津飛成●
（タイ）　（伊原ジム）
※深津は1Rに左ストレートでダウンを喫した

新日本キックがブレイクしている。日本王者5人がタイの精鋭を迎え撃つこの日、会場にはこぼれんばかりの大観衆が詰めかけた。

オールスター・キャストの中でも本誌がとりわけ注目したのはこの男、深津飛成だ。

小柄な体で目一杯攻めまくる。とんでもない速さとパワーと、8度ものタイ修行で身につけた本場のテクニック。勇猛果敢な闘いを『リトル・タイソン』などと呼ぶと俗っぽくなるが、思わず「いいねぇ」と唸りたくなるような小気味いいファイターなのだ。

日本軽量級総なめ状態のあの憎っきランバー・ソムデートM16の、我が国最後の砦はこの深津と、我々は密かに期待しているのだ。

ただし、本人はこちらの目論見を軽くハイキックで蹴り倒す。

「ランバーですか？　絶対に勝てるとは言わないけど、あまり興味はないです。どうせやるんなら、もっと強い奴はいっぱいいるから」

さて、その深津だがこの日のあんばいはよろしくない。初回にあっさりダウンを喫した。強烈なボディブローでやり返したものの、17歳のサウスポー、デンナムチャイ・ゲオサムリットの鋭角的な左ミドルキックにペースを奪われたまま、判定負けに屈してしまった。

深津は試合直後は「これで何もかもゼロになった」とメげていたが、むろんそんなことはない。何よりこいつは気骨が違うのだ。

一度は極真を志したが、「オレがやるべきものとは違う」と道場の前からずらかり、以来キック一筋。まだ高校生だった16歳でデビューし、今ではすっかり新日本キック

ランキング入りを嘱望される17歳

の看板になった。

新日本キック協会
覇王傳
［SAGA］
7.24★後楽園ホール

ランキング入りを嘱望される17歳
デンナムチャイは左足一本勝負だ

▶デンナムチャイがサウスポースタイルから繰り出す左ミドルキックはなんとも鋭かった。深津も得意のパンチを合わせたのだが…

深津のコメント

「これで何もかもゼロになっちゃいました。相手のミドルは効かなかったけど、意外と伸びてきましたね。敗因はない頭を使っちゃったこと。『ミドルをかいくぐって』とか考えて。チャンピオンとして、プロとして、一円でもお金をもらっている人間がやる試合じゃなかったです ね。ボロクソに書いておいて下さい」

デンナムチャイのコメント

「深津選手はとても強かったです。左のパンチをもらった時に、歯が折れてしまいました。年齢は17歳。まだランキングには入っていないんですが、現在は主にラジャダムナンスタジアムで闘っています。普段は100ポンドで試合をしています。日本はとてもいい所で、凄く気に入りました。また来て試合をしたいです」

▶デンナムチャイはまだ17歳。タイでは45キロ前後で闘っているという。もっともっと強くなるだろう

▼一発形勢逆転を懸けて回転バックヒジを狙ったが…当たらない…

の看板になった。

ラップ・ミュージシャンの2パックを敬愛してやまない。権威につばする彼の過激な歌詞は米国政府から「青少年に悪影響を及ぼす」と警戒された。そんなとんがった生き方が好きだ。男の生き様をむき出しにする任侠映画も大好きだ。

「他人に躍らされるのは嫌。たとえピエロでもいい。自分の思うがまま に躍っていたい」

だから、自分の得意なパンチにもこだわる。明かすのは伊原信一会長だ。

「蹴りとパンチのバランスがいいのに、今日はパンチにこだわり過ぎ。まだまだ経験不足です」

自分を大きくするために、あえて冒険するのはもっとも望ましいプロのあり方だ。パンチで勝負を挑んで結局負けたけど、深津の姿勢はひとまず評価したい。

それから深津はこんなエピソードを話してくれた。小さい頃はマザコンのイジメられっ子だった。悪さをされても自分で文句も言えず、いつも母親に泣きついていた。だが、あるとき、イジメっ子の大将格を何かの拍子に殴ってしまうと、その大将は泣いてしまったのだ。「なんだ。簡単じゃないか」。深津はそれから変わったと言う。

そうなのだ。何事もやってみなくちゃ始まらない。パンチにこだわってみたのも大いにけっこう。伊原会長はそんな深津を愛しげに振り返りながら、再び言うのだ。

「もう5戦待ってください。光り輝くスターにしてみせます」

分かってますって。もう深津の全身にはキラキラの生地がいっぱい見えているんだもの。（宮崎）

小野寺のコメント

「（ダウンは）たぶんハイキックかな。何も憶えていないんで。気づいたときには倒れていました。そのあとはパンチが当たったような気もしたんですが。蹴りの強い選手を相手に自分のスタイルを試したかったんですが、結果はダメでしたね。ダメなら途中で闘い方を変えなければいけないのにそれもできない。成長してないですね」

ヂャルンサックのコメント

「小野寺はパンチが凄く重い選手でした。それに、ローキックもとても良かったです。次にもう一回闘うことがあったら、今度は負けてしまうかもしれないですね。いつもはジュニアバンタムのウェイトで試合をしていて、ラジャダムナンスタジアムにも20戦くらい出場しています。年齢は17歳です」

そして小野寺もタイ人のミドルに屈す！

届かない。まだ届かない…

▶ヂャルンサックの攻撃は、左ミドルキック一本槍。それでも日本のチャンピオンを打ち破った

▲「もうひとつ踏み込めなかった…」（小野寺）。小野寺（左）はタイ人の長い蹴りに、自分の射程をつかめないまま、5ラウンズを闘い終えた

★第12試合（日・タイ フェザー級対決／3分5R）

○ヂャルンサック・チューワッタナ（タイ）（5R判定3-0）小野寺力（藤本ジム）●

※小野寺は3Rに左ハイキックでダウンを喫した

▲3Rのダウンの後、懸命に追い上げた小野寺だったが、流れをたぐり寄せることはできない

ああ、やっぱり小野寺にはタイ人は鬼門なのか。この5月に元タイ南部王者をKOして、ムエタイ4連敗の泥沼から抜け出たばかり。新日本キックの「とっておき」がいよいよ本格加速と思いきや、深津と同じく17歳のサウスポーにしてやられてしまった。

打倒タイに燃える小野寺は宣言をしていた。「ミドル（キック）は捨てる」。同じことをやっていたのでは勝てない。戦いの新機軸がなければ、ムエタイの頂点には決して近づけないと悟ったのだ。

ヂャルンサック・チューワッタナが左ミドルで来るところに、小野寺はステップを刻んで左フックを狙う。しかし、これが当たらない。ヂャルンサックの蹴りが次々に小野寺の白い体に食い込んだ。3回にはその左ハイがアゴを捉え、小野寺の体がマットに転がる。後は追い上げも空しかった。

練り上げた戦法も、力強いタイ人の蹴りの前に沈黙した。それもそうだ。パンチよりキックの方が射程が長いのだ。昔、槍と刀、それぞれの名人が対戦したら、ことごとく長槍の使い手がその矛先で剣術士を刺し殺したと言う。よほどの鋭い踏み込みがない限り、パンチが届かないのは道理なのだ。

「そうなんです。未熟なんです」

モデルまでやった美男の小野寺は、涼やかな笑顔を見せて静かに反省する。けれど、その胸の中の闘志は鎮火の予兆さえない。

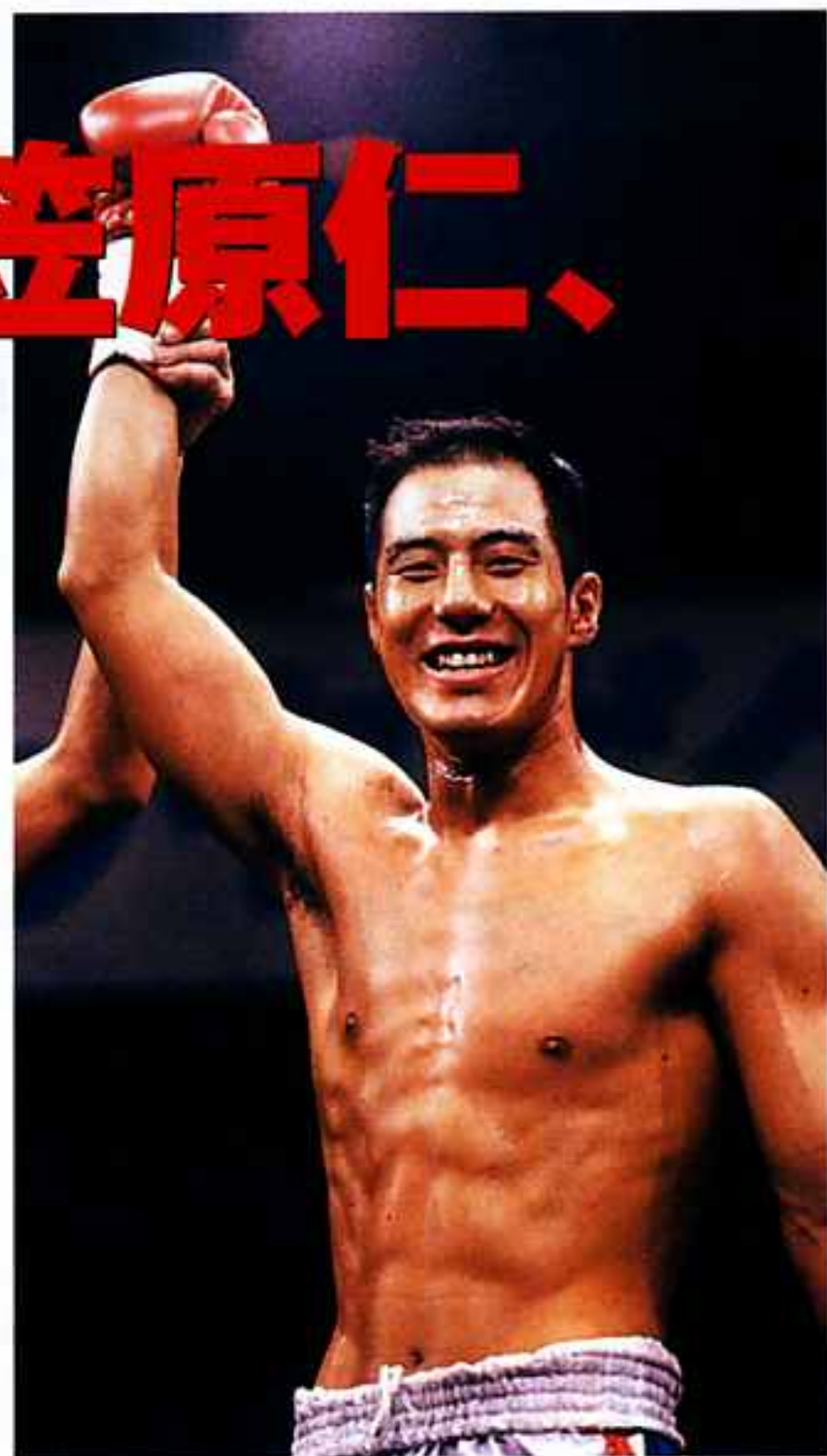
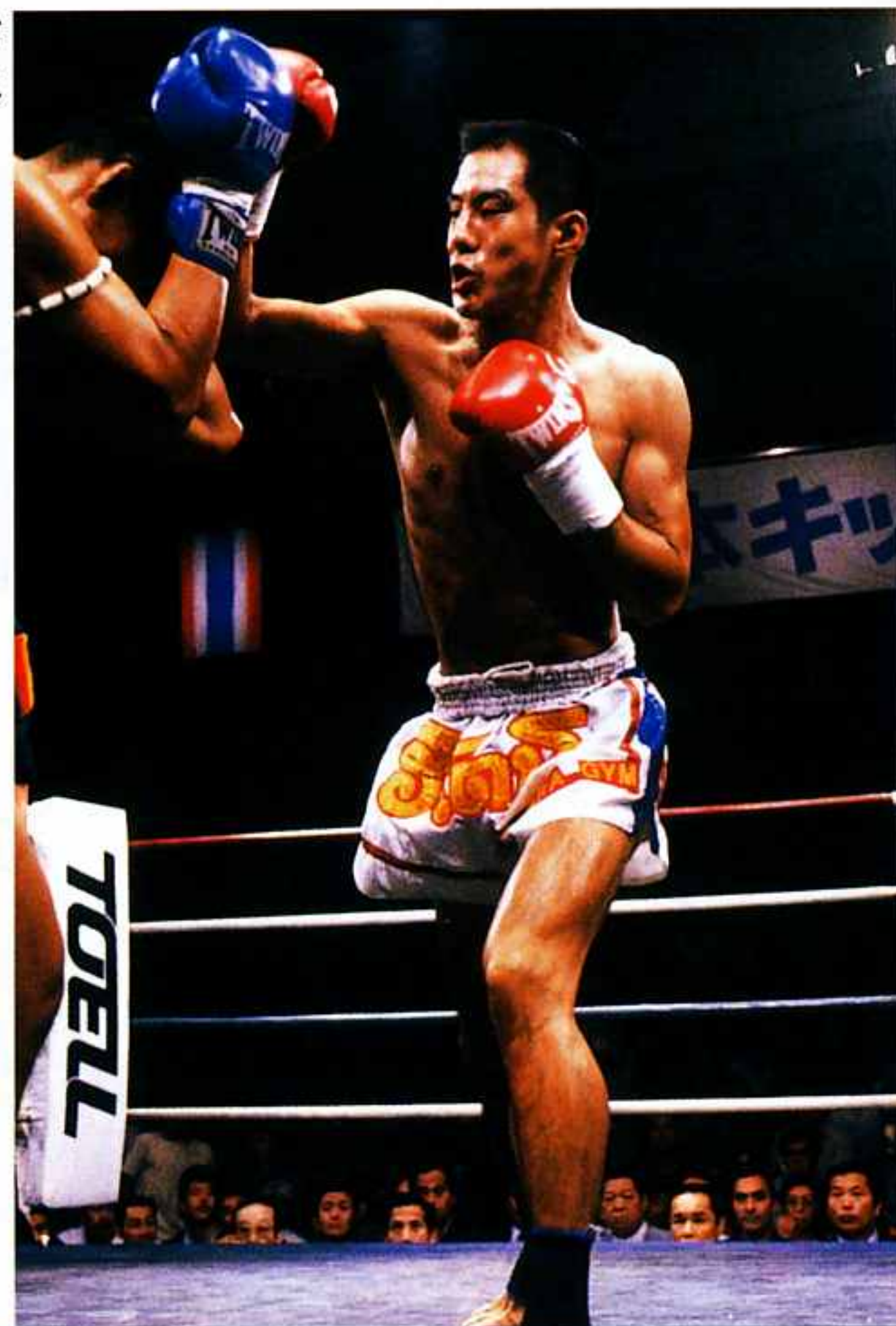
「本当はもうタイ人だけとしか闘いたくないんです」

高い壁がそこにあるからこそ、小野寺の熱い火はなお燃え上がるのだ。　（宮崎）

新日本キック協会
霸王傳
[SAGA]
7.24★後楽園ホール

切れ味最高！ 小笠原仁、パンチの乱打でタイの古豪をKO

日本ミドル級王者のすばらしい右ストレートだ。学生キック時代から定評のあった小笠原仁のこの強打が、モンコンデート・ギャパサンチャイを打ち砕いた。かつてイワン・ヒポリットやチャンプア・ゲッソンリットを破っている強豪もいまや33歳。5年ぶりのリングでは磨き抜かれた小笠原のパンチにひとたまりもなかったのだ。ズルズルとロープに後退したモンコンデートはあとは人間サンドバッグと化す。2ダース近い左右のパンチにトップロープを支えに立っているのがやっと。レフェリーはここでカウントを取る。再開後も、モンコンデートは小笠原のフォローアップに茫然自失。レフェリーはためらうことなくストップをかけた。その間わずか71秒だ。鮮やかな勝利にも、小笠原のコメントには喜びの色つやはない。「現役選手じゃないんで、勝って当たり前です。今後はタイ人にすべての面で対抗できるようになりたい」。でもパンチはすでにタイの上をいっているぞ。

▶この右ストレートからすべては始まった。小笠原仁（右）はこのあと、左右のパンチを雨あられ。モンコンデートをわずか71秒で粉砕した

▲豪腕を披露した勝者は、勝ち名乗りにこの晴れやかな表情

★第10試合（日・タイ ミドル級対決／3分5R）
○小笠原仁（1R1分11秒、KO勝ち）モンコンデート・ギャパサンチャイ●
（伊原ジム）（タイ）
※パンチ連打。モンコンデートは1Rにパンチ連打でスタンディングダウンを喫した

▼ライトに輝く鋼鉄の体を躍らせて武田幸三（右）は勇ましく攻め込む。チュンチャイ・ゲオサムリットの左足にローキックを集中する。1Rから動きがおかしくなったチュンチャイは2Rもピンチの連続で、無理に右パンチを打ち返したところで、肩を脱臼するアクシデント。そのままドクターストップがかかってしまった。（武田の2RTKO 勝ち）

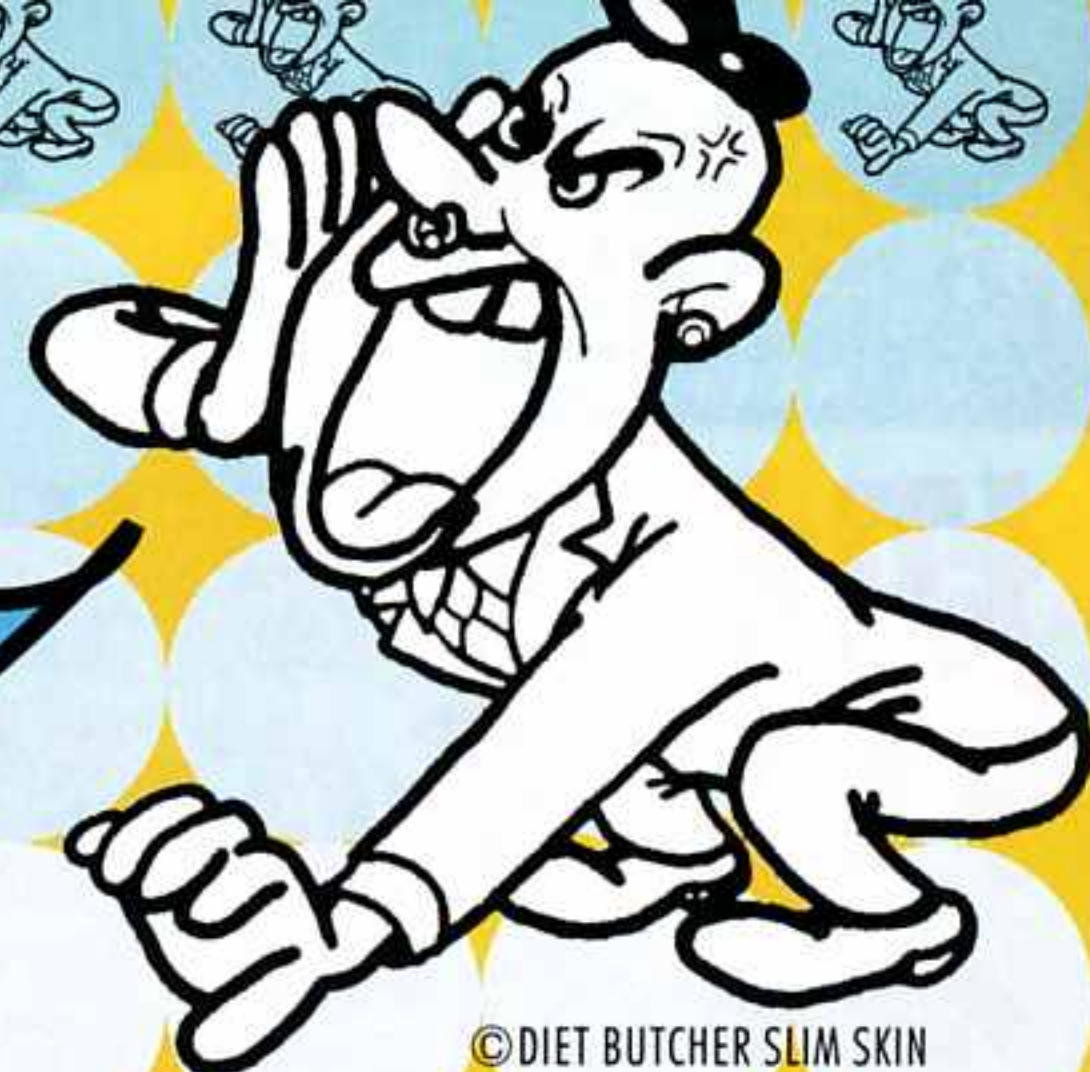
▲「見たまんま。相手が弱かっただけです」。試合後の菊地剛介（左）はまだまだ闘い足らなそうだった。日本バンタム級王者が迎える初めてのタイ人との試合。待ちこがれた一戦だったが、メンユーツィット・ダータガンがあまりにももろい。初回からローキックでバタついて、2回に2度ダウンしてあっさりカブトを脱いだ。（菊地の2RKO勝ち）

▶14ヵ月ぶりのこの一戦で引退する今井武士（右）は、4年前に対戦し「特別な思いがある」という新妻聡とのラストマッチに挑んだ。そんな意気込みがそのまま試合に出た。初回からサウスポー今井の左ストレートで、新妻はグラグラ。3回には集中打でロープダウンもあった。その後もまったく一方的。新妻は判定まで持ち込むのがやっとだった。（今井の判定勝ち）

▲本場タイのトップスター同士の激突が日本で実現した。昨年のラジャダムナンの最優秀選手ムアンファーレッグ・ギャトウィチアン（右）とグルークチャイ・ゲオサムリットはムエタイの奥義をふんだんに盛り込んだ激戦を展開した。ジャッジは引き分けと出たが、両者のハイレベルの攻防に場内は拍手であふれた。

◀UFOの小川直也も熱心に観戦、打撃を研究していた。次の試合はさらに期待できそうだ

▶チャルンサックの攻撃は、左ミドルキック一本槍。それでも日本のチャンピオンを打ち破った

umpfer

©DIET BUTCHER SLIM SKIN

アレクの武者修行日記

カラー2ページ奪取するも**最終回!!**

おかえりアレク!!　歓迎、格闘技界殴り込み!!
もう一度ボク達を奮わせてくれ!!

帰国当日、約2カ月ぶりに家族との再会をはたしご満悦のアレク。もちろん帰ってきてすぐ試合をこなした（7月20日TOKYO FMホール）

7月4日（日本時間）、メキシコ遠征中のアレクに国際電話で「プライド6」の結果速報をしてあげたところ、遠くモンテレーの地から出るわ出るわ、本音発言の雨あられ！「桜庭選手はプロレスラーじゃない」「またかっこいい髙田延彦がプロレスのリングで復活するのを期待してもいいんでしょうか？」あげく船木誠勝に対しても「この世界に早く入った分、終わるのも早いのかなぁ、と」ここまで言い切ったのだった……（本誌2号参照）。四方八方に噛みつくアレク！　ヨ～シ、やれや、ほんならっ！　現在、バトラーツ夏の灼熱バトル『ヤンジェネ』で激戦中。そして、迷わずゆけば秋には、大一番が待っている!?

日記＆ワーゲンの絵◎アレクサンダー大塚

■6月23日

あ～あっと、ただいま23日の午前6時7分です。昨日？　おととい？　の最悪な状況（前号参照）から一転、今日は睡眠バッチリとれるっ！　と思ったらこの有り様、こんな時間に書いてます……。

昨夜は試合を終えて、ホテルに戻ってすぐ洗濯して寝たから、1時半には寝始めたのかな。すんなり寝れたのに、ドアが「ゴンゴンゴン」。開けたら全然知らないヤツが間違えてノックしやがった。時計の針は午前5時前。にゃろ～!!（怒）。

その起きた勢いで、ひさびさに編集部の井上氏に電話した。まずはじめに最近あったことをたらたら話していたら「そういえば、こないだイラスト書いてくれた、時計屋のミロって誰ですか？」って聞かれて「そういやー、イラストだけ書いて、その人のこと何にも触れてなかったですねぇ～」ってなったんで、ほんの少しだけ。昔レスラーやってて、今でもジムに来てトレーニングだけはやってるただの時計屋のおじさん。ただそれだけ……。あーでも、良くしてもらってる。

ひととおり話して電話を切ったあと、喉がかわいたんでコンビニに行こうと歩いてたら、いつもは気にならなかったタコス屋に思わず入ってしまい、タコス20個とソーダ水3本を飲み食いした。しかも辛いもの好きのワイは、チリソースをたっぷりかけていただきました。う～ん、ごうちゃんしい～♥

■6月23日第二弾

こんちわ！　また書くことになるとは思いませんでした……。今朝5時前に起こされて、電話して、日記書いて、二度寝しはじめたのが、8時頃。ワイの兄貴と口論して泣いている変な夢（内容は長くなるんで書きません）をみて、泣きながら起きたのが10時半頃、そのまま練習の準備をしてトレーニングに行った。

帰ってきてメシ食って、腹イッパイで気持ちよくうたた寝し始めたのが午後2時過ぎ。ついには爆睡してたのに電話が「リンリンリン」。取るとそれはマイクにかかってきた電話だった……。クッソ～、ホテルのヤロー！　人の睡眠ジャマしやがってぇ～（怒）。

これ書いてる間に、3回はウンコに行ったや。今朝のタコスのせいか？　尻の穴までヒリヒリするや……。

■6月30日

明日から7月になり、しかも無期限だったこの武者修行も、7月下旬には帰国することになった。ここ（モンテレー）に来た時は、超ブルーになっていたのだが、残り2週間となってしまった。まぁ、こんな短期間だっただけに、帰国後すぐに結果が出せるかどうかはわからない。でも中身は確実に成長しているので、日本のファンの皆様、期待しててください!!

■7月1日

昨日は、一足も二足も早い帰国挨拶になってしまったが、最後にまた、キチンと挨拶しません！

……と言うわけで、そういえばワイが海外に出る前に「放浪自由人・謎の格闘家」芳賀元汰の試合があったり、石川社長がUFOに出場したり、カールが「プライド6」に出たりと、生で見ておきたかった試合がなぜこうも続くのか？　カールに関しては、ワイがどうこう言わなくても大丈夫だと思うけん、いつもどおり頑張ってもらいたい。

横浜アリーナは、ワイが初めてミックスド・マッチをやったり、初代タイガーマスクを返り討ちにした会場だから、バト的にもトッテモ縁起のいい会場。ビートたけし師匠も浅草キッドのお二人も、お弟子さんたちもバトファンのみんなも応援しているはず……!?

そういうわけで、頑張れ、我らがカール・マレンコ－!!!

■7月4日

ゲゲッ！　なんだよー、あと2週間で帰国だってのに、このザマかよぉ。鼻水ズルズルで、しかも喉も少し痛いぞ。

ああ、帰る間際にこれじゃなぁ。でも、ここにはあと10日ちょっといるから、あせら

ずじっくり治すことに専念しよう。
そういうわけで、今日はトレーニングな

本っぽいっちゃあ日本っぽいですな。で、味
の方はというと、特別うまくもなく、嬉し

UFC会場で「プライド4」で葬ったあのマルコ・ファスとも再会。この日、モーリス・スミスにも敗れてしまったが、アレクに「もう一度、ユーと闘うまでは何度でも立ち直ってみせる!」と言ったらしい

マルコ・ファスと再会!

そして!なんと今をときめくWCWのビル・ゴールドバーグ(右)とも遭遇。コイツのバーリ・トゥード戦も見てみたい!!

メキシコでは、「シュー・キム」の名でマスクマンとして暴れまくった。もちろんルード。メチャクチャ呼吸しづらいマスク!

ヘタクソーなワーゲン!!

ずじっくり治すことに専念しよう。

そういうわけで、今日はトレーニングなしでサウナだけ。

■7月6日

やっぱ今日も体調良くねぇな～。でも今日も試合があるんだよにゃ～。まぁ今日を越えれば、明日から4日間試合ないし、少しは良くなってるから頑張ろうっと。

■7月7日

♪笹の葉サーラサラ～、今日は七夕だったけど、こっちでは関係ないみたい。無理せず休んだかいあって、かなり体調も良くなった。でも、もう一日だけ我慢して、練習は明日からすることにした。

ここ4～5日間、ほとんどホテルで寝てたから、話のネタを探すに探せず、今日はもう眠いので、お休みなさ～い。

■7月10日

さぁ今週も今日で終わり、って事は、日・月・火・水・木でここモンテレーともさよなら。ここんとこ毎日のように買い物に行くことが多くなった。ほとんど(95%)がみやげもんなんやけど、これがまた選ぶのに苦労するったらありゃしない。韓国に行ったときは、笑えるイミテーション物がけっこうあったから良かったものの、こっちは特別変わりダネの物がなくってホント困りダネ(な～んちゃって)ながらもぼちぼち買い揃えそうです。

それでは、残り5日間のモンテレー生活をじっくり味わっていきますか～っ!!

■7月13日

本題の前に、こっちに来てすぐに思ったことがあった。やたらとそこら中走り回っているクルマ、それは「ワーゲン」。自家用もタクシーも、アッチもコッチもワーゲン、ワーゲンなんですよ。

それでは本題に(いきなりかい!)、前の話で出てきた「フランク」ことフランシスコが今日、日本食のレストランに連れていってくれた。店の名前は『KOTO』。まぁ日本っぽいっちゃあ日本っぽいですな。で、味の方はというと、特別うまくもなく、嬉しいとは感じなかった。

きっと明後日には、ここをサヨナラするってことが一番影響しているのだと思うが、わざわざ連れて来てくれた事(気持ち)は嬉しかった。本当にありがとうございました。

■7月14日

さぁ、とうとう最後の一日が終わり、明日15日にはアトランタへ出発し(UFC観戦)、モンテレーともサヨナラです。長いようで短かった感もあり、短かったようで長かった感もある。実際、二ヵ月なんて凄く短い月日だと、普通の日常生活をしていれば思うはずなのに、こんな気持ちになるなんて、小学校や中学校の卒業以来? んー、ちょっと違うな～。

あ! そうこれだ! まぁ小中学校の卒業のときにも似てなくはないけど、やっぱりワイの人生の中では、あの時(藤原組入門の為、徳島を出発した時)に一番近いというか、今となっては今回が一番感慨深くなってしまうのかな。「寂しい」の一言かな。こっちはルーズだったりアバウトだったり、スローだったり、嫌いな所もいっぱいあったけど、それ以上にワイ的には凄く良い人達に出会えたと思っているからこそ、こんな気持ちになれたんだろう。

そう思いながらもきっとまた、どんな形であろうがここモンテレーにまた来る機会は訪れるだろうと思っている。

この短い二ヶ月で、色々な経験、反省、再確認させてくれたモンテレーと、モンテレーのワイのアミーゴ達に感謝の気持ちでいっぱいです。そして勿論、会社(バトラーツ)のみんなもそうだし、家族にも、今回の海外に来ることにお世話になったすべての人達。本当に本当にありがとうございました。

それでは、帰国してからのアレクサンダー大塚の活躍を期待しててください。アディオス!

(おわり)

NEW

スクリュー式
ダンベルシャフト

バーベルセット
ウエイトグローブ
スクワットパット
プレゼント!

ダンベルセット
ウエイトグローブ
プレゼント!

ラバータイプ

プレート ラバータイプ

重量	価格	重量	価格
1.25kg	400円	10.0kg	3,200円
2.5kg	800円	15.0kg	4,800円
5.0kg	1,600円	20.0kg	6,400円
7.5kg	2,400円		

シャフト

バーベルシャフト(180cm・カラー付)	4,000円

バーベルセット

バーベル ラバータイプ		
35kgセット	16,000円 ➡	10,000円
55kgセット	24,000円 ➡	15,400円
75kgセット	32,000円 ➡	21,000円
105kgセット	44,000円 ➡	29,000円
145kgセット	60,000円 ➡	40,000円

バーベルシャフト10kg1本(カラー付)
ダンベルシャフト2.5kg2本(カラー付)

ダンベルセット

ダンベル ラバータイプ		
20kgセット	9,500円 ➡	6,200円
30kgセット	13,500円 ➡	9,000円
40kgセット	17,500円 ➡	11,500円
50kgセット	21,500円 ➡	14,500円
60kgセット	25,000円 ➡	16,500円

ダンベルシャフト2.5kg2本(カラー付)

エリートマッスル

特別価格 2回払いOK(金利なし) **68,000円**

フィットネスクラブにあるマシンの負担方式と同じウェイトスタック方式を採用。

- ●ウェイトスタック方式は、油圧シリンダー方式にくらべ負担がつねに一定なので、効率の高いトレーニングが可能です。
- ●ラバーウェイトは、ラバーの経年劣化があるため、また油圧シリンダーは、パッキン等の機械的消耗があるためにフィットネス・クラブではほとんどつかわれておらず、ウェイトスタック方式が採用されています。
- ●トレーニングによって発生する音をミニマムにおさえた低音設計。
- ●ウェイトの重さを微調整することができ、使う方の筋力に合わせたトレーニングが可能です。

9段階調節。

サイズ:(W)約110cm×(L)約112cm×(H)約198cm
重量:約116kg ※約量半帖分(組立式キット商品)

1.ベンチプレス
2.クローズグリップ・ベンチプレス
3.ラット・プルダウン
4.ストレートアーム・プルダウン
5.バタフライ
6.レッグ・エクステンション
7.レッグカール
8.ダンベル・サイドレイズ
9.ダンベル・カール
10.ショルダー・プレス
11.リヤ・レッグレイズ
12.アブドミナル・クランチ
13.スクワット
14.ベントオーバー・ダンベルロー
15.トライセプスリヤー
16.クロスオーバー・ダンベルロー
17.サイド・レッグレイズ
18.ホリゾンタル・バーロイング
その他応用トレーニング多数可能。あなたも自宅で本格トレーニングをしてみませんか?

サンドバッグ・ハードタイプ

高級レザー

①18,000円 ➡ **10,800円** 40∅×150
②14,800円 ➡ **7,800円** 40∅×130
③12,800円 ➡ **5,800円** 40∅×100

本物主義

不倒神話

40∅×H180×土台60

スタンディングバックDX

高級レザー

人体感覚を徹底的に追求しました。本体内部には、
極太の鉄芯を用い強力なパンチ、キックをしっかり受け止めます。
もちろん、転倒の心配は一切ありません。

打撃本体には、
多重構造ウレタンを使用。

3,9000円 ➡ **24,800円**

砂袋ダブル付き
ワンタッチで
取り外し可能

スプリング別売
2,000円

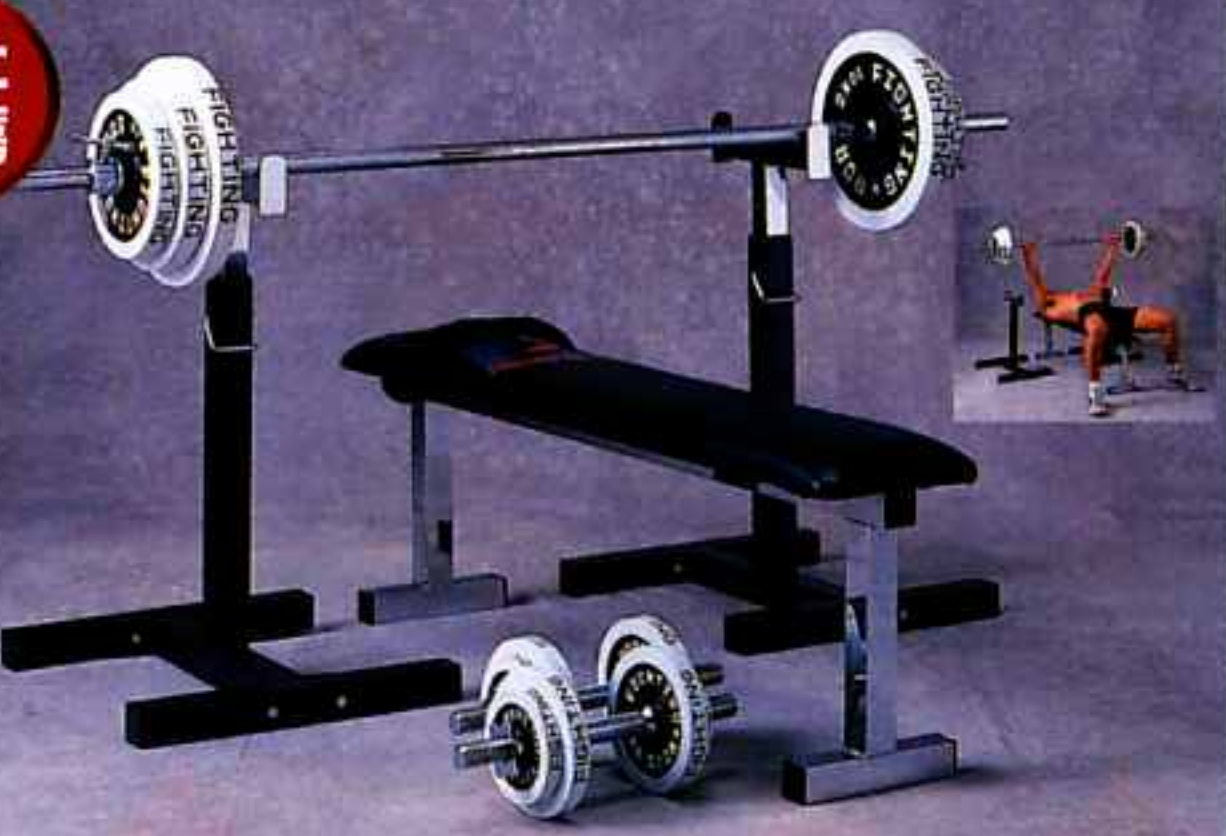
パンチングボール別売
3,500円

W84×D119×H200

フルスタンドPRO (サンドバック別売)

サンドバックスタンドに砂袋ダブルが付き、
後方で拳やスネの強化が出来ます。 29,800円 ➡ **17,800円**

当社推薦

フラットベンチDX+ベンチセーフティDX+バーベルゴムラバータイプ75kgセットがついてこの価格!

DXセット

高さ5段階可能

60,000円 ➡ **37,800円**

パンチンググローブ

3,500円

商品お持ち帰りOK!!送料無料(詳しくはTELにて)
ご注文はTEL・FAX・ハガキにて 通販OK

TEL/06-6706-4411
FAX/06-6706-4412

受付/AM9:00~PM9:00

株式会社
ファイティングロード

〒547-0011 大阪市平野区長吉出戸1丁目7-6

FIGHTING ROAD

便利なクレジットカードもご利用OK!

VISA MasterCard JCB

●受注後スピード配送!(但し、地域により異なります)●代金は商品到着後、配達員にお支払い下さい。
●受付時間AM9:00~PM9:00(年中無休)●表示価格には消費税・送料は含まれておりません。
●返品、交換は未開封に限り、到着後7日以内にて(送料はお客様負担になります。)
●改良の為、予告なく色・形状が変わる事があります。●全商品に生産物賠償保険付

価格破壊！低価格・高品質を実現

信頼のブランド

モデルプロフィール
仲田　健

有名プロ・アマ選手の専属トレーナーとして活躍。
● [illegible]　元トレーナー
● [illegible]大学アメリカンフットボール部 ストレングスコーチ
● 現役プロ野球選手トレーナー

NEW
スクリュー式 ダンベルシャフト

バーベルセット ウエイトグローブ スクワットパット プレゼント！
ダンベルセット ウエイトグローブ プレゼント！

FIGHTING ROAD

スクワットパット **2,000円**　ウエイトグローブ **3,000円**

ブラックタイプ

バーベルセット

バーベル ブラックタイプ		
35kgセット	12,000円➡	8,000円
55kgセット	17,000円➡	10,800円
75kgセット	22,000円➡	14,800円
105kgセット	29,500円➡	19.800円
145kgセット	39,000円➡	24,800円

バーベルシャフト10kg1本（カラー付）
ダンベルシャフト2.5kg2本（カラー付）

ダンベルセット

ダンベル ブラックタイプ		
20kgセット	7,000円➡	5,000円
30kgセット	9,500円➡	7,000円
40kgセット	12,000円➡	8,200円
50kgセット	14,000円➡	10,000円
60kgセット	16,500円➡	12,000円

ダンベルシャフト2.5kg2本（カラー付）

プレート ブラックタイプ

重量	価格	重量	価格
1.25kg	300円	10.0kg	2,400円
2.5kg	600円	15.0kg	3,600円
5.0kg	1,200円	20.0kg	4,800円
7.5kg	1,800円		

シャフト

ダンベルシャフト（カラー付）	2,000円

W90×D137×H205
キングスセット（プレートセット別売）
ラット運動によるショルダー部の集中強化によりパンチ力強化、持久力が備わります！
40,000円➡ **24,500円**

W90×D195×H205
キングスセットDX
プロスクワット台付(プレートセット別売)
58,000円➡ **38,500円**

W72×D146×H130～170
ハードベンチDX
スクワット台付（プレートセット別売）
35,000円➡ **20,800円**

W72×D146×H130～170
トレーニングベンチDX
スクワット台付（プレートセット別売）
27,000円➡ **14,800円**

W90×D137×H100～130
キングofベンチ
（プレートセット別売）
35,000円➡ **19,500円**

W90×D195×H120～160
キングofベンチDX
プロスクワット台付(プレートセット別売)
53,000円➡ **33,500円**

W62×D126×H85～105
ハードベンチ（プレートセット別売）
ワンタッチでシットアップベンチ。折りたたみが可能！
20,000円➡ **11,800円**

W52×D126×H100
トレーニングベンチ（プレートセット別売）
安定感抜群のベンチプレス台
12,000円➡ **6,800円**

キングスセット　キングofベンチ トレーニング例
ベンチプレスを筆頭に数種類もの運動が可能。
安定感・耐久性共にバツグン！

W90×D60×H120～160
プロスクワット台
（プレートセット別売）
18,000円➡ **14,800円**

W30×D123×H40
フラットベンチPRO
極太パイプを使用抜群の安定感！
10,000円➡ **4,800円**

W50×D60×H96
セイフティーガード（プレート別売）
安全にベンチプレス運動ができプレートの収納ができます！
（フラットベンチとセットでご使用されると最適です）
25,000円➡ **13,800円**

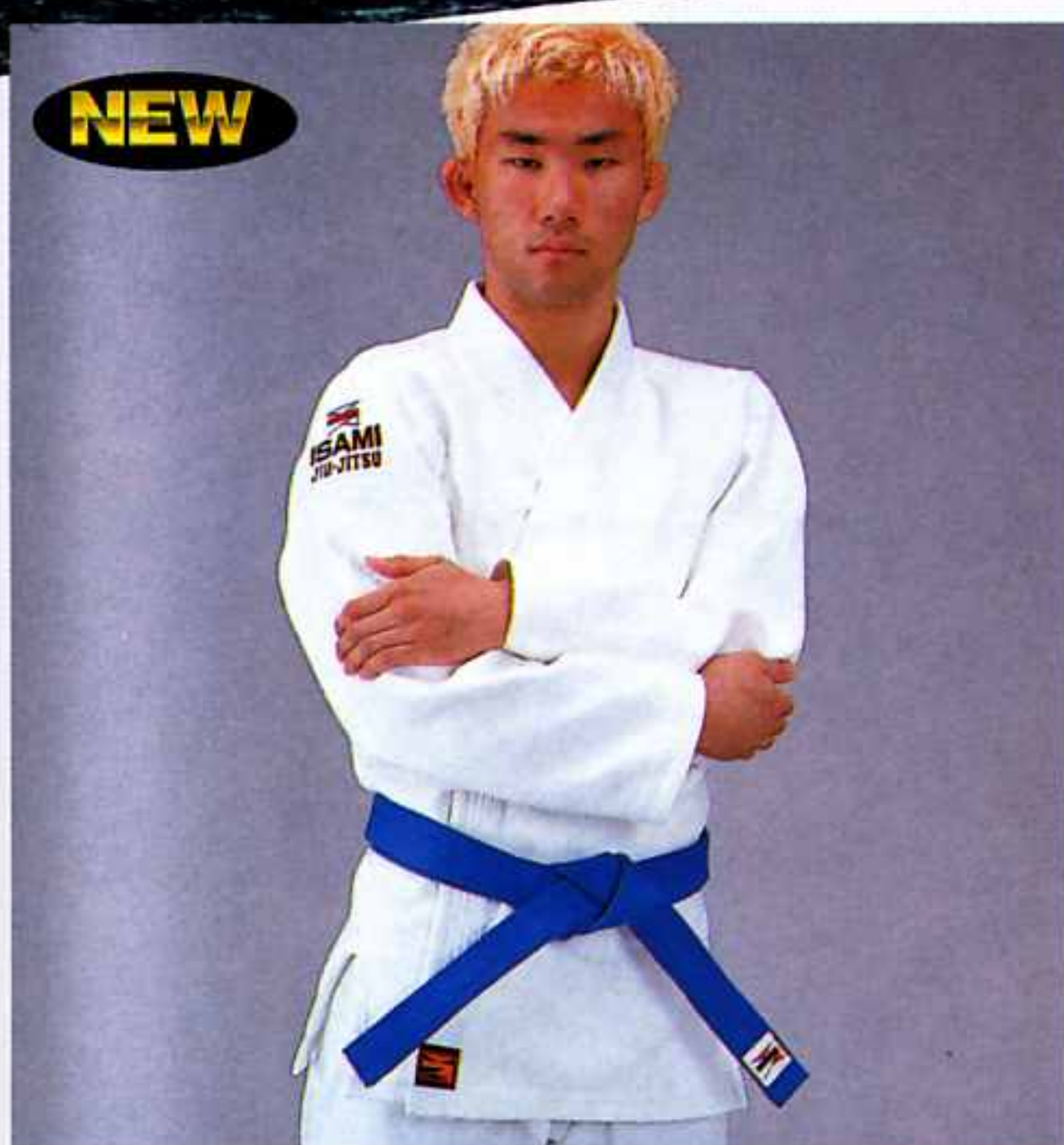
W45×D125×H80
アブシェイプ　解説ビデオ付き
無理なく腹筋を鍛えることができ、腰痛予防にも効果的です！
12,800円➡ **9,800円**

ご注文は▶TEL.0480-24-0711 FAX.0480-24-0713

NEW

NEW

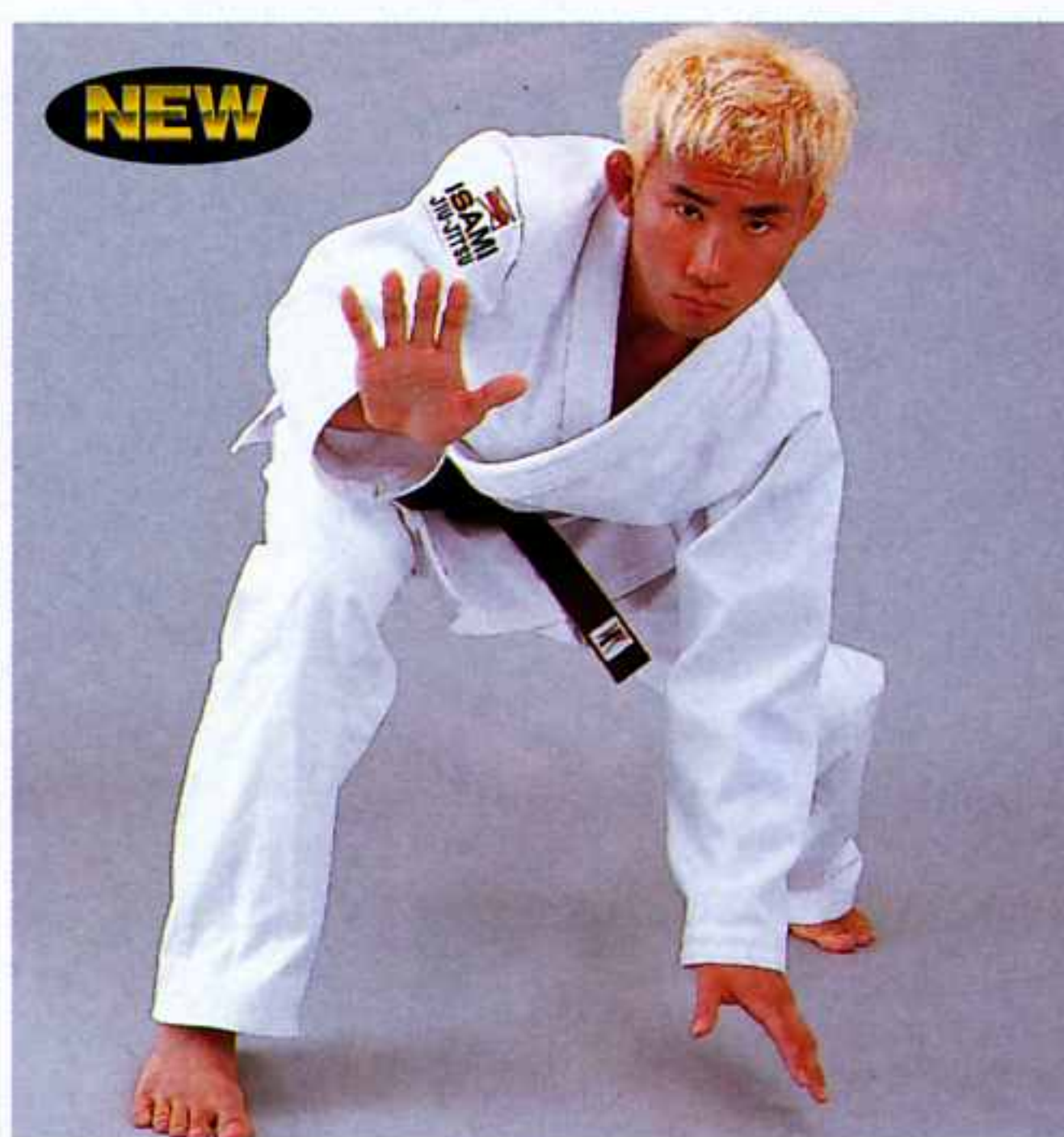
NEW

モデル：早川光由（正道会館柔術クラスのインストラクター）

柔術衣（ダブル） JJ-1000 日本製

●上衣／二重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2〜5号

JJ-1000 柔術衣 (単位:円)

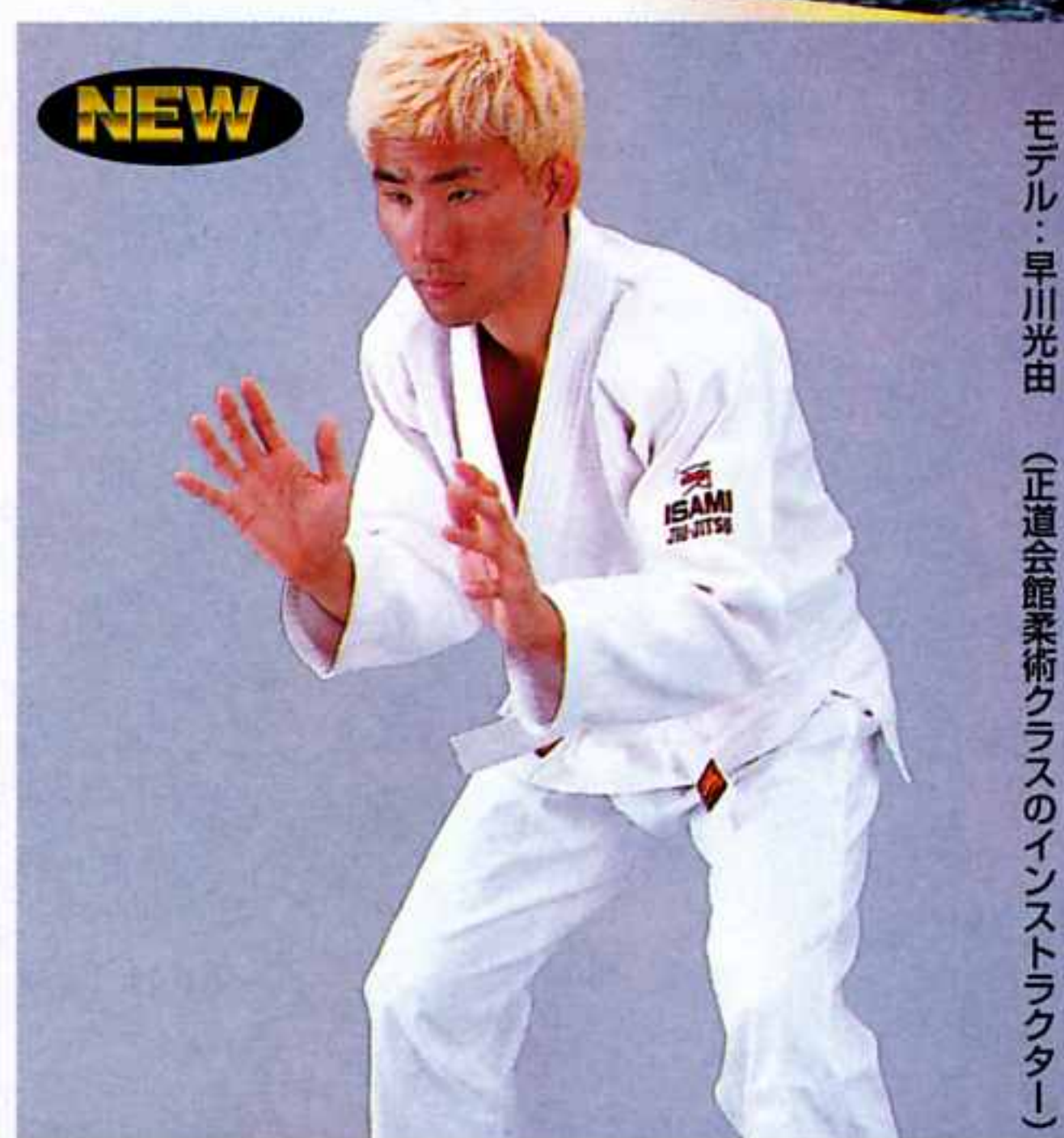
サイズ(号)	JJ-1001(上衣)	JJ-50(ズボン)	JJ-1000(上下セット)
2〜5	17,800	6,200	24,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長(cm)	155	165	175	185

柔術衣（シングル） JJ-100 日本製

●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦2%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横0% ■サイズ／2〜5号

JJ-100 柔術衣 (単位:円)

サイズ(号)	JJ-101(上衣)	JJ-50(ズボン)	JJ-100(上下セット)
2〜5	8,800	6,200	15,000

柔術衣参考サイズ	サイズ	2	3	4	5
	身長(cm)	155	165	175	185

柔術衣 JJ-200 中国製

●上衣／一重織晒刺子地（横刺） 収縮率／縦3%・横6%
●ズボン／葛城晒加工地 収縮率／縦6%・横2% ■サイズ／4〜7号

JJ-200 柔術衣 (単位:円)

サイズ(号)	JJ-201(上衣)	JJ-202(ズボン)	JJ-200(上下セット)
4	6,860	2,940	9,800
5	7,280	3,120	10,400
6	7,560	3,240	10,800
7	7,980	3,420	11,400

柔術衣参考サイズ	サイズ	4	5	6	7
	身長(cm)	165	170	175	180

BARBELL DUMBELL PLATE

HRC-200
レギュラーバーベルセット

HERACLES.

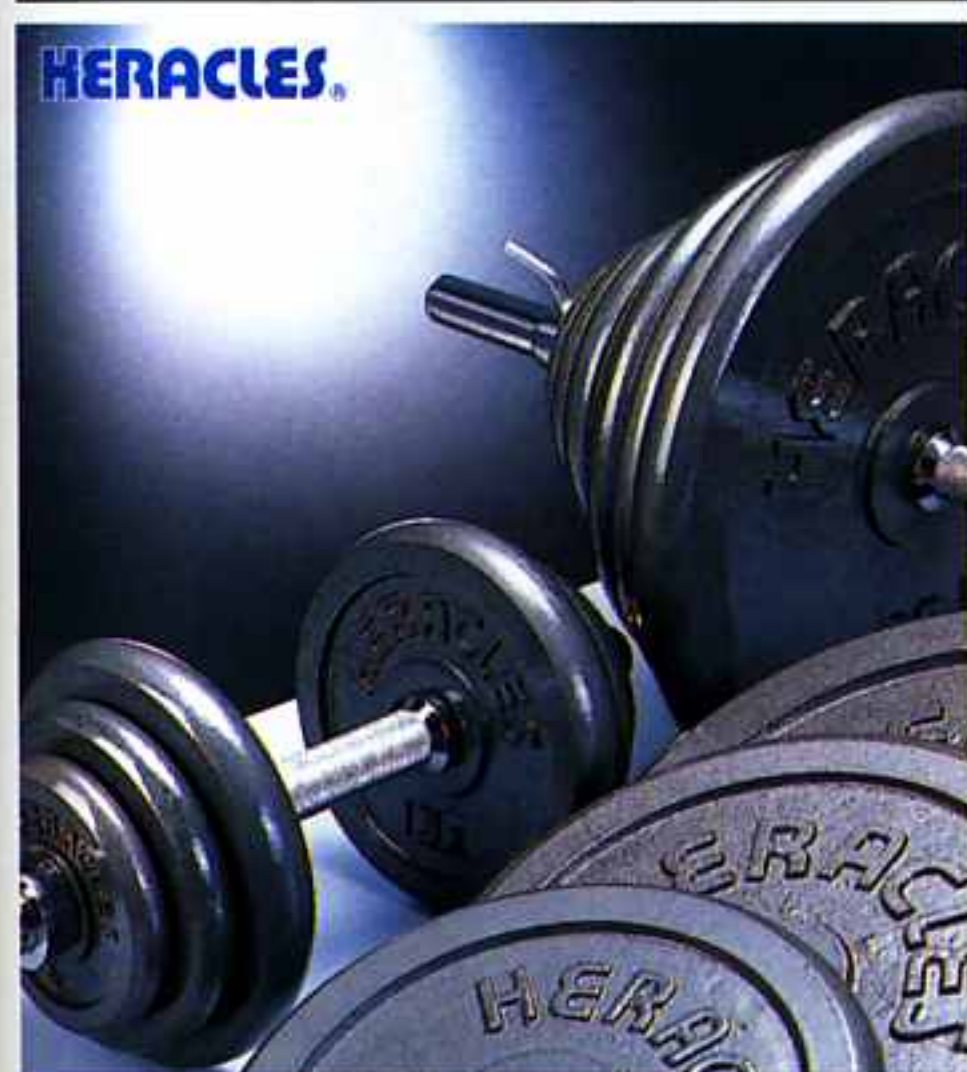
HRC-300
ラバーバーベルセット

HERACLES.
NEW

HRC-100
クロームバーベルセット

HERACLES.

HRC-1000
50φオリンピックプレート

HERACLES. NEW

HRC-200 レギュラーバーベルセット

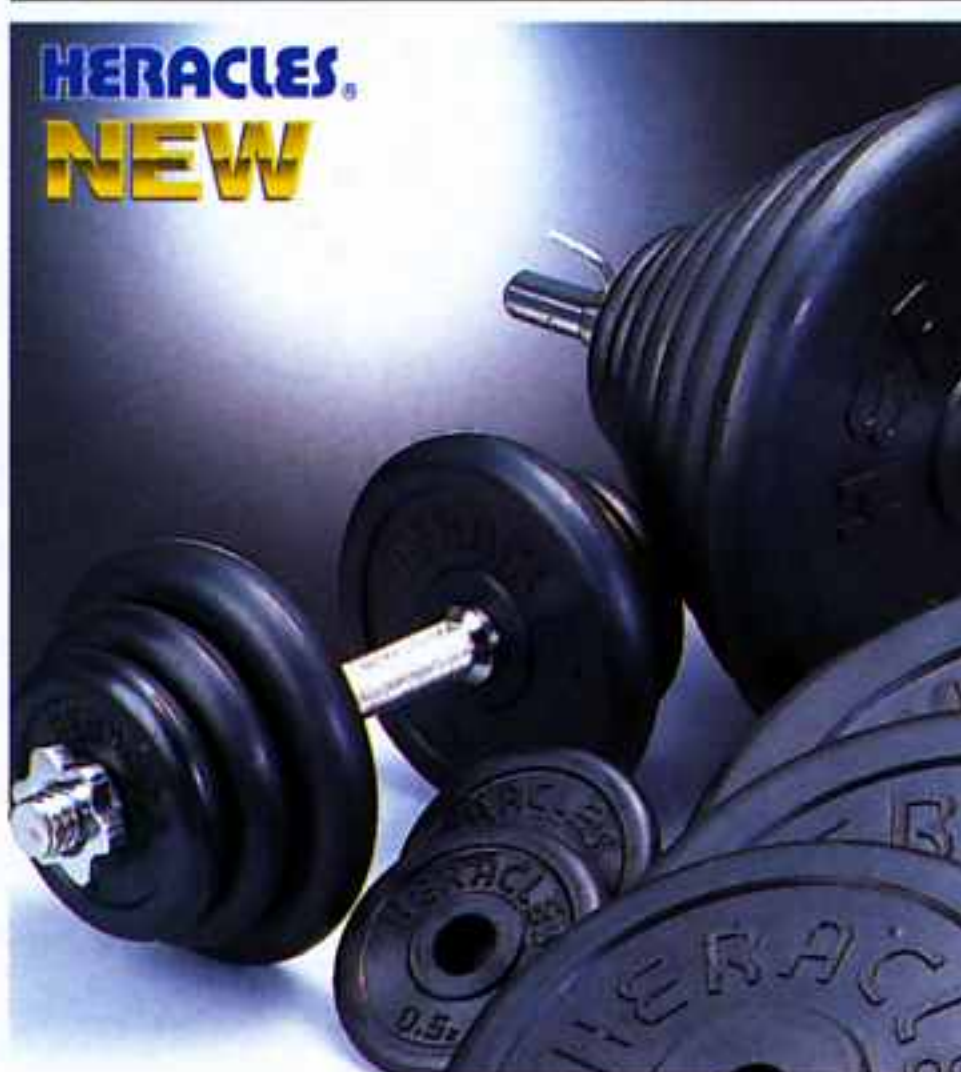
*P:プレート B:バー DB:ダンベルバー

35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥12,900	送料¥2,000(2ケ口)
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥17,700	送料¥2,500(3ケ口)
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥22,500	送料¥3,000(3ケ口)
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥29,700	送料¥3,500(4ケ口)
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥39,300	送料¥4,000(5ケ口)

1.25kgプレート	1枚¥300	2.5kgプレート	1枚¥600
5kgプレート	1枚¥1,200	7.5kgプレート	1枚¥1,800
10kgプレート	1枚¥2,400	15kgプレート	1枚¥3,600
20kgプレート	1枚¥4,800		

ヘラクレスダンベルセット

各セット共シャフト2本付			レギュラープレート	クロームメッキ仕様	ラバープレート	
10k	片手5kg	DB×2、1.25kg×4	¥4,800	¥6,000	¥5,800	送料¥1,000(1ケ口)
20k	片手10kg	DB×2、2.5kg×4、1.25kg×4	¥7,200	¥10,000	¥8,800	送料¥1,000(1ケ口)
30k	片手15kg	DB×2、2.5kg×8、1.25kg×4	¥9,600	¥14,000	¥12,000	送料¥1,000(1ケ口)
35k	片手17.5kg	DB×2、2.5kg×8、1.25kg×8	¥10,800	¥16,000	¥13,600	送料¥1,500(1ケ口)
40k	片手20kg	DB×2、2.5kg×4、1.25kg×4、5kg×4	¥12,000	¥18,000	¥15,200	送料¥1,500(2ケ口)

●バーベル・ダンベルラック制作いたします。●基本的にレギュラーダンベルセットにはレンチ式シャフト（スプリングカラー4ケ付き）、クローム、ラバーダンベルセットにはスクリュー式シャフトがセットされます。

HRC-300 ラバーバーベルセット

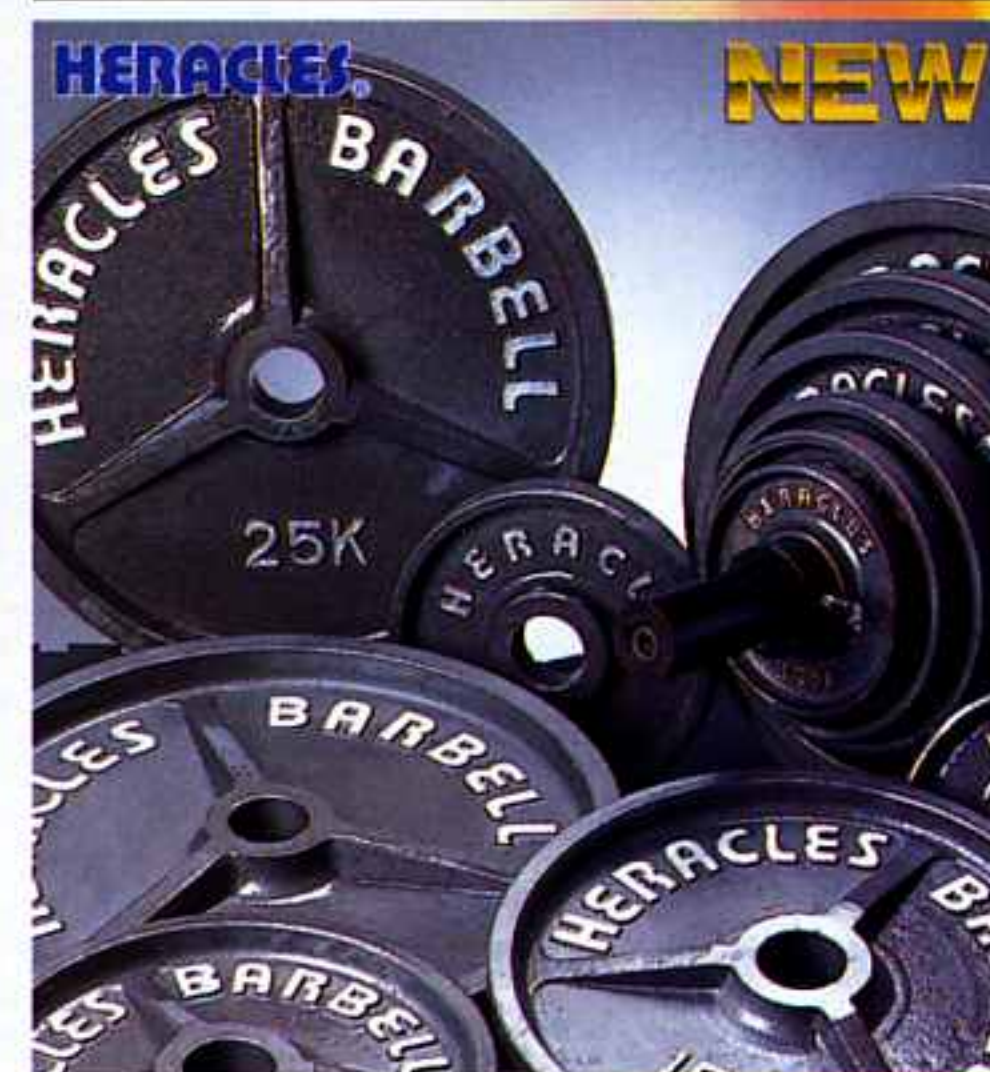
35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥14,900	送料¥2,000(2ケ口)
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥21,300	送料¥2,500(3ケ口)
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥27,700	送料¥3,000(3ケ口)
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥37,300	送料¥3,500(4ケ口)
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥50,100	送料¥4,000(5ケ口)

0.5kgプレート	1枚¥160	1.25kgプレート	1枚¥400
2.5kgプレート	1枚¥800	5kgプレート	1枚¥1,600
7.5kgプレート	1枚¥2,400	10kgプレート	1枚¥3,200
15kgプレート	1枚¥4,800	20kgプレート	1枚¥6,400

HRC-100 クロームバーベルセット

35kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P2.5kg×4、P5kg×2	¥16,500	送料¥2,000(2ケ口)
55kgセット	B10kg×1、DB2.5kg×2、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P7.5kg×2	¥24,500	送料¥2,500(3ケ口)
75kgセット	55kgセット+P10kg×2	¥32,500	送料¥3,000(3ケ口)
105kgセット	75kgセット+P15kg×2	¥44,500	送料¥3,500(4ケ口)
145kgセット	105kgセット+P20kg×2	¥60,500	送料¥4,000(5ケ口)

1.25kgプレート	1枚¥500	2.5kgプレート	1枚¥1,000
5kgプレート	1枚¥2,000	7.5kgプレート	1枚¥3,000
10kgプレート	1枚¥4,000	15kgプレート	1枚¥6,000
20kgプレート	1枚¥8,000		

バーベルセットをご注文の場合、
バーベルセットのバーは●160cmまたは●180cmのいずれかからお選びいただけます。
※200cmの場合は900円増しです。

HRC-1000 50φオリンピックプレート

61kgセット	B16kg×1、P1.25kg×4、P2.5kg×4、P5kg×2、P10kg×2	¥29,400	送料¥3,500(4ケ口)
91kgセット	61kgセット+P15kg×2	¥39,000	送料¥4,000(5ケ口)
131kgセット	91kgセット+P20kg×2	¥51,800	送料¥4,500(6ケ口)
181kgセット	131kgセット+P25kg×2	¥67,800	送料¥5,000(7ケ口)
221kgセット	181kgセット+P20kg×2	¥80,500	送料¥5,500(8ケ口)

1.25kgプレート	1枚¥400	2.5kgプレート	1枚¥800
5kgプレート	1枚¥1,600	10kgプレート	1枚¥3,200
15kgプレート	1枚¥4,800	20kgプレート	1枚¥6,400
25kgプレート	1枚¥8,000		

●バーベルシャフトには50φx218cmがセットされます。

武道・トレーニング用品の総合メーカー

株式会社イサミ SRS係

〒346-0015 埼玉県久喜市西528-2
TEL.0480-24-0711(代) FAX.0480-24-0713

注文受付時間	
平日	9:00〜21:00
土・日・祝日	9:00〜18:00

★1998〜1999総合カタログご希望の方は切手¥240分をご送付下さい。

イサミの商品は、通信販売の他、お近くの代理店でも、お求めいただけます。

- ●(株)建武堂(東京池袋)…TEL.03-3986-5255
- ●尚武堂産業(東京水道橋)………TEL.03-3815-0411
- ●神奈川八光堂(横浜市)…………TEL.045-261-6834
- ●赤心堂(大阪市難波・東大阪市)…TEL.06-6649-7111
- ●(株)公武堂(名古屋市)……………TEL.052-241-2511
- ●林藤武道具(石川県金沢市)……TEL.0762-52-2220
- ●(有)東京武道具(札幌市)…………TEL.011-241-6345
- ●(株)いさご武道具(仙台市)………TEL.022-262-2562
- ●(株)マルシン(京都市)………………TEL.075-841-1523
- ●(株)三恵(長崎県諫早市)…………TEL.0957-22-5210

ご注文方法

代引	TEL又はFAXにてご注文下さい。お支払いは商品到着時に配達員へお支払い下さい。商品代金+送料+代引手数料+消費税
現金書留	注文書と商品代金+送料+消費税をご送金下さい。
カード	TELにてご注文下さい。合計¥10,000よりご利用できます。合計¥20,000より2回払いも承ります。
分割	合計¥50,000よりご利用できます。詳細はTELにてお問い合わせ下さい。

セントラルファイナンス

ご注意

★沖縄県、北海道、及び離島の方は送料をお問い合わせ下さい。
★代引手数料 総額 ¥30,000未満→ ¥400
総額 ¥100,000未満→ ¥600
総額 ¥100,000以上→ ¥1,000
★表示の価格及び送料には消費税が含まれておりません。
★万一、不良品があった場合は送料当社負担にて交換します。お客様ご都合による返品は未使用に限り可。着品後、1週間以内に電話連絡の上ご返却下さい。その際の返送料はお客様負担となります。

ご使用いただけるカード ディーシー ビザ マスター ミリオン ジェーシービー

格闘家入場テーマ曲 着メロコレクション vol.4

FIGHTER'S MUSIC on ケータイ

田村潔司

FLAME OF MIND
（リングス公認選手入場テーマ曲集『RISE』に収録）

前田日明がリングを去って半年、リングス・ジャパンの大黒柱として、また無差別級チャンピオンとして活躍中の田村潔司。その入場テーマ曲が『FLAME OF MIND』だ。スピーディーな動きが信条の田村にふさわしいアップテンポな曲だが、ここぞという大一番では、この上なく感動的に鳴り響く。また、8月1日にはリングスの主要選手のテーマ曲を集めたCD『RISE』も発売され、手に入りやすくなっている。

対応機種タイプ

Type. 1
DoCoMo／P206、P205、P156
J-PHONE／DP145
IDO／521G、521GII
Tu-Ka／TH081
デジタルツーカー／P3
セルラー／HD60P、HD61P

Type. 2
DoCoMo／P207、P157、P601ev
J-PHONE／J-P01　IDO／531G
Tu-Ka／TH091
デジタルツーカー／P4　セルラー／D101P

Type. 3
DoCoMo／D207、D207S、D501i
J-PHONE／J-D01
Tu-Ka／TH48s、THZ41、THZ43
デジタルツーカー／D4

Type. 4
IDO／529G、526G
Tu-Ka／TH181、TH18K、TH18S
セルラー／HD60K、HD61K、D201K、D202K

『FLAME OF MIND』　作・編曲：内田光一

TYPE 1

7 0 0 0 0 6 7 2 2 2 0 0
1 1 1 0 7 6 0 0 5 0 0 0
0 3 5 7 0 0 6 0 5 4 4

TYPE 2

7 *×4 ▶ 7 * 6 * 7 * 2×5 ▶ 2×5
* 1×5 * 0 * 7 * 6 ▶ 6 * 5
*×4 ▶ 5 * 3 * 5 * 7 ▶ 7 *
6 0 * 5 4×2 ▶ 4×2 * 3 *×4 ▶ 3
* 4×2 * 5 4×2 ▶ 4×2 * 6 * 5 *
4×2 * 4×2 5 * 3 *×4 ▶ 3 *

TYPE 3

7×10 6×2 7×2 2 9 2×5 1×2 0×2 7 9×2 7 6×6
5×10 3×2 5×2 7×6 6×2 0×2 5×2 4 8 4×5 3 8
3×9 4 8 4 5 8 5 4 8 4×5 6 8
6 5×2 4 8 4 ▶ 4×4 5 8 5 3×10

TYPE 4

↑×13 0×3 # ↑×13 # ↑×11 # ↑×13 # ↑×16 0×2 #
↑×14 # 0 # ↑×13 # ↑×11 0×2 # ↑×9 0×3 #
↑×9 # ↑×6 # ↑×9 # ↑×13 0×2 # ↑×11 # 0
↑×9 # ↑×8 0×2 # ↑×6 0×3 # ↑×6 # ↑×8
↑×9 # ↑×8 0×2 # ↑×11 # ↑×9 # ↑×8
↑×8 0 # ↑×9 # ↑×6 0×3 # ↑×6

OTHERS

Type. 1～4までの機種以外を使っている方は、この表を元に、それぞれの機種に応じて入力してください。表の見方は次の通りです。
ド↑…1オクターブ上げる
ド#…半音上げる
□…休符
また、音符・休符の横の数字は音の長さを表し、十六分音符を1として八分音符＝2、四分音符＝4と増えていきます。

シ10　ラ2　シ2　レ↑6　ド↑2　□2
シ2　ラ6　ソ10　ミ2　ソ2　シ6　ラ2
□2　ソ2　ファ#6　ミ10　ファ#2
ソ2　ファ#6　ラ2　ソ2　ファ#2
ファ#4　ソ2　ミ10

リクエスト受付中！

このコーナーでは、「この選手のテーマ曲を着メロにしてほしい！」という読者のみなさんからのリクエストを受付中です。希望する選手とテーマ曲、住所、名前、電話番号を明記の上、

〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-14-12　神田NSビル8F
SRS・DX編集部『着メロ』係

まで、どしどしご応募ください。
人気の高い曲は、どんどん紹介していく予定です。

SRSDX 8・26 No.4
極真世界大会・日本代表夏合宿
8・22 有明K-1ジャパン直前情報

1999年8月26日発行(毎月第2・第4木曜日 発行)　第1巻・第4号・通算4号
編集人・谷川貞治　発行人・柳沢忠之　発行所・(株)フジテレビ出版／(株)ローデス　〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-14-12
神田NSビル8F　電話／03-3295-4445
発売所・(株)扶桑社　〒105-8070 東京都港区海岸1丁目15番1号

定価680円　本体648円

雑誌 21584-8/26　T1121584080680　Printed in Japan